

ちば

平成 25 年度

第 47 回

県政に関する世論調査

報 告 書

平成 26 年 5 月

千 葉 県

は し が き

この調査は、県民の皆さまの生活意識や、県政に対してどのような関心や、期待などを持っておられるかを把握し、県政推進の基礎資料とするため、昭和50年度から実施しています。

平成18年度から年2回実施しており、今回は平成25年度第2回目の調査で、県内在住の満20歳以上の男女3,000名を対象に、昨年11月から12月にかけて郵送法で実施しました。

具体的内容としては、「住宅用火災警報器の設置状況」、「地域福祉の推進」、「高齢者の孤立化問題」、「障害者施策」、「動物愛護管理」、「環境保全に関する取組」、「消費生活」、「青少年の健全育成」、「有機農業」、「道路整備」、「犯罪のない安全で安心なまちづくり」、「自動車盗難の被害防止」の12項目について調査を実施しました。

この報告書が、県の施策立案や諸事業の推進などに活用されるだけでなく、広く県民の生活意識や県政に関心を寄せる方々にご活用いただければ幸いです。

終わりに、この調査にご協力いただきました県民の皆さまを始め、関係の方々に厚くお礼申し上げます。

平成26年5月

千葉県総合企画部長 鶴巻 郁夫

目 次

調査の概要	1
調査の結果 調査結果の解説	15
1. 住宅用火災警報器の設置状況について	17
(1) 住宅用火災警報器の設置有無	17
(2) 住宅用火災警報器の作動点検の頻度	19
(3) 住宅用火災警報器を設置していない理由	21
2. 地域福祉の推進について	24
(1) 安心して暮らせる地域社会づくり	24
(2) 近隣の人に対する望ましいつきあい方	26
(3) 安心して暮らせる地域社会をつくるために必要な取組	28
3. 高齢者の孤立化問題について	31
(1) 孤立死（孤独死）のイメージ	31
(2) 孤立死（孤独死）に対する不安	33
(3) 高齢者を孤立化させないため、行政が取り組むべきこと	35
(4) 高齢者孤立化防止活動「ちばSSKプロジェクト」認知度	37
4. 障害者施策について	40
(1) 障害のある人に対する支援	40
(2) 今後、障害のある人に対する支援として必要な取組	42
(3) 障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくり	44
(4) 障害を理由とする差別や偏見の有無	46
(5) 「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」 認知度	48
5. 動物愛護管理について	51
(1) ペット飼い主の責務として終生飼養に努める規定の認知度	51
(2) 地域猫活動 認知度	53
(3) ペット動物から感じる迷惑	55
(4) 動物愛護や適正飼育のために、行政が取り組むべきこと	57
6. 環境保全に関する取組について	61
(1) 環境保全のために日常生活で行っていること	61
(2) 環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動への 参加経験	65

7. 消費生活について	68
(1) 消費者トラブルの経験の有無	68
(2) 消費者トラブルなどの相談体制の整備状況	70
(3) 悪質商法が減ってきていると思うか	72
(4) 食の安全に対する不安感	74
(5) 消費生活全般の満足度	76
8. 青少年の健全育成について	79
(1) 青少年のインターネット利用に関して、危険性を感じる事	79
(2) インターネット利用の危険性から青少年を守るために必要な事	82
(3) 青少年の健全育成のために、行政が取り組むべき事	85
9. 有機農業について	88
(1) 有機農業の農産物に対するイメージ	88
(2) 有機農業の農産物購入頻度	90
(3) 有機農業の農産物購入理由	92
(4) 有機農業の農産物 今後の購入意向	94
(5) 有機農業の農産物に今後期待すること	96
10. 道路整備について	99
(1) 県内の道路整備状況の満足度	99
(2) 今後、道路整備で優先的に取り組むべき課題	101
(3) 社会実験期間中の東京湾アクアライン利用状況	104
(4) 東京湾アクアラインを利用する目的	106
(5) 東京湾アクアラインを利用するときの目的地	108
(6) 東京湾アクアラインを利用する理由	110
(7) 東京湾アクアラインを利用しない理由	112
(8) 東京湾アクアラインの料金引き下げに期待出来る効果	114
11. 犯罪のない安全で安心なまちづくりについて	117
(1) 犯罪や防犯に関する情報の入手方法	117
(2) 犯罪情報等で提供してほしいもの	119
(3) 犯罪に遭わないために心がけていること	121
(4) 自主防犯活動等への参加状況	123
(5) 犯罪を防止するために行政（警察）に望むこと	125
12. 自動車盗難の被害防止について	128
(1) 自動車盗難被害の現状 認知状況	128
(2) 自動車盗難に遭わないために気をつけていること	132
(3) 自動車盗難被害を防止する有効な対策	134
13. 自由回答	138
(付) 調査票および単純集計結果	145

調査の概要

調 査 の 概 要

1. 調査の目的

この調査は、県民の生活と県政の主要分野にわたる県民の関心、要望、意向などをとらえ、県政推進の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の項目

県政の主要課題

- ①住宅用火災警報器の設置状況について
- ②地域福祉の推進について
- ③高齢者の孤立化問題について
- ④障害者施策について
- ⑤動物愛護管理について
- ⑥環境保全に関する取組について
- ⑦消費生活について
- ⑧青少年の健全育成について
- ⑨有機農業について
- ⑩道路整備について
- ⑪犯罪のない安全で安心なまちづくりについて
- ⑫自動車盗難の被害防止について

3. 調査の設計

- (1) 調査地域 千葉県全域
- (2) 調査対象 満 20 歳以上の男女個人
- (3) 標本数 3,000 人
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
※層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって県内をブロックごとに分類し（層化）、各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して（二段）、各地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。
- (5) 調査方法 郵送法（郵送配付－郵送回収）
- (6) 調査時期 平成 25 年 11 月 20 日～12 月 9 日

4. 調査機関

株式会社 マーケティング・リサーチ・サービス

5. 回収結果

標本数	(A)	3,000件
総回収数	(B)	1,489件
	有効回収数 (C)	1,487件
	無効回収数	2件
回収率	(B / A)	49.63%
有効回収率	(C / A)	49.56%

標本抽出方法

調査対象 : 千葉県内の市町村に居住する満 20 歳以上の男女個人

標 本 数 : 3,000 人

地 点 数	市 部	192 地点
	郡 部	8 地点
	計	200 地点

抽 出 法 : 層化二段無作為抽出法

〔層 化〕

1. 県内を、次の 11 地域に分類した。

地 域 名	該 当 市 郡 名
①千葉地域	千葉市、市原市
②葛南地域	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
③東葛飾地域	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市
④印旛地域	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、印旛郡
⑤香取地域	香取市、香取郡
⑥海匝地域	銚子市、旭市、匝瑳市
⑦山武地域	東金市、山武市、大網白里市、山武郡
⑧長生地域	茂原市、長生郡
⑨夷隅地域	勝浦市、いすみ市、夷隅郡
⑩安房地域	館山市、鴨川市、南房総市、安房郡
⑪君津地域	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

2. 各地域内においては、
さらに市部、郡部に分け、層とした。

(注) ここでいう市とは、
平成25年4月1日現在市制施行の
地域をさす。



[標本数の配分]

各地域・市郡規模別の層における満 20 歳以上の人口（平成 25 年 4 月 1 日現在の推定数）に対して、3,000 の標本数を比例配分した。

[抽 出]

- 平成 22 年国勢調査時に設定された調査区を、第 1 次抽出単位となる調査単位として使用した。
 - 調査地点の抽出は、調査地点が 2 地点以上に割り当てられた層については、

$$\left[\frac{\text{層における調査区数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right]$$
を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。
 - 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、平成 22 年国勢調査時の「標準地域コード一覧」に従った。
 - 調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・番地等を指定）を、住民基本台帳から等間隔抽出法によって抽出した。
- 以上の結果、各地域・市郡別（層別）の調査地点数・標本数は、次のとおりである。

地域 \ 市郡	市部	郡部	計
① 千葉地域	1,016,645 39 585		1,016,645 39 585
② 葛南地域	1,310,949 51 765		1,310,949 51 765
③ 東葛飾地域	1,198,781 47 705		1,198,781 47 705
④ 印旛地域	554,320 22 330	37,032 1 15	591,352 23 345
⑤ 香取地域	70,073 3 45	31,902 1 15	101,975 4 60
⑥ 海匝地域	148,993 6 90		148,993 6 90
⑦ 山武地域	139,738 5 75	43,509 2 30	183,247 7 105
⑧ 長生地域	77,422 3 45	54,442 2 30	131,864 5 75
⑨ 夷隅地域	52,825 2 30	15,984 1 15	68,809 3 45
⑩ 安房地域	119,286 3 45	7,775 1 15	127,061 4 60
⑪ 君津地域	272,771 11 165		272,771 11 165
計	4,961,803 192 2,880	190,644 8 120	5,152,447 200 3,000

(注) 上段は満 20 歳以上の人口（平成 25 年 4 月 1 日現在）、中段は調査地点数、下段は標本数である。

調査地点一覧

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
①千葉地域	千葉市中央区院内 2 丁目	15	②葛南地域	市原市西広 5 丁目	15
	千葉市中央区寒川町 1 丁目	15		市原市白塚/野毛/廿五里/海保	15
	千葉市中央区椿森 5 丁目	15		市川市八幡 4 丁目	15
	千葉市中央区宮崎町	15		市川市東大和田 1 丁目	15
	千葉市中央区鵜の森町	15		市川市菅野 1 丁目	15
	千葉市中央区村田町	15		市川市鬼高 3 丁目	15
	千葉市中央区仁戸名町	15		市川市新田 1 丁目	15
	千葉市花見川区検見川町 3 丁目	15		市川市若宮 3 丁目	15
	千葉市花見川区武石町 2 丁目	15		市川市新田 4 丁目	15
	千葉市花見川区幕張本郷 3 丁目	15		市川市真間 1 丁目	15
	千葉市花見川区作新台 4 丁目	15		市川市柏井町 2 丁目	15
	千葉市花見川区千種町	15		市川市中国分 5 丁目	15
	千葉市花見川区瑞穂 2 丁目	15		市川市塩焼 2 丁目	15
	千葉市稲毛区黒砂台 3 丁目	15		市川市国府台 5 丁目	15
	千葉市稲毛区園生町	15		市川市行徳駅前 1 丁目	15
	千葉市稲毛区稲毛東 5 丁目	15		市川市南行徳 1 丁目	15
	千葉市稲毛区長沼町	15		市川市欠真間 2 丁目	15
	千葉市稲毛区穴川 1 丁目	15		市川市相之川 3 丁目	15
	千葉市若葉区若松町	15		船橋市田喜野井 6 丁目	15
	千葉市若葉区原町	15		船橋市前原西 4 丁目	15
	千葉市若葉区千城台西 3 丁目	15		船橋市行田 2 丁目	15
	千葉市若葉区御成台 1 丁目	15		船橋市本町 5 丁目	15
	千葉市若葉区桜木 1 丁目	15		船橋市宮本 7 丁目	15
	千葉市緑区誉田町 2 丁目	15		船橋市海神町南 1 丁目	15
	千葉市緑区大椎町	15		船橋市本中山 4 丁目	15
	千葉市緑区鎌取町	15		船橋市海神 4 丁目	15
	千葉市美浜区高洲 2 丁目	15		船橋市夏見 1 丁目	15
	千葉市美浜区打瀬 1 丁目	15		船橋市行田町	15
	千葉市美浜区真砂 3 丁目	15		船橋市丸山 5 丁目	15
	千葉市美浜区真砂 1 丁目	15		船橋市二和東 5 丁目	15
	市原市高坂	15		船橋市小室町	15
	市原市青柳	15		船橋市松が丘 1 丁目	15
	市原市白金町 2 丁目	15		船橋市芝山 1 丁目	15
	市原市菊間	15		船橋市習志野台 2 丁目	15
	市原市桜台 1 丁目/2 丁目	15		船橋市西習志野 4 丁目	15
	市原市五井	15		船橋市二宮 1 丁目	15
	市原市馬立	15		船橋市三山 7 丁目	15

地域	調 査 地 点 名	標 本 数	地域	調 査 地 点 名	標 本 数
② 葛南地域	習志野市新栄 1 丁目	15	③ 東葛飾地域	野田市親野井/次木	15
	習志野市東習志野 1 丁目	15		柏市松葉町 4 丁目	15
	習志野市袖ヶ浦 5 丁目	15		柏市増尾 7 丁目	15
	習志野市鷺沼台 3 丁目	15		柏市南増尾 4 丁目	15
	習志野市谷津 5 丁目	15		柏市中原 2 丁目	15
	八千代市大和田	15		柏市西原 5 丁目	15
	八千代市八千代台西 9 丁目	15		柏市豊四季 20 番地ほか	15
	八千代市大和田新田 747 番地	15		柏市高南台 1 丁目	15
	八千代市大和田新田 94～103 番地	15		柏市千代田 1 丁目	15
	八千代市上高野	15		柏市豊四季台 3 丁目	15
	八千代市勝田台 2 丁目	15		柏市柏	15
	浦安市入船 4 丁目	15		柏市豊四季 676 番地ほか	15
	浦安市舞浜 3 丁目	15		柏市篠籠田	15
	浦安市猫実 1 丁目	15		流山市野々下 3 丁目	15
	浦安市北栄 3 丁目	15		流山市宮園 3 丁目	15
	浦安市富士見 5 丁目	15		流山市流山 3 丁目/4 丁目	15
③ 東葛飾地域	松戸市小根本	15		流山市駒木	15
	松戸市岩瀬/松戸新田	15		流山市東深井	15
	松戸市北松戸 2 丁目	15		我孫子市つくし野 3 丁目	15
	松戸市稔台	15		我孫子市天王台 3 丁目	15
	松戸市三矢小台 3 丁目	15		我孫子市新木	15
	松戸市栄町 8 丁目	15		我孫子市我孫子 2 丁目	15
	松戸市常盤台 2 丁目	15		鎌ヶ谷市東中沢 2 丁目	15
	松戸市牧の原	15		鎌ヶ谷市東道野辺 4 丁目	15
	松戸市西馬橋 1 丁目/西馬橋蔵元町	15		鎌ヶ谷市鎌ヶ谷 1 丁目	15
	松戸市新松戸 3 丁目	15		鎌ヶ谷市道野辺本町 1 丁目	15
	松戸市馬橋	15	④ 印旛地域	成田市幸町	15
	松戸市小金原 7 丁目	15		成田市吾妻 2 丁目	15
	松戸市常盤平 5 丁目	15		成田市飯仲	15
	松戸市新松戸 7 丁目	15		成田市本城	15
	松戸市小金きよしヶ丘 2 丁目	15		成田市花崎町	15
	松戸市六実 4 丁目	15		佐倉市白銀 3 丁目	15
	松戸市新松戸 3 丁目	15		佐倉市太田/山王 1 丁目/山王 2 丁目	15
	野田市花井	15		佐倉市上志津原	15
	野田市山崎	15		佐倉市上志津	15
	野田市上花輪/上花輪新町	15		佐倉市山崎	15
	野田市七光台	15		四街道市下志津新田	15

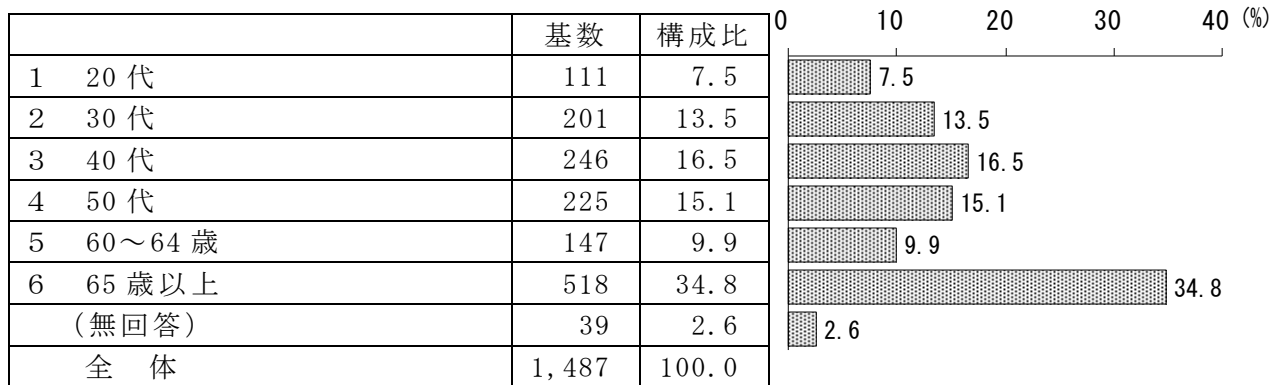
地域	調 査 地 点 名	標 本 数	地域	調 査 地 点 名	標 本 数
④ 印旛地域	四街道市千代田 5 丁目	15	⑨ 夷隅地域	勝浦市興津	15
	四街道市鹿渡	15		いすみ市若山	15
	八街市大木	15		夷隅郡大多喜町大戸	15
	八街市泉台 1 丁目	15	⑩ 安房地域	館山市笠名	15
	印西市小林北 1 丁目	15		鴨川市天津谷町	15
	印西市松崎/松崎台 2 丁目	15		南房総市加茂	15
	印西市造谷/岩戸太鼓松	15	⑪ 君津地域	安房郡鋸南町保田	15
	白井市堀込 2 丁目	15		木更津市祇園 3 丁目	15
	白井市富士	15		木更津市請西 4 丁目	15
	富里市七栄	15		木更津市高柳	15
	富里市日吉台 5 丁目	15		木更津市真里谷/下内橋	15
	印旛郡酒々井町東酒々井 3 丁目	15		君津市陽光台 2 丁目	15
⑤ 香取地域	香取市佐原水	15		君津市人見	15
	香取市野田	15		君津市大山野	15
	香取市長岡	15		富津市絹/八田沼	15
	香取郡東庄町大久保/船戸/東和田	15		富津市富津	15
⑥ 海匝地域	銚子市明神町 1 丁目/黒生町	15		袖ヶ浦市今井 1 丁目	15
	銚子市春日町	15		袖ヶ浦市三箇	15
	銚子市豊里台 1 丁目	15			
	旭市鎌数	15			
	旭市米込	15			
	匝瑳市大寺	15			
⑦ 山武地域	東金市宿	15			
	東金市下武射田/中野	15			
	山武市本柏	15			
	山武市埴谷	15			
	大網白里市大網	15			
	山武郡九十九里町片貝	15			
	山武郡横芝光町栗山	15			
⑧ 長生地域	茂原市早野	15			
	茂原市道表	15			
	茂原市七渡	15			
	長生郡長生村一松丙	15			
	長生郡長柄町山根	15			

回答者の属性

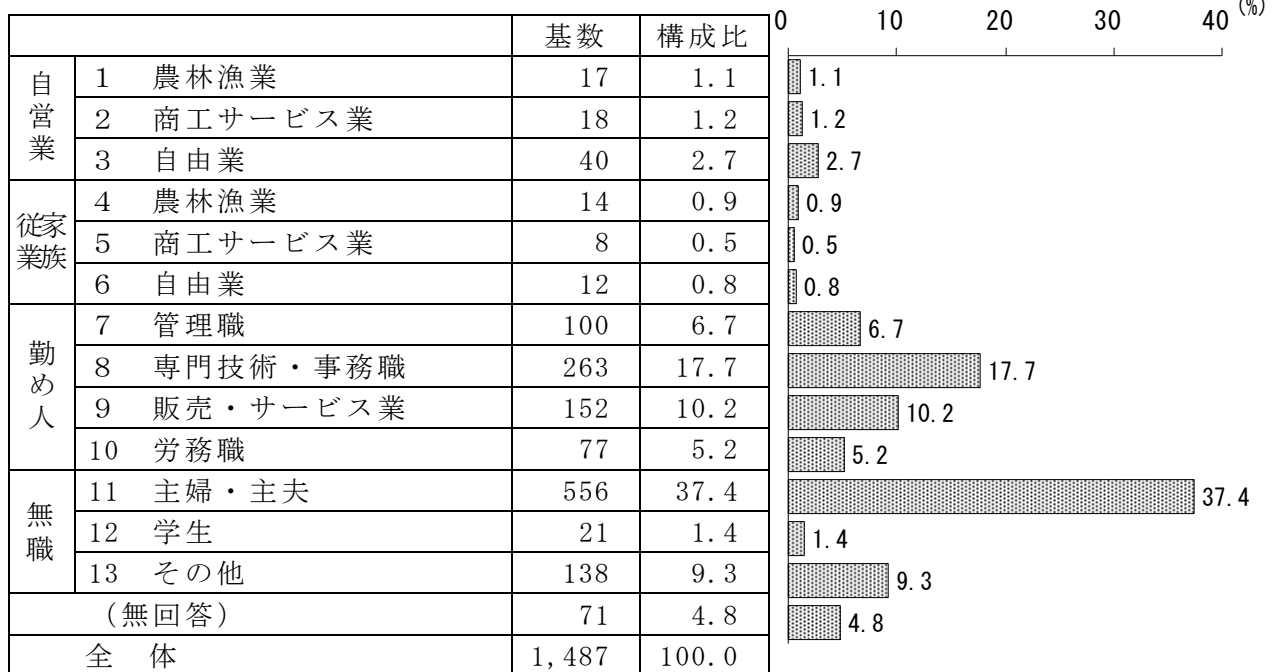
1. 性



2. 年 代

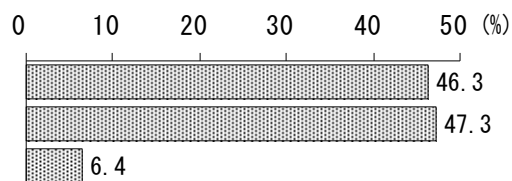


3. 本人職業



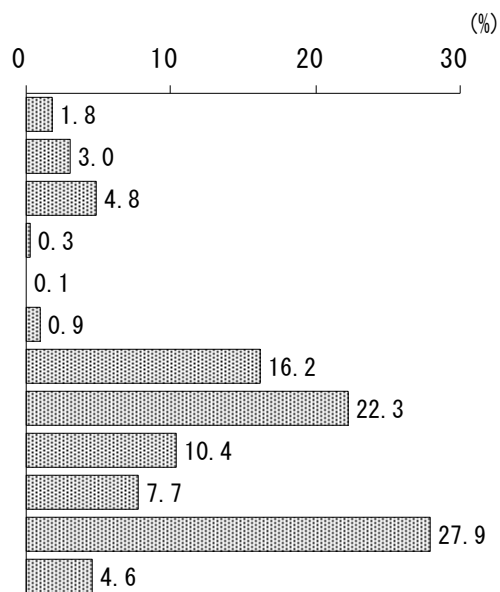
4. 家庭の家計を主として支えているか

	基数	構成比
1 はい	689	46.3
2 いいえ	703	47.3
(無回答)	95	6.4
全 体	1,487	100.0



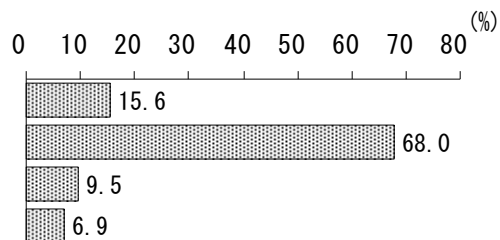
5. 主として家計を支えている家族の職業（本人除く）

	基数	構成比
自営業	1 農林漁業	13 1.8
	2 商工サービス業	21 3.0
	3 自由業	34 4.8
従業家族	4 農林漁業	2 0.3
	5 商工サービス業	1 0.1
	6 自由業	6 0.9
勤め人	7 管理職	114 16.2
	8 専門技術・事務職	157 22.3
	9 販売・サービス業	73 10.4
	10 労務職	54 7.7
	11 無 職	196 27.9
	(無回答)	32 4.6
全 体	703	100.0



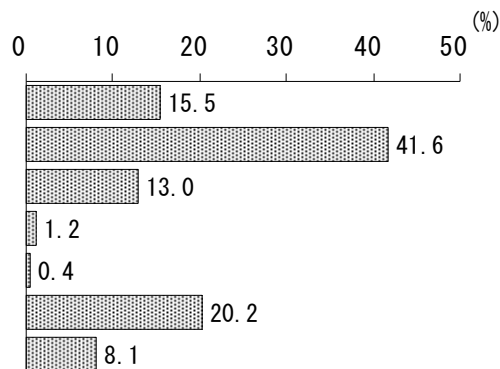
6. 未既婚

	基数	構成比
1 未婚	232	15.6
2 既婚（配偶者有）	1,011	68.0
3 既婚（配偶者離死別）	142	9.5
(無回答)	102	6.9
全 体	1,487	100.0



7. 子どもの人数

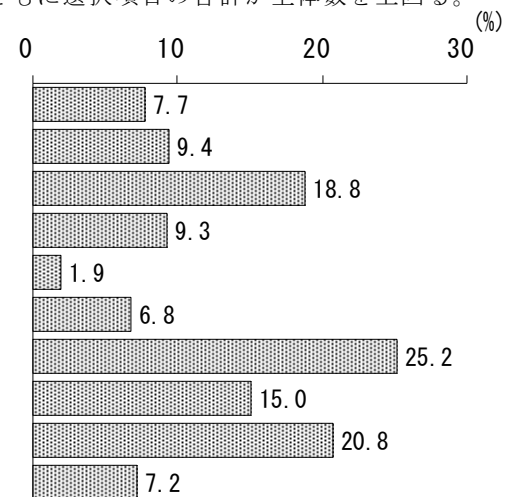
	基数	構成比
1 1人	230	15.5
2 2人	618	41.6
3 3人	194	13.0
4 4人	18	1.2
5 5人以上	6	0.4
6 子どもはいない	300	20.2
(無回答)	121	8.1
全 体	1,487	100.0



8. 子どもの成長段階

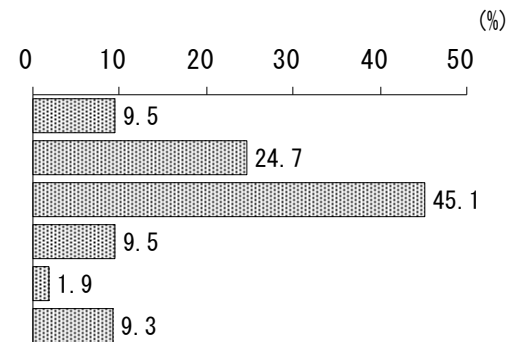
※1人の回答者が複数回答で行う設問であるため、基数・構成比ともに選択項目の合計が全体数を上回る。

	基数	構成比
1 0～2歳の子ども	82	7.7
2 3歳以上の未就学の子ども	100	9.4
3 小学校・中学校在学中の子ども	200	18.8
4 高校在学中の子ども	99	9.3
5 短大・高専・各種学校・専修学校 在学中の子ども	20	1.9
6 大学・大学院在学中の子ども	72	6.8
7 学校を終えた未婚の子ども	269	25.2
8 結婚した子ども	160	15.0
9 同居している子どもはいない (無回答)	222	20.8
	77	7.2
全体(上記「7.子どもの人数」の1から5の計)	1,066	-



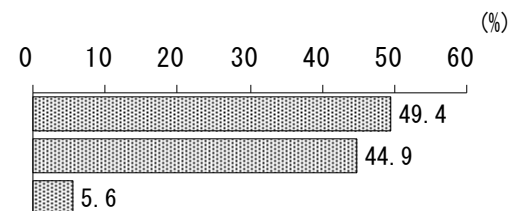
9. 同居家族構成

	基数	構成比
1 単身のみ	141	9.5
2 夫婦のみ	368	24.7
3 二世世代世帯(親と子)	670	45.1
4 三世世代世帯(親と子と孫)	141	9.5
5 その他	28	1.9
(無回答)	139	9.3
全 体	1,487	100.0



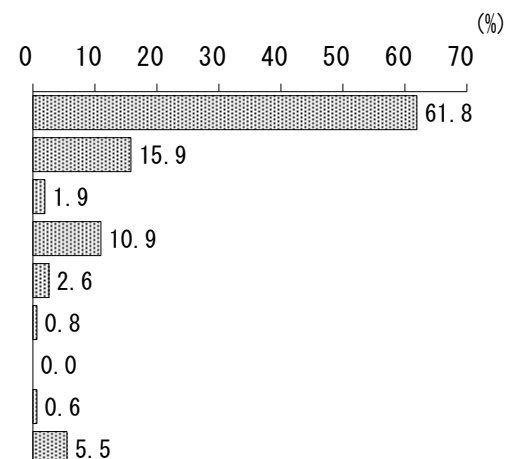
10. 高齢者の同居の有無

	基数	構成比
1 いる(対象者本人を含む)	735	49.4
2 いない	668	44.9
(無回答)	84	5.6
全 体	1,487	100.0



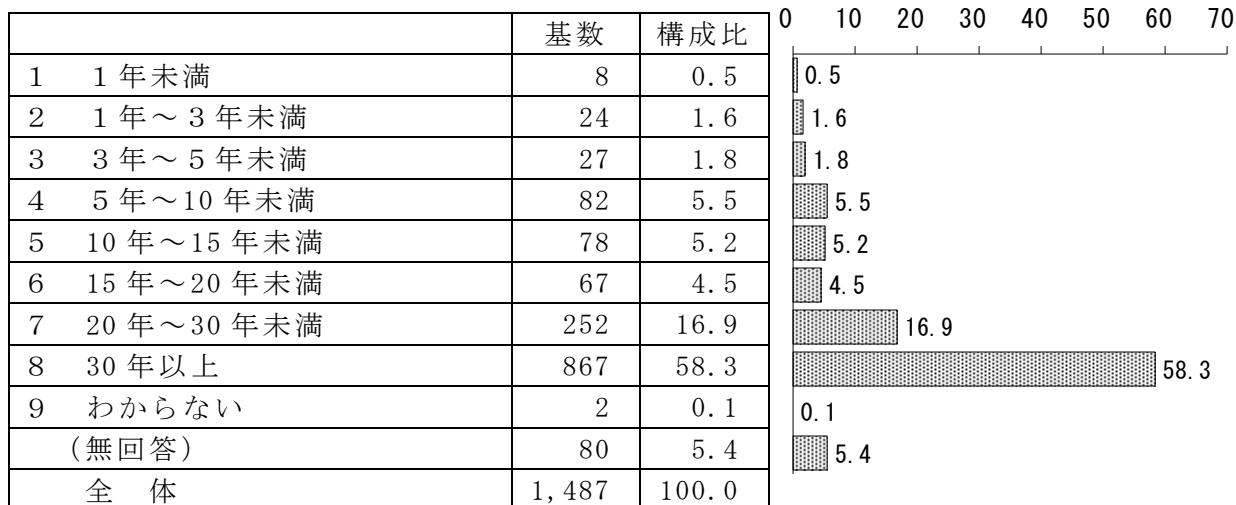
11. 住 宅

		基数	構成比
持家	1 持家（一戸建）	919	61.8
	2 分譲マンション	236	15.9
持家以外	3 民間の借家（一戸建）	28	1.9
	4 賃貸のアパート・マンション	162	10.9
	5 公社・UR・県市町村営住宅	39	2.6
	6 社宅などの給与住宅	12	0.8
	7 住み込み・寮・寄宿舍	0	0.0
	8 その他	9	0.6
（無回答）		82	5.5
全 体		1,487	100.0



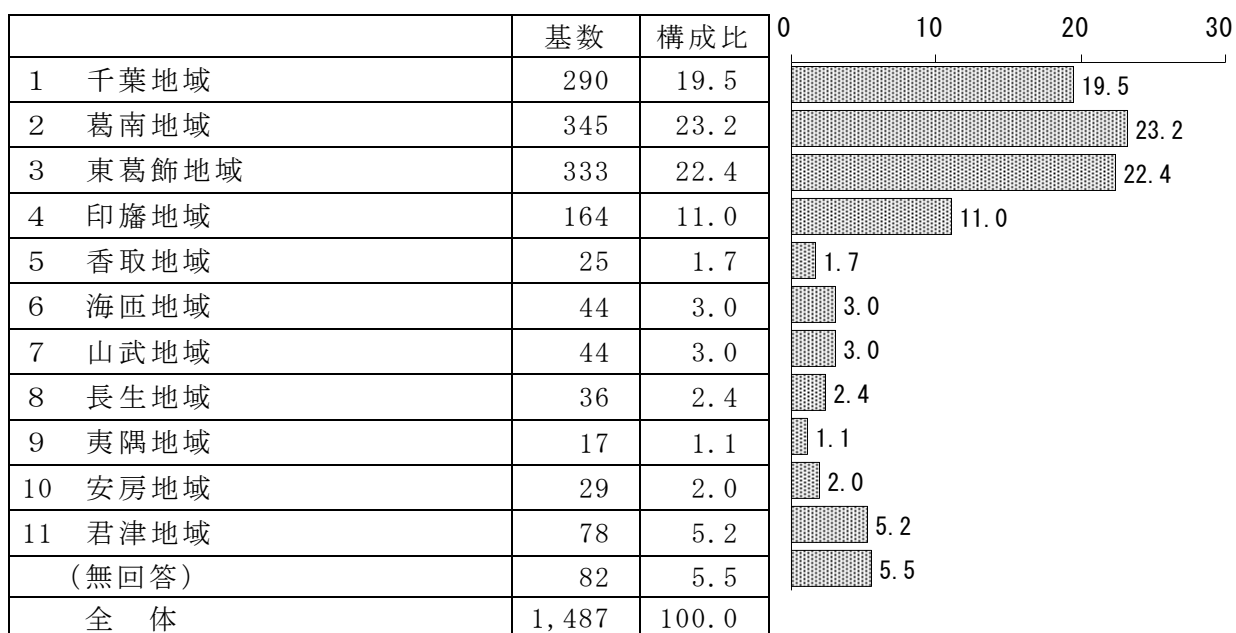
12. 県内居住年数

(%)



13. 地 域

(%)



(報告書の見方)

本報告書を読む際に、次の点に留意してください。

- (1) 比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が100%にならないことがある。
- (2) 基数となるべき実数はnとして掲載した。その比率は件数を100%として算出した。
- (3) 1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- (4) 前回調査の設問から、分かりやすく実態に合わせたものにするため、表現等を変更したものがある。
- (5) この調査の標本誤差は次の式によって得られる。但し、信頼度を95%とする。

$$b = \sqrt{2 \times \frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数
 n = 比率算出の基数 (サンプル数)
 P = 回答比率

次に、本調査の標本誤差の早見表をあげる。

回答比率 (P)		10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
基数 (n)						
総 数	1,487 人	± 2.20%	± 2.93%	± 3.36%	± 3.59%	± 3.67%
千葉地域	290	± 4.98%	± 6.64%	± 7.61%	± 8.14%	± 8.30%
葛南地域	345	± 4.57%	± 6.09%	± 6.98%	± 7.46%	± 7.61%
東葛飾地域	333	± 4.65%	± 6.20%	± 7.10%	± 7.59%	± 7.75%
印旛地域	164	± 6.62%	± 8.83%	± 10.12%	± 10.82%	± 11.04%
香取地域	25	± 16.97%	± 22.62%	± 25.92%	± 27.71%	± 28.28%
海匝地域	44	± 12.79%	± 17.05%	± 19.54%	± 20.89%	± 21.32%
山武地域	44	± 12.79%	± 17.05%	± 19.54%	± 20.89%	± 21.32%
長生地域	36	± 14.14%	± 18.85%	± 21.60%	± 23.09%	± 23.57%
夷隅地域	17	± 20.58%	± 27.44%	± 31.43%	± 33.60%	± 34.30%
安房地域	29	± 15.76%	± 21.01%	± 24.07%	± 25.73%	± 26.26%
君津地域	78	± 9.61%	± 12.81%	± 14.67%	± 15.69%	± 16.01%
男 性	638	± 3.36%	± 4.48%	± 5.13%	± 5.49%	± 5.60%
女 性	812	± 2.98%	± 3.97%	± 4.55%	± 4.86%	± 4.96%

調 査 の 結 果

調査結果の解説

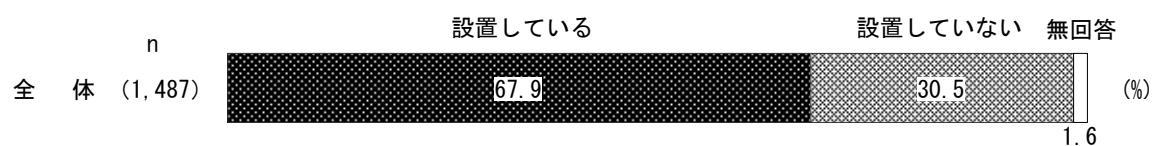
1 住宅用火災警報器の設置状況について

(1) 住宅用火災警報器の設置有無

◇「設置している」が約7割

問1 あなたのお住まいには、住宅用火災警報器が設置されていますか。（○は1つ）

＜図表1－1＞住宅用火災警報器の設置有無



住宅用火災警報器の設置状況を聞いたところ、「設置している」(67.9%)は約7割。一方、「設置していない」(30.5%)は3割となっている。(図表1－1)

【地域別】

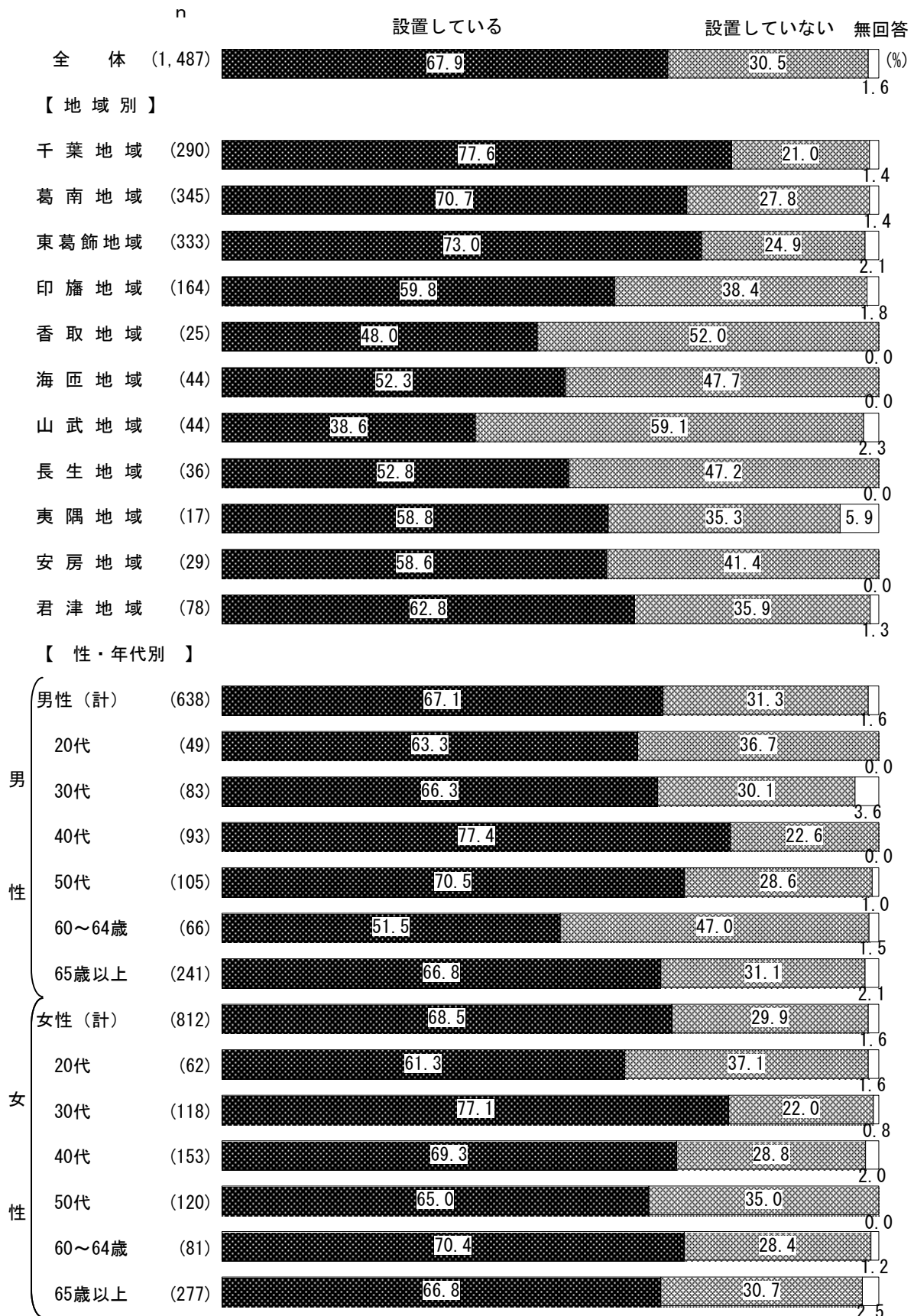
地域別にみると、「設置している」は“千葉地域”(77.6%)が約8割と最も高く、次いで“東葛飾地域”(73.0%)、“葛南地域”(70.7%)が7割以上となっている。(図表1－2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「設置している」は男性の40代(77.4%)と女性の30代(77.1%)が約8割、男性の50代(70.5%)と女性の60～64歳(70.4%)が7割で、他の年代に比べ高くなっている。

(図表1－2)

＜図表１－２＞住宅用火災警報器の設置有無／地域別、性・年代別



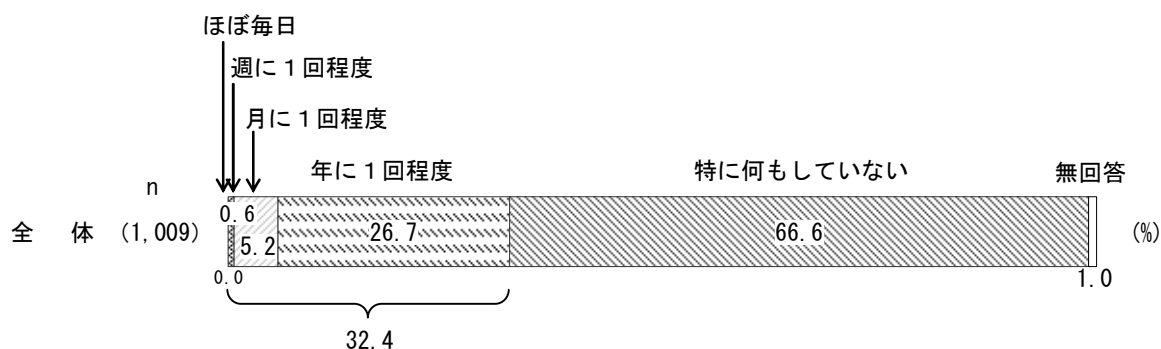
(2) 住宅用火災警報器の作動点検の頻度

◇「年に1回以上」点検が3割を超える

(問1で「設置している」とお答えの方に)

問2 住宅用火災警報器は、ボタンを押したりヒモを引いたりすることで作動点検ができますが、あなたは住宅用火災警報器の作動点検をどのくらいの頻度で行っていますか。(○は1つ)

<図表1-3> 住宅用火災警報器の作動点検の頻度



「設置している」と回答した1,009人を対象に、住宅用火災警報器の作動点検の頻度を聞いたところ、「ほぼ毎日」(0.0%)、「週に1回程度」(0.6%)、「月に1回程度」(5.2%)、「年に1回程度」(26.7%)を合わせた『年に1回以上点検している』(32.4%)は、3割を超えている。「特に何もしていない」(66.6%)が6割台半ばとなっている。(図表1-3)

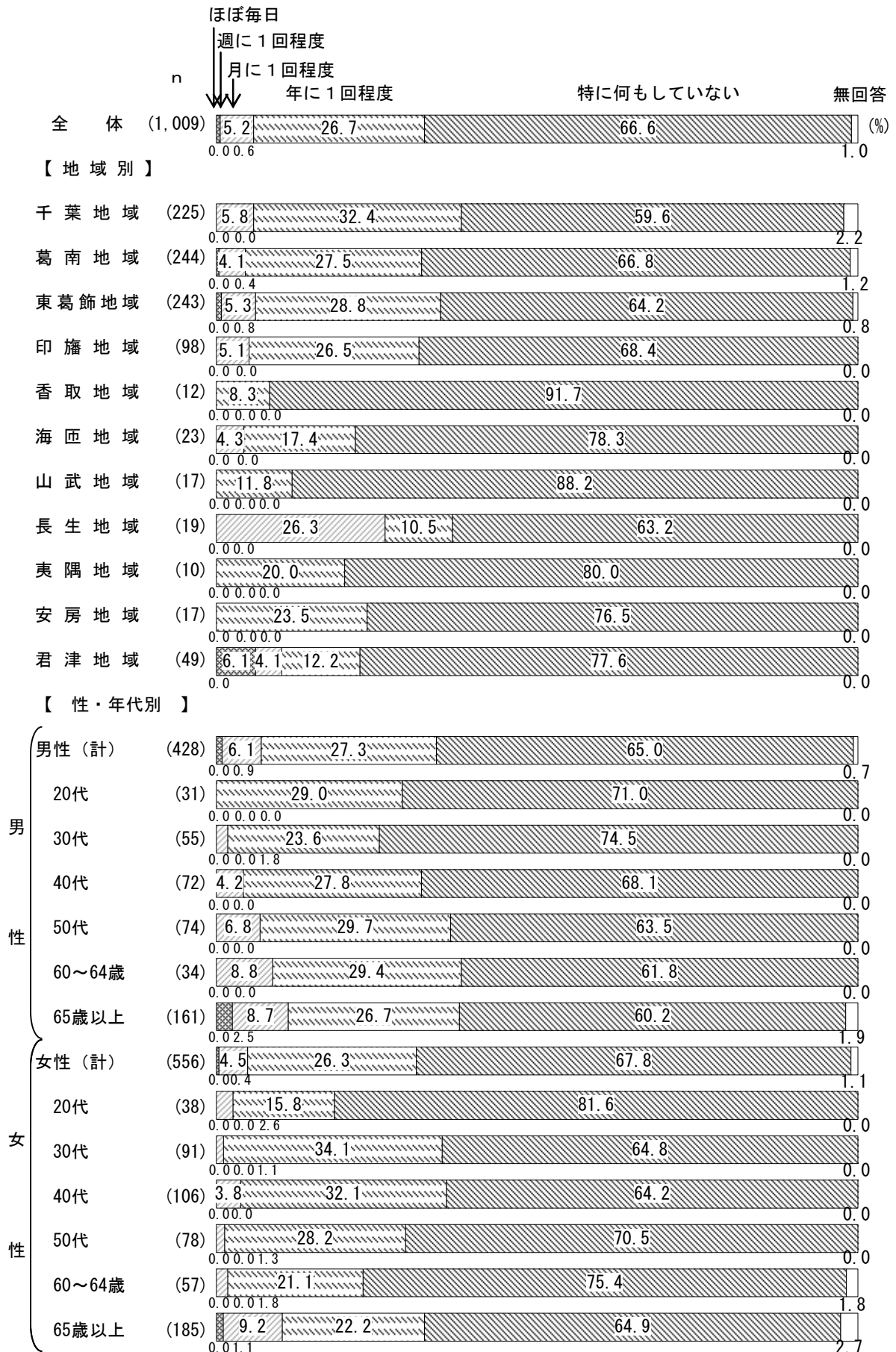
【地域別】

地域別にみると、『年に1回以上点検している』は“千葉地域”(38.2%)が約4割と最も高く、次いで“長生地域”(36.8%)、“東葛飾地域”(35.0%)が3割台半ばとなっている。(図表1-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『年に1回以上点検している』は男性の60～64歳(38.2%)、65歳以上(37.9%)が約4割、男性の50代(36.5%)、女性の40代(35.8%)、30代(35.2%)が3割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表1-4)

<図表 1-4> 住宅用火災警報器の作動点検の頻度／地域別、性・年代別



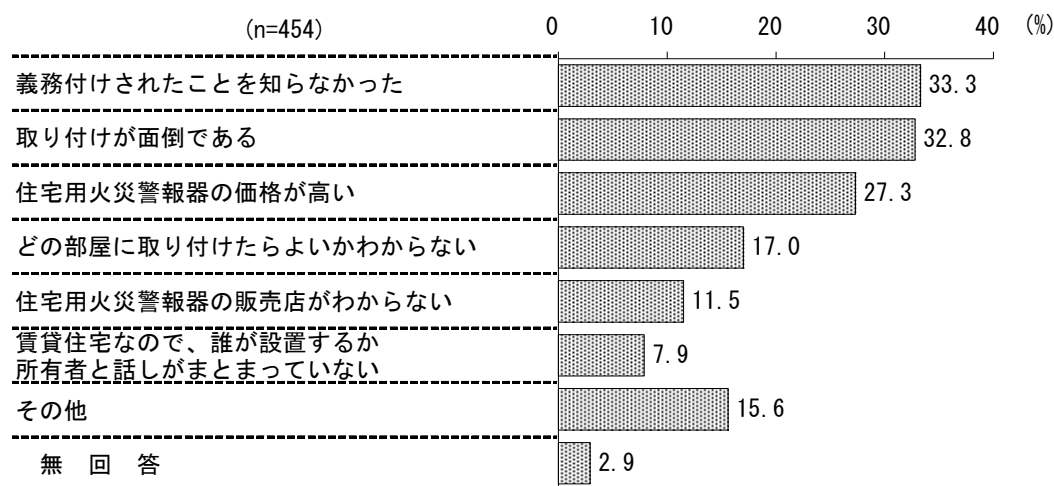
(3) 住宅用火災警報器を設置していない理由

◇「義務付けされたことを知らなかった」「取り付けが面倒である」が3割を超える

(問1で「設置していない」とお答えの方に)

問3 あなたが住宅用火災警報器を設置していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<図表1-5> 設置していない理由(複数回答)



「設置していない」と回答した454人を対象に、設置していない理由を聞いたところ、「義務付けされたことを知らなかった」(33.3%)、「取り付けが面倒である」(32.8%)が3割を超えて最も高く、以下「住宅用火災警報器の価格が高い」(27.3%)、「どの部屋に取り付けたらよいかわからない」(17.0%)、「住宅用火災警報器の販売店がわからない」(11.5%)が続く。(図表1-5)

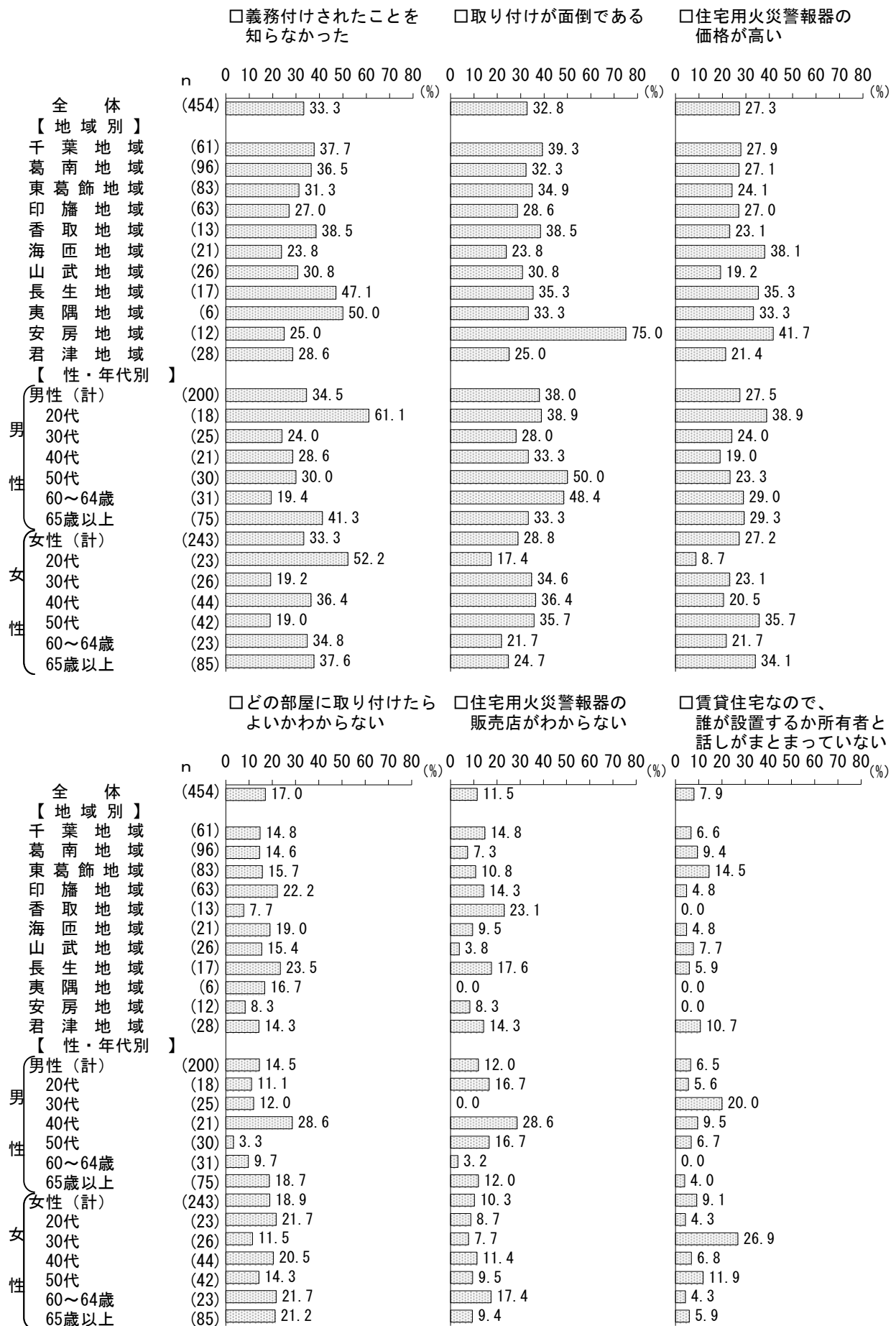
【地域別】

地域別にみると、「義務付けされたことを知らなかった」は“夷隅地域”(50.0%)で5割、“長生地域”(47.1%)で約5割と他の地域に比べ高くなっている。「取り付けが面倒である」では“安房地域”(75.0%)が7割台半ば、「住宅用火災警報器の価格が高い」は“安房地域”(41.7%)が4割を超えて高くなっている。(図表1-6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「義務付けされたことを知らなかった」は男性20代(61.1%)が6割を超え、女性20代(52.2%)が5割を超えて他の年代に比べ高くなっている。「取り付けが面倒である」では、男性50代(50.0%)が5割、男性60～64歳(48.4%)が約5割と他の年代に比べ高くなっている。「住宅用火災警報器の価格が高い」は、男性の20代(38.9%)、女性50代(35.7%)が3割台半ば以上と高くなっている。(図表1-6)

<図表１－６>設置していない理由／地域別、性・年代別（６項目）



このほかに、「住宅用火災警報器の設置状況について」やここまでの質問（問１～問３）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、205人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「住宅用火災警報器の設置状況について」の自由回答（抜粋）

- 意見や提案ではありませんが、設置していただいた後、安心感があります。
(女性・65 歳以上・東葛飾地域)
- 数名の友人に聞いたが、義務化については全く認知されておりません。まずは認知度を高める施策が急務であると感じます。販売店や価格、取り付け場所の共有は次の段階で進めていただければと思います。(男性・20 代・印旛地域)
- 法律で設置が義務付けられている割には、消防署の点検等が全くありません。各戸訪問点検をすべきではないでしょうか。(男性・65 歳以上・印旛地域)
- 平成19年に建てられた賃貸住宅なので、設置されているかもしれません。でも、特に契約先から点検についての話は一切ありません。それに関する取扱説明書も持っていません。設置義務があるのであれば、賃貸住宅の場合、不動産会社から毎年チェックするようお知らせみたいのがあるといいです。(女性・20 代・東葛飾地域)
- 義務化といっても自己管理なので、賃貸ではつけてない人が、結構いると思う。義務というからには、もっときちんと整えてあげるべきだと思う。(女性・30～39 歳・葛南地域)
- 老人世帯ですので自分で取り付けはなかなか難しい。(女性・65 歳以上・葛南地域)
- 新築ですが点検方法がわかりません。引渡しの時に説明してもらえると良いと、このアンケートで思いました。(女性・40 代・葛南地域)
- 住宅用火災報知器の作動点検ですが、まだ点検はしていないがヒモを引いた時に警報器が鳴ってしまい、まわりに迷惑をかけてしまうことはないのでしょうか？(女性・30 代・葛南地域)
- キッチン、寝室等あわせると4～5部屋あるので、全てに設置すると費用の点で大変。また、定期的なメンテナンス（電池の交換等）も考えると手間が大変。(女性・30～39 歳・君津地域)
- 火災警報器の設置促進策として、非設置の場合、火災保険金の減額ペナルティの制度を設けてはどうかと考えます。設置が普及すれば、被災額が減り、保険料の低減化も期待できる。
(男性・65 歳以上・千葉地域)
- 設置義務化が始まった頃は、周知・広報活動が行われていたが、その後は殆ど行われていない。前後の、警報器設置の効果、有効性等を周知する様にしては如何でしょうか！
(男性・65歳以上・千葉地域)

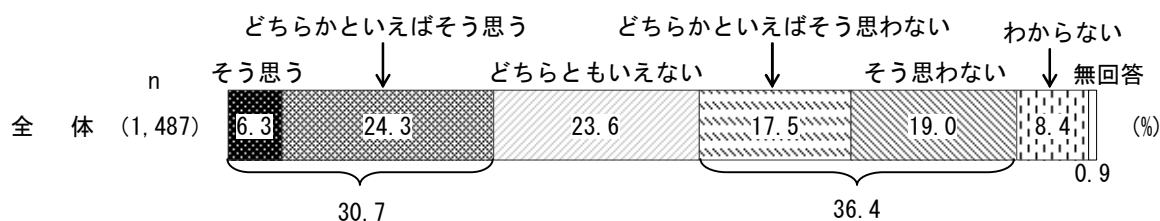
2 地域福祉の推進について

(1) 安心して暮らせる地域社会づくり

◇『そう思う』が3割

問4 あなたは地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められていると思いますか。(〇は1つ)

<図表2-1>安心して暮らせる地域社会づくり



安心して暮らせる地域社会づくりについて聞いたところ、「そう思う」(6.3%)と「どちらかといえばそう思う」(24.3%)を合わせた『そう思う』(30.7%)は3割となっている。一方「どちらかといえばそう思わない」(17.5%)と「そう思わない」(19.0%)を合わせた『そう思わない』(36.4%)は3割台半ばとなっている。(図表2-1)

【地域別】

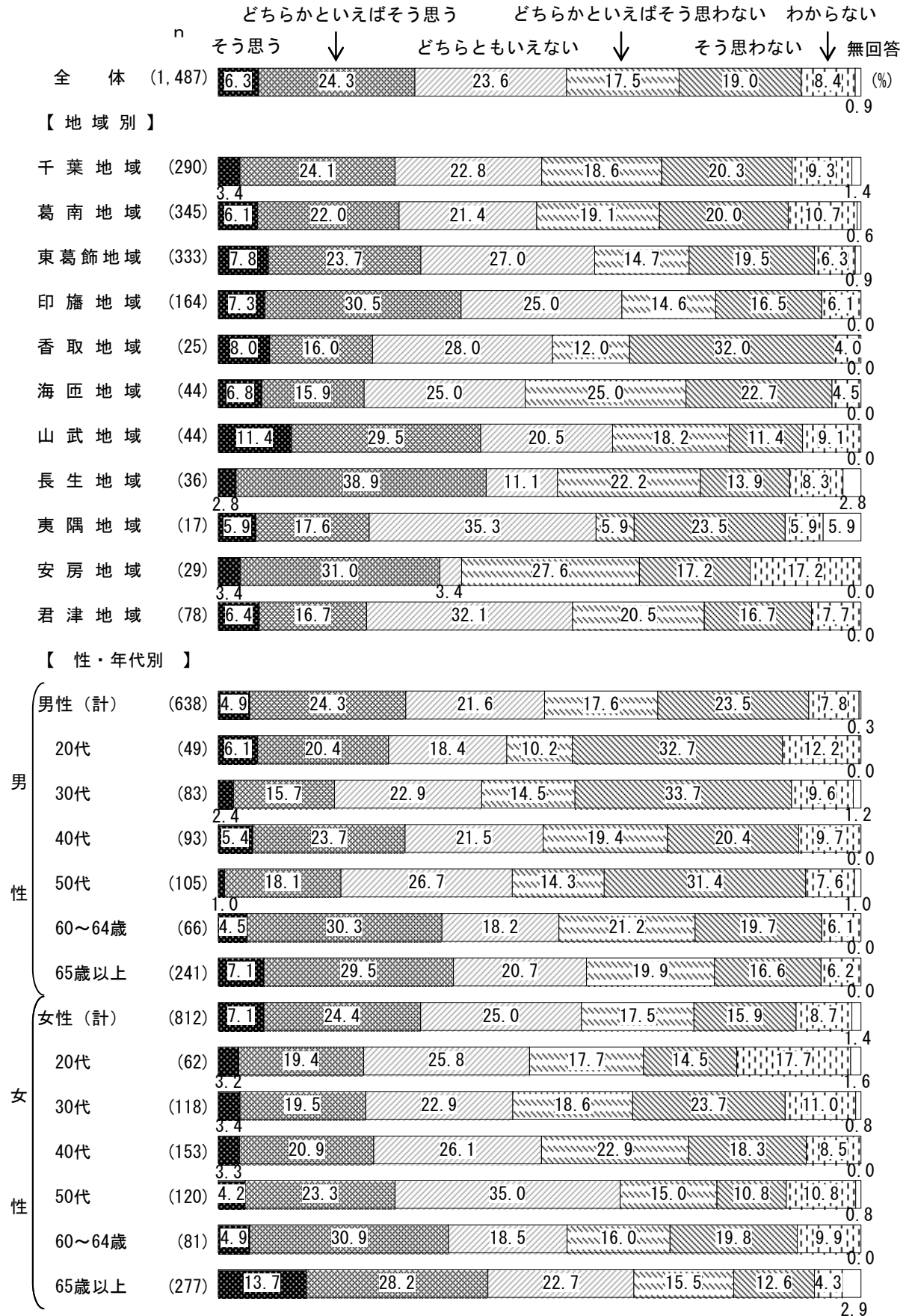
地域別にみると、『そう思う』は“長生地域”(41.7%)、“山武地域”(40.9%)が4割以上、“印旛地域”(37.8%)が約4割で他の地域に比べ高くなっている。(図表2-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は女性65歳以上(41.9%)が4割を超え、男性65歳以上(36.5%)、女性60～64歳(35.8%)、男性60～64歳(34.8%)では3割台半ばと他の年代に比べ高くなっている。

(図表2-2)

＜図表２－２＞安心して暮らせる地域社会づくり／地域別、性・年代別

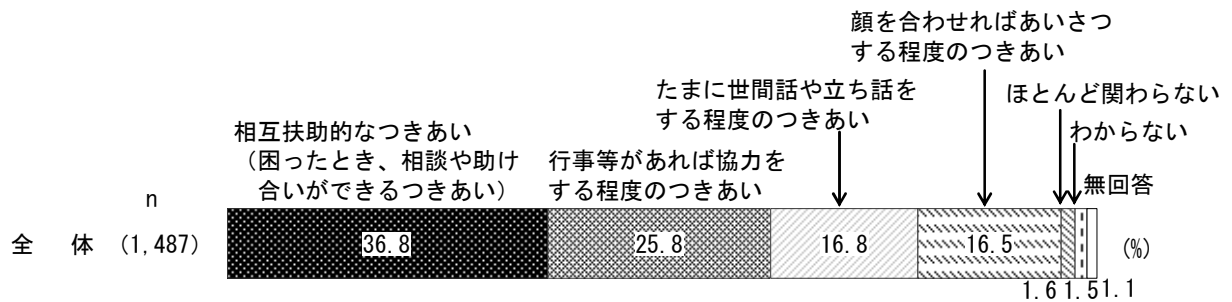


(2) 近隣の人に対する望ましいつきあい方

◇「相互扶助的なつきあい（困ったとき、相談や助け合いができるつきあい）」が3割台半ば

問5 あなたは近隣の人に対して、どのようなつきあい方が望ましいとお考えですか。（○は1つ）

＜図表2－3＞近隣の人に対する望ましいつきあい方



近隣の人に対する望ましいつきあい方を聞いたところ、「相互扶助的なつきあい（困ったとき、相談や助け合いができるつきあい）」(36.8%) が3割台半ばと最も高く、以下「行事等があれば協力をする程度のつきあい」(25.8%)、「たまに世間話や立ち話をする程度のつきあい」(16.8%)、「顔を合わせればあいさつする程度のつきあい」(16.5%)が続く。(図表2－3)

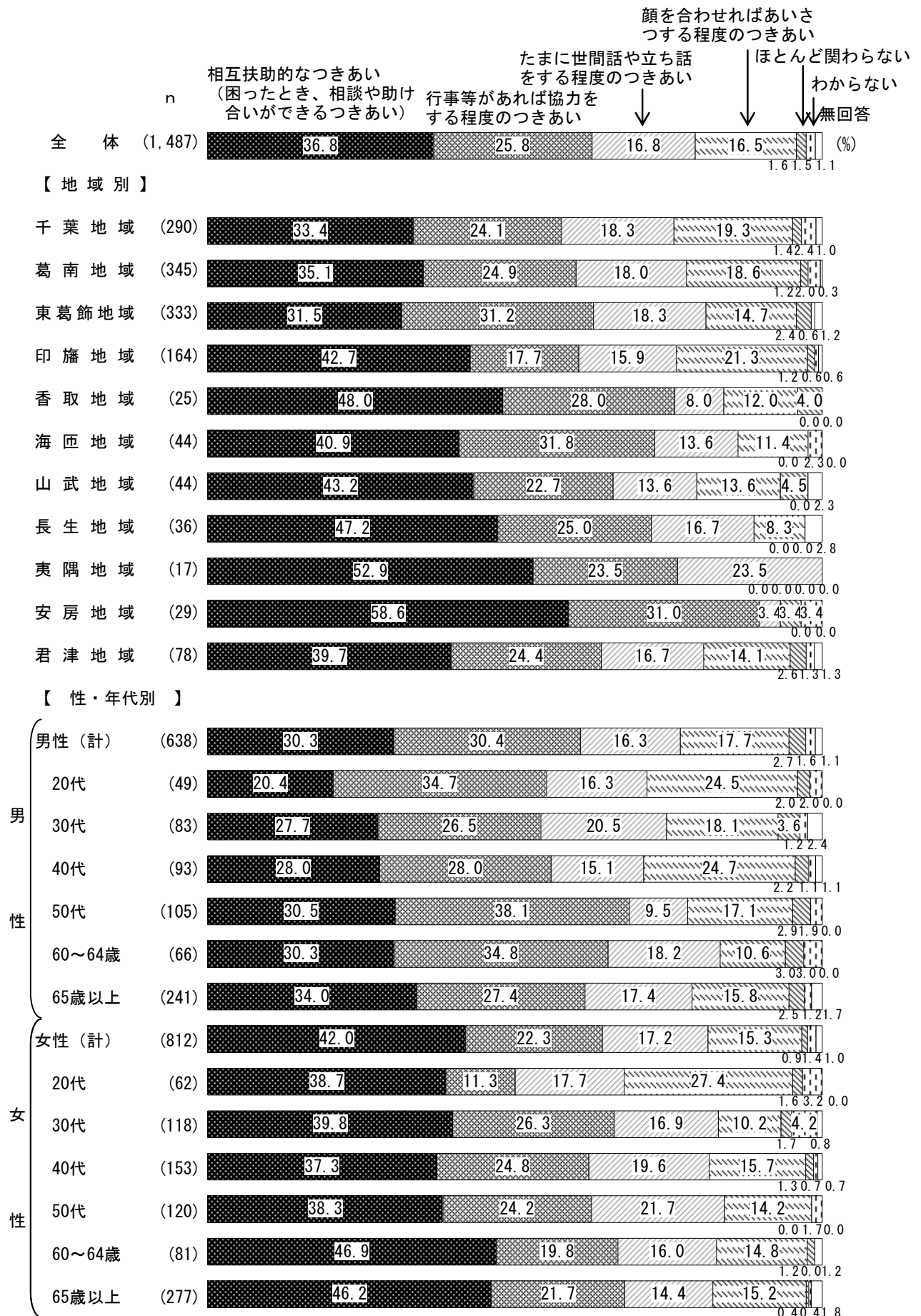
【地域別】

地域別にみると、「相互扶助的なつきあい（困ったとき、相談や助け合いができるつきあい）」は“安房地域” (58.6%) が約6割で他の地域に比べ高くなっている。以下、“夷隅地域” (52.9%) が5割を超え、“香取地域” (48.0%)、“長生地域” (47.2%) が約5割と続いている。(図表2－4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「相互扶助的なつきあい（困ったとき、相談や助け合いができるつきあい）」は女性60～64歳 (46.9%)、女性65歳以上 (46.2%) で4割台半ばと他の年代に比べ高くなっている。「行事等があれば協力をする程度のつきあい」では、男性50代 (38.1%) が約4割、男性60～64歳 (34.8%)、男性20代 (34.7%) が3割台半ばとなっている。(図表2－4)

＜図表２－４＞近隣の人に対する望ましいつきあい方／地域別、性・年代別

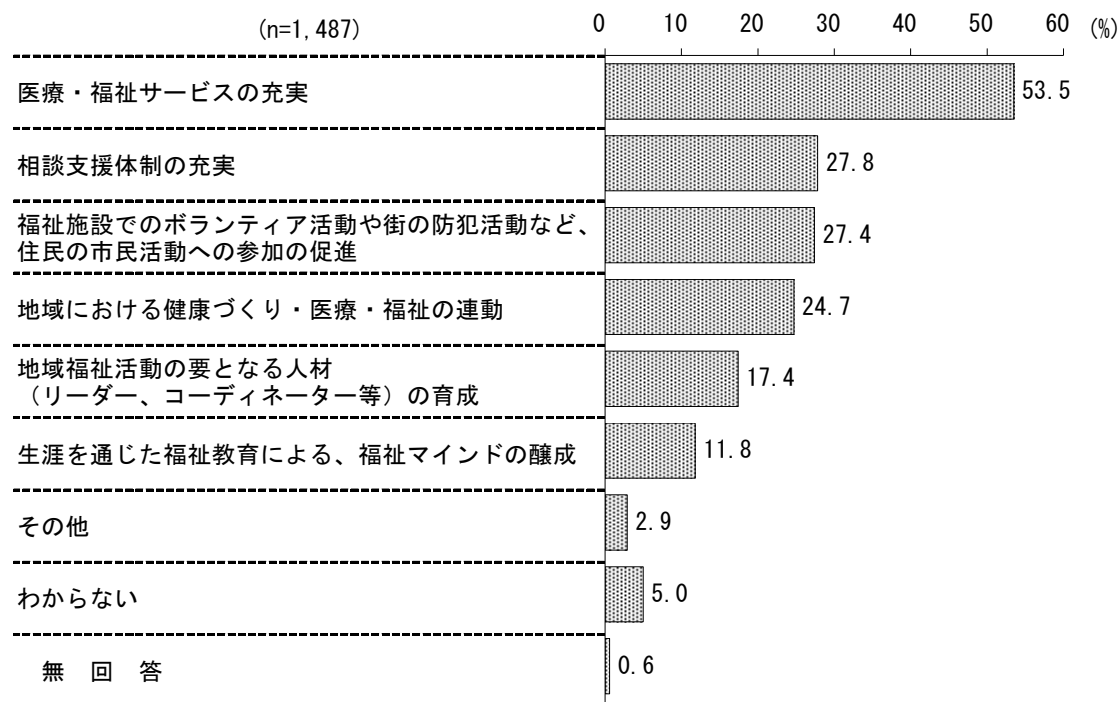


(3) 安心して暮らせる地域社会をつくるために必要な取組

◇「医療・福祉サービスの充実」が5割台半ば

問6 あなたは互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会をつくるため、どのような取組が必要だと考えますか。(〇は2つまで)

＜図表2-5＞安心して暮らせる地域社会をつくるために必要な取組



安心して暮らせる地域社会を作るために必要な取組を聞いたところ、「医療・福祉サービスの充実」(53.5%)が5割台半ばと最も高く、以下「相談支援体制の充実」(27.8%)、「福祉施設でのボランティア活動や町の防犯活動など、住民の市民活動への参加の促進」(27.4%)が共に約3割と続く。

(図表2-5)

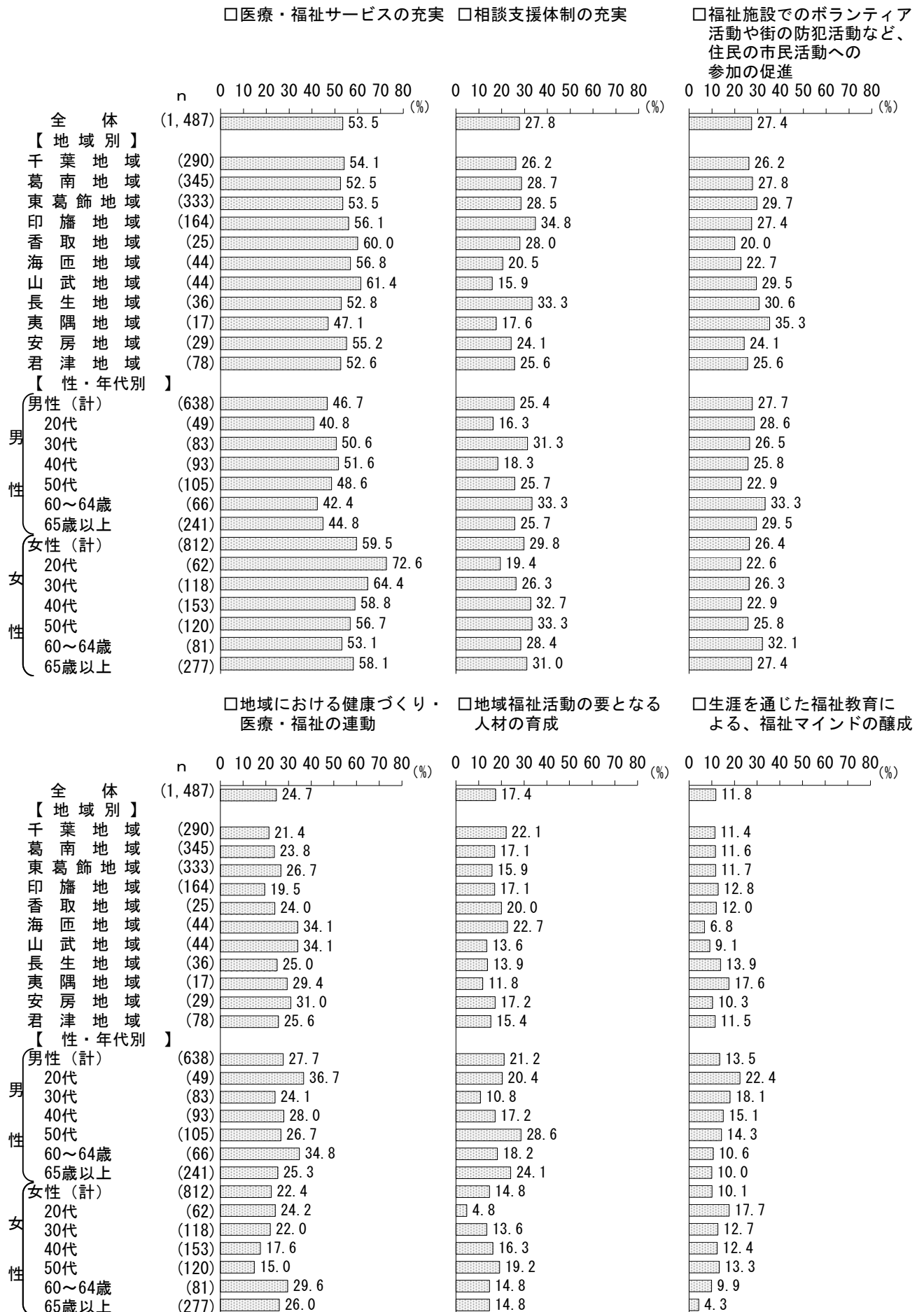
【地域別】

地域別にみると、「医療・福祉サービスの充実」は“山武地域”(61.4%)、“香取地域”(60.0%)が6割以上と高くなっている。「相談支援体制の充実」では“印旛地域”(34.8%)、“長生地域”(33.3%)が3割台半ばと高くなっている。「福祉施設でのボランティア活動や町の防犯活動など、住民の市民活動への参加の促進」は“夷隅地域”(35.3%)が3割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。(図表2-6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「医療・福祉サービスの充実」は女性20代(72.6%)が7割を超え、「相談支援体制の充実」では男性60～64歳・女性50代(ともに33.3%)、女性40代(32.7%)、男性30代(31.3%)、女性65歳以上(31.0%)が3割以上、「福祉施設でのボランティア活動や町の防犯活動など、住民の市民活動への参加の促進」は男性60～64歳(33.3%)、女性60～64歳(32.1%)が3割以上と他の年代に比べ高くなっている。(図表2-6)

<図表2-6>安心して暮らせる地域社会をつくるために必要な取組／地域別、性・年代別(6項目)



このほかに、「地域福祉の推進について」やここまでの質問（問4～問6）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、162人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「地域福祉の推進について」の自由回答（抜粋）

- 主人が車イスの生活になり、地域の方々のささえが大変助かってます。常日頃よりの近所づきあいが大切ですネ。地域福祉の充実、ケアマネージャー等の連携が必要だとつくづく思います。
(女性・65歳以上・葛南地域)
- 町会や近隣の方々とも、生活時間が合わないのか、会うことが減ってきている。町会でも、役員が高齢者が多く、行事の中止が多くなっている。どうにかした方がいいと思うが、忙しく、手伝う事も難しい。中高年の意識を変えていく事が大切かもと思う。(女性・50代・葛南地域)
- 高齢の方だけの家族も多く、福祉サービスなど、どのようなものがあるのか知らないのではない。また、福祉サービスなどを受けるのに抵抗を感じている(みっともない、近所の方にどう思われるかなどを気にする)人もあるように思います。(女性・60～64歳・海匝地域)
- 諸々の活動への参加等の義務化は賛成できません。負担になるようなことは避けるべきです。あくまで自主的に参加する領域であるべきです。地域は住民の意思が大切です。必要最小限の環境作りが行政の仕事です。(男性・60～64歳・印旛地域)
- 高齢者や支援の必要な人をどのようにサポートしていくか。把握するにはどうすれば良いか。地域自治会との連携。その後の見守り訪問体制づくりを県が主体となって進めていく事業計画を作してほしい。(女性・40代・葛南地域)
- 近所の子供が昼に自分の家の庭で遊んでいたら、お隣さんにうるさいと言われたそうです。こんな地域、嫌です。普段からの交流で、避けられるトラブルもたくさんあると思います。
(男性・30代・葛南地域)
- 子供から老人までみんなが参加できるイベントがあれば良いと思う(スポーツ、旅行、お祭り等)。
(女性・30代・君津地域)
- 町内会に参加を拒否、または福祉活動拒否、そういう人達が増えている状況の現在、地域福祉支援計画は難しいのでは？(男性・60～64歳・山武地域)
- 生活の体系や時間帯が多様化する中で、近隣の世帯というコミュニティで助け合うというのは難しくなっていると思います。民間と協力し、学校、スーパー、薬局、病院、スポーツクラブ等、地域住民が関わりが深く、利用頻度の高い施設や環境を活かした新しいコミュニティ作りも必要なのでは。(女性・20代・千葉地域)

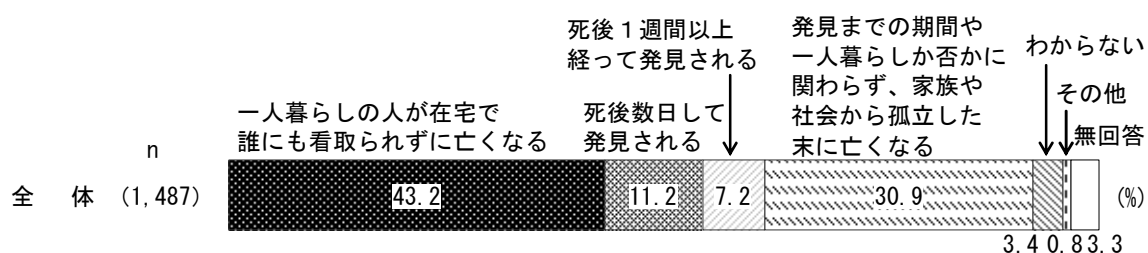
3 高齢者の孤立化問題について

(1) 孤立死（孤独死）のイメージ

◇「一人暮らしの人が在宅で誰にも看取られずに亡くなる」が4割台半ば

問7 いわゆる孤立死（孤独死）に明確な定義はありませんが、あなたが考える孤立死（孤独死）のイメージに近いものは次のどれですか。（○は1つ）

＜図表3－1＞孤立死（孤独死）のイメージ



孤立死（孤独死）のイメージを聞いたところ、「一人暮らしの人が在宅で誰にも看取られずに亡くなる」（43.2%）が最も高く、4割台半ばとなっている。以下、「発見までの期間や一人暮らしか否かに関わらず、家族や社会から孤立した末に亡くなる」（30.9%）、「死後数日して発見される」（11.2%）、「死後1週間以上経って発見される」（7.2%）と続いている。（図表3－1）

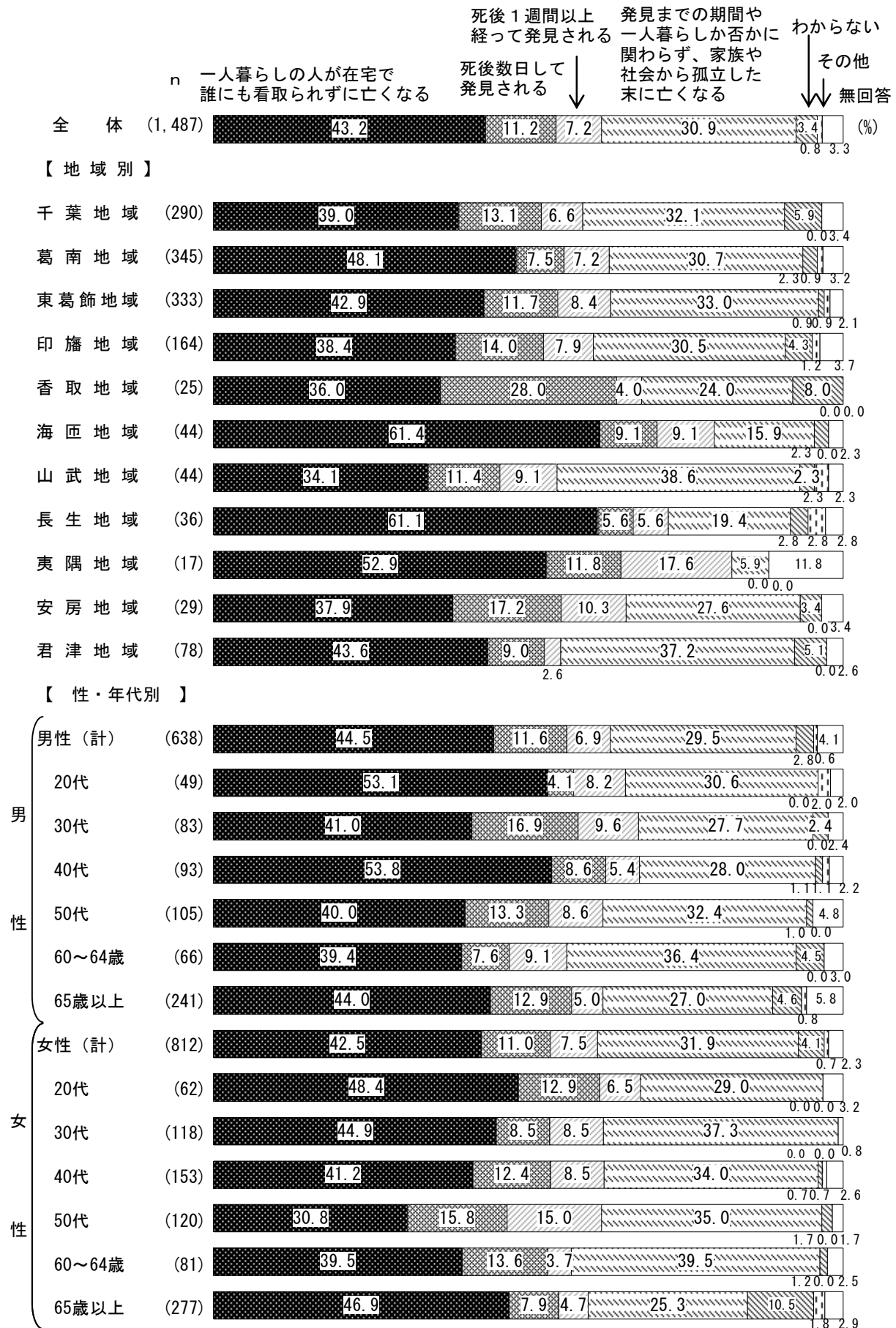
【地域別】

地域別にみると、「一人暮らしの人が在宅で誰にも看取られずに亡くなる」は“海匠地域”（61.4%）、“長生地域”（61.1%）が6割を超え他の地域に比べて高くなっている。「発見までの期間や一人暮らしか否かに関わらず、家族や社会から孤立した末に亡くなる」は“山武地域”（38.6%）、“君津地域”（37.2%）が約4割、「死後数日して発見される」では“香取地域”（28.0%）が約3割で他の地域に比べて高くなっている。「死後1週間以上経って発見される」は“夷隅地域”（17.6%）が約2割で他の地域に比べ高くなっている。（図表3－2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「一人暮らしの人が在宅で誰にも看取られずに亡くなる」は男性の20代（53.1%）、40代（53.8%）が5割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。「発見までの期間や一人暮らしか否かに関わらず、家族や社会から孤立した末に亡くなる」は女性の30代（37.3%）と60～64歳（39.5%）が約4割、「死後数日して発見される」では男性の30代（16.9%）、女性の50代（15.8%）で1割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。「死後1週間以上経って発見される」は女性の50代（15.0%）が1割台半ばで他の年代に比べ高くなっている。（図表3－2）

<図表3-2>孤立死（孤独死）のイメージ／地域別、性・年代別

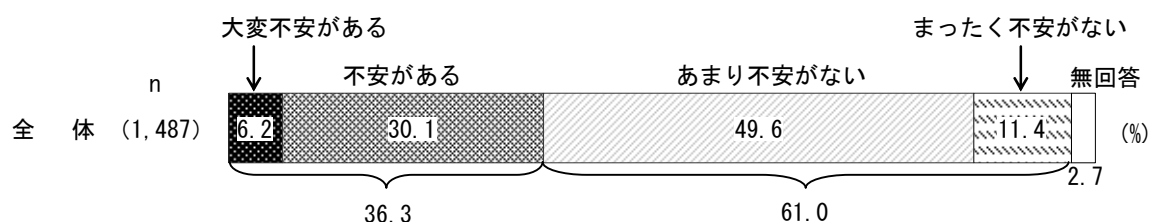


(2) 孤立死（孤独死）に対する不安

◇『不安がある』が3割台半ば

問8 あなたはいわゆる孤立死（孤独死）に対する不安がありますか。（○は1つ）

＜図表3－3＞孤立死（孤独死）に対する不安



孤立死（孤独死）に対する不安について聞いたところ、「大変不安がある」（6.2%）、「不安がある」（30.1%）を合わせた『不安がある』（36.3%）は、3割台半ばとなっている。一方「あまり不安がない」（49.6%）、「まったく不安がない」（11.4%）を合わせた『不安がない』（61.0%）は6割を超えている。（図表3－3）

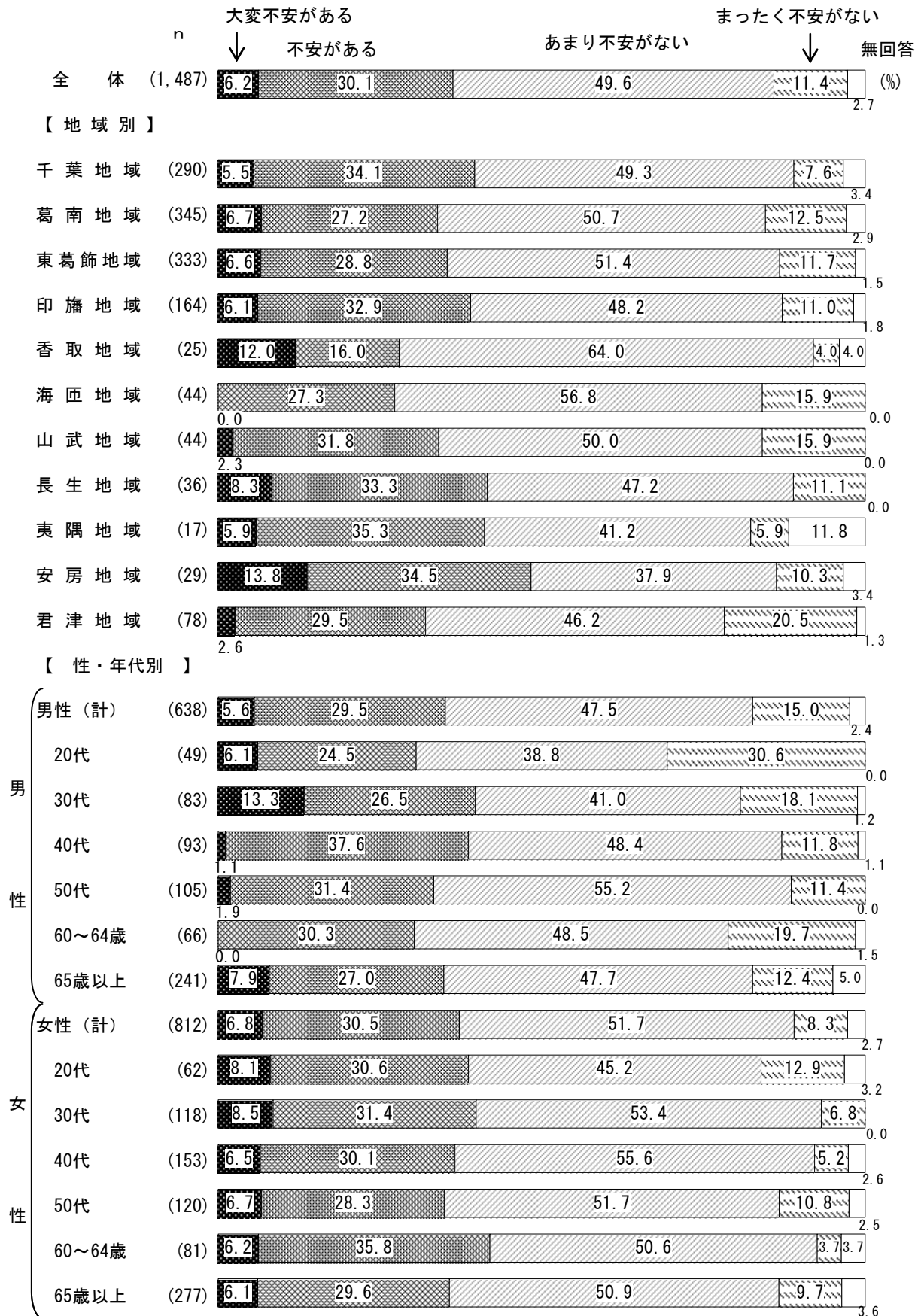
【地域別】

地域別にみると、『不安がある』では“安房地域”（48.3%）が約5割と他の地域に比べ高くなっている。一方『不安がない』は“海匝地域”（72.7%）が7割を超えて他の地域に比べて高くなっている。（図表3－4）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『不安がある』は女性の60～64歳（42.0%）が4割を超え、男女の30代（ともに39.8%）が約4割で他の年代に比べて高くなっている。一方、『不安がない』は男性の20代（69.4%）、60～64歳（68.2%）が約7割で他の年代に比べて高くなっている。（図表3－4）

<図表3-4> 孤立死（孤独死）に対する不安／地域別、性・年代別



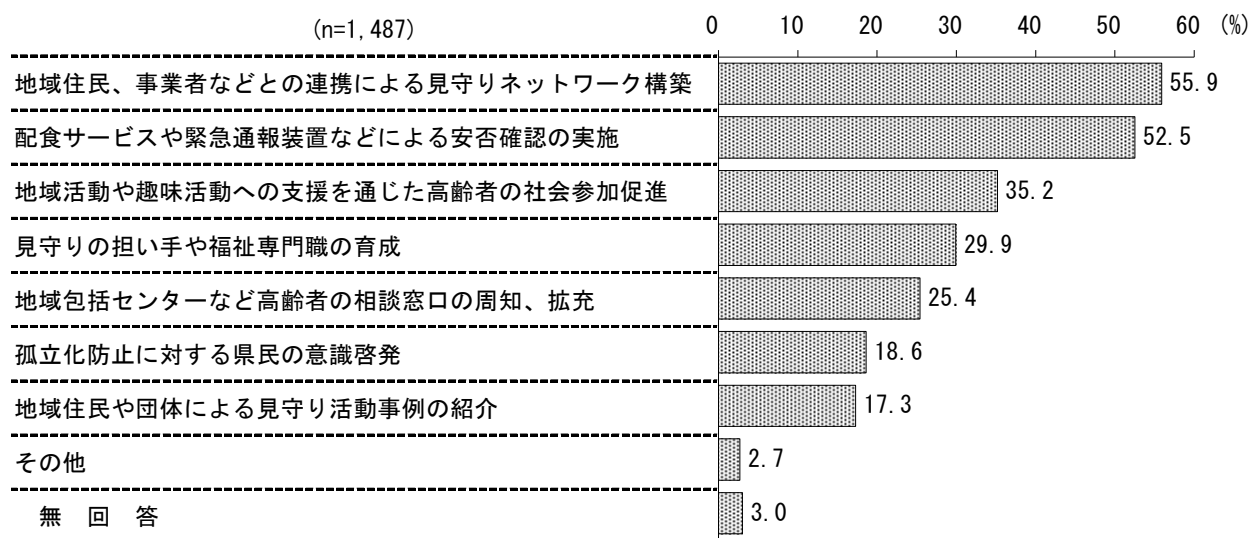
(3) 高齢者を孤立化させないため、行政が取り組むべきこと

◇「地域住民、事業者などとの連携による見守りネットワーク構築」が5割台半ば

問9 高齢者を孤立化させないため、行政が取り組むべきことは何だと思いませんか。

(○はいくつでも)

<図表3-5> 高齢者を孤立化させないため、行政が取り組むべきこと（複数回答）



高齢者を孤立化させないため、行政が取り組むべきことを聞いたところ、「地域住民、事業者などとの連携による見守りネットワーク構築」(55.9%)が最も高く5割台半ば、次いで「配食サービスや緊急通報装置などによる安否確認の実施」(52.5%)、「地域活動や趣味活動への支援を通じた高齢者の社会参加促進」(35.2%)が続いている。(図表3-5)

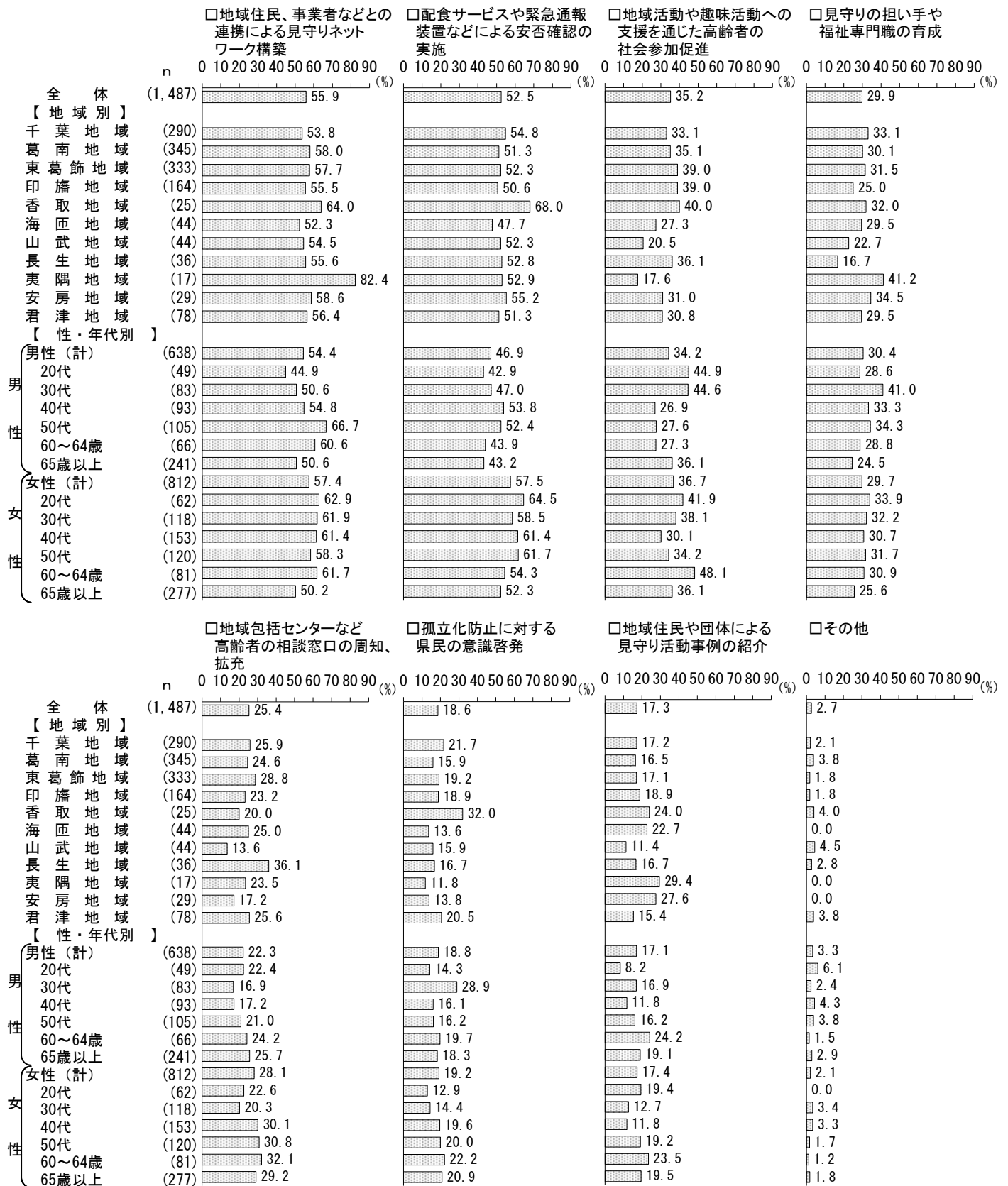
【地域別】

地域別にみると、「地域住民、事業者などとの連携による見守りネットワーク構築」は“夷隅地域”(82.4%)が8割を超えて高くなっている。「配食サービスや緊急通報装置などによる安否確認の実施」では“香取地域”(68.0%)が約7割、「地域活動や趣味活動への支援を通じた高齢者の社会参加促進」は、“香取地域”(40.0%)、“東葛飾地域”・“印旛地域”(ともに39.0%)が約4割と高くなっている。(図表3-6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「地域住民、事業者などとの連携による見守りネットワーク構築」は男性50代(66.7%)が6割台半ばで他の年代に比べ高くなっている。「配食サービスや緊急通報装置などによる安否確認の実施」では女性20代(64.5%)が6割台半ば、「地域活動や趣味活動への支援を通じた高齢者の社会参加促進」は女性60～64歳(48.1%)が約5割、男性20代(44.9%)、30代(44.6%)が4割台半ばで他の年代に比べ高くなっている。(図表3-6)

＜図表3－6＞高齢者を孤立化させないため、行政が取り組むべきこと／地域別、性・年代別

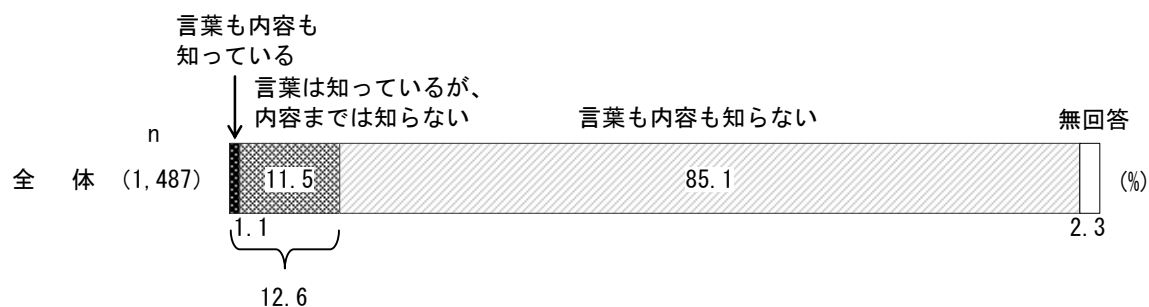


(4) 高齢者孤立化防止活動「ちばSSKプロジェクト」認知度

◇『知っている』が1割を超える

問10 あなたは「しない、させない、孤立化！」を合言葉に県が実施している高齢者孤立化防止活動「ちばSSKプロジェクト」を知っていますか。(○は1つ)

<図表3-7> 高齢者孤立化防止活動「ちばSSKプロジェクト」認知度



高齢者孤立化防止活動「ちばSSKプロジェクト」の認知度を聞いたところ、「言葉も内容も知っている」(1.1%)、「言葉は知っているが内容までは知らない」(11.5%)を合わせた『知っている』(12.6%)は、1割を超えている。一方「言葉も内容も知らない」(85.1%)は、8割台半ばとなっている。(図表3-7)

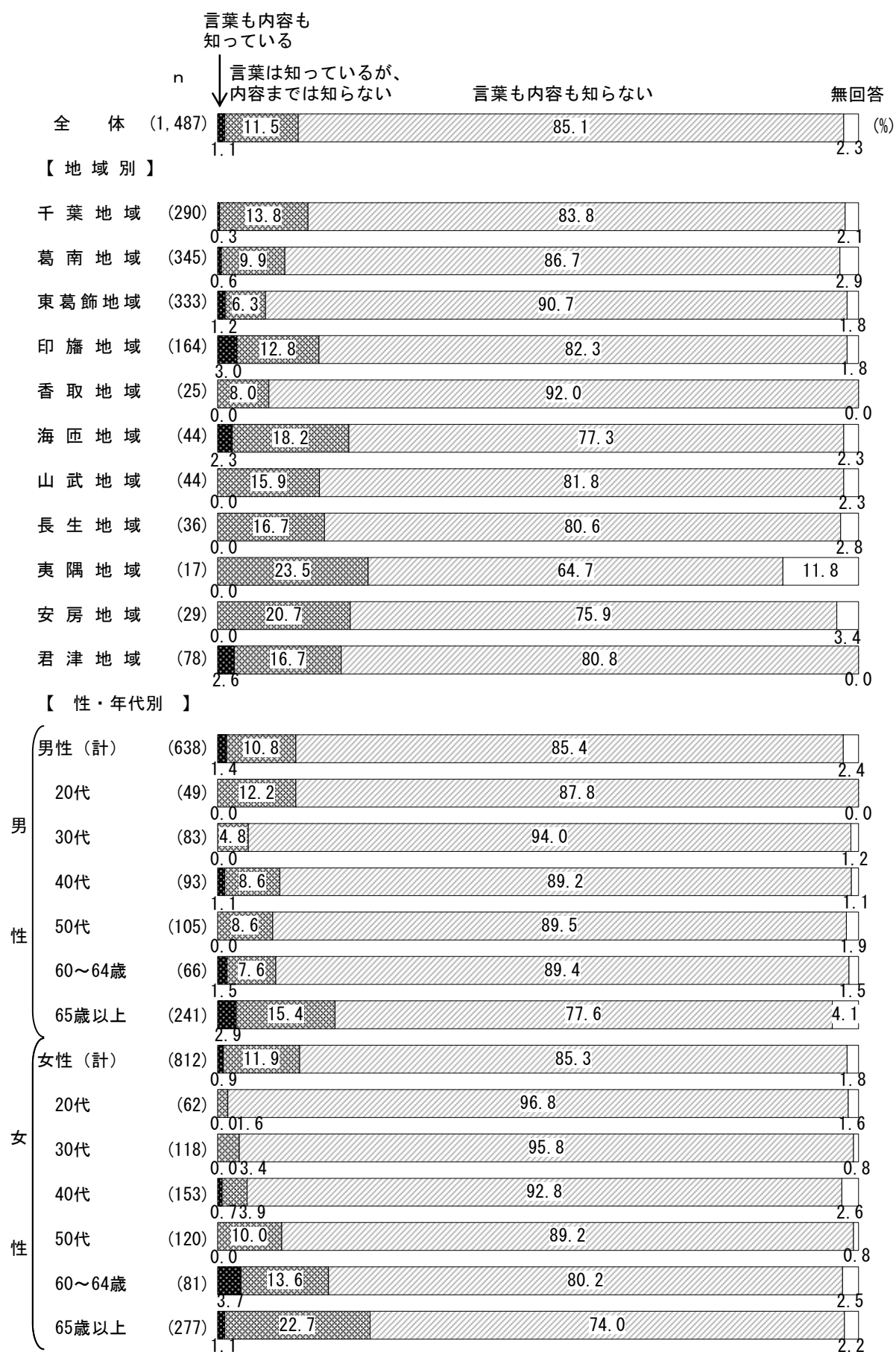
【地域別】

地域別にみると、『知っている』は“夷隅地域”(23.5%)が2割台半ばと他の地域に比べ最も高く、以下“安房地域”(20.7%)、“海匝地域”(20.5%)の2割となっている。(図表3-8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている』は女性65歳以上(23.8%)が2割台半ばと他の年代に比べ高くなっている。(図表3-8)

＜図表3－8＞高齢者孤立化防止活動「ちばSSKプロジェクト」認知度／地域別、性・年代別



このほかに、「高齢者の孤立化問題について」やここまでの質問（問7～問10）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、211人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「高齢者の孤立化問題」の自由回答（抜粋）

- 子供が二人いるが、将来は独立するかもしれないので、一人きりになったとき、時々見に来て欲しい。別に県や市が知っている方なら、誰でもよい。（女性・50代・葛南地域）
- 高齢者自身が自分で孤立しないよう、またあまり世間の皆様に迷惑をかけないようにどうすればよいのか？ 元気なうちに考えておくことが大事だと思います。（女性・60～64歳・葛南地域）
- 高齢者孤立化防止に対しての取り組みの周知がされていないことが課題では？ 誰もがもっと気軽に参加できるようなボランティアの企画（街コンやゴミ拾いのように）を幅広く周知できるような仕組みがあればと思います（大学や図書館、商業施設等も利用して）。
（女性・20代・千葉地域）
- 人間関係の提供が必要だと思います。介護保険のサービスである通所リハ、通所介護サービスをより充実させてほしいです。外へ出る、外出する機会を持つ、おしゃべりで刺激を受ける、集うことで安心感を得る、全うなものを食べて意欲が出る、メンタル的な部分にアプローチすれば、孤立は防げるのではないのでしょうか？（男性・20代・東葛飾地域）
- やはり、人とのコミュニケーションが大切であり、思いやりを大切にできるような教育を進めていくべきで、皆が集まれるような公園があるといいと思います。そして、ヤクルトさんに回ってもらえたら、一番分かりやすいと思います。（女性・30代・葛南地域）
- 独居老人に生活に対する深い干渉は不必要だと思います。但し、早急な体調不良等を知らせるポケベルのような発信器を配布（無料）したら良いかと思います。（男性・65歳以上・千葉地域）
- ちばSSKプロジェクト活動をわかりやすく、多くの人に知ってほしい。
（女性・65歳以上・千葉地域）
- 高齢、一人暮らしの人が多い地域に住んでる。色々な方法で、訪問、援助して行ってほしい（一部の人だけでなく、誰もが平等に）。（女性・40代・海匝地域）
- 若者が就職や進学で実家を離れ、そのまま別の都市に移住する。いずれ戻ってくるのであればいいが、そうもならない。孤立化になるのは、このような現状があると思う。地元で働くという、若者の意識を変えていかないといけないことも必要。（男性・30代・君津地域）

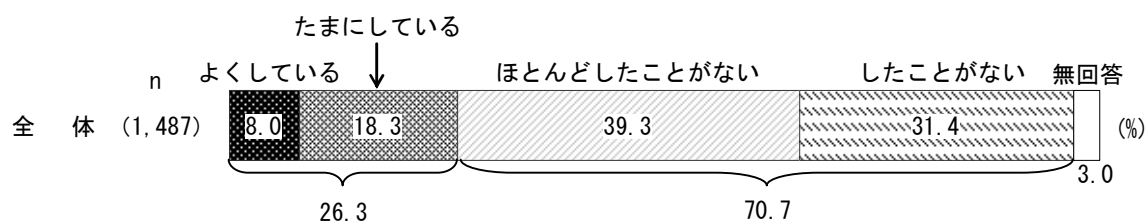
4 障害者施策について

(1) 障害のある人に対する支援

◇『している』が2割台半ば

問 11 あなたは障害のある人に対する支援をしたことがありますか。(○は1つ)

＜図表 4－1＞障害のある人に対する支援



障害のある人に対する支援について聞いたところ、「よくしている」(8.0%)、「たまにしている」(18.3%)を合わせた『している』(26.3%)は、2割台半ばとなっている。一方「ほとんどしたことがない」(39.3%)、「したことがない」(31.4%)を合わせた『したことがない』(70.7%)は7割となっている。(図表 4－1)

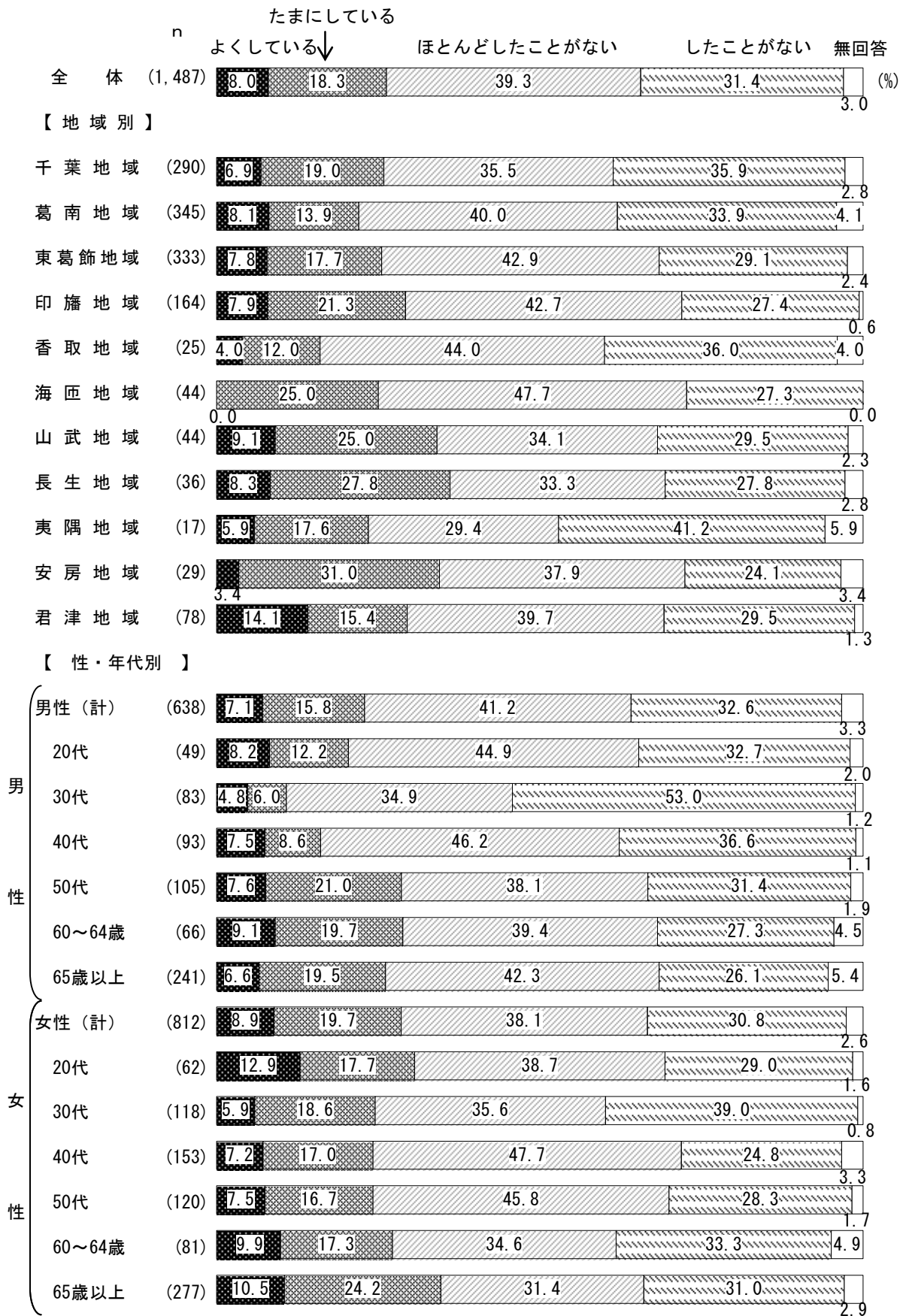
【地域別】

地域別にみると、『している』は“長生地域”(36.1%)が最も高く、次いで“安房地域”(34.5%)、“山武地域”(34.1%)で、いずれも3割台半ばとなっている。(図表 4－2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『している』は女性の65歳以上(34.7%)が3割台半ばで他の年代に比べ高くなっている。(図表 4－2)

＜図表４－２＞障害のある人に対する支援／地域別、性・年代別

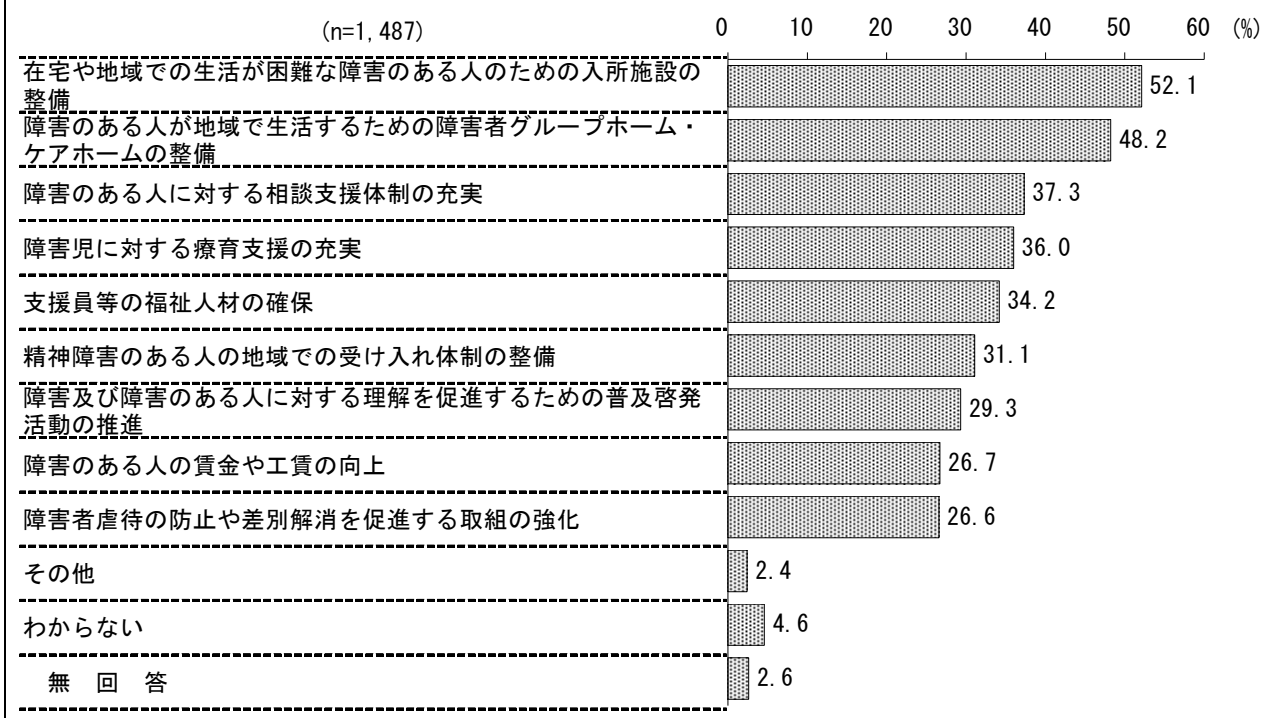


(2) 今後、障害のある人に対する支援として必要な取組

◇「在宅や地域での生活が困難な障害のある人のための入所施設の整備」が5割を超える

問 12 あなたが、今後、障害のある人に対する支援として必要だと思う取組は、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

<図表 4-3> 今後、障害のある人に対する支援として必要な取組



今後、障害のある人に対する支援として必要な取組を聞いたところ、「在宅や地域での生活が困難な障害のある人のための入所施設の整備」(52.1%)が5割を超えて最も高く、次いで「障害のある人が地域で生活するための障害者グループホーム・ケアホームの整備」(48.2%)が約5割、「障害のある人に対する相談支援体制の充実」(37.3%)が約4割と続いている。(図表4-3)

【地域別】

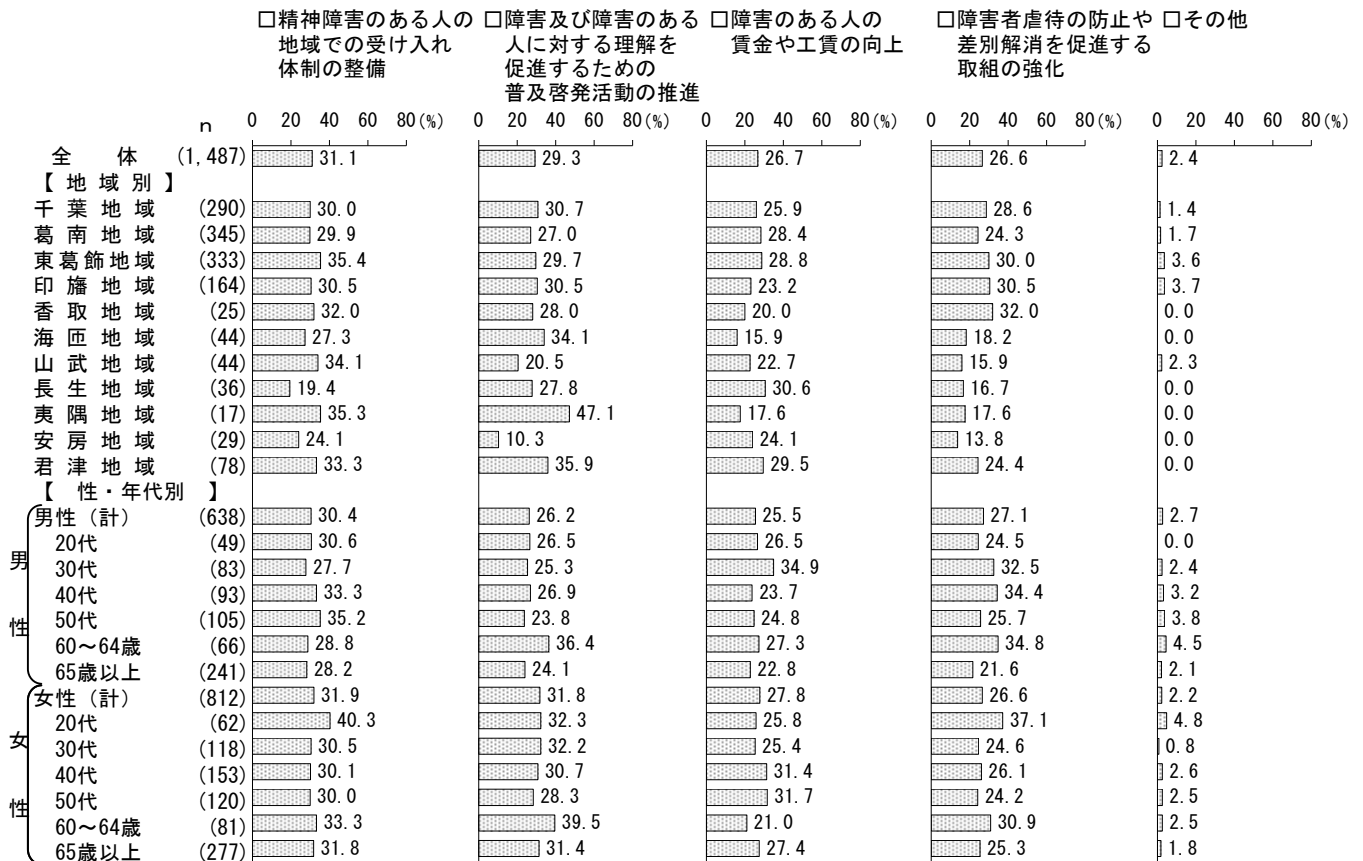
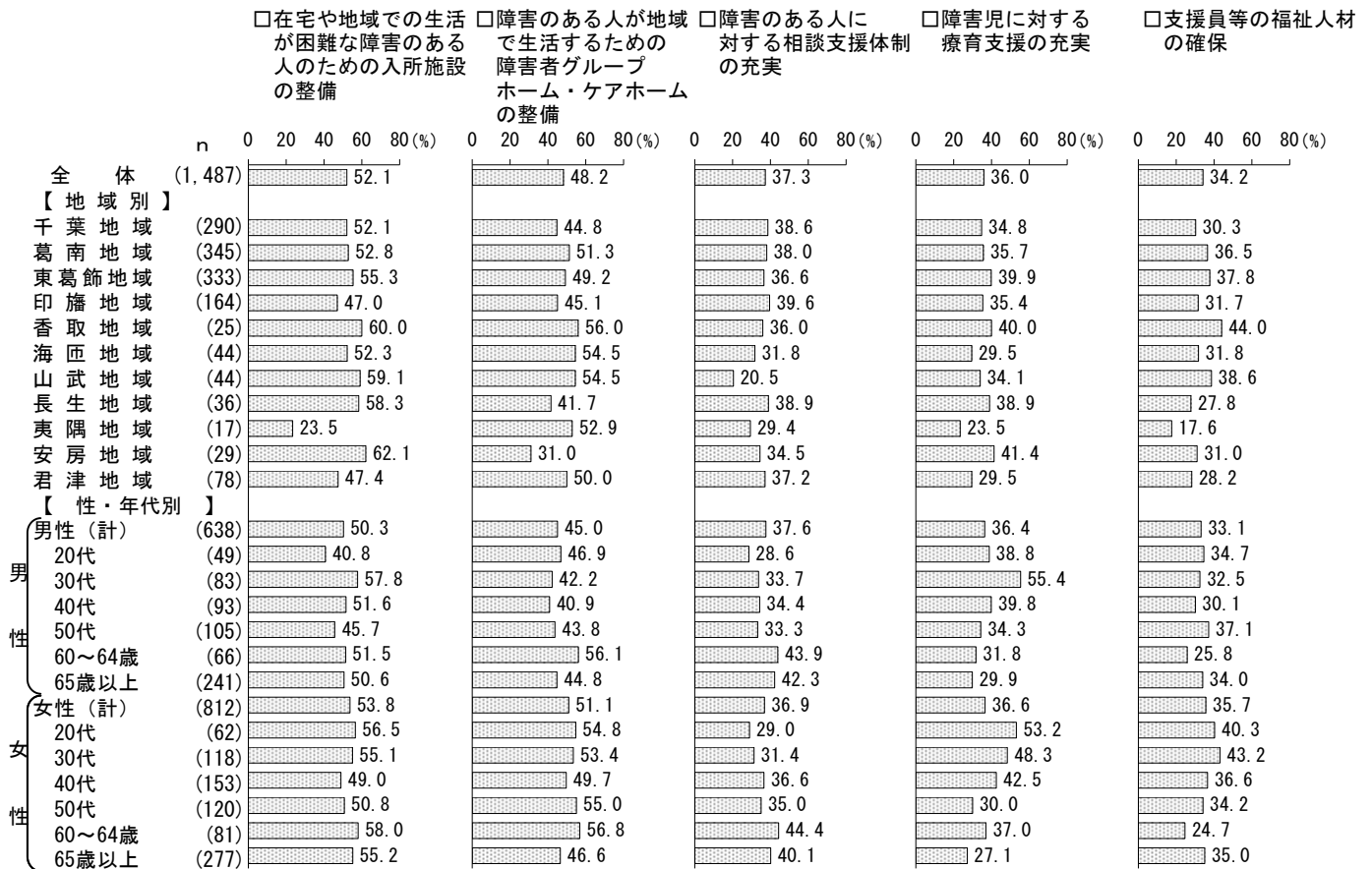
地域別にみると、「在宅や地域での生活が困難な障害のある人のための入所施設の整備」は“安房地域”(62.1%)、“香取地域”(60.0%)が6割以上で他の地域に比べ高くなっている。「障害のある人が地域で生活するための障害者グループホーム・ケアホームの整備」では“香取地域”(56.0%)、“海匝地域”“山武地域”(ともに54.5%)が5割台半ばとなっている。(図表4-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「在宅や地域での生活が困難な障害のある人のための入所施設の整備」は女性の60～64歳(58.0%)、男性の30代(57.8%)が約6割と他の年代に比べ高くなっている。

(図表4-4)

<図表4-4> 今後、障害のある人に対する支援として必要な取組／地域別、性・年代別

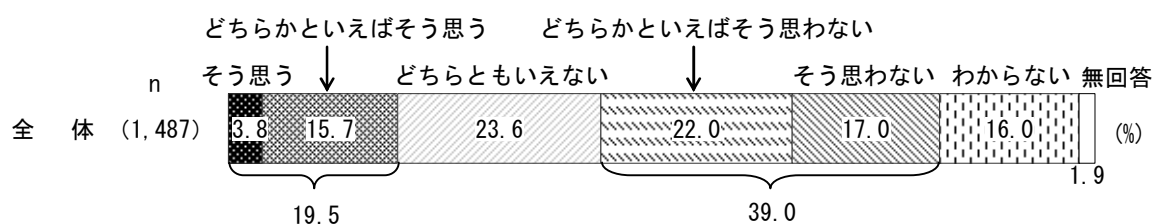


(3) 障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくり

◇『そう思う』が約2割

問 13 あなたは障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりが進められていると思いますか。(○は1つ)

<図表4-5>障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくり



障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりについて聞いたところ、「そう思う」(3.8%)、「どちらかといえばそう思う」(15.7%)を合わせた『そう思う』(19.5%)は、約2割となっている。一方「どちらかといえばそう思わない」(22.0%)、「そう思わない」(17.0%)を合わせた『そう思わない』(39.0%)は約4割となっている。(図表4-5)

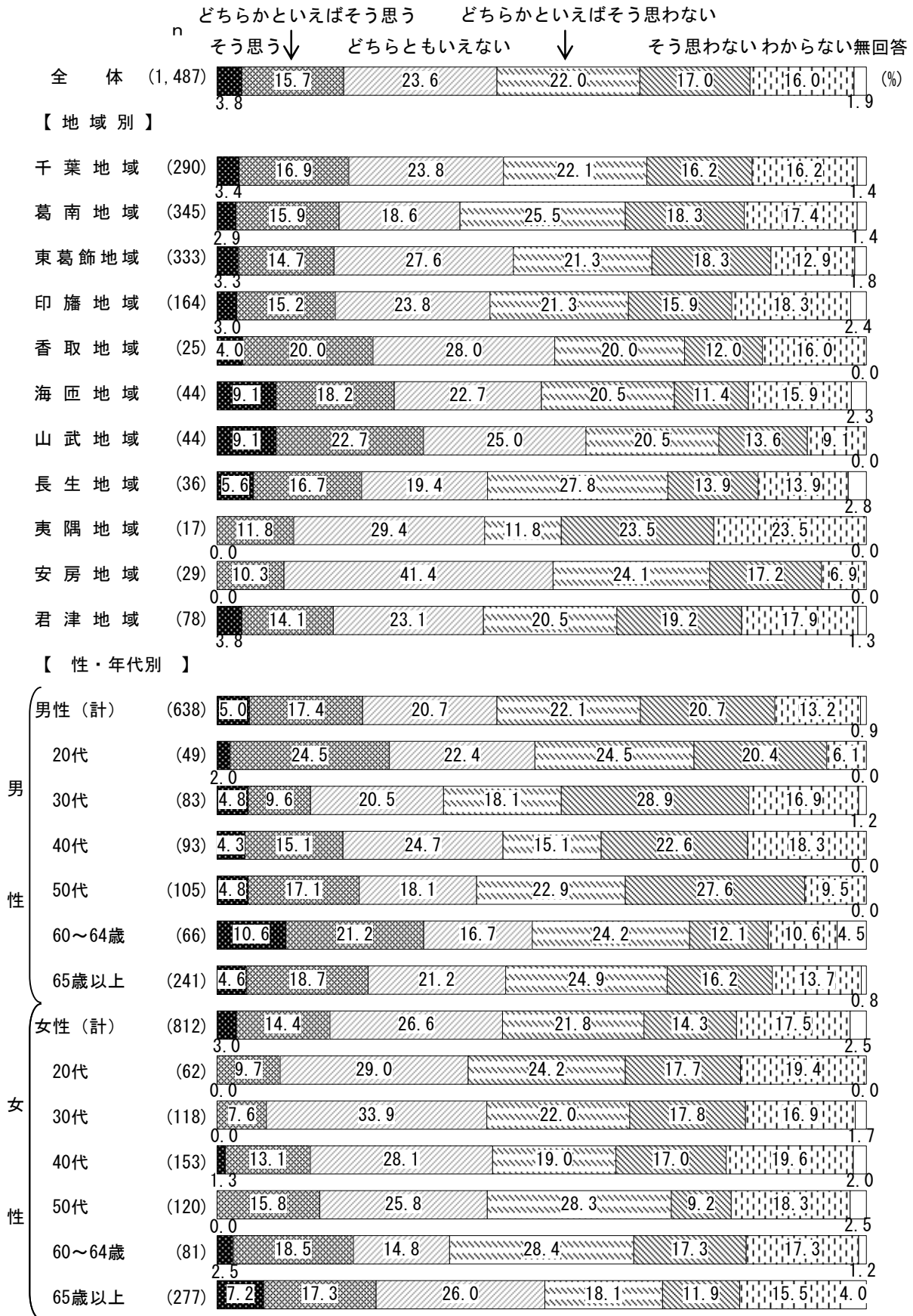
【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“山武地域”(31.8%)が3割を超え他の地域に比べ高く、次いで“海匝地域”(27.3%)が約3割となっている。(図表4-6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は男性の60～64歳(31.8%)が3割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表4-6)

＜図表4－6＞障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくり／地域別、性・年代別



(4) 障害を理由とする差別や偏見の有無

◇「あると思う」が約5割

問 14 あなたは世の中には障害がある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。(○は1つ)

＜図表 4－7＞障害を理由とする差別や偏見の有無



障害を理由とする差別や偏見の有無を聞いたところ、「あると思う」(47.3%)が約5割、「少しはあると思う」(44.3%)は4割台半ばとなっている。(図表 4－7)

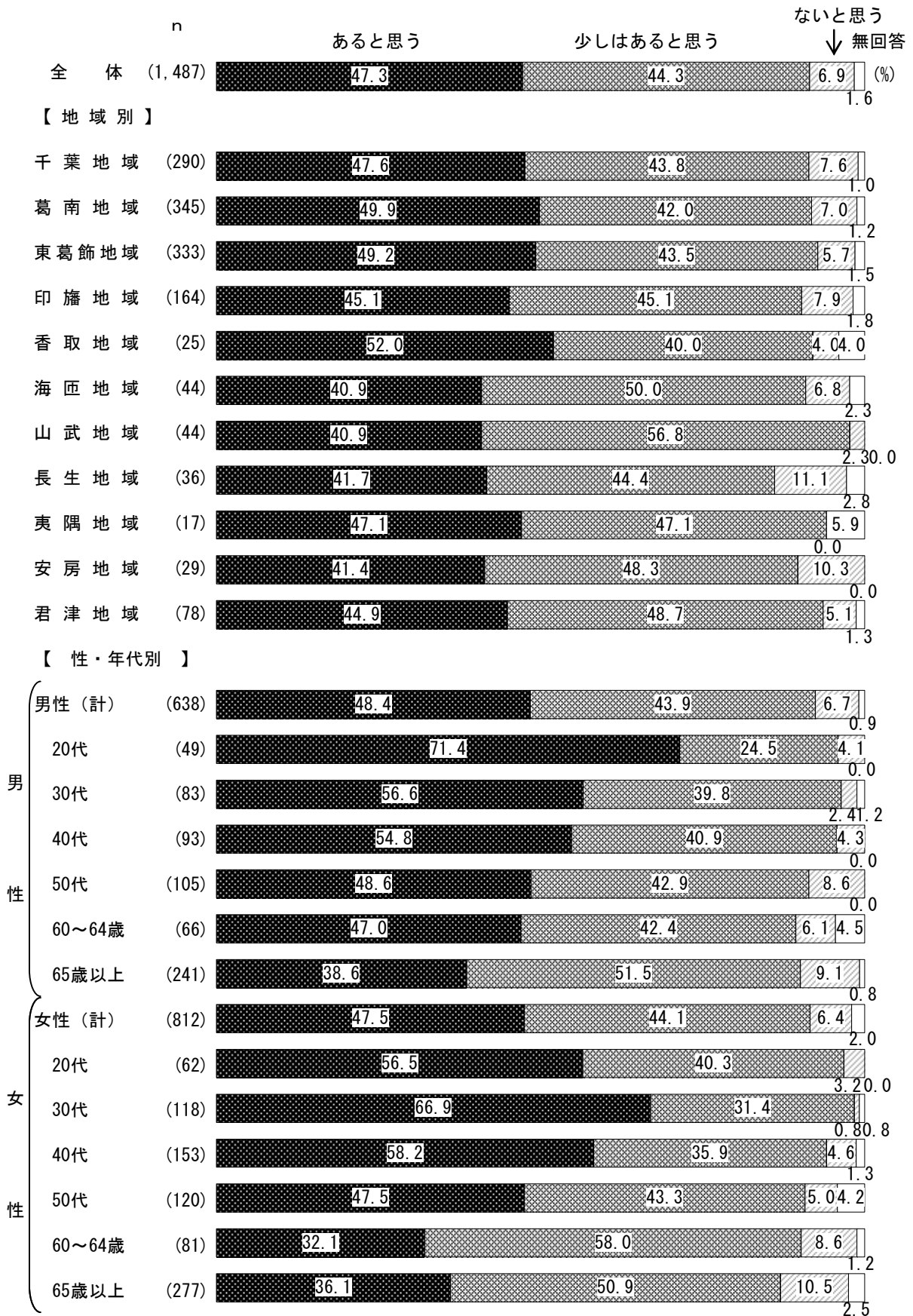
【地域別】

地域別にみると、「あると思う」は“香取地域”(52.0%)が5割を超えており、「少しはあると思う」では“山武地域”(56.8%)が5割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。(図表 4－8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「あると思う」はおおむね若い年代ほど割合が高くなる傾向にあり、特に男性の20代(71.4%)が7割を超え他の年代に比べ高くなっている。(図表 4－8)

＜図表4－8＞障害を理由とする差別や偏見の有無／地域別、性・年代別

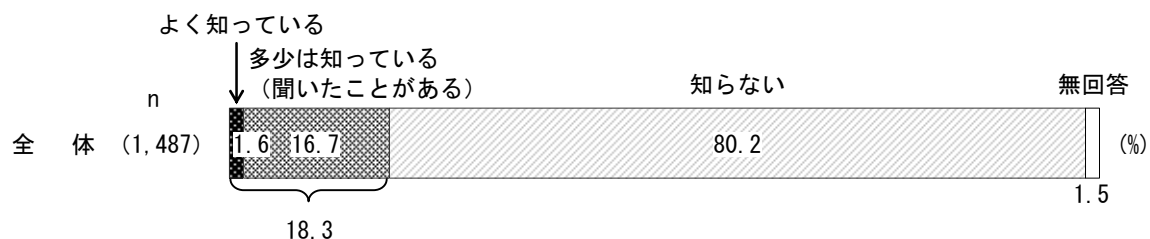


(5) 「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」認知度

◇『知っている』が約2割

問 15 あなたは、障害のある人の差別に関する全国初の条例である「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」が千葉県にあることを知っていますか。(○は1つ)

<図表4-9> 「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」認知度



障害のある人の差別に関する全国初の条例である「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」が千葉県にあることを知っているか聞いたところ、「よく知っている」(1.6%)、「多少は知っている(聞いたことがある)」(16.7%)を合わせた『知っている』(18.3%)は、約2割となっている。一方、「知らない」(80.2%)は8割となっている。(図表4-9)

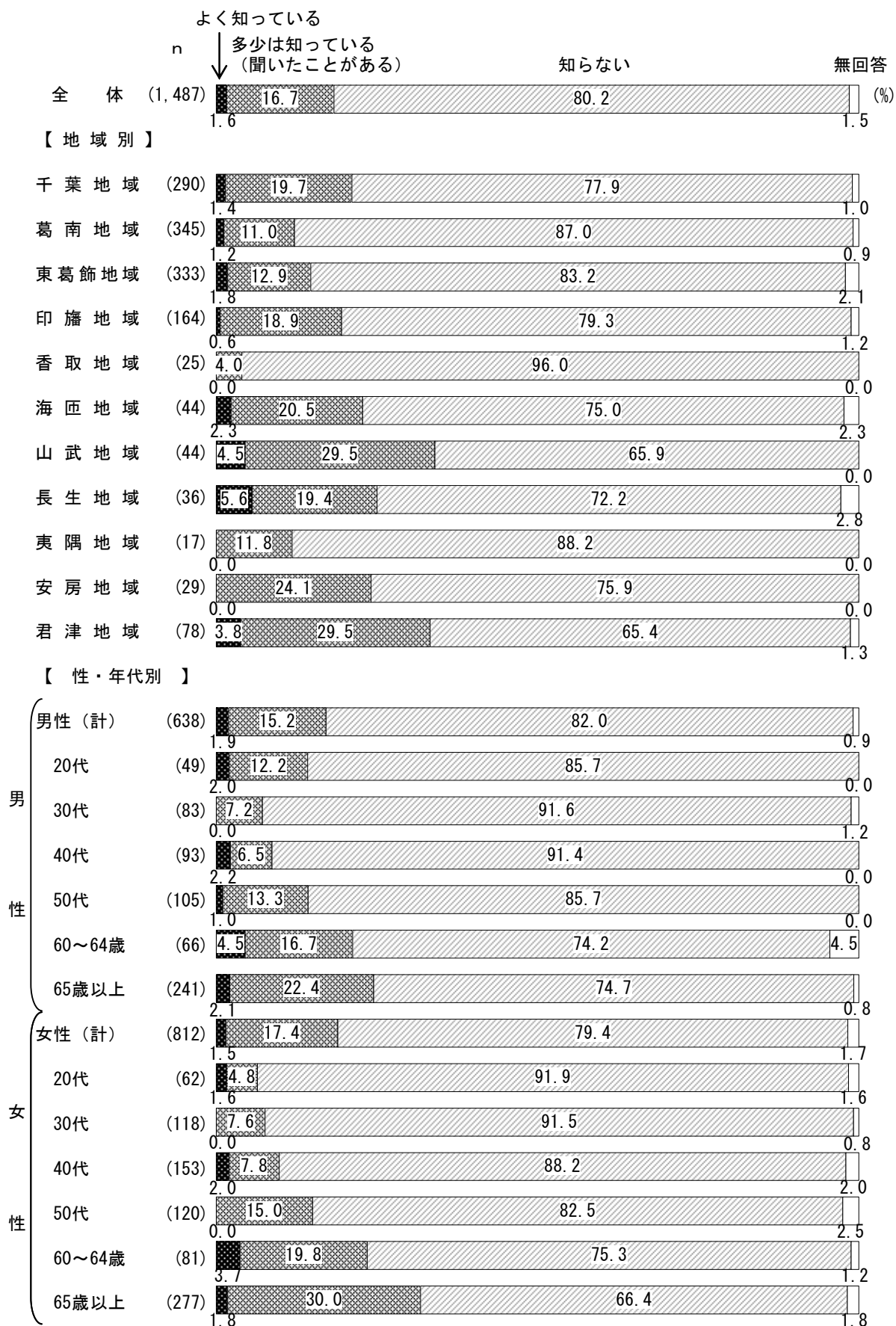
【地域別】

地域別にみると、『知っている』は“山武地域”(34.1%)、“君津地域”(33.3%)が3割台半ばで他の地域に比べ高くなっている。(図表4-10)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている』は女性の65歳以上(31.8%)が3割を超え他の年代に比べ高くなっている。(図表4-10)

<図表4-10>「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」認知度／地域別、性・年代別



このほかに、「障害者施策について」やここまでの質問（問11～問15）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、165人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「障害者施策について」の自由回答（抜粋）

- 障害者への手助けができればと思いますが、何から始めて良いのか分かりません。
(女性・65 歳以上・東葛飾地域)
- 人材の確保等、問題点はたくさんあるが学校を卒業後に入所できる施設がもう少し増えることを期待します。障害のある人も自立心を育てるという面では、親元を離れて生活を送るということも重要だと思う。(女性・20 代・東葛飾地域)
- 知的障害者団体のボランティアをしていますが、生産性・効率が求められる仕事にはついていけないが、ほとんど職場がない。自立は難しいです。支援金は出ても、社会と関わりをもって生きたいという願いは強い。公営の知的障害者のレストラン、カフェを作って、働く場を作って欲しいです。(女性・65 歳以上・葛南地域)
- 障害者の自立を目指す取り組みの強化（職業訓練等の施設を増やすなど）。障害者を持つ家族の不安などを和らげる事も大切だと思う。(女性・30 代・長生地域)
- 昔と違い、障害の人も社会参加している。よいことと思う。どんどん参加できるよう、充実した施設にしてほしい。(女性・65 歳以上・印旛地域)
- 障害者の学校や施設等が少なすぎる。無駄な公共事業を減らし、もっと障害者や高齢者に協力するべきである。(男性・30 代・海匠地域)
- 障害者の方を支援されている方々の賃金や職場環境がもっと良くなることで、全体の雇用や支援の拡大につながってほしいと思います。(女性・20 代・千葉地域)
- 障害児を家族にもつ当事者です。特別支援学校の環境整備、支援学級に対する人的支援の強化などの遅れを強く感じます。又、障害者の雇用の促進もなかなか進展しません。全国初の条例をもつ県として、障害福祉を、全国に先駆けて推進していただきたく、具体的な施策を期待します。
(女性・40 代・東葛飾地域)
- 障害者が特別扱いされず、健常者と同様な生活・対応をされる様な社会を望む。心の問題と思う。
(男性・65 歳以上・千葉地域)
- 障害者施策の重要性は理解できるが、孫やひ孫世代に、多額の借金を背負わせていることとの、バランスを考える必要がある。
(男性・65 歳以上・千葉地域)

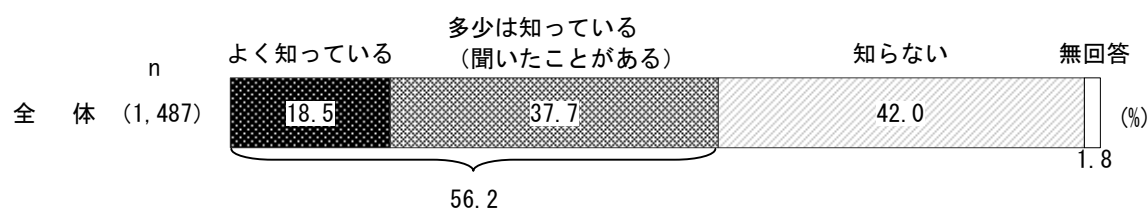
5 動物愛護管理について

(1) ペット飼い主の責務として終生飼養に努める規定の認知度

◇『知っている』は5割台半ば

問 16 あなたは「動物の愛護及び管理に関する法律」にペット動物の飼い主の責務として、
できる限り終生飼養に努めることと規定されていることを知っていますか。(○は1つ)

＜図表 5－1＞ペット飼い主の責務として終生飼養に努める規定の認知度



「動物の愛護及び管理に関する法律」にペット動物の飼い主の責務として、できる限り終生飼養に努めることと規定されていることを知っているかどうか聞いたところ、「よく知っている」(18.5%)は約2割、「多少は知っている(聞いたことがある)」(37.7%)が約4割で、「よく知っている」と「多少は知っている(聞いたことがある)」を合わせた『知っている』(56.2%)は、5割台半ばとなっている。(図表 5－1)

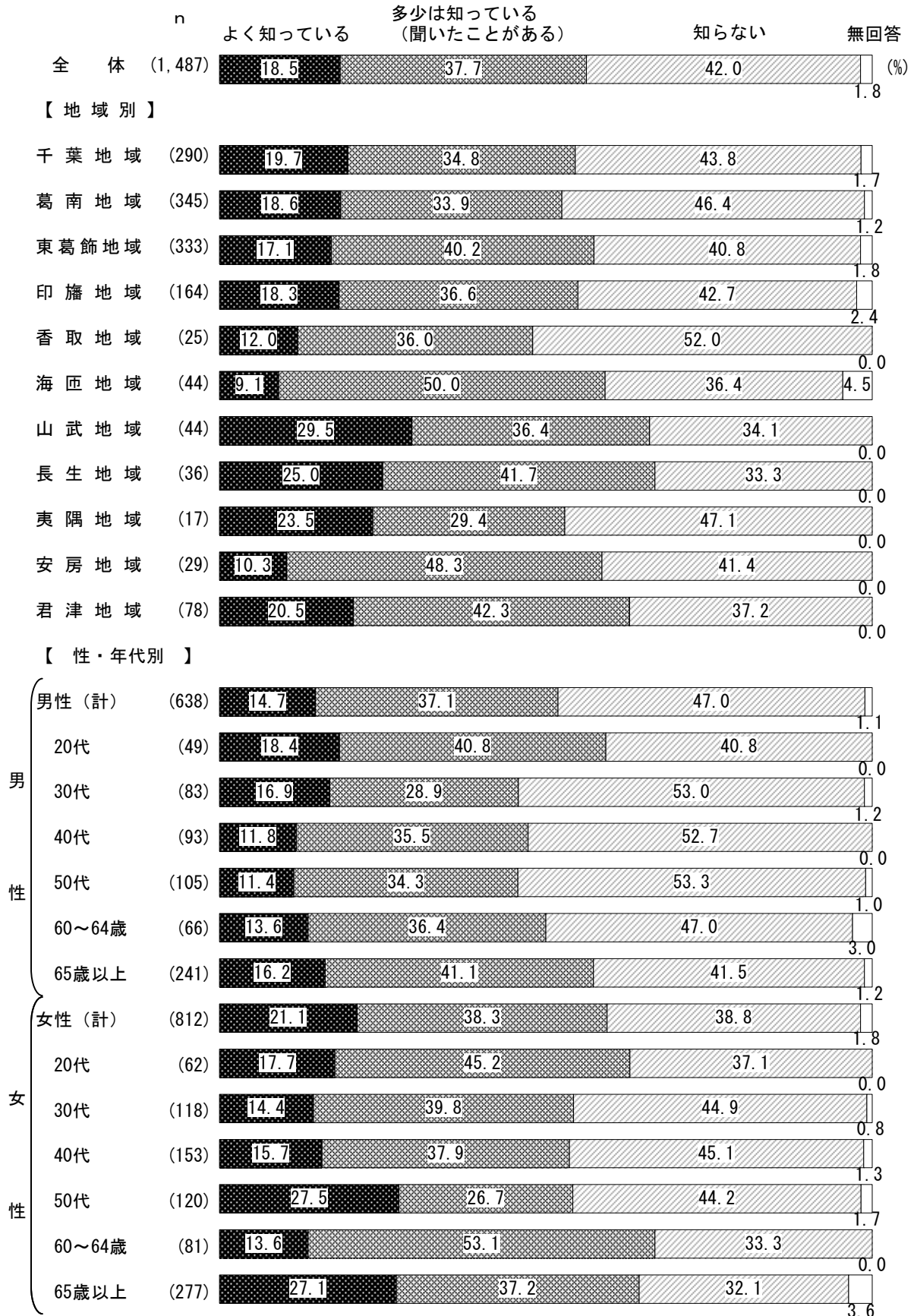
【地域別】

地域別にみると、『知っている』は“長生地域”(66.7%)、“山武地域”(65.9%)が共に6割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。(図表 5－2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている』は女性の60～64歳(66.7%)、65歳以上(64.3%)、20代(62.9%)が6割以上で他の年代に比べ高くなっている(図表 5－2)

＜図表５－２＞ペット飼い主の責務として終生飼養に努める規定の認知度／地域別、性・年代別

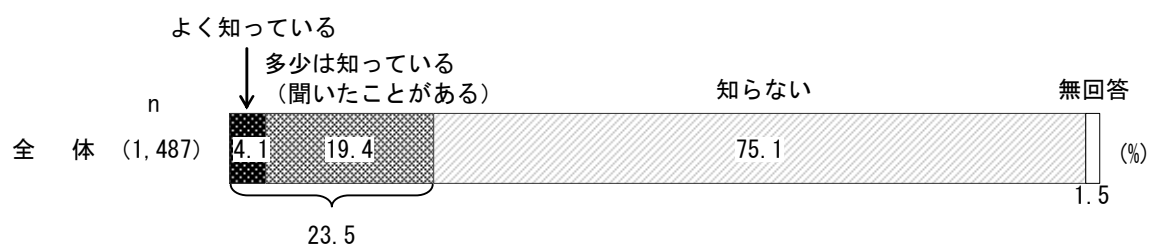


(2) 地域猫活動 認知度

◇『知っている』は2割台半ば

問 17 あなたは地域猫活動のことを知っていますか。(○は1つ)

<図表 5－3>地域猫活動 認知度



地域猫活動について聞いたところ、「よく知っている」は4.1%、「多少は知っている（聞いたことがある）」（19.4%）が約2割、「よく知っている」と「多少は知っている（聞いたことがある）」を合わせた『知っている』（23.5%）は、2割台半ばとなっている。（図表5－3）

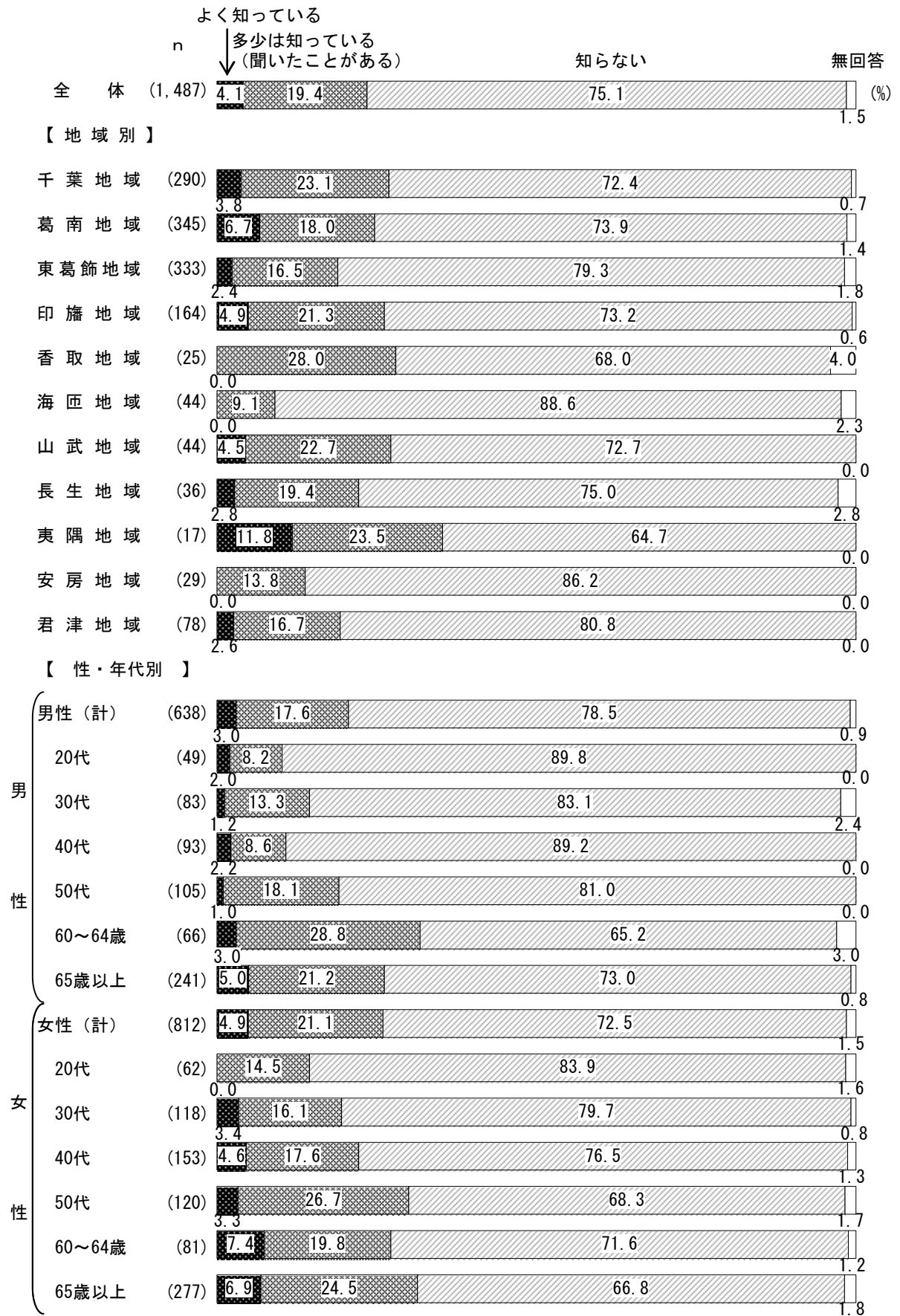
【地域別】

地域別にみると、『知っている』は“夷隅地域”（35.3%）が3割台半ばで他の地域に比べ最も高く、次いで“香取地域”（28.0%）、“山武地域”（27.2%）が約3割となっている。（図表5－4）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている』は男性の60～64歳（31.8%）、女性の65歳以上（31.4%）が3割を超えて他の年代に比べ高くなっている。（図表5－4）

<図表5-4>地域猫 認知度／地域別、性・年代別

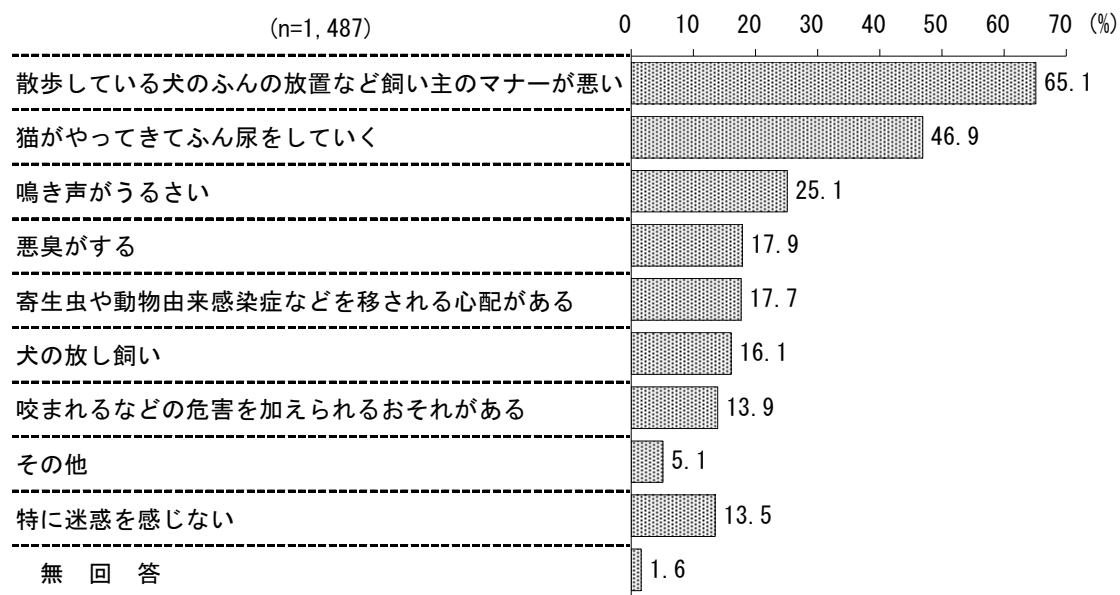


(3) ペット動物から感じる迷惑

◇「飼い主のマナーが悪い」が6割台半ば

問 18 あなたはペット動物について、どのようなことに迷惑を感じますか。(〇はいくつでも)

＜図表 5－5＞ペット動物から感じる迷惑



ペット動物から感じる迷惑について聞いたところ、「散歩している犬のふんの放置など飼い主のマナーが悪い」(65.1%)が6割台半ばで最も多く、次いで「猫がやってきてふん尿をしていく」(46.9%)、「鳴き声がうるさい」(25.1%)と続いている。(図表 5－5)

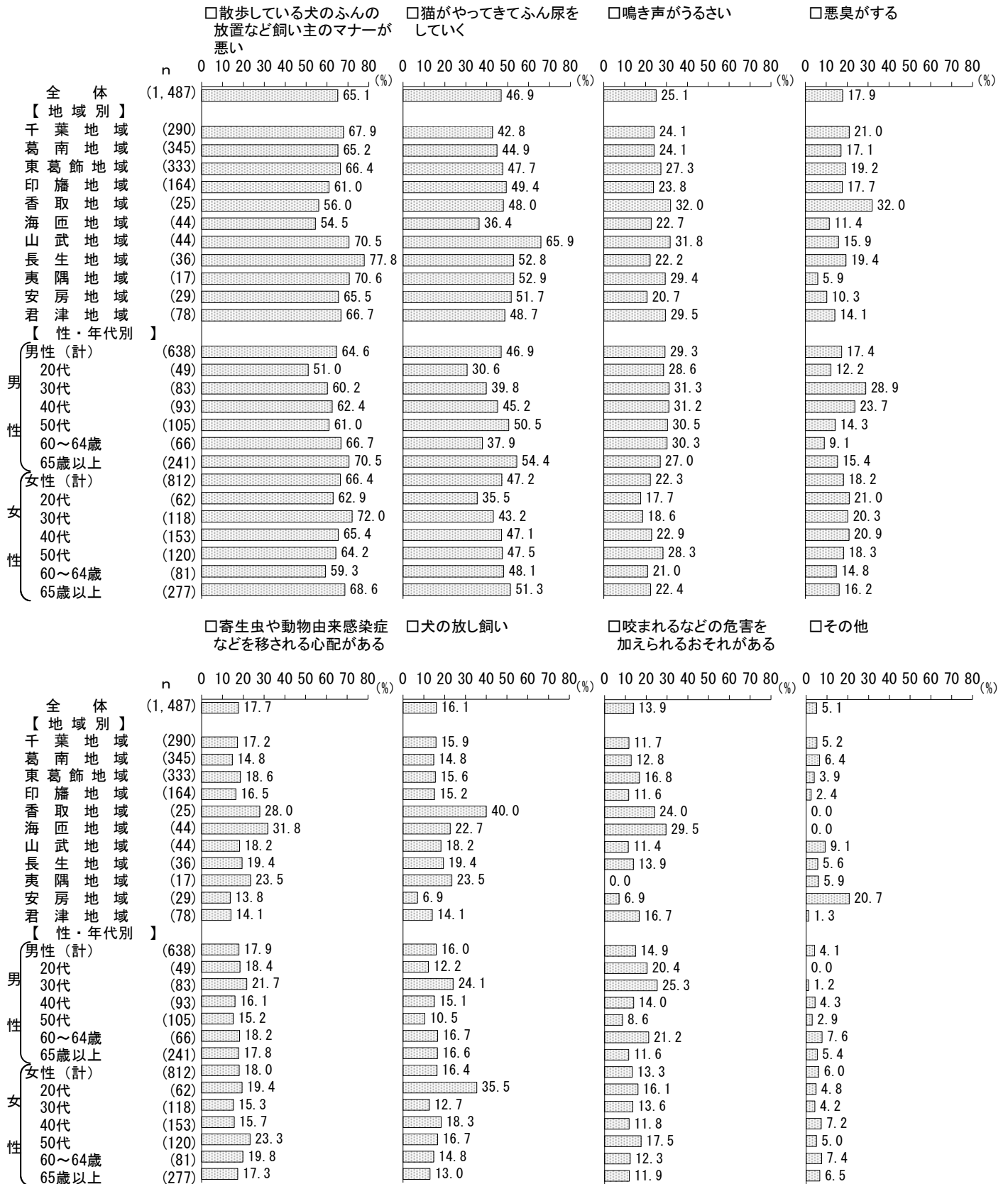
【地域別】

地域別にみると、「散歩している犬のふんの放置など飼い主のマナーが悪い」で“長生地域”(77.8%)が約8割と他の地域に比べ高くなっている。「猫がやってきてふん尿をしていく」では、“山武地域”(65.9%)が6割台半ばで高くなっている。(図表 5－6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「散歩している犬のふんの放置など飼い主のマナーが悪い」は女性の30代(72.0%)、男性の65歳以上(70.5%)が7割以上で他の年代に比べ高くなっている。「猫がやってきてふん尿をしていく」では、男性の65歳以上(54.4%)、女性の65歳以上(51.3%)、男性の50代(50.5%)が5割以上となっている。(図表 5－6)

<図表５－６>ペット動物から感じる迷惑／地域別、性・年代別

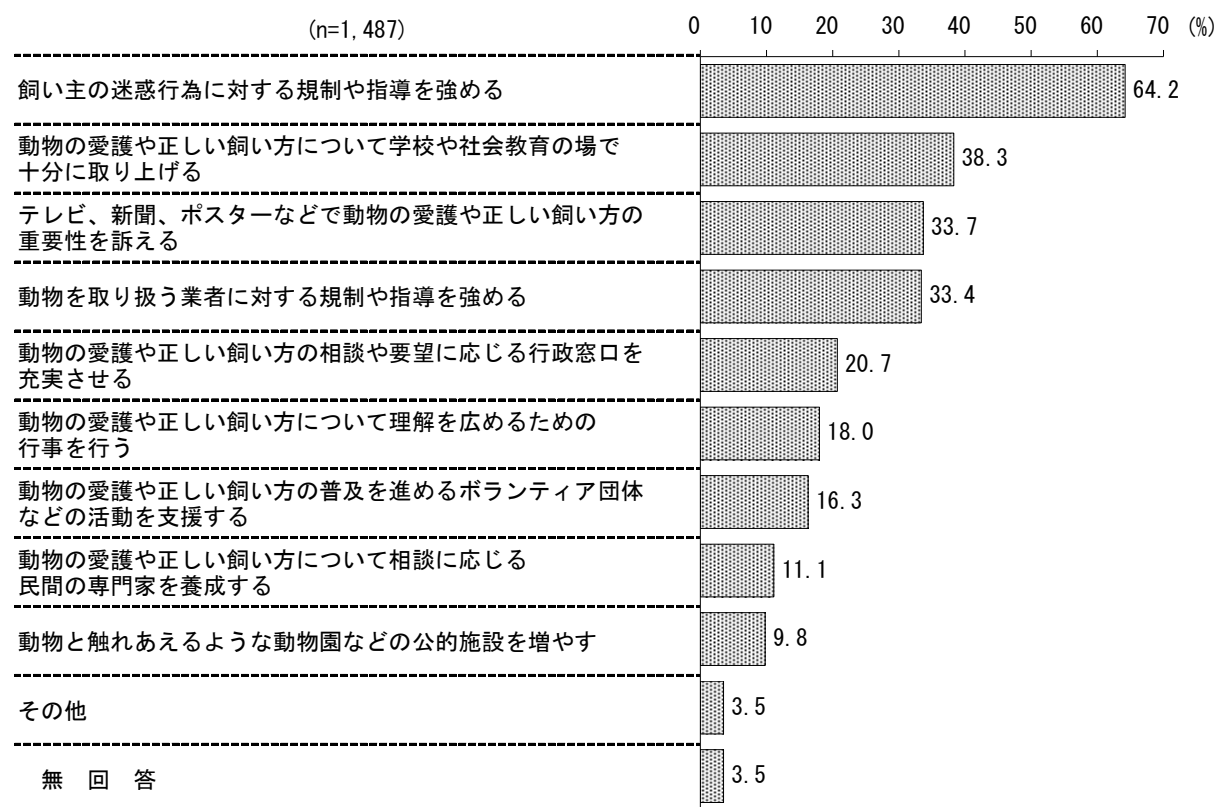


(4) 動物愛護や適正飼育のために、行政が取り組むべきこと

◇「飼い主の迷惑行為に対する規制や指導を強める」が6割台半ば

問 19 動物の愛護や適正な飼育の推進のために、行政が取り組むべきことは何だと思いませんか。
(○はいくつでも)

<図表 5－7> 動物愛護や適正飼育のために、行政が取り組むべきこと



動物の愛護や適正な飼育の推進のために、行政が取り組むべきことを聞いたところ、「飼い主の迷惑行為に対する規制や指導を強める」(64.2%)が6割台半ばで最も高く、次いで「動物の愛護や正しい飼い方について学校や社会教育の場で十分に取り上げる」(38.3%)、「テレビ、新聞、ポスターなどで動物の愛護や正しい飼い方の重要性を訴える」(33.7%)、「動物を取り扱う業者に対する規制や指導を強める」(33.4%)と続いている。(図表 5－7)

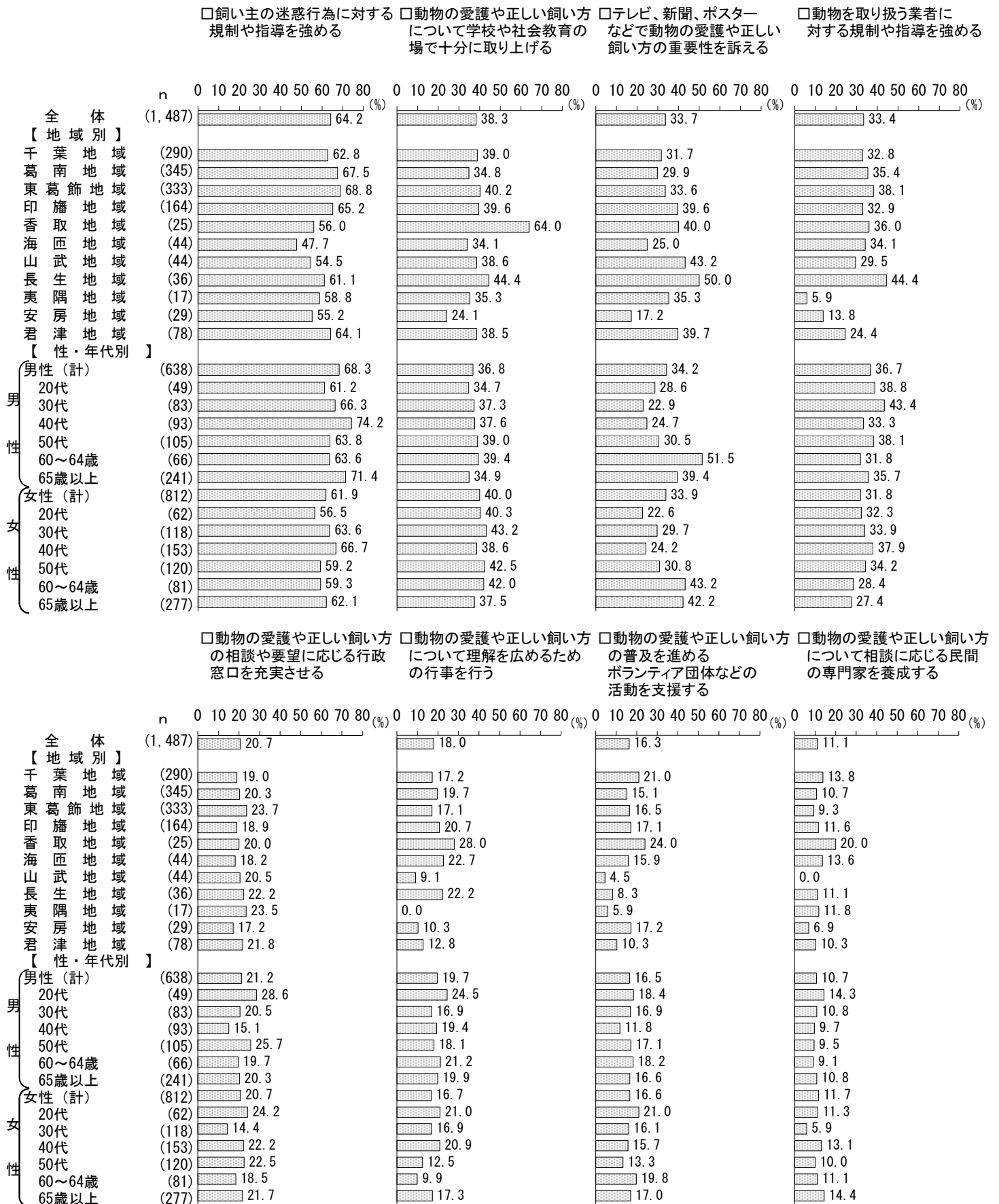
【地域別】

地域別にみると、「飼い主の迷惑行為に対する規制や指導を強める」で“東葛飾地域”(68.8%)、“葛南地域”(67.5%)が約7割と他の地域に比べ高くなっている。「動物の愛護や正しい飼い方について学校や社会教育の場で十分に取り上げる」は“香取地域”(64.0%)が6割台半ば、「テレビ、新聞、ポスターなどで動物の愛護や正しい飼い方の重要性を訴える」では、“長生地域”(50.0%)が5割、「動物を取り扱う業者に対する規制や指導を強める」は、“長生地域”(44.4%)で4割台半ばとなっている。(図表 5－8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「飼い主の迷惑行為に対する規制や指導を強める」では男性の40代（74.2%）、65歳以上（71.4%）が7割以上と他の年代に比べ高くなっている。「動物の愛護や正しい飼い方について学校や社会教育の場で十分に取り上げる」は、女性の30代（43.2%）が4割台半ばとなっている。「テレビ、新聞、ポスターなどで動物の愛護や正しい飼い方の重要性を訴える」は男性の60～64歳（51.5%）が5割を超え、「動物を取り扱う業者に対する規制や指導を強める」では、男性の30代（43.4%）が4割台半ばとなっている。（図表5－8）

＜図表５－８＞動物愛護や適正飼育のために、行政が取り組むべきこと／地域別、性・年代別



このほかに、「動物愛護管理について」やここまでの質問（問16～問19）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、175人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「動物愛護管理について」の自由回答（抜粋）

- 犬を飼っていましたが、13年、病気で亡くなりました。その時の医療の高さにびっくりしました。途中で動物を捨ててしまう人が多いのは、お金がかかりすぎる事も。私の地区では犬のふんの始末の看板が空き地に立ててありますが、守っていない人が多い。一番大切な、飼い主が手離さないで、最後まで見届ける事。（女性・65歳以上・君津地域）
- 動物を飼うには許可証を発行するように…。その犬種や猫などの講習を義務化し、きちんと理解した人のみに購入できるようにした方が良い。あまりにも安易に購入できるので、飼育放棄する人が多い。飼育環境を確認するべき。（女性・40代・印旛地域）
- 動物を購入する際、飼育講習を受けさせ、飼い主としての責任を持たせる為の誓約書の記入、違反時の罰則を与える等、徹底しない限りなくならないと思います。（男性・30代・長生地域）
- ペットを飼う場合は、全て届出制が良い。捨てられるペットが減ると望ましい。
(男性・50代・東葛飾地域)
- 地域猫活動の周知徹底が弱い。地域の誰がどこを知らなければ、えさをあげている人に批判的になる。知り合いの猫好きなお婆さんが、のら猫と話してただけで隣家の主婦からにらまれたり、お家で飼ったのですかと言われたと先日も嘆いていた。のら猫の対処法は場所、活動者名を公表しないと批判される。タスキかゼッケンでもつけているんですか。
(女性・65歳以上・葛南地域)
- 近くに少し幅広な歩道があり、散歩やジョギングの人に親しまれている。そこに時々、犬のふんがあり、見かけると気持ちの悪いものです。せめてマナーだけは守ってほしい！
(女性・50代・葛南地域)
- 私も犬を飼っていましたが、リードをしなかったり排泄物の処理をしない人を多数見ました。飼い主に対する教育の充実と罰則の強化が望まれます。罰金の額を上げるのもひとつの方法かと思います。（女性・50代・君津地域）
- 散歩してフンを放置する飼い主が多く、迷惑をしているので、高額な罰金をとるようにしてほしいです。野良猫に、むやみやたらとえさを与えている人にも困ってます。（女性・40代・安房地域）
- ペット税を設定すべき。動物愛護行政に予算が使われるのであれば、その分をまかなう税金を飼い主が負担すべき。（男性・30代・印旛地域）

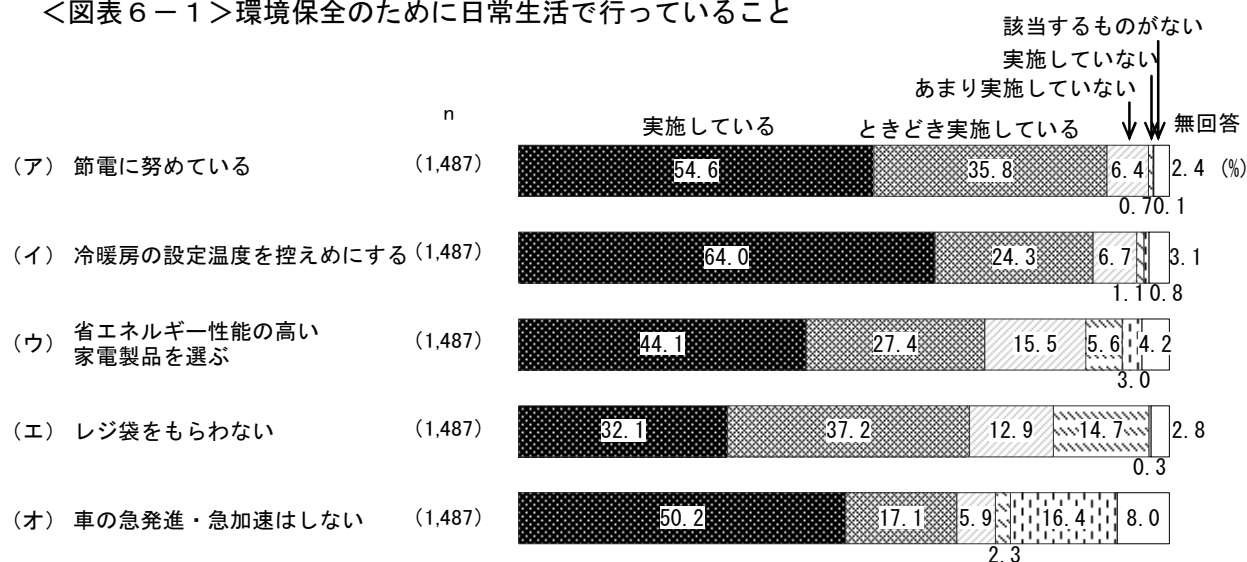
6. 環境保全に関する取組について

(1) 環境保全のために日常生活で行っていること

◇「冷暖房の設定温度を控えめ」が6割台半ば

問 20 あなたは普段の生活で次のようなことを行っていますか。(○はそれぞれ1つ)

<図表6-1>環境保全のために日常生活で行っていること



環境保全のために日常生活で行っていることを聞いたところ、「実施している」は<(イ) 冷暖房の温度設定を控えめにする>(64.0%)が6割台半ば、<(ア) 節電に努めている>(54.6%)、<(オ) 車の急発進・急加速はしない>(50.2%)がいずれも5割以上となっている。<(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ>(44.1%)は4割台半ば、<(エ) レジ袋をもらわない>(32.1%)は3割を超えている。(図表6-1)

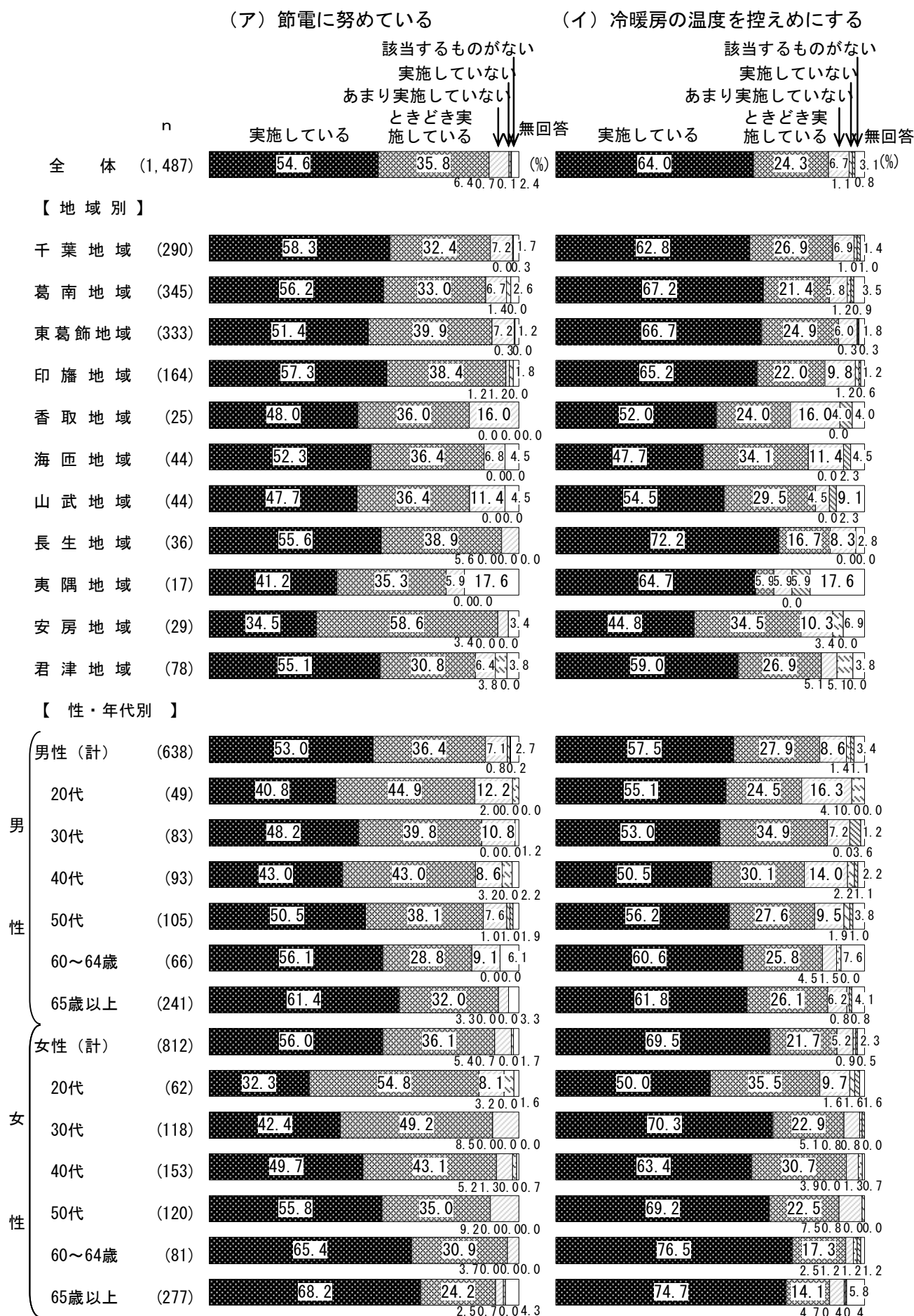
【地域別】

地域別にみると、<(ア) 節電に努めている>は“千葉地域”(58.3%)と“印旛地域”(57.3%)が約6割で他の地域に比べて高くなっている。<(イ) 冷暖房の温度設定を控えめにする>では“長生地域”(72.2%)が7割を超え、<(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ>は“君津地域”(51.3%)で5割を超えている。<(エ) レジ袋をもらわない>は“葛南地域”(40.6%)が4割、<(オ) 車の急発進・急加速はしない>では“夷隅地域”(64.7%)が6割台半ばで他の地域に比べ高くなっている。(図表6-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、<(ア) 節電に努めている>では女性の65歳以上(68.2%)が約7割で他の年代に比べ高くなっている。<(イ) 冷暖房の温度設定を控えめにする>で女性の60～64歳(76.5%)と65歳以上(74.7%)が7割台半ば、<(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ>で女性の60～64歳(60.5%)が6割で他の年代に比べ高くなっている。<(エ) レジ袋をもらわない>は女性の50代(44.2%)が4割台半ば、<(オ) 車の急発進・急加速はしない>では男性の60～64歳(63.6%)が6割台半ばで他の年代に比べ高くなっている。(図表6-2)

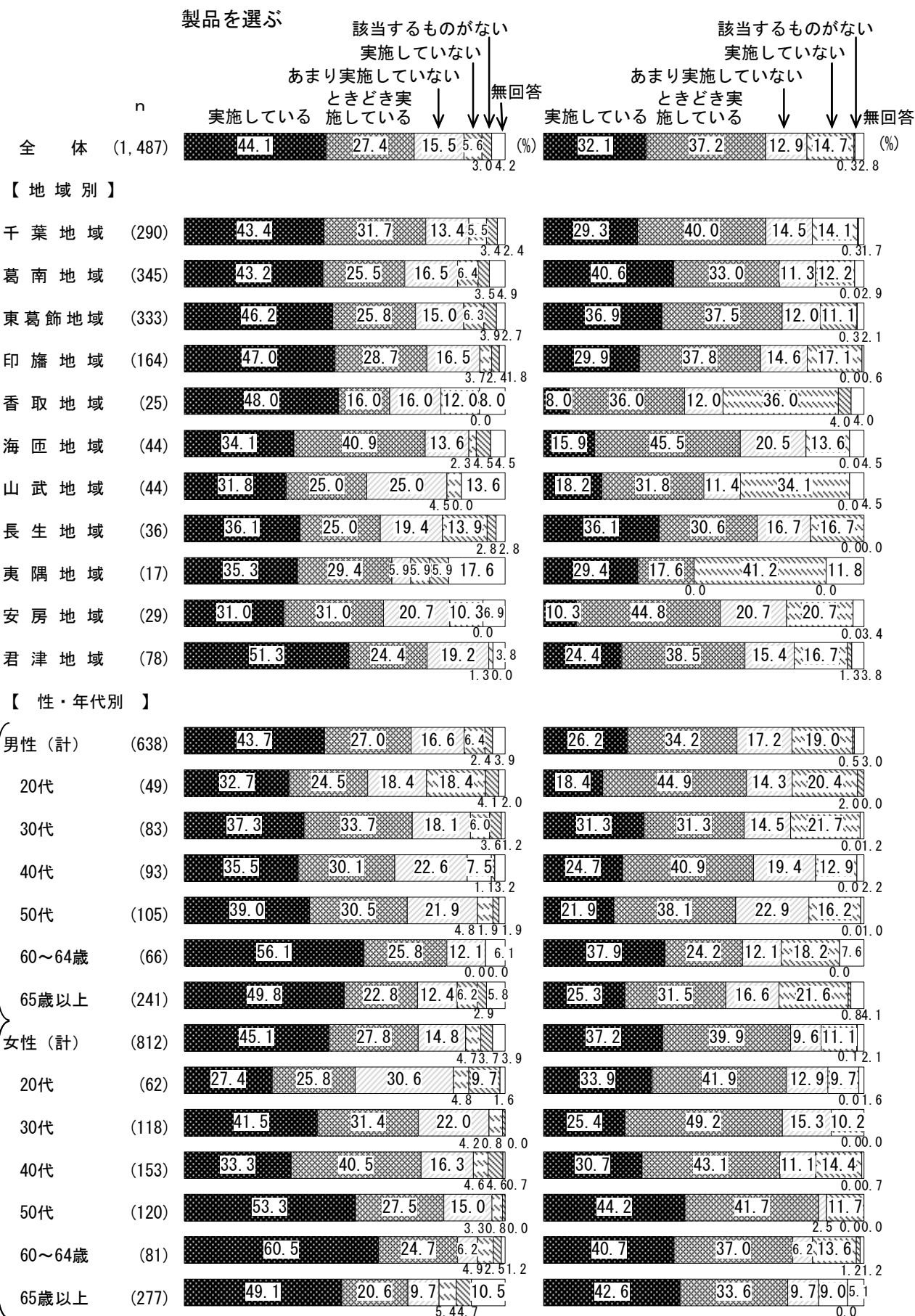
＜図表６－２＞環境保全のために日常生活で行っていること／地域別、性・年代別



＜図表６－２＞環境保全のために日常生活で行っていること／地域別、性・年代別

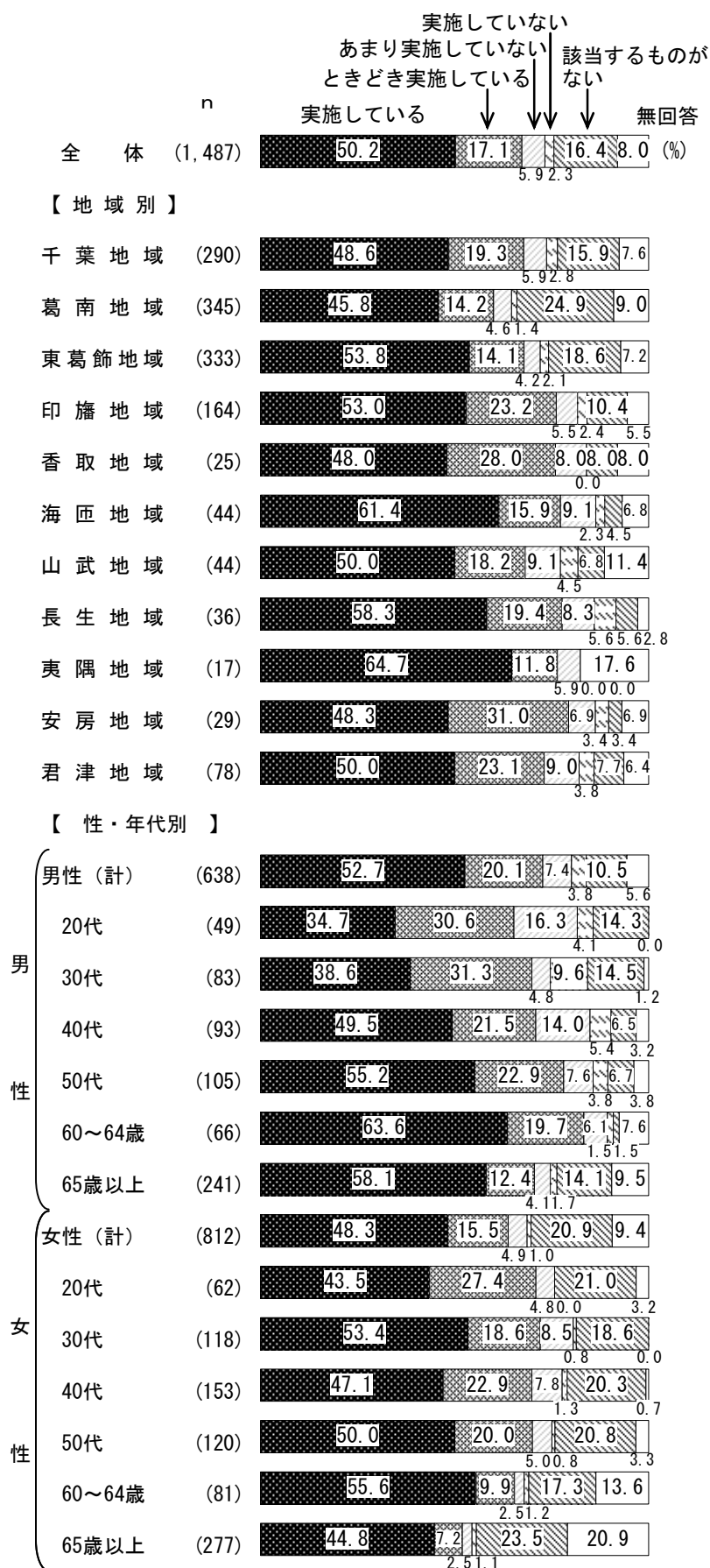
(ウ) 省エネルギー性能の高い家電

(エ) レジ袋をもらわない



＜図表６－２＞環境保全のために日常生活で行っていること／地域別、性・年代別

(オ) 車の急発進・急加速をしない

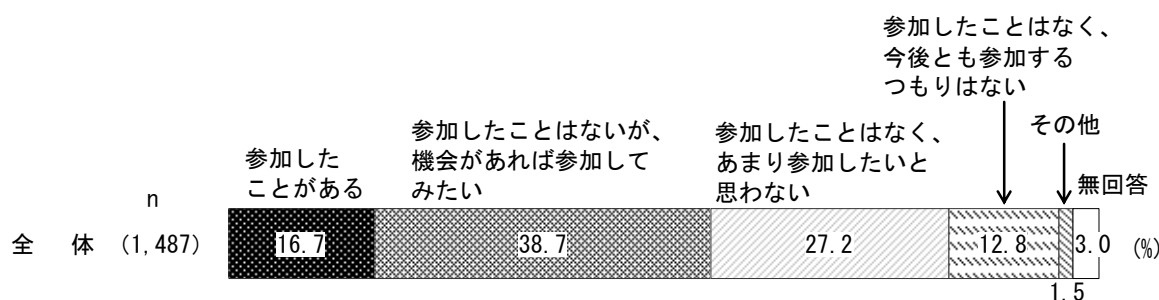


(2) 環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動への参加経験

◇「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」が約4割

問 21 あなたはこれまでに環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動などに参加したことがありますか。(○は1つ)

＜図表 6－3＞環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動への参加経験



環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動への参加経験を聞いたところ、最も高かったのは「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」(38.7%) が約4割となっている。「参加したことがある」(16.7%) は、1割台半ばである。(図表 6－3)

【地域別】

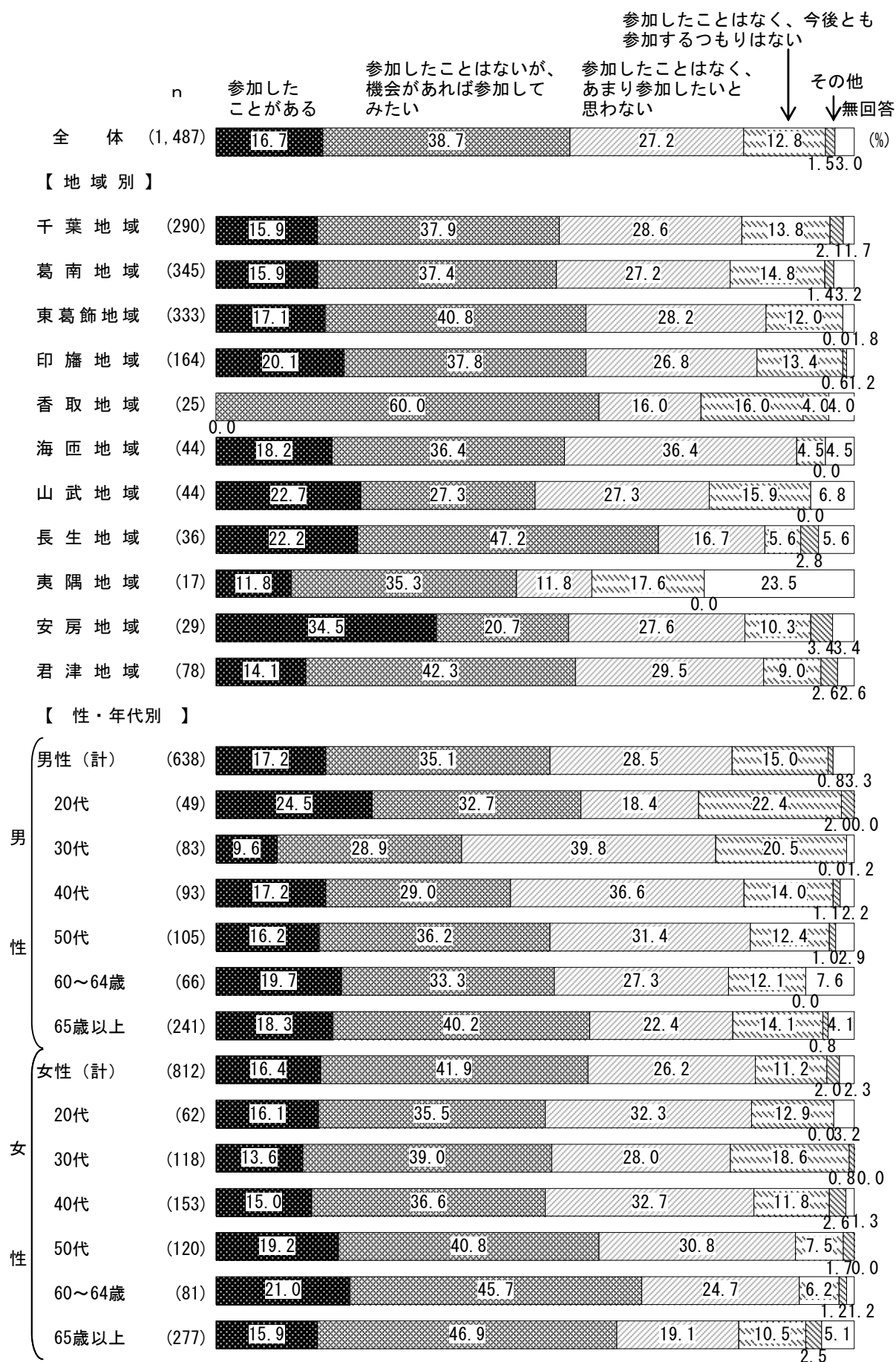
地域別にみると、「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」では“香取地域”(60.0%) が6割、「参加したことがある」は“安房地域”(34.5%) が3割台半ばで他の地域に比べ高くなっている。(図表 6－4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」で女性の65歳以上(46.9%)、女性の60～64歳(45.7%) が4割台半ばで他の年代に比べ高くなっている。「参加したことがある」では、男性20代(24.5%) が2割台半ばと他の年代に比べ高くなっている。(図表 6－4)

＜図表６－４＞環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動への参加経験

／地域別、性・年代別



このほかに、「環境保全の取組について」やここまでの質問（問20～問21）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、121人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「環境保全の取組について」の自由回答（抜粋）

- レジ袋は全て有料にすれば、ゴミが減る。（女性・40代・海匝地域）
- レジ袋は佐渡島みたいに有料化すべきです。佐渡島の店舗は、レジ袋が必要なら1枚5円かかります。コンビニで買い物しても同じです。（男性・40代・長生地域）
- 一つのビニール買い物袋に5円取るスーパーがあるが、これは高いと思う。エコバッグ保持者に3～5円分のポイントを付けた方が良くなると思う。一気にビニール袋はなくなるのでは？
（男性・65歳以上・葛南地域）
- 環境のことを考えて生活することが大切だと頭で分かっているけど、日常生活の中で実行できないことが多いので、啓蒙して、意識化を促していただけると、さらにありがたいです。
（女性・20代・東葛飾地域）
- 環境保全の目標設定を数値化して、実践に際してイメージしやすいものにしていただきたい。
（男性・20代・印旛地域）
- 環境保全については、よく分からない面があります。理想論としては分かるのですが（エコカー、省エネルギー家電、太陽光パネル、エコ袋等々）、実態としてどこまで実行可能か不透明です。問題意識は持っています（中国での環境問題、福島原発問題もあるので）。もっと行政からのPRも必要と思う。（男性・65歳以上・印旛地域）
- 原発問題があり不安を感じているが、日々の雑事に忙しく、しっかりと考えていなかったが、身近なところでよく考えて実行するべきで、できることから取り組まなくてはと思う。
（女性・40代・東葛飾地域）
- どんな取り組みをすれば良いのか具体的なことは提案できませんが、地域でよびかけてもらえば、住民でできることはたくさんあると思います。レジ袋をもらわない、ゴミの分別（によりリサイクルできる）など、1人1人が意識すればかなり変わると思います。たくさん呼びかけていただきたいです。（女性・20代・千葉地域）
- 年に1～2回「大規模環境保全デー」として、本埜や武西で実施した、住民による環境整備を実施したらどうか（多くの住民が協力すると思われますが）。（男性・65歳以上・印旛地域）
- 市町村によってゴミ袋の値段が違うので、ゴミ袋の値段が高い地域では不法投棄やゴミの焼却が増える。県で値段を統一してほしい。（女性・40代・山武地域）

7. 消費生活について

(1) 消費者トラブルの経験の有無

◇「あったことがある」が1割台半ば

問 22 あなたは消費者トラブルにあったことがありますか。(○は1つ)

＜図表 7－1＞消費者トラブルの経験の有無



消費者トラブルにあった経験の有無を聞いたところ、「あったことがある」(16.5%)は1割台半ばとなっている。一方「あったことはない」(81.7%)は8割を超えている。(図表 7－1)

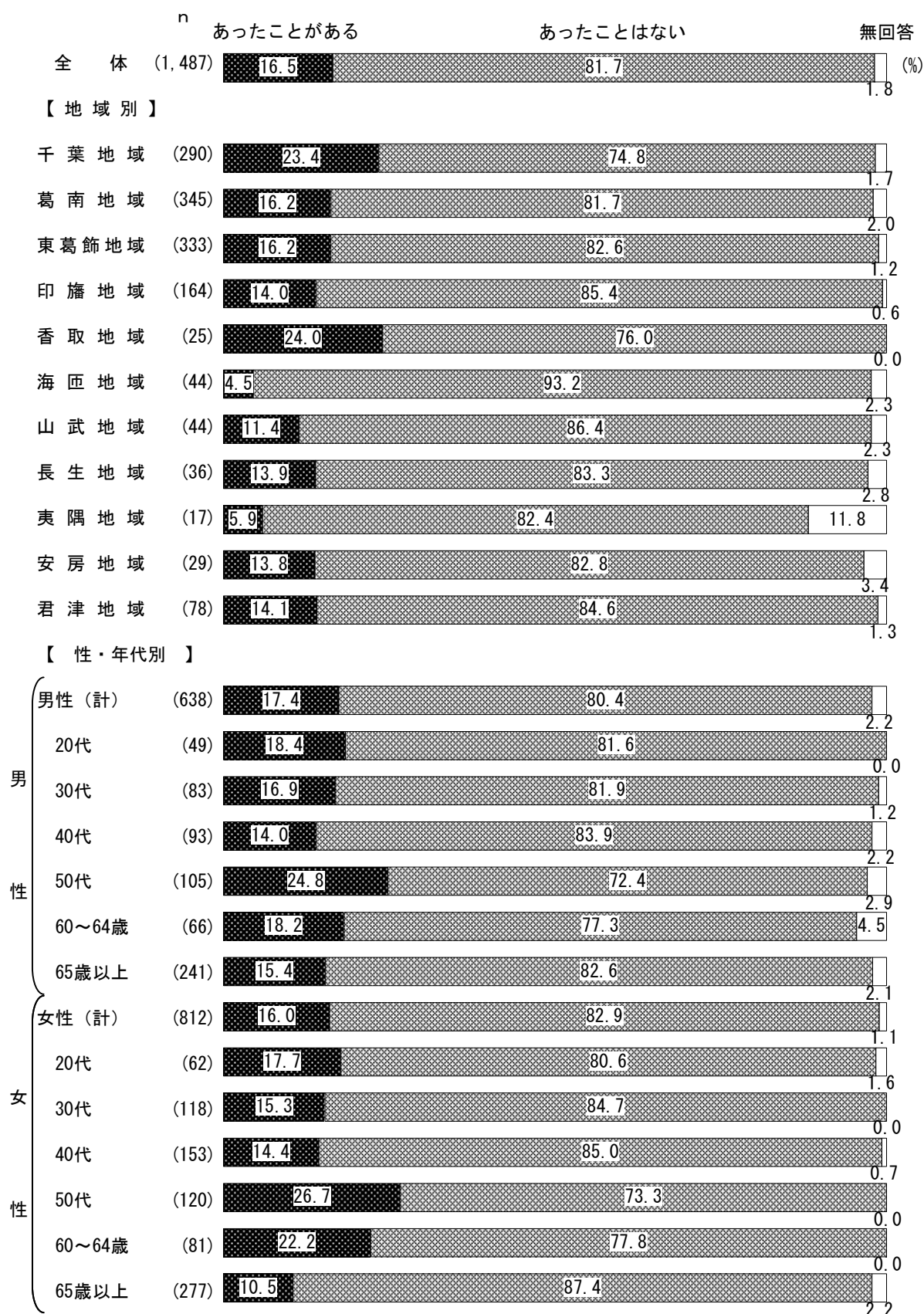
【地域別】

地域別にみると、「あったことがある」は“香取地域”(24.0%)、“千葉地域”(23.4%)が2割台半ばで他の地域に比べ高くなっている。(図表 7－2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「あったことがある」は男女の50代(男性24.8%、女性26.7%)が2割台半ば、女性の60～64歳(22.2%)では2割を超えて他の年代に比べ高くなっている。(図表 7－2)

<図表 7-2>消費者トラブルの経験の有無／地域別、性・年代別

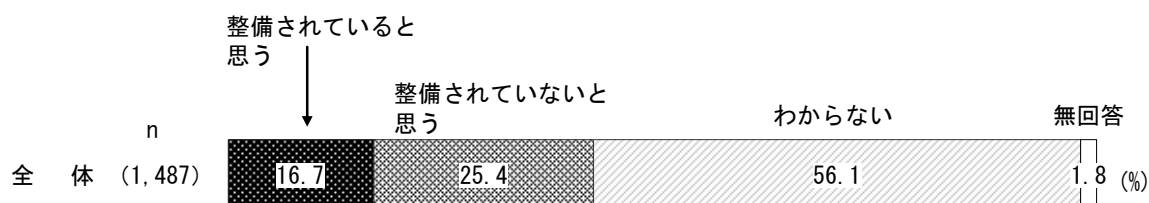


(2) 消費者トラブルなどの相談体制の整備状況

◇「整備されていると思う」が1割台半ば

問 23 消費生活のトラブル、商品の安全性の不安、悪質商法の被害にあった時などの相談体制は整備されていると思いますか。(○は1つ)

＜図表 7－3＞消費者トラブルなどの相談体制の整備状況



消費生活のトラブル、商品の安全性の不安、悪質商法の被害にあった時などの相談体制の整備状況について聞いたところ、「整備されていると思う」(16.7%)が1割台半ば、「整備されていないと思う」(25.4%)が2割台半ばとなっている。(図表 7－3)

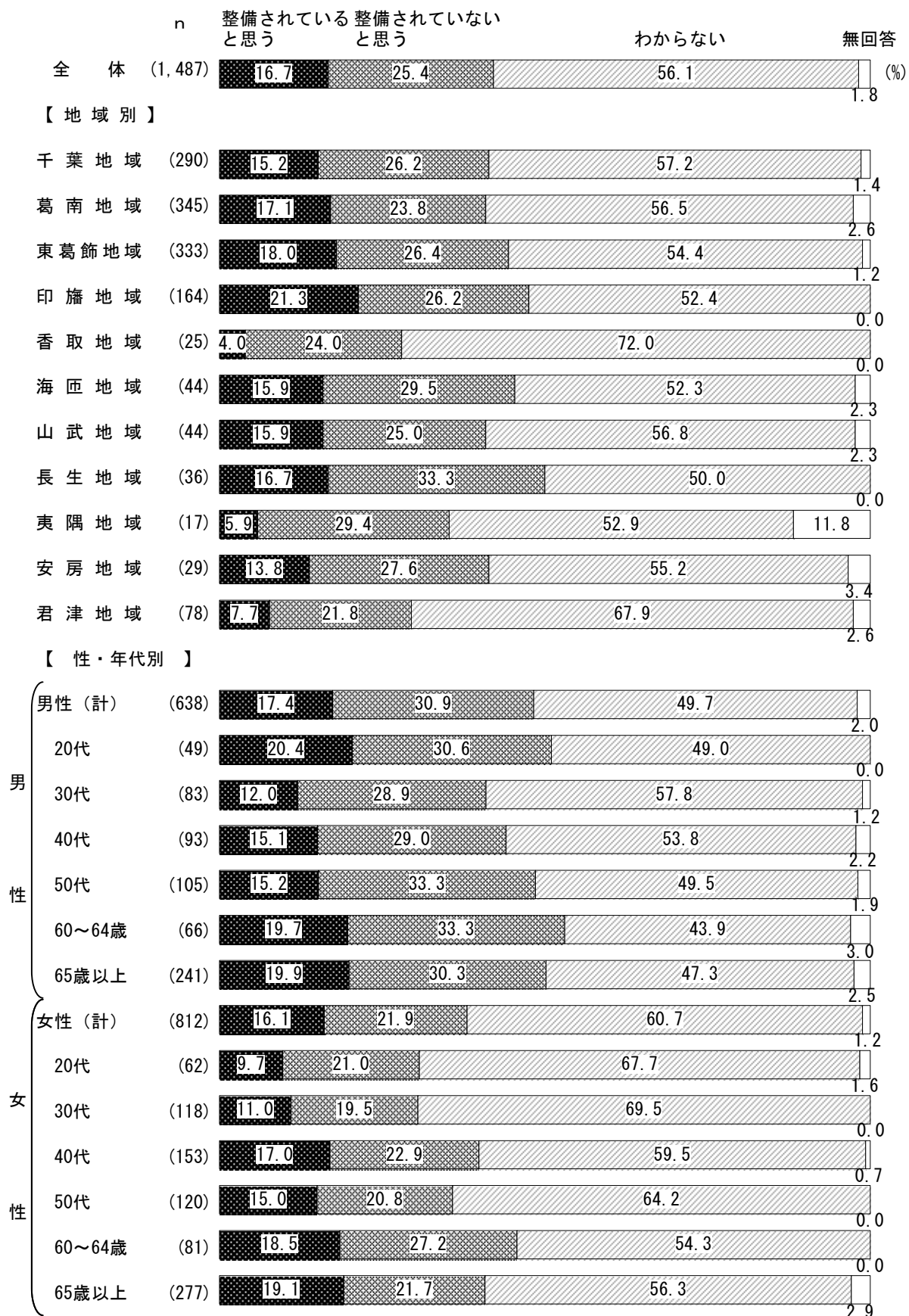
【地域別】

地域別にみると、「整備されていると思う」は“印旛地域”(21.3%)が2割を超えて他の地域に比べ高くなっている。「整備されていないと思う」では“長生地域”(33.3%)が3割台半ばで他の地域に比べ高くなっている。(図表 7－4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「整備されていると思う」は男性の20代(20.4%)、65歳以上(19.9%)、60～64歳(19.7%)、女性の65歳以上(19.1%)が約2割で他の年代に比べ高くなっている。「整備されていないと思う」では男性の50代・60～64歳(ともに33.3%)が3割台半ばで他の年代に比べ高くなっている。(図表 7－4)

<図表7-4>消費者トラブルなどの相談体制の整備状況／地域別、性・年代別



(3) 悪質商法が減ってきていると思うか

◇『そう思う』が5割

問 24 悪質商法が減ってきたと思いますか。(○は1つ)

＜図表 7－5＞悪質商法は減ってきていると思うか



悪質商法が減ってきていると思うか聞いたところ、「変わらないと思う」(40.8%)が4割、「増えてきたと思う」(36.7%)が3割台半ばとなっている。(図表 7－5)

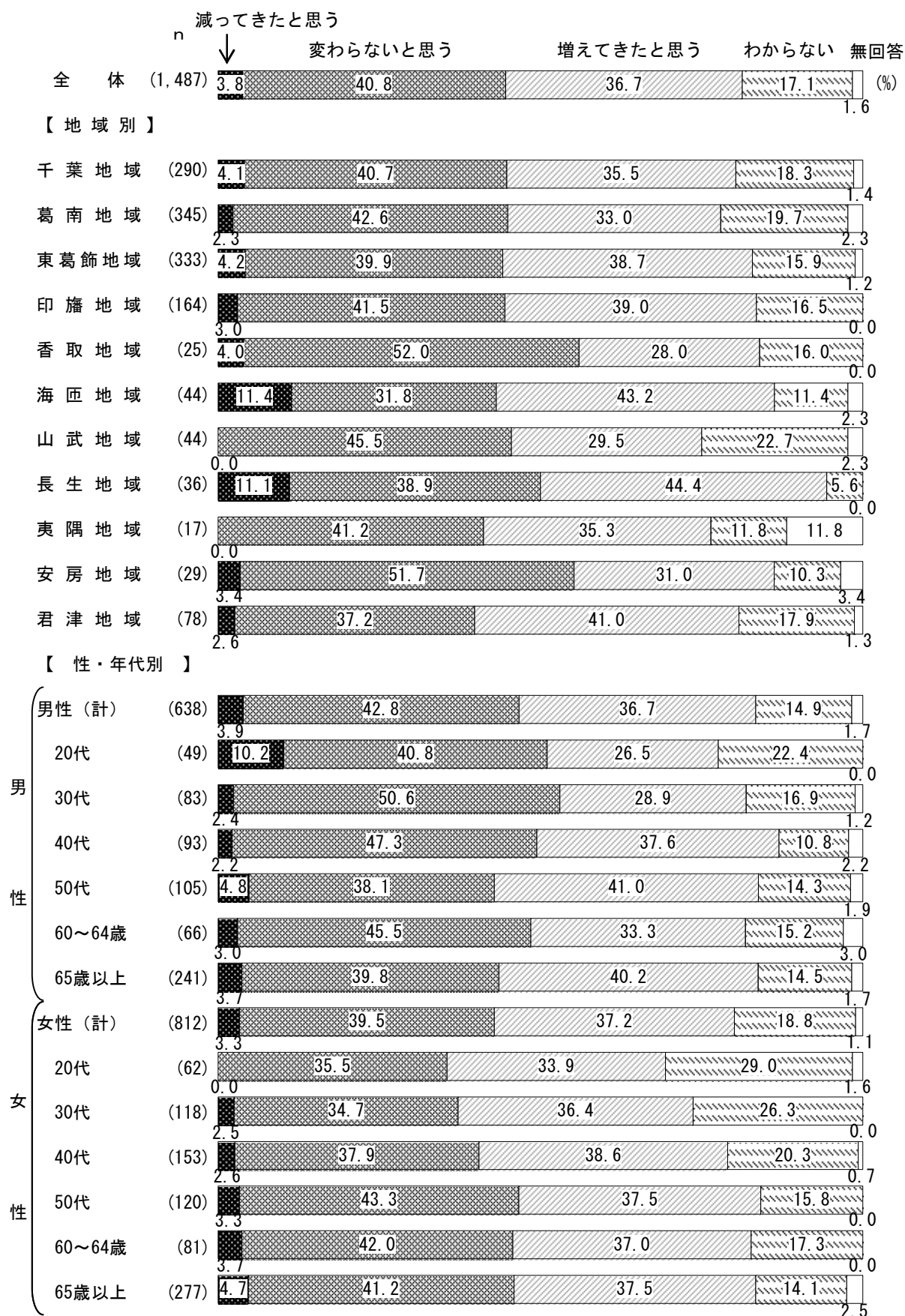
【地域別】

地域別にみると、「変わらないと思う」は“香取地域”(52.0%)、“安房地域”(51.7%)で5割を超えて他の地域に比べ高くなっている。「増えてきたと思う」では“長生地域”(44.4%)、“海匝地域”(43.2%)、“君津地域”(41.0%)が4割以上で他の地域に比べ高くなっている。(図表 7－6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「変わらないと思う」は男性の30代(50.6%)が5割で他の年代に比べて高くなっている。「増えてきたと思う」では、男性の50代(41.0%)、65歳以上(40.2%)が4割以上で他の年代に比べ高くなっている。(図表 7－6)

<図表 7-6> 悪質商法の増減／地域別、性・年代別

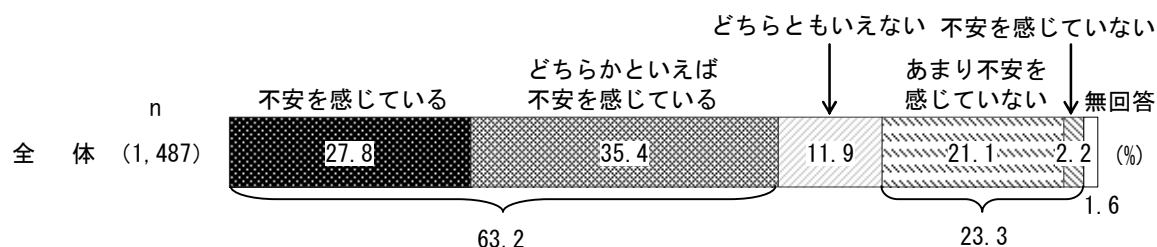


(4) 食の安全に対する不安感

◇『不安を感じている』のは、6割台半ば

問 25 食の安全について、不安を感じていますか。(○は1つ)

<図表 7-7>食の安全に対する不安感



食の安全について不安を感じているか聞いたところ、「不安を感じている」(27.8%)、「どちらかといえば不安を感じている」(35.4%)を合わせた『不安を感じている』(63.2%)は6割台半ばとなっている。一方、「あまり不安を感じていない」(21.1%)と「不安を感じていない」(2.2%)を合わせた『不安を感じていない』(23.3%)は、2割台半ばとなっている。(図表 7-7)

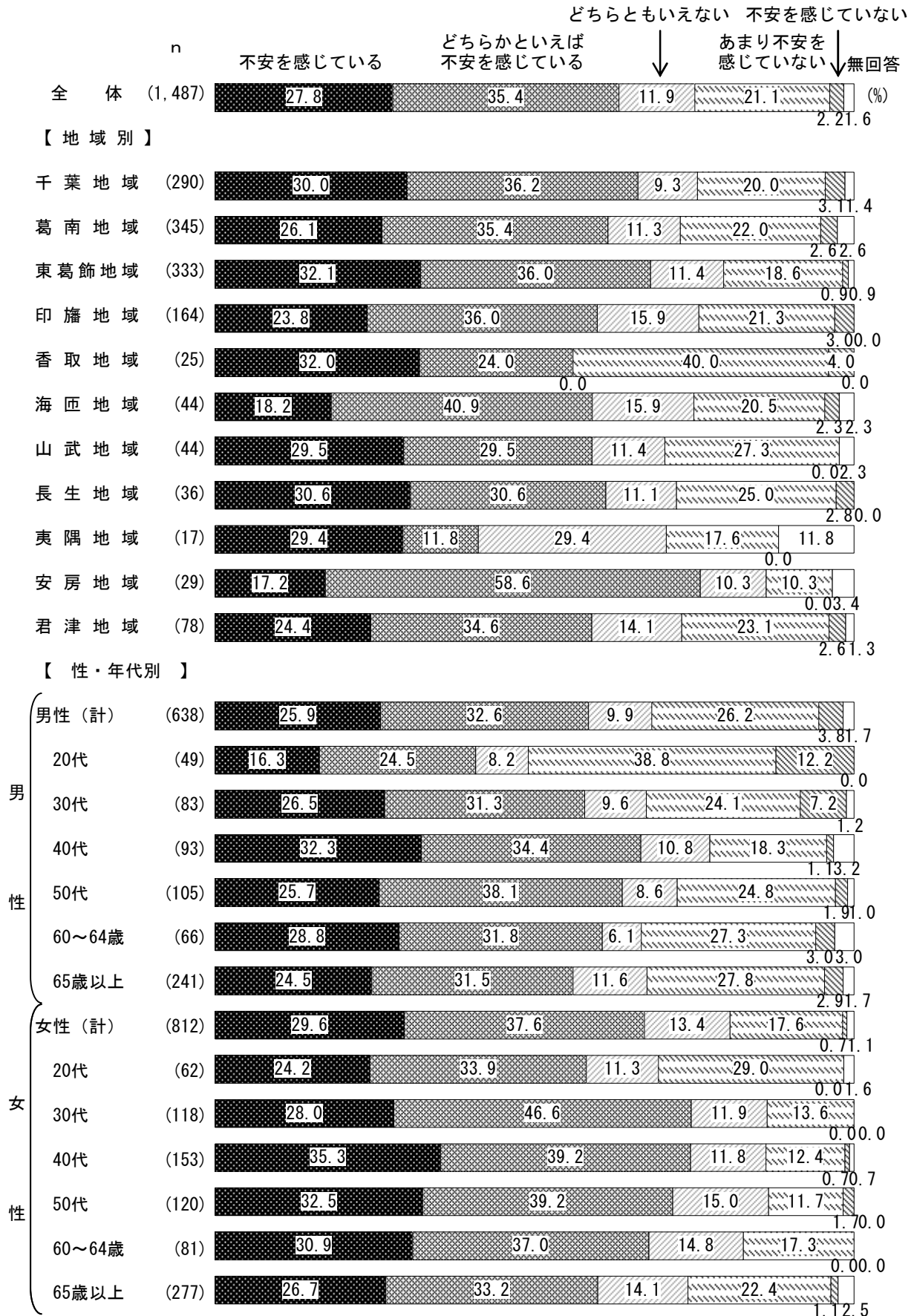
【地域別】

地域別にみると、『不安を感じている』は“安房地域”(75.9%)が7割台半ばで他の地域に比べ高くなっている。(図表 7-8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『不安を感じている』は女性の30代(74.6%)、40代(74.5%)が7割台半ばで他の年代に比べ高くなっている。(図表 7-8)

＜図表 7－8＞食の安全に対する不安感／地域別、性・年代別



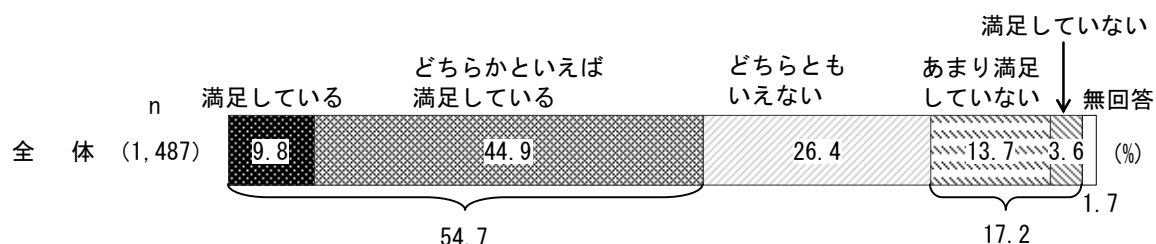
(5) 消費生活全般の満足度

◇『満足している』が5割台半ば

問 26 あなたは日常の買い物やサービスの利用など、消費生活全般に満足していますか。

(○は1つ)

<図表 7－9>消費生活全般の満足度



日常の買い物やサービスの利用など、消費生活全般の満足度を聞いたところ、「満足している」(9.8%)と「どちらかといえば満足している」(44.9%)を合わせた『満足している』(54.7%)は5割台半ばとなっている。(図表 7－9)

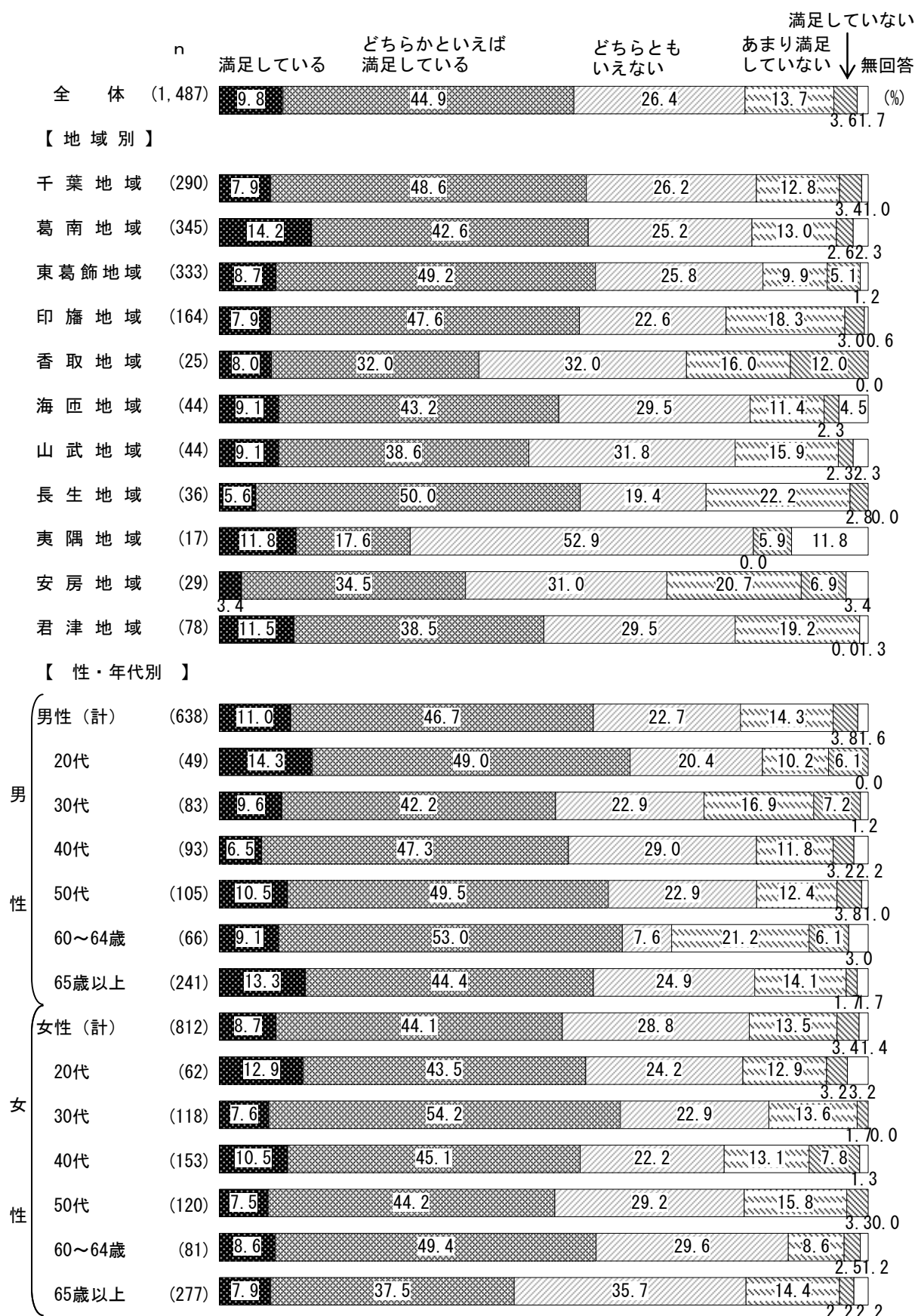
【地域別】

地域別にみると、『満足している』は“東葛飾地域”(58.0%)、“葛南地域”(56.8%)、“千葉地域”(56.6%)、“長生地域”(55.6%)、“印旛地域”(55.5%)、“海匝地域”(52.3%)、“君津地域”(50.0%)の7つの地域が5割以上で他の地域に比べ高くなっている。(図表 7－10)

【性・年代別】

性・年代別にみると、男性の20代(63.3%)、60～64歳(62.1%)、50代(60.0%)、女性の30代(61.9%)が6割以上で他の年代に比べて高くなっている。(図表 7－10)

<図表 7-10>消費生活全般の満足度／地域別、性・年代別



このほかに、「消費生活について」やここまでの質問（問22～問26）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、128人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「消費生活について」の自由回答（抜粋）

- 悪徳商法にあった場合のクーリングオフの制度徹底、相談窓口の周知を図る。
(男性・65歳以上・千葉地域)
- 悪質商法や業者等をもっと厳しく取り締まるべきである。消費生活の相談窓口をもっと増やしてもいいのではないかと。(男性・30代・香取地域)
- 悪質商法や振り込め詐欺についての新しいやり方についての注意をもっとキャンペーンしてほしいと思います。(女性・50代・君津地域)
- 認知症（病気）や高齢者など弱い人を騙す人は許せない。良い方法はないか（防止）。
(男性・60～64歳・葛南地域)
- 以前、次々販売に遭った人の代わりに県の消費者センターに相談したところ、非常に親切に親身になってくれて、解決した事があった。県の消費者センターは、これからも弱者の味方であってほしい。(男性・65歳以上・夷隅地域)
- 消費者相談センター→警察→法テラスとたらい回しにされ、ただでさえ不安を抱えているのに、誰も何も手伝ってくれないのかとさらに絶望させられたことがありますが、その中でも消費者センターはまだ親身に対応してくれた。(女性・20代・千葉地域)
- 高齢社会を迎え、高齢者が被害にあわないようにするための施策等、もっと考えてほしい
(女性・65歳以上・東葛飾地域)
- 野菜・肉・魚など放射能が心配。安全と言っているが、何をもって安全なのかわからない。今後もしっかり検査を行い、基準値以下なら安全というのをやめ、きちんとわかるよう、それぞれの数値を示して欲しい。(女性・30代・印旛地域)
- 近所のお店が少なくなってきており、現在は6～7km離れた市内まで車で買い物をしているが、今後車の運転ができなくなった時の老後が心配。(男性・60～64歳・安房地域)
- 消費生活センターと包括支援センター、社会福祉協議会等、行政間組織が協力した支援体制づくりが必要であると思う。地域、学校を通した消費者教育を進めるための予算を増やしてほしい。人材を育成してほしい。(女性・40代・葛南地域)
- 食品の原材料表示等、行政に於いて定期的にチェックし、指導を強化願いたいと思います。
(男性・65歳以上・葛南地域)

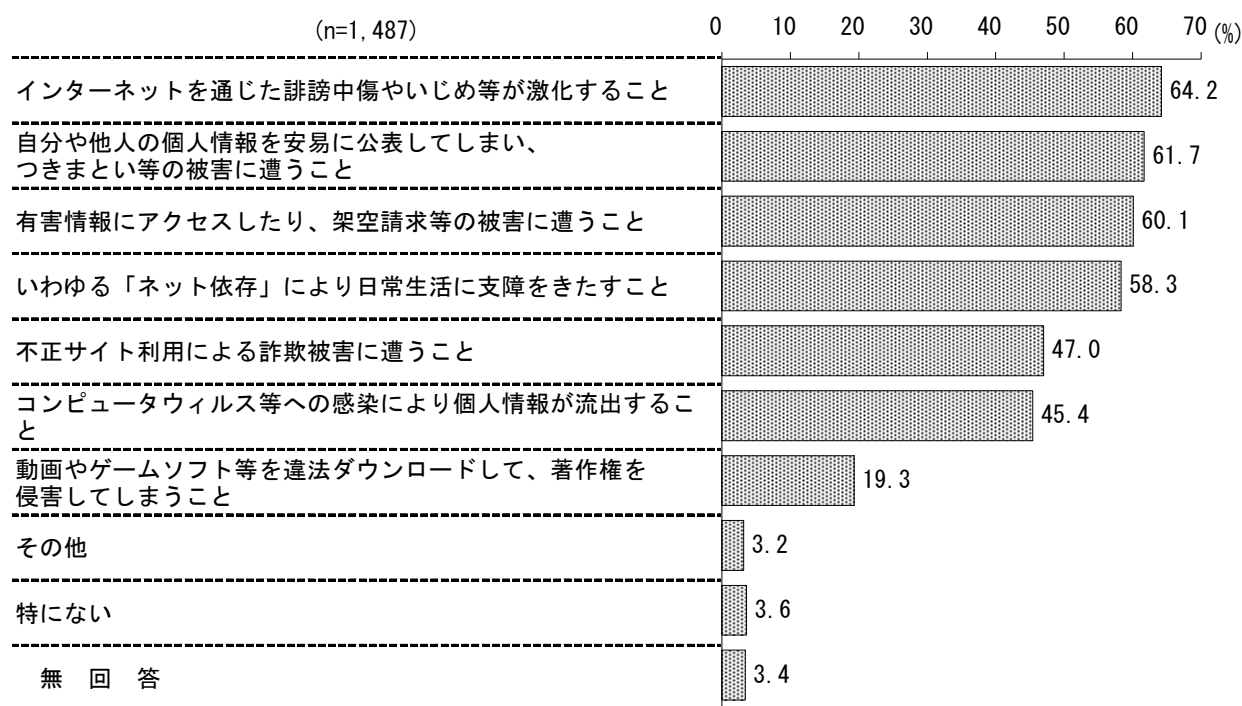
8. 青少年の健全育成について

(1) 青少年のインターネット利用に関して、危険性を感じること

◇「インターネットを通じた誹謗中傷やいじめ等が激化すること」が6割台半ば

問 27 青少年のインターネット利用に関して、あなたが危険性を感じるのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

<図表 8-1> 青少年のインターネット利用に関して、危険性を感じること



青少年のインターネット利用に関して、危険性を感じるのはどのようなことかを聞いたところ、「インターネットを通じた誹謗中傷やいじめ等が激化すること」(64.2%)が6割台半ばで最も高く、以下「自分や他人の個人情報を安易に公表してしまい、つきまとい等の被害に遭うこと」(61.7%)、「有害情報にアクセスしたり、架空請求等の被害に遭うこと」(60.1%)、「いわゆる『ネット依存』により日常生活に支障をきたすこと」(58.3%)と続いている。(図表 8-1)

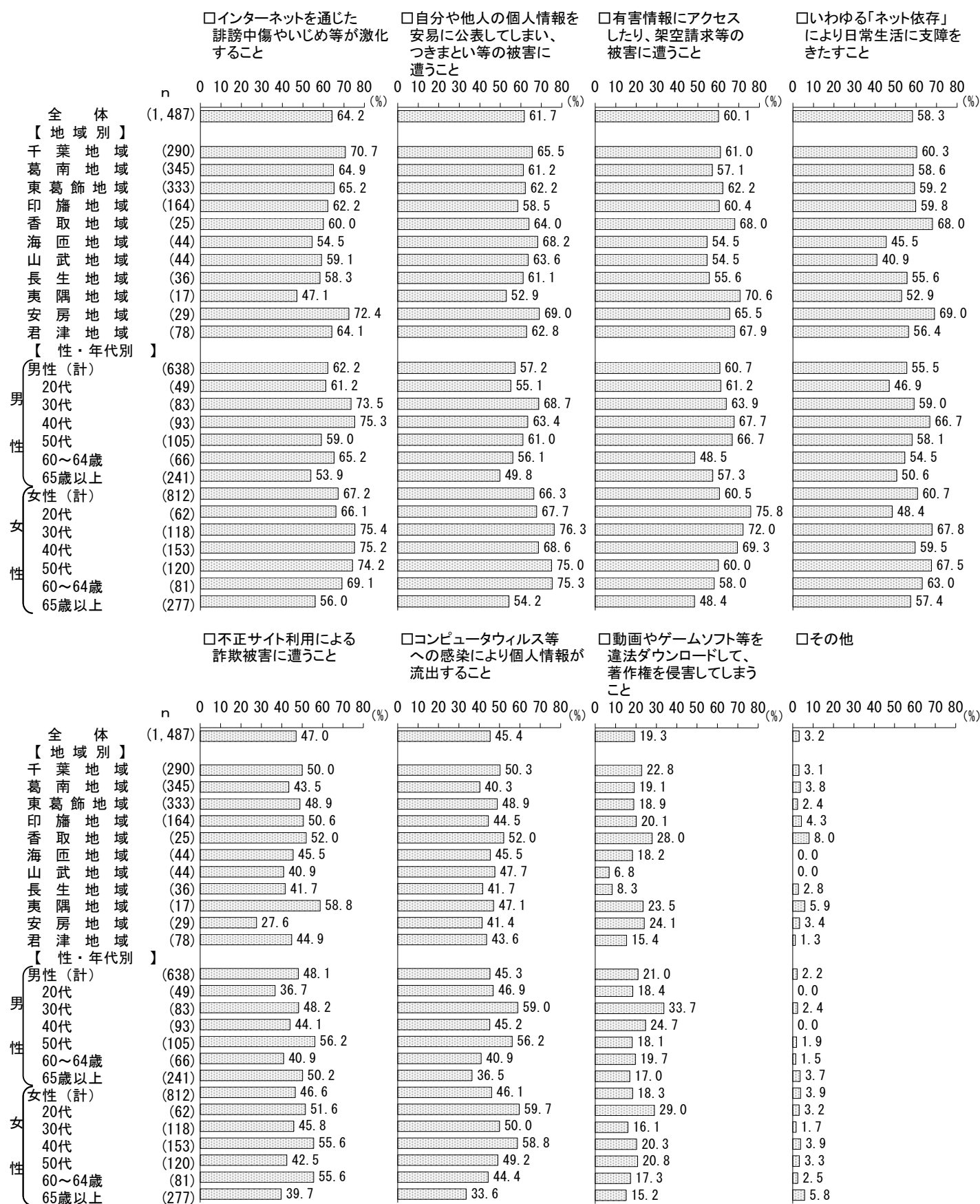
【地域別】

地域別にみると、「インターネットを通じた誹謗中傷やいじめ等が激化すること」では“安房地域”(72.4%)、“千葉地域”(70.7%)が7割以上で他の地域に比べ高くなっている。「自分や他人の個人情報を安易に公表してしまい、つきまとい等の被害に遭うこと」は、“安房地域”(69.0%)、“海匝地域”(68.2%)が約7割で、「有害情報にアクセスしたり、架空請求等の被害に遭うこと」では“夷隅地域”(70.6%)が7割で他の地域に比べて高くなっている。「いわゆる『ネット依存』により日常生活に支障をきたすこと」は“安房地域”(69.0%)、“香取地域”(68.0%)が約7割で他の地域に比べ高くなっている。(図表 8-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「インターネットを通じた誹謗中傷やいじめ等が激化すること」は女性の30代（75.4%）、40代（75.2%）、50代（74.2%）、男性の30代（73.5%）、40代（75.3%）が7割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。「自分や他人の個人情報や安易に公表してしまい、つきまとい等の被害に遭うこと」では、女性の30代（76.3%）、50代（75.0%）、60～64歳（75.3%）が7割台半ば、「有害情報にアクセスしたり、架空請求等の被害に遭うこと」では女性の20代（75.8%）、30代（72.0%）が7割以上で他の年代に比べ高くなっている。「いわゆる『ネット依存』により日常生活に支障をきたすこと」は、女性の30代（67.8%）、50代（67.5%）、男性の40代（66.7%）が6割台半ば以上で他の年代に比べ高くなっている。（図表8－2）

＜図表８－２＞青少年のインターネット利用に関する危険性／地域別、性・年代別

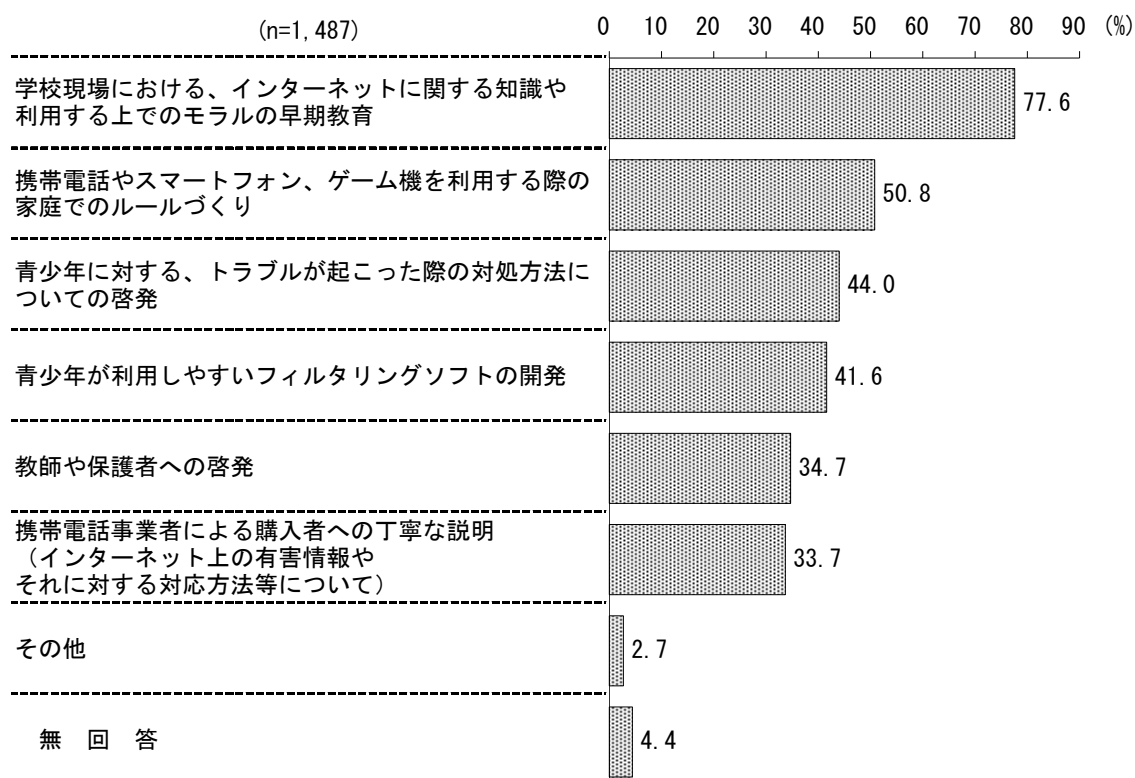


(2) インターネット利用の危険性から青少年を守るために必要なこと

◇「学校現場でのインターネットに関する知識や利用する上でのモラルの早期教育」が約8割

問 28 インターネット利用の危険性から青少年を守るためにどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

＜図表 8－3＞インターネット利用の危険性から青少年を守るために必要なこと



インターネット利用の危険性から青少年を守るために必要なことを聞いたところ、「学校現場における、インターネットに関する知識や利用する上でのモラルの早期教育」(77.6%)が約8割で最も高く、以下「携帯電話やスマートフォン、ゲーム機を利用する際の家庭でのルールづくり」(50.8%)、「青少年に対する、トラブルが起こった際の対処方法についての啓発」(44.0%)、「青少年が利用しやすいフィルタリングソフトの開発」(41.6%)となっている。(図表 8－3)

【地域別】

地域別にみると、「学校現場における、インターネットに関する知識や利用する上でのモラルの早期教育」は“千葉地域”・“夷隅地域”(ともに82.4%)、“海匠地域”(81.8%)、“東葛飾地域”(81.1%)が8割を超えて他の地域に比べ高くなっている。「携帯電話やスマートフォン、ゲーム機を利用する際の家庭でのルールづくり」は“安房地域”(62.1%)、“香取地域”(60.0%)が6割以上、「青少年に対する、トラブルが起こった際の対処方法についての啓発」では“夷隅地域”(52.9%)、“印旛地域”(50.6%)が5割以上で他の地域に比べ高くなっている。「青少年が利用しやすいフィルタリングソフトの開発」は“君津地域”(48.7%)、“山武地域”(47.7%)が約5割で他の地域に比べ高くなっている。

(図表 8－4)

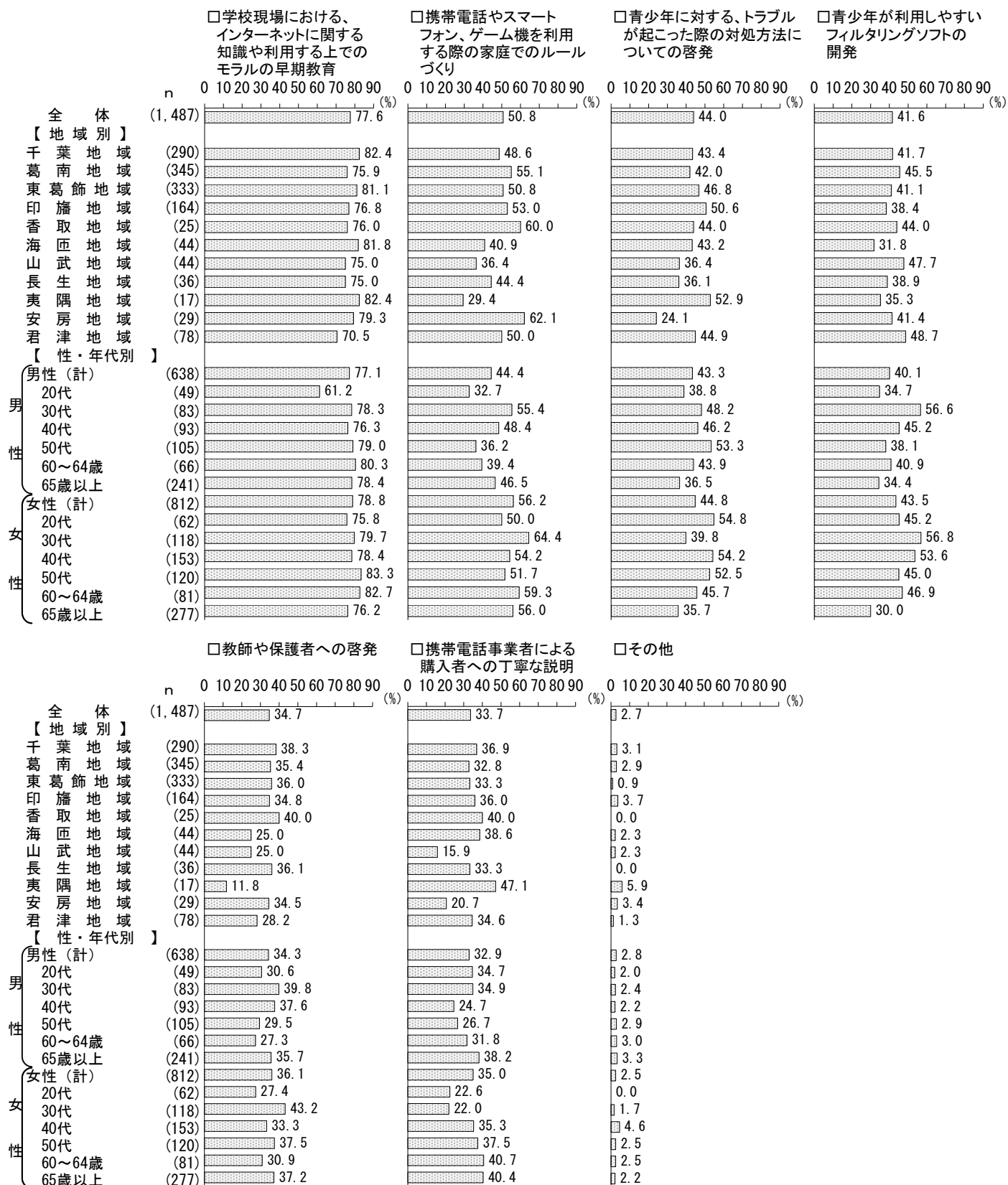
【性・年代別】

性・年代別にみると、「学校現場における、インターネットに関する知識や利用する上でのモラルの早期教育」は女性の50代（83.3%）、男女の60～64歳（男性80.3%、女性82.7%）が8割以上で他の年代に比べ高くなっている。「携帯電話やスマートフォン、ゲーム機を利用する際の家庭でのルールづくり」は女性の30代（64.4%）が6割台半ば、「青少年に対する、トラブルが起こった際の対処方法についての啓発」では女性の20代（54.8%）、40代（54.2%）、男性の50代（53.3%）が5割台半ばで他の年代に比べ高くなっている。「青少年が利用しやすいフィルタリングソフトの開発」は男女の30代（男性56.6%、女性56.8%）、女性の40代（53.6%）が5割台半ばで他の年代に比べ高くなっている。

（図表8—4）

＜図表８－４＞インターネット利用の危険性から青少年を守るために必要なこと

／地域別、性・年代別

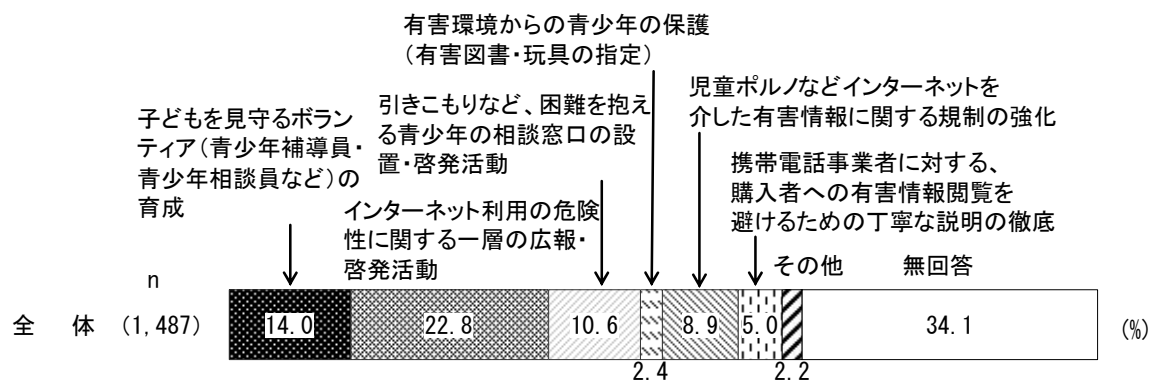


(3) 青少年の健全育成のために、行政が取り組むべきこと

◇「インターネット利用の危険性に関する一層の広報・啓発活動」が2割を超える

問 29 青少年の健全育成のために、行政が取り組むべきことは何だと思いますか。(○は1つ)

＜図表 8－5＞青少年の健全育成のために、行政が取り組むべきこと



青少年の健全育成のために、行政が取り組むべきことを聞いたところ、「インターネット利用の危険性に関する一層の広報・啓発活動」(22.8%)が2割を超えて最も高く、以下「子供を見守るボランティア(青少年補導員・青少年相談員など)の育成」(14.0%)、「引きこもりなど、困難を抱える青少年の相談窓口の設置・啓発活動」(10.6%)と続いている。(図表 8－5)

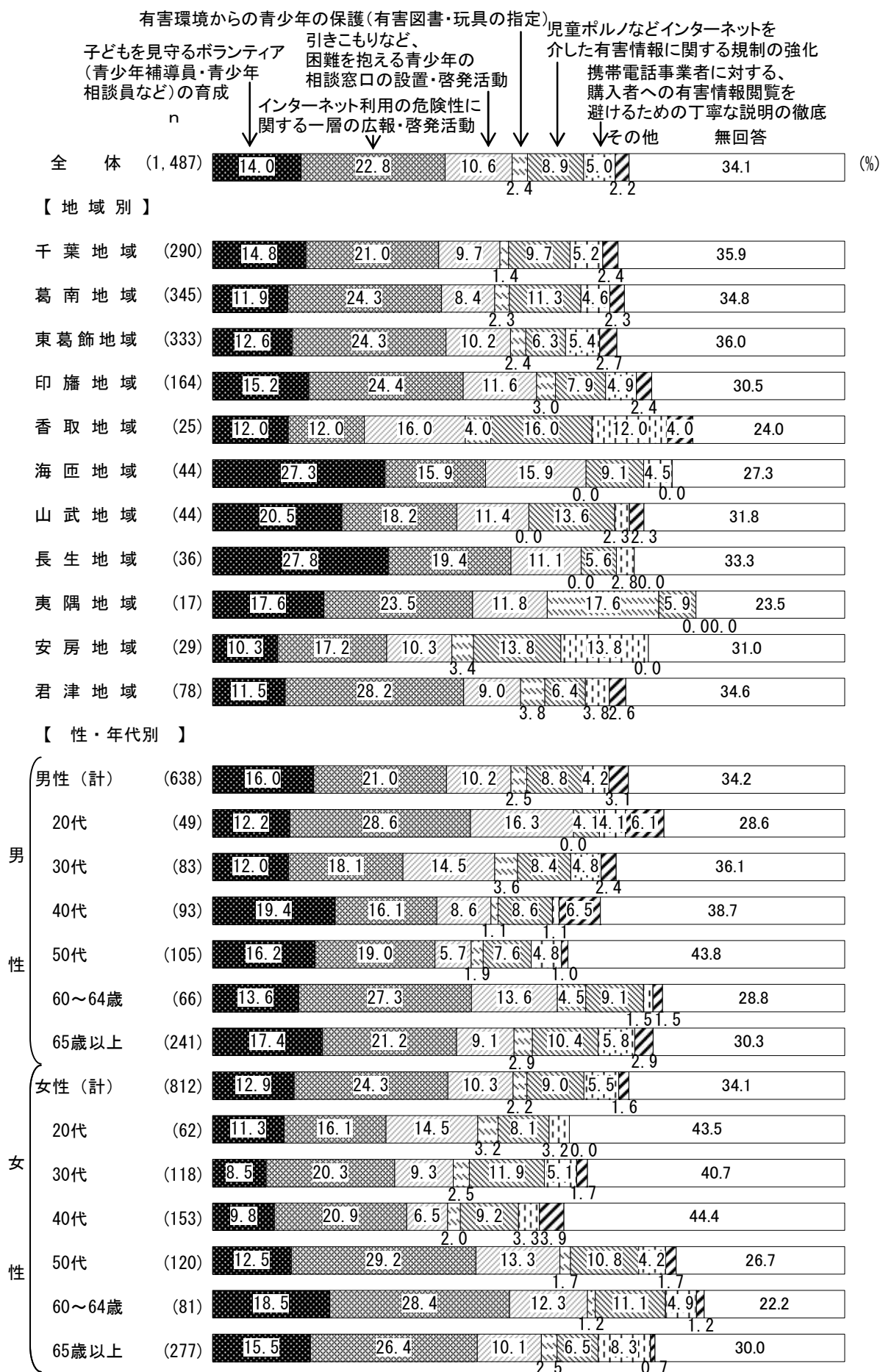
【地域別】

地域別にみると、「インターネット利用の危険性に関する一層の広報・啓発活動」は“君津地域”(28.2%)が約3割で他の地域に比べ高くなっている。「子供を見守るボランティア(青少年補導員・青少年相談員など)の育成」は“長生地域”(27.8%)、“海匠地域”(27.3%)が約3割で、「引きこもりなど、困難を抱える青少年の相談窓口の設置・啓発活動」では“香取地域”(16.0%)、“海匠地域”(15.9%)が1割台半ばで他の地域に比べ高くなっている。(図表 8－6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「インターネット利用の危険性に関する一層の広報・啓発活動」は女性の50代(29.2%)、男女の60～64歳(男性27.3%、女性28.4%)、男性の20代(28.6%)が約3割で他の年代に比べ高くなっている。「子供を見守るボランティア(青少年補導員・青少年相談員など)の育成」は男性の40代(19.4%)、65歳以上(17.4%)、女性の60～64歳(18.5%)が約2割、「引きこもりなど、困難を抱える青少年の相談窓口の設置・啓発活動」では男性の20代(16.3%)、30代(14.5%)、60～64歳(13.6%)、女性の20代(14.5%)、50代(13.3%)が1割台半ばで他の年代に比べ高くなっている。(図表 8－6)

＜図表８－６＞青少年の健全育成のために、行政が取り組むべきこと／地域別、性・年代別



このほかに、「青少年の健全育成について」やここまでの質問（問27～問29）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、151人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「青少年の健全育成について」の自由回答（抜粋）

- 漠然とした注意喚起では、今の青少年には通用しないと思うので、どのようなことが法に触れ、どのような処罰の対象となるのかなど、当事者性を持たせた具体的な説明が必要だと思います。
(女性・20代・千葉地域)
- 例えばSNSにおいて、既読の表示機能があるが為に、「読んだのに返信がない」とか、子供達の間でいじめにつながる現象が多くなっています。家庭での教育も重要ですが、学校や社会からのバックアップも必要だと思います。(男性・40代・葛南地域)
- 学校でインターネットに関する知識、危険性を包み隠さず教えてほしい。
(女性・40代・東葛飾地域)
- 有害なものから遠ざけるだけでなく、そういったものを「選択しない」力を子供に身につけさせるべきと考える。(男性・40代・千葉地域)
- インターネットなどにアクセス、利用が低年齢化している。フィルタリングの強化（子供用に）。
(女性・65歳以上・東葛飾地域)
- 早いうちから「自分の身は自分で守る」ということを意識させ、しかしながら危険に遭遇してしまった時にはどうすればよいか、大人が対処法を伝え、対処法やリスクを自ら学習させ、感じさせ、大人は守るだけでなく、伝えていく、学習させる、感じさせるということをさせるとよいと思う。(女性・30代・東葛飾地域)
- 人間は多少のトラブルを乗り越えて育つと思います。トラブルにあわない対策よりも、トラブル時の対処法を教える方が大事だと思います。(女性・65歳以上・葛南地域)
- 我が家にも中学生と大学生がいます。共にスマートフォンを使用しています。使用時間も1日通算すれば2時間程度利用しています。それぞれの友人達も似たり寄ったりのような気がします。それに気をとられ、食事時や勉強にも集中出来ない事もあり、大きな問題な気がします。社会として何かできることはないのでしょうか？ もちろん家庭でも考えていきます。
(女性・40代・千葉地域)
- 家庭内での十分な話し合いが重要。トラブルの危険性を理解していない親が多いように感じます。
(女性・30代・葛南地域)
- 青少年だけでなく大人に対するインターネット利用のマナー、注意点の啓発が必要。
(男性・50代・印旛地域)

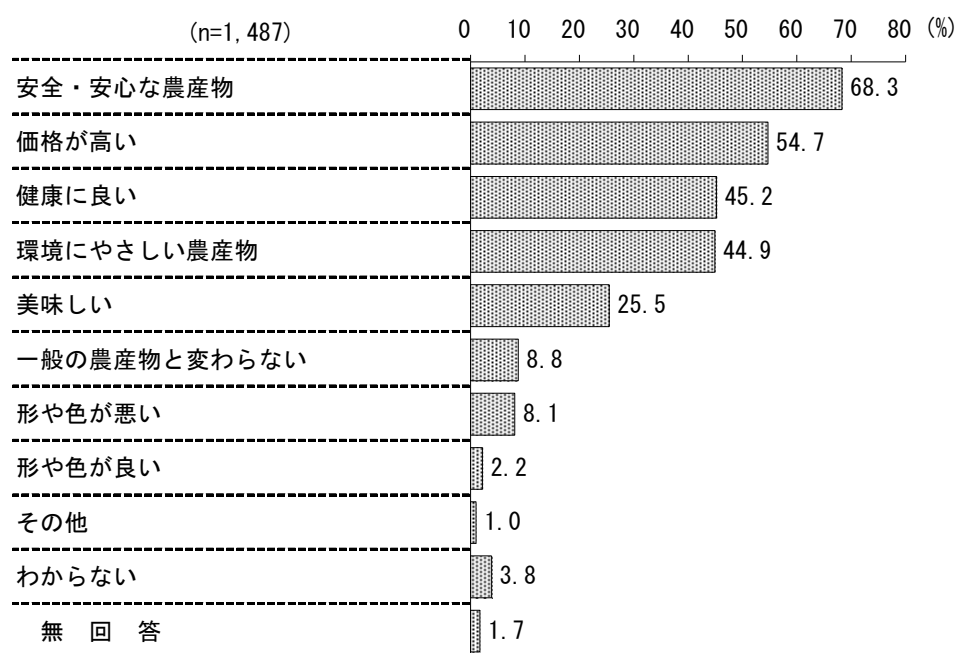
9. 有機農業について

(1) 有機農業の農産物に対するイメージ

◇「安全・安心な農産物」が約7割

問 30 あなたは有機農業により生産される農産物に対してどのようなイメージを持っていますか。(〇はいくつでも)

＜図表 9－1＞有機農業の農産物に対するイメージ



有機農業により生産される農産物に対するイメージを聞いたところ、「安全・安心な農産物」(68.3%)が約7割で最も高くなっている。以下、「価格が高い」(54.7%)、「健康に良い」(45.2%)、「環境にやさしい農産物」(44.9%)と続いている。(図表 9－1)

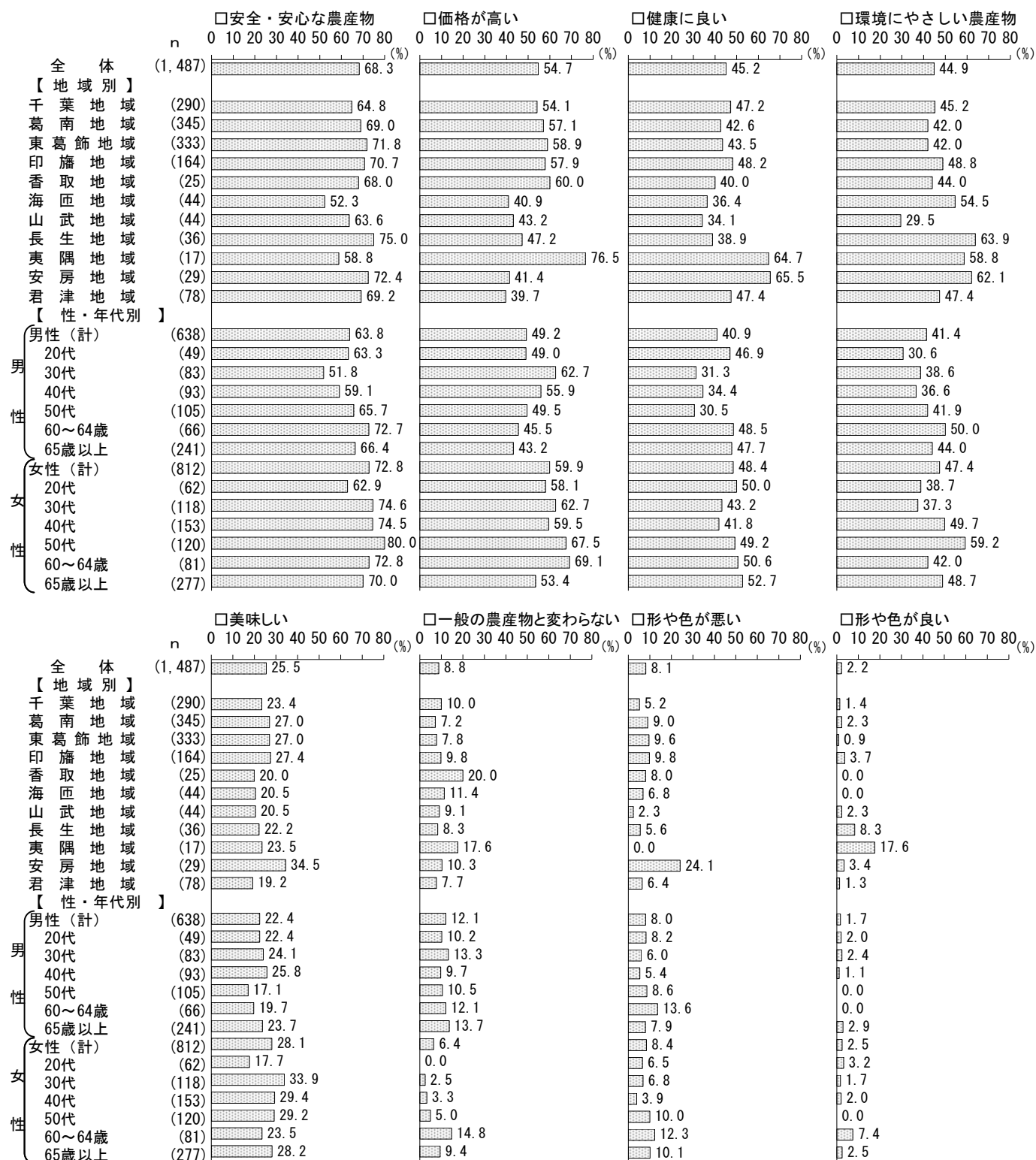
【地域別】

地域別にみると、「安全・安心な農産物」は“長生地域”(75.0%)、“安房地域”(72.4%)、“東葛飾地域”(71.8%)、“印旛地域”(70.7%)が7割以上で他の地域に比べて高くなっている。「価格が高い」は“夷隅地域”(76.5%)が7割台半ば、「健康に良い」では“安房地域”(65.5%)、“夷隅地域”(64.7%)が6割台半ばで他の地域に比べ高くなっている。「環境にやさしい農産物」は“長生地域”(63.9%)、“安房地域”(62.1%)が6割以上で他の地域に比べて高くなっている。(図表 9－2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「安全・安心な農産物」は女性の50代(80.0%)が8割、「価格が高い」では女性の60～64歳(69.1%)、50代(67.5%)が約7割で他の年代に比べて高くなっている。「健康に良い」は女性の65歳以上(52.7%)が5割を超え、「環境にやさしい農産物」では女性の50代(59.2%)が約6割で他の年代に比べて高くなっている。(図表 9－2)

＜図表９－２＞有機農業の農産物に対するイメージ／地域別、性・年代別



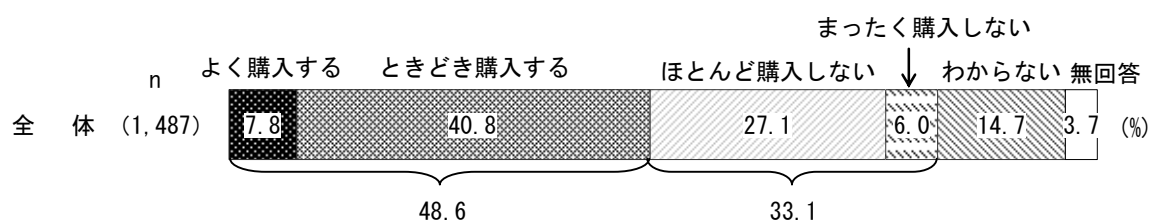
(2) 有機農業の農産物購入頻度

◇『購入する』が約5割

問 31 あなたはどのくらいの頻度で有機農業により生産される農産物を購入しますか。

(○は1つ)

<図表 9－3>有機農業の農産物購入頻度



有機農業により生産される農産物の購入頻度を聞いたところ、「よく購入する」(7.8%)と「ときどき購入する」(40.8%)を合わせた『購入する』(48.6%)は約5割となっている。一方「ほとんど購入しない」(27.1%)と「まったく購入しない」(6.0%)を合わせた『購入しない』(33.1%)は3割台半ばとなっている。(図表 9－3)

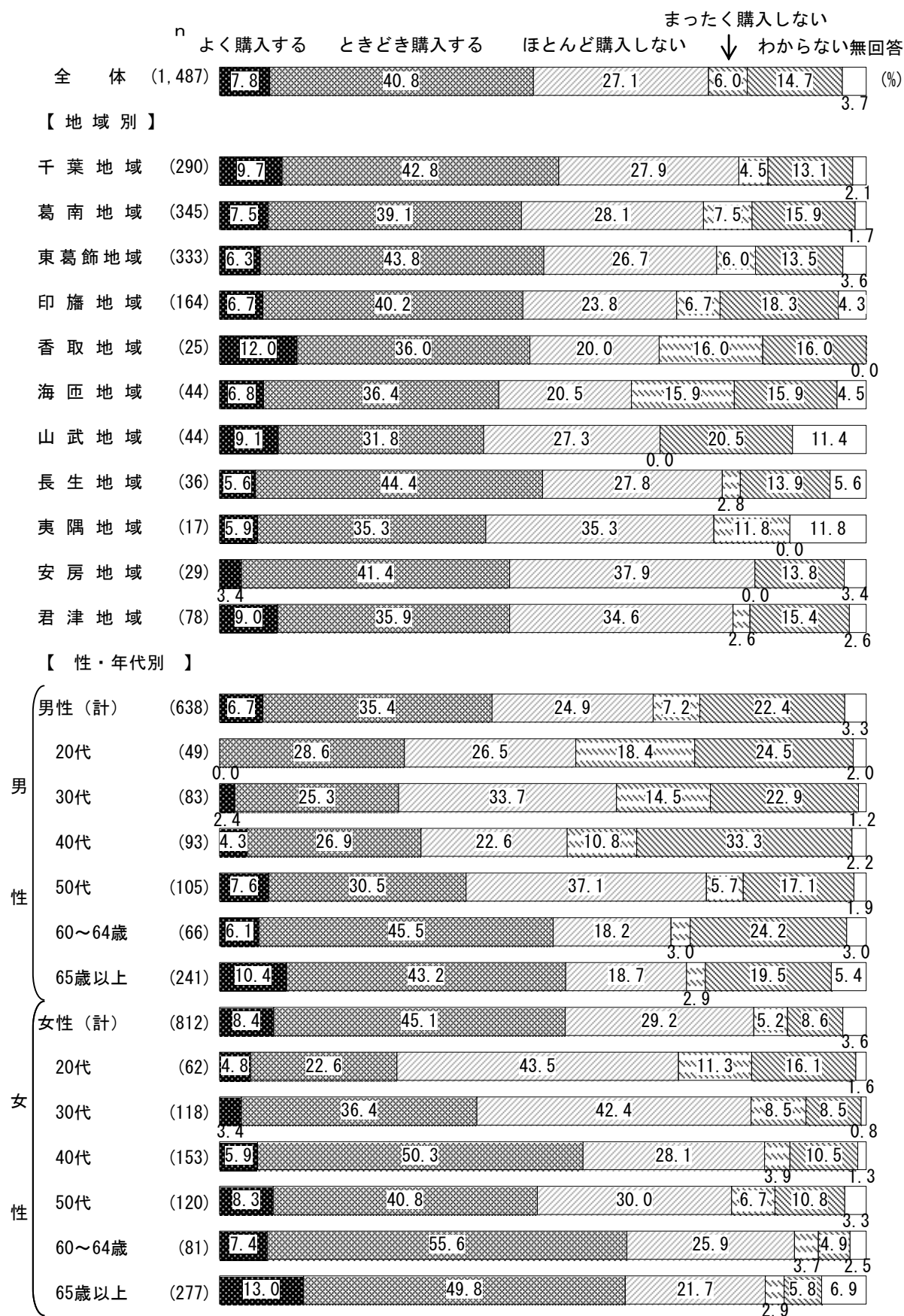
【地域別】

地域別にみると、『購入する』は“千葉地域”(52.4%)、“東葛飾地域”(50.2%)、“長生地域”(50.0%)が5割以上で他の地域に比べて高くなっている。(図表 9－4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『購入する』は女性の60～64歳(63.0%)、65歳以上(62.8%)が6割以上で他の年代に比べて高くなっている。(図表 9－4)

<図表 9-4>有機農業の農産物購入頻度／地域別、性・年代別



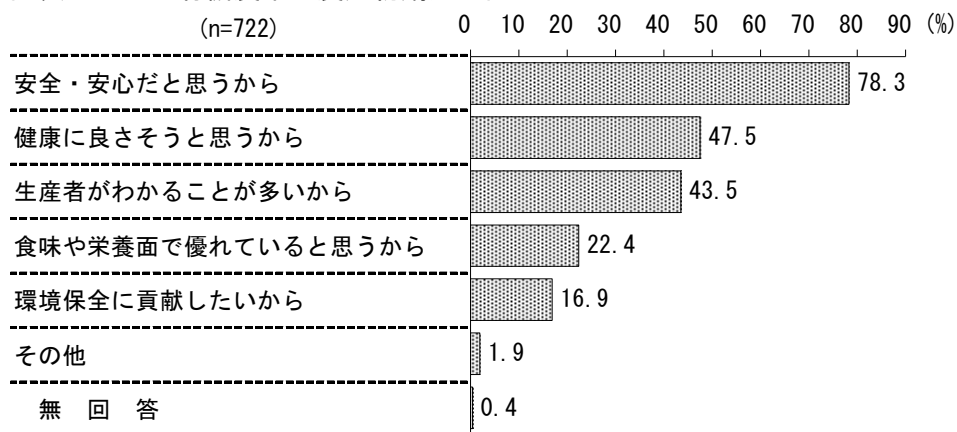
(3) 有機農業の農産物購入理由

◇「安全・安心だと思うから」が約8割

(問 31 で「よく購入する」「ときどき購入する」とお答えの方に)

問 32 あなたが有機農業により生産される農産物を購入する理由は何ですか。(○はいくつでも)

<図表 9－5> 有機農業の農産物購入理由



有機農業により生産される農産物を「よく購入する」「ときどき購入する」と回答した722人に、有機農業により生産される農産物を購入する理由を聞いたところ、「安全・安心だと思うから」(78.3%)が約8割で最も高く、以下「健康に良さそうと思うから」(47.5%)、「生産者がわかることが多いから」(43.5%)と続いている。(図表 9－5)

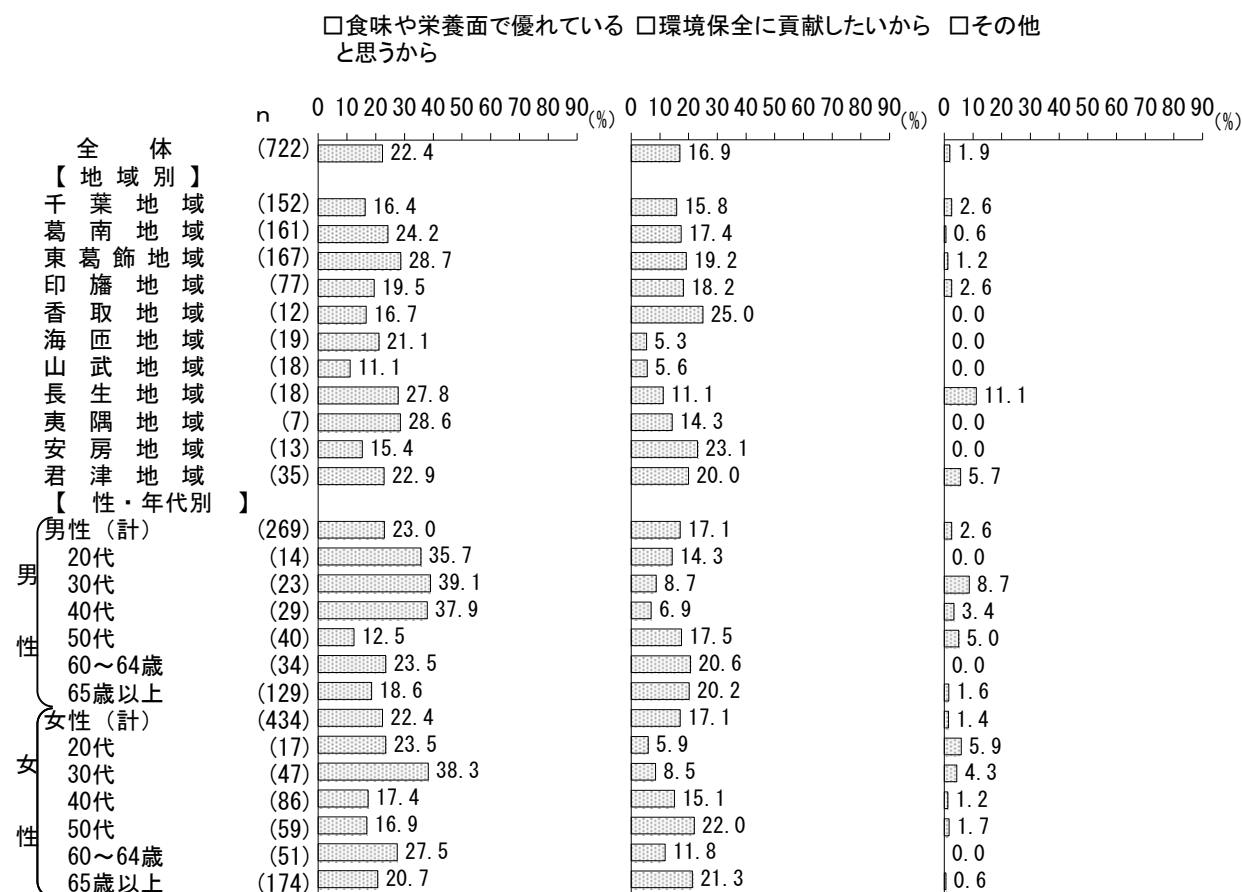
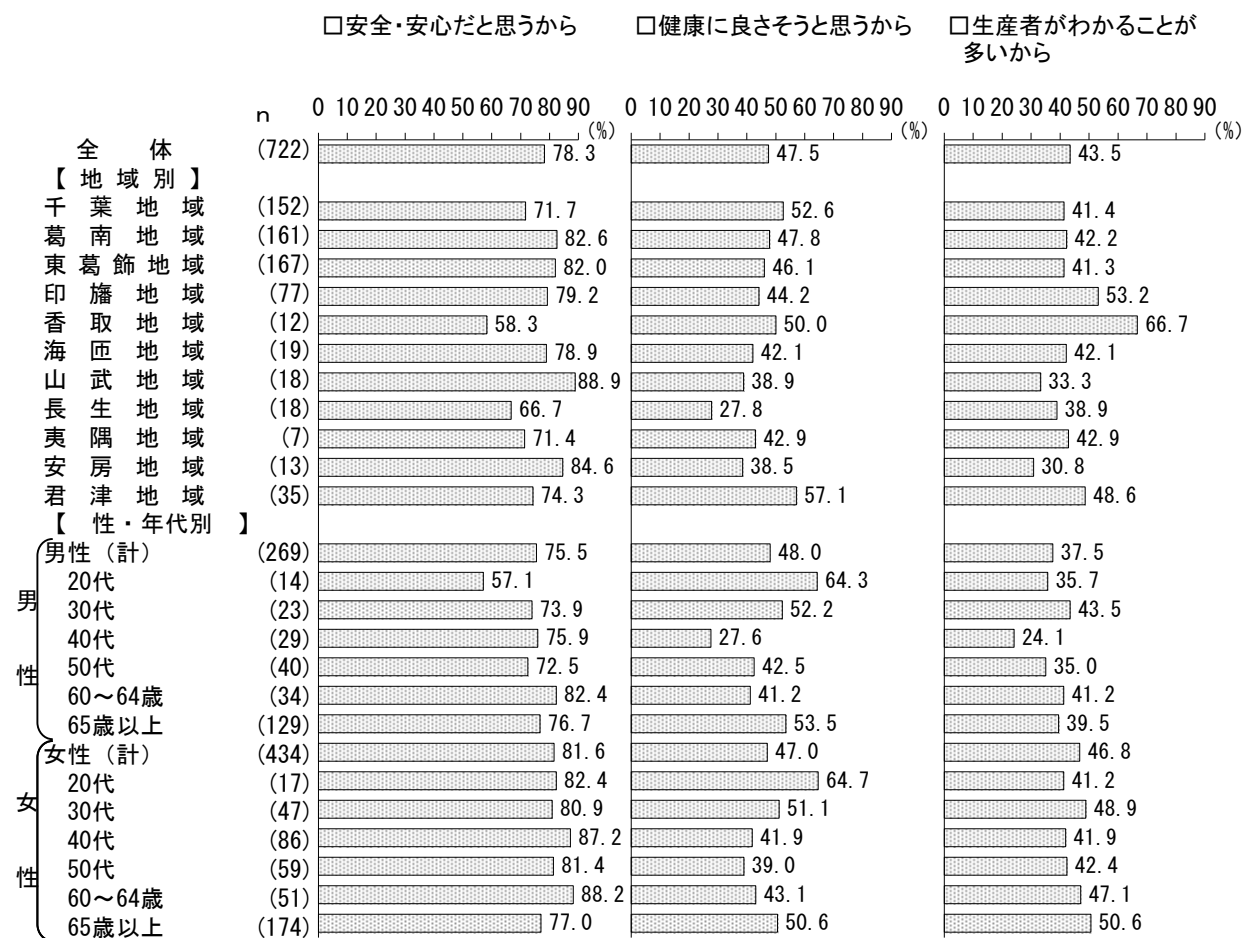
【地域別】

地域別にみると、「安全・安心だと思うから」は“山武地域”(88.9%)が約9割、「健康に良さそうと思うから」では“君津地域”(57.1%)が約6割で他の地域に比べて高くなっている。「生産者がわかることが多いから」では“香取地域”(66.7%)が6割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。(図表 9－6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「安全・安心だと思うから」は女性の60～64歳(88.2%)、40代(87.2%)が約9割、「健康に良さそうと思うから」では男女の20代(男性64.3%、女性64.7%)が他の年代に比べて高くなっている。「生産者がわかることが多いから」は女性の65歳以上(50.6%)が5割で他の年代に比べて高くなっている。(図表 9－6)

<図表 9-6>有機農業の農産物購入理由／地域別、性・年代別

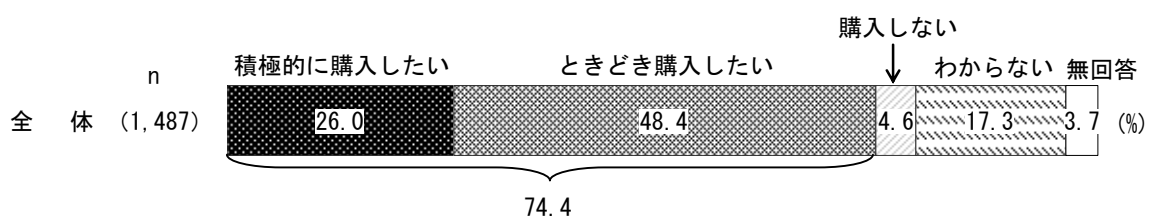


(4) 有機農業の農産物 今後の購入意向

◇『購入したい』が7割台半ば

問 33 あなたは、今後、有機農業により生産される農産物を購入したいと思いますか。(○は1つ)

<図表 9－7>有機農業の農産物 今後の購入意向



有機農業により生産される農産物の今後の購入意向を聞いたところ、「積極的に購入したい」(26.0%)、「ときどき購入したい」(48.4%)を合わせた『購入したい』(74.4%)が7割台半ばとなっている。(図表 9－7)

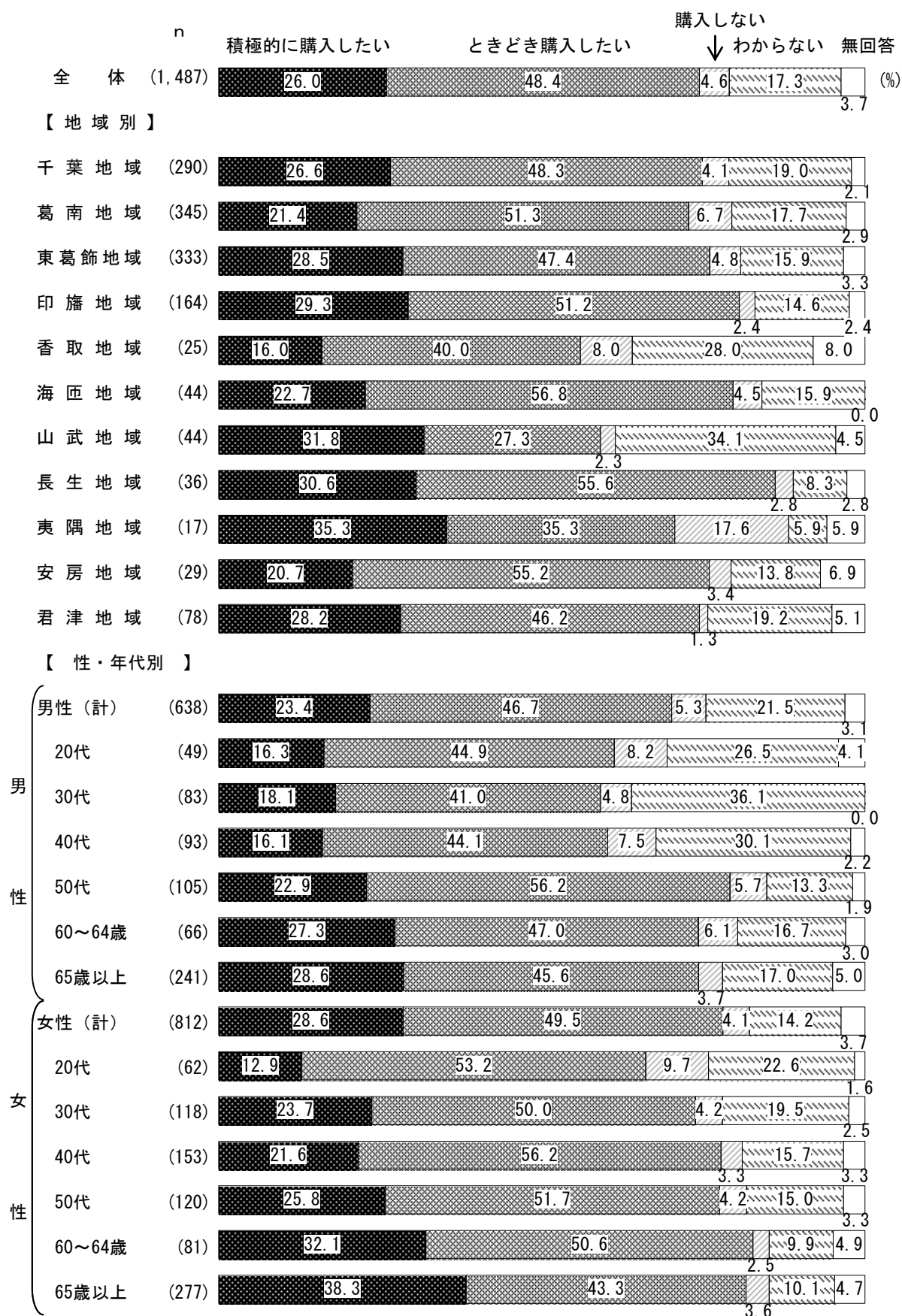
【地域別】

地域別にみると、『購入したい』は“長生地域”(86.1%)が8割台半ばで他の地域に比べ高くなっている。(図表 9－8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『購入したい』は女性の60～64歳(82.7%)、65歳以上(81.6%)が8割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表 9－8)

<図表 9-8>有機農業の農産物 今後の購入意向／地域別、性・年代別



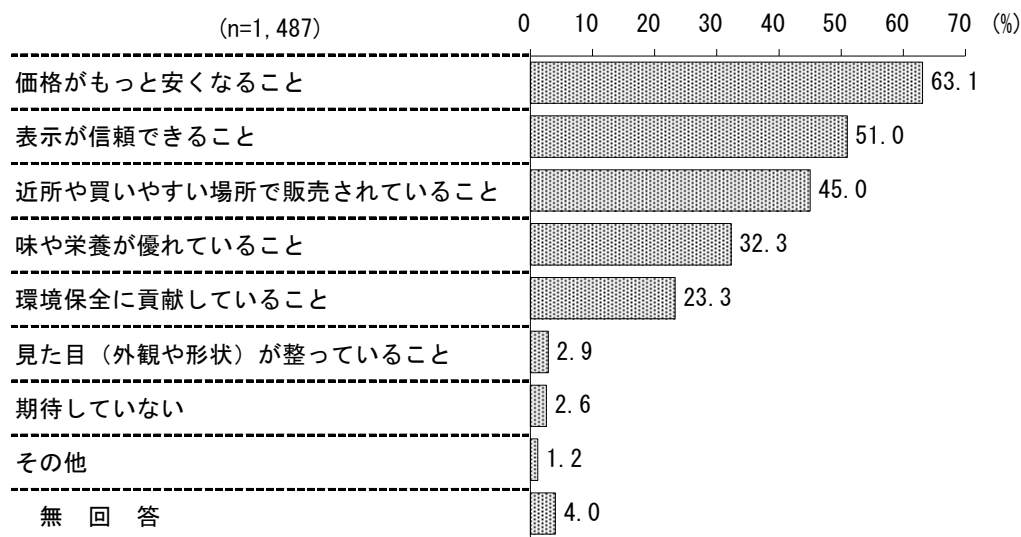
（５）有機農業の農産物に今後期待すること

◇「価格がもっと安くなること」が６割台半ば

問 34 あなたは、今後、有機農業により生産される農産物について主に何を期待しますか。

（○はいくつでも）

＜図表 9－9＞有機農業の農産物に今後期待すること



有機農業により生産される農産物に今後期待することを聞いたところ、「価格がもっと安くなること」（63.1%）が６割台半ばで最も高く、以下「表示が信頼できること」（51.0%）、「近所や買いやすい場所で販売されていること」（45.0%）と続いている。（図表 9－9）

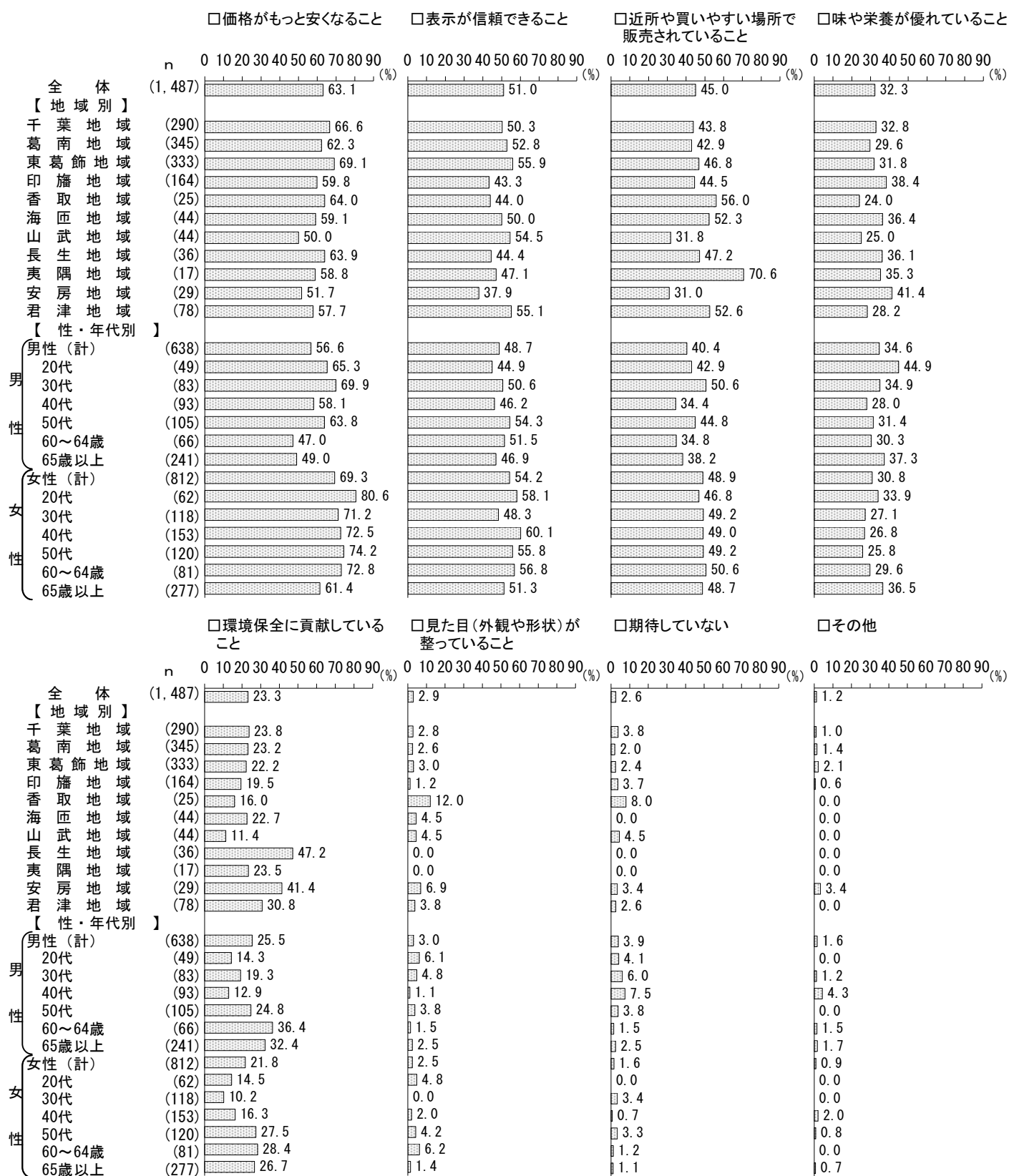
【地域別】

地域別にみると、「価格がもっと安くなること」は“東葛飾地域”（69.1%）が約７割で他の地域に比べて高くなっている。「表示が信頼できること」では“東葛飾地域”（55.9%）、“君津地域”（55.1%）、“山武地域”（54.5%）が５割台半ば、「近所や買いやすい場所で販売されていること」は“夷隅地域”（70.6%）が７割で他の地域に比べて高くなっている。（図表 9－10）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「価格がもっと安くなること」は女性の20代（80.6%）が８割、「表示が信頼できること」では女性の40代（60.1%）が６割で他の年代に比べ高くなっている。「近所や買いやすい場所で販売されていること」では男性の30代、女性の60～64歳（ともに50.6%）が５割で他の年代に比べて高くなっている。（図表 9－10）

＜図表９－１０＞有機農業の農産物に今後期待すること／地域別、性・年代別



このほかに、「有機農業について」やここまでの質問（問30～問34）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、131人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「有機農業について」の自由回答（抜粋）

- 安全であるとの印象が一番ある。ただ、価格の面で購入しづらい。様々な業態からの農業参入で、価格の面での改善があれば買いたい。（男性・40代・葛南地域）
- 価格がもっと安くても良いのでは？ 有機農業に行政から補助しても良いのでは？（女性・20代）
- 肉、魚、野菜を問わず、千葉県は食材に恵まれていて、それ程不満はない。有機農業には賛成だが、歩いて行ける場所で買えないため、利用頻度はそれ程高くない。（男性・40代・葛南地域）
- 生産者側の手間を考えると価格が高くなるのはわかるが、毎日のことになると買う側にはまだ価格の安い物を購入してしまう。（男性・50代・東葛飾地域）
- 完全な有機農業ができるのか疑問。自家用野菜を作っていますが、有機農業はとても大変だと思います。形も色も美しいきれいな野菜が全く消毒をしていないというのは少し不信を持っています。（女性・60～64歳・長生地域）
- 有機野菜の特長をもっとアピールしてもらいたい。スーパーなどで試食販売したり、有機野菜をおいしく食べるレシピなど紹介してほしいです。（女性・40代・安房地域）
- 安全安心な食物が、今ほど必要とされている時はありません。輸入に頼らず、自給率を高める工夫が、政治に求められています。（女性・65歳以上・東葛飾地域）
- 栽培者と消費者の間に本当に信頼関係があることが大切。上述がクリアできれば、余裕のある時は購入すると思う。（女性・65歳以上・長生地域）
- 生産者が増える事を望む。（男性・60～64歳・山武地域）
- 見た目は悪くても体にやさしいと思うし、農業でも、環境にやさしく出来る事でもある。
（男性・65歳以上・東葛飾地域）
- 有機農業は素晴らしいと思うが、全部をそうすることは不可能ではないか。出来るだけ有機で、不ぞろいのもので使うという意識を持ちたいと思う。（女性・65歳以上・東葛飾地域）
- 有機農業による農産物でなくても、健康や環境保全に害をなさなければ、あまりこだわる必要はないと考えます。（男性・60～64歳・印旛地域）

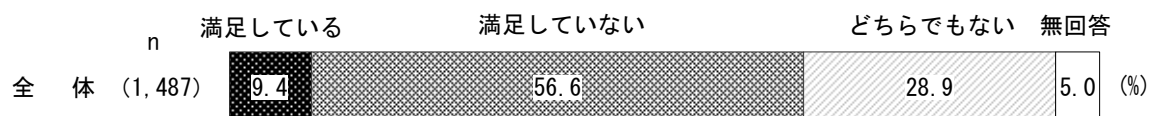
10. 道路整備について

(1) 県内の道路整備状況の満足度

◇「満足していない」が5割台半ば

問 35 あなたは、千葉県内の道路状況について、満足していますか。(○は1つ)

<図表 10－1> 県内の道路整備状況の満足度



千葉県内の道路状況について、満足しているか聞いたところ、「満足していない」(56.6%)が5割台半ばとなっている。一方「満足している」(9.4%)は約1割となっている。(図表10－1)

【地域別】

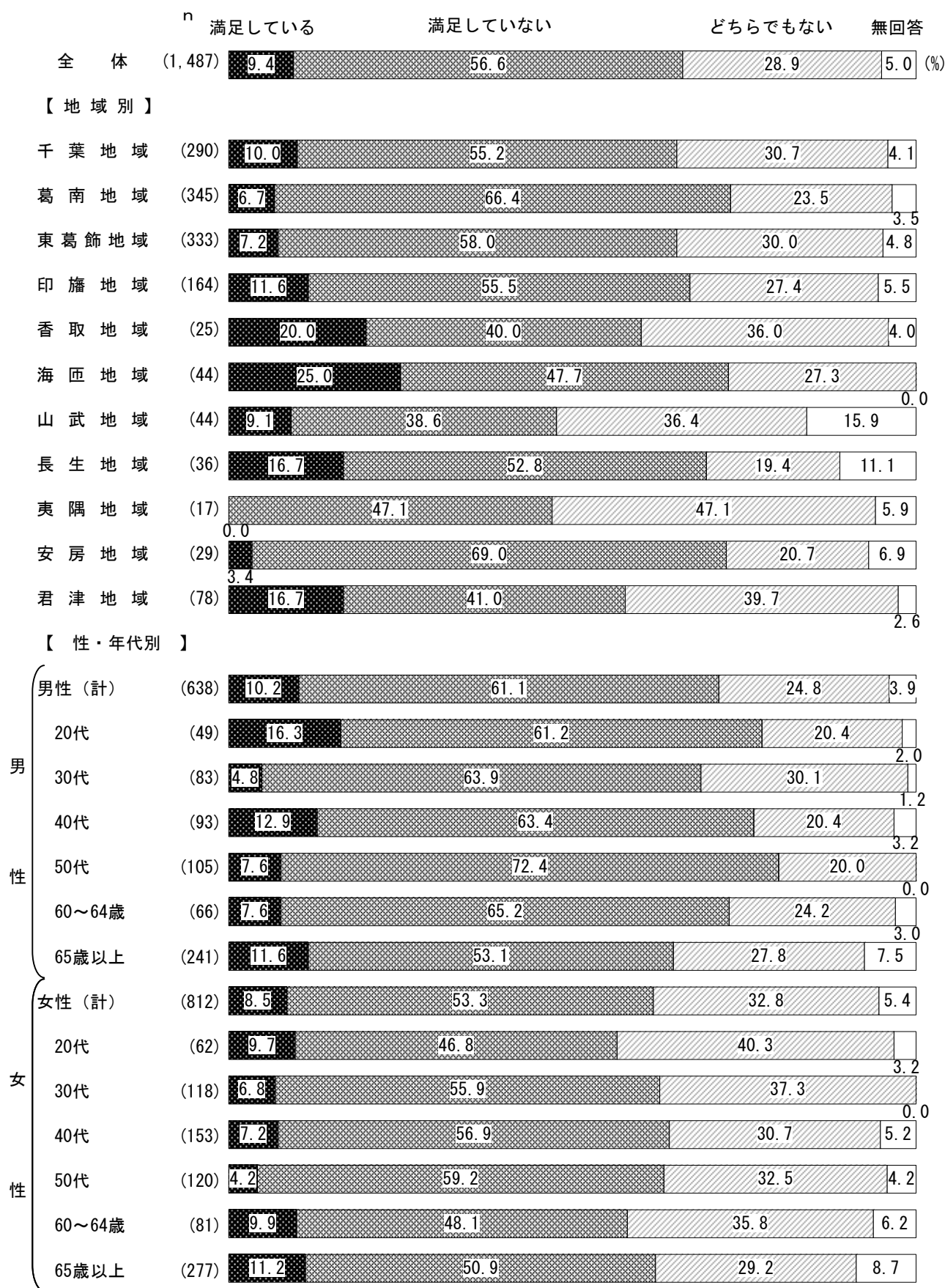
地域別にみると、「満足していない」では“安房地域”(69.0%)が約7割で最も高くなっている。「満足している」は“海匝地域”(25.0%)が2割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。

(図表10－2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「満足していない」は男性の50代(72.4%)が7割を超えて他の年代に比べて高くなっている。「満足している」では男性の20代(16.3%)が1割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表10－2)

＜図表 10－2＞県内の道路整備状況 満足度／地域別、性・年代別

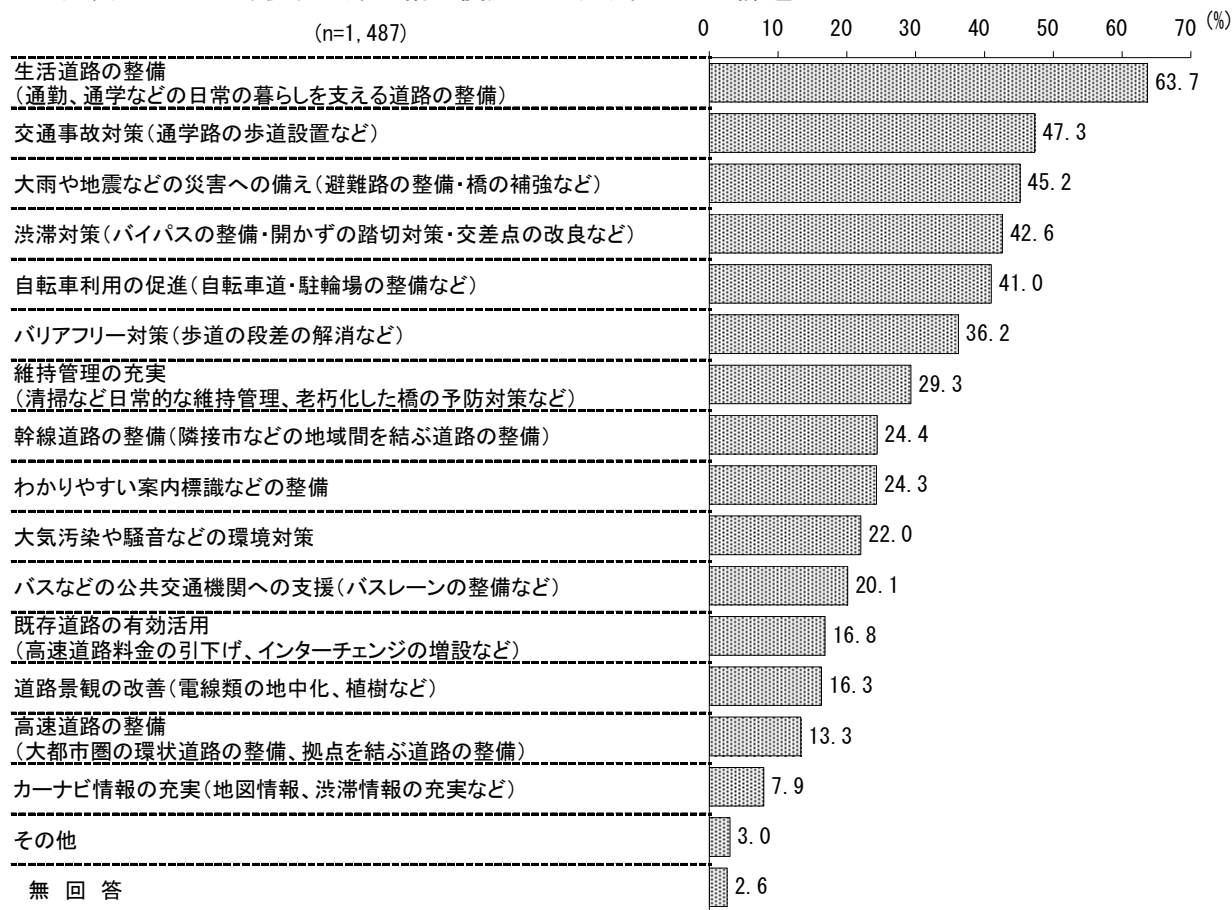


(2) 今後、道路整備で優先的に取り組むべき課題

◇「生活道路の整備（通勤、通学などの日常の暮らしを支える道路の整備）」が6割台半ば

問 36 あなたは、今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題は何だと思いますか。
(○はいくつでも)

<図表 10－3> 今後、道路整備で優先的に取り組むべき課題



今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題を聞いたところ、「生活道路の整備（通勤、通学などの日常の暮らしを支える道路の整備）」（63.7%）が6割台半ばで最も高く、以下「交通事故対策」（47.3%）、「大雨や地震などの災害への備え（避難路の整備・橋の補強など）」（45.2%）、「渋滞対策（バイパスの整備・開かずの踏み切り対策・交差点の改良など）」（42.6%）、「自転車利用の促進（自転車道・駐輪場の整備など）」（41.0%）と続いている。（図表10－3）

【地域別】

地域別にみても、「生活道路の整備（通勤、通学などの日常の暮らしを支える道路の整備）」は“香取地域”（80.0%）が8割、「交通事故対策」も“香取地域”（64.0%）で6割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。「大雨や地震などの災害への備え（避難路の整備・橋の補強など）」は“海匝地域”（54.5%），“君津地域”（53.8%）が5割台半ば、「渋滞対策（バイパスの整備・開かずの踏み切り対策・交差点の改良など）」では“印旛地域”（52.4%）が5割を超え、他の地域に比べて高くなっている。「自転車利用の促進（自転車道・駐輪場の整備など）」は“東葛飾地域”（47.1%）が約5割で

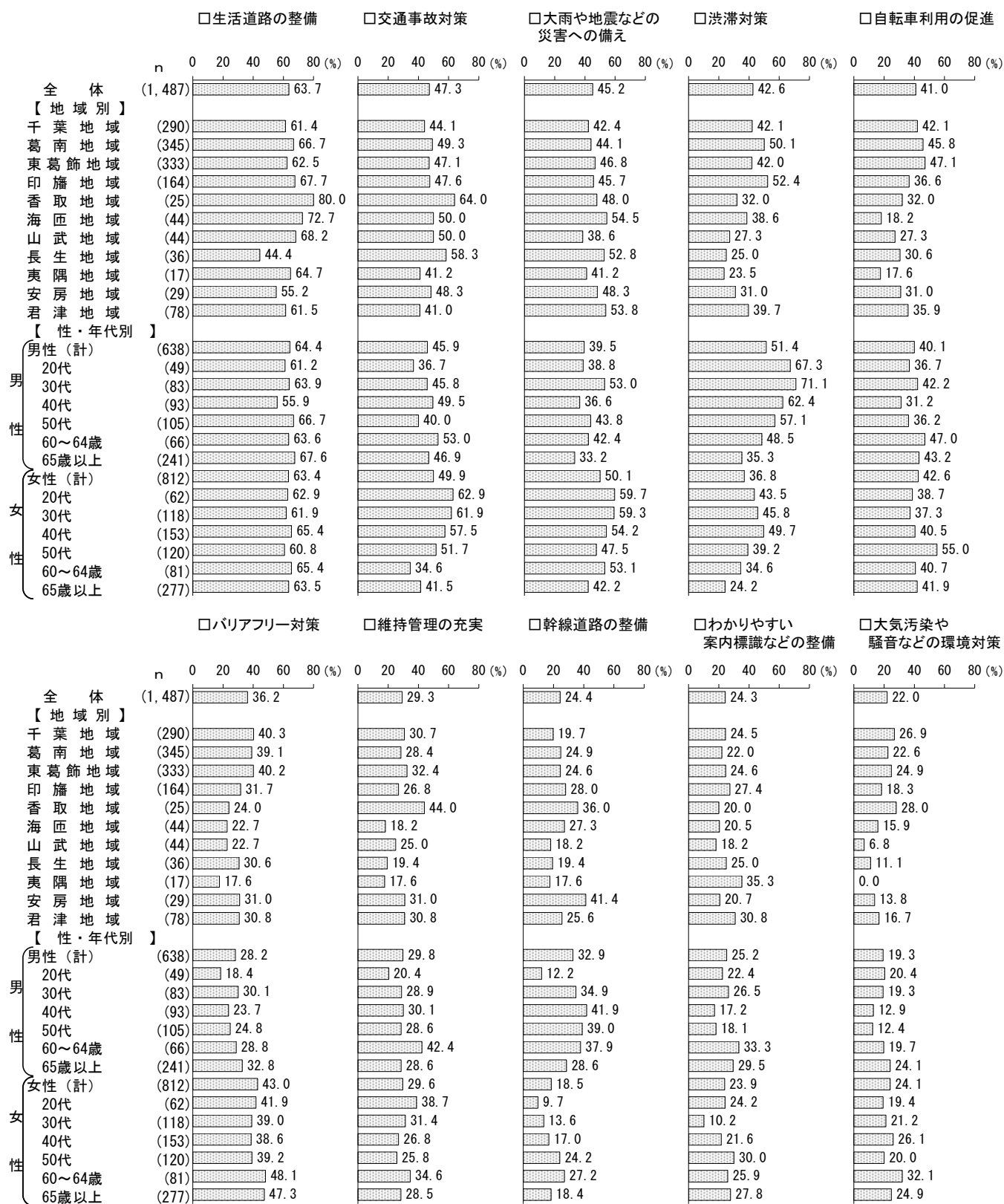
他の地域に比べて高くなっている。(図表10—4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「生活道路の整備（通勤、通学などの日常の暮らしを支える道路の整備）」は男性の65歳以上（67.6%）が約7割で他の年代に比べて高くなっている。「交通事故対策」は女性の20代（62.9%）、30代（61.9%）が6割を超え、「大雨や地震などの災害への備え（避難路の整備・橋の補強など）」では女性の20代（59.7%）、30代（59.3%）が6割で他の年代に比べて高くなっている。

「渋滞対策（バイパスの整備・開かずの踏み切り対策・交差点の改良など）」は男性の30代（71.1%）が7割を超え、「自転車利用の促進（自転車道・駐輪場の整備など）」では女性の50代（55.0%）が5割台半ばで他の年代に比べ高くなっている。(図表10—4)

<図表 10-4> 今後、道路整備で優先的に取り組むべき課題／地域別、性・年代別

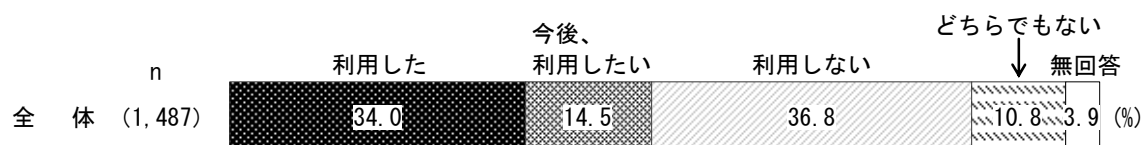


(3) 社会実験期間中の東京湾アクアライン 利用状況

◇「利用した」が3割台半ば

問 37 あなたは、今回の社会実験期間中（平成 21 年 8 月 1 日以後）に東京湾アクアラインを利用しましたか。または、利用したいと思いますか。（○は 1 つ）

＜図表 10－5＞社会実験期間中の東京湾アクアライン 利用状況



今回の社会実験期間中（平成21年8月1日以降）に、東京湾アクアラインを利用したか聞いたところ、「利用した」（34.0％）が3割台半ば、「今後利用したい」（14.5％）は1割台半ばとなっている。

（図表10—5）

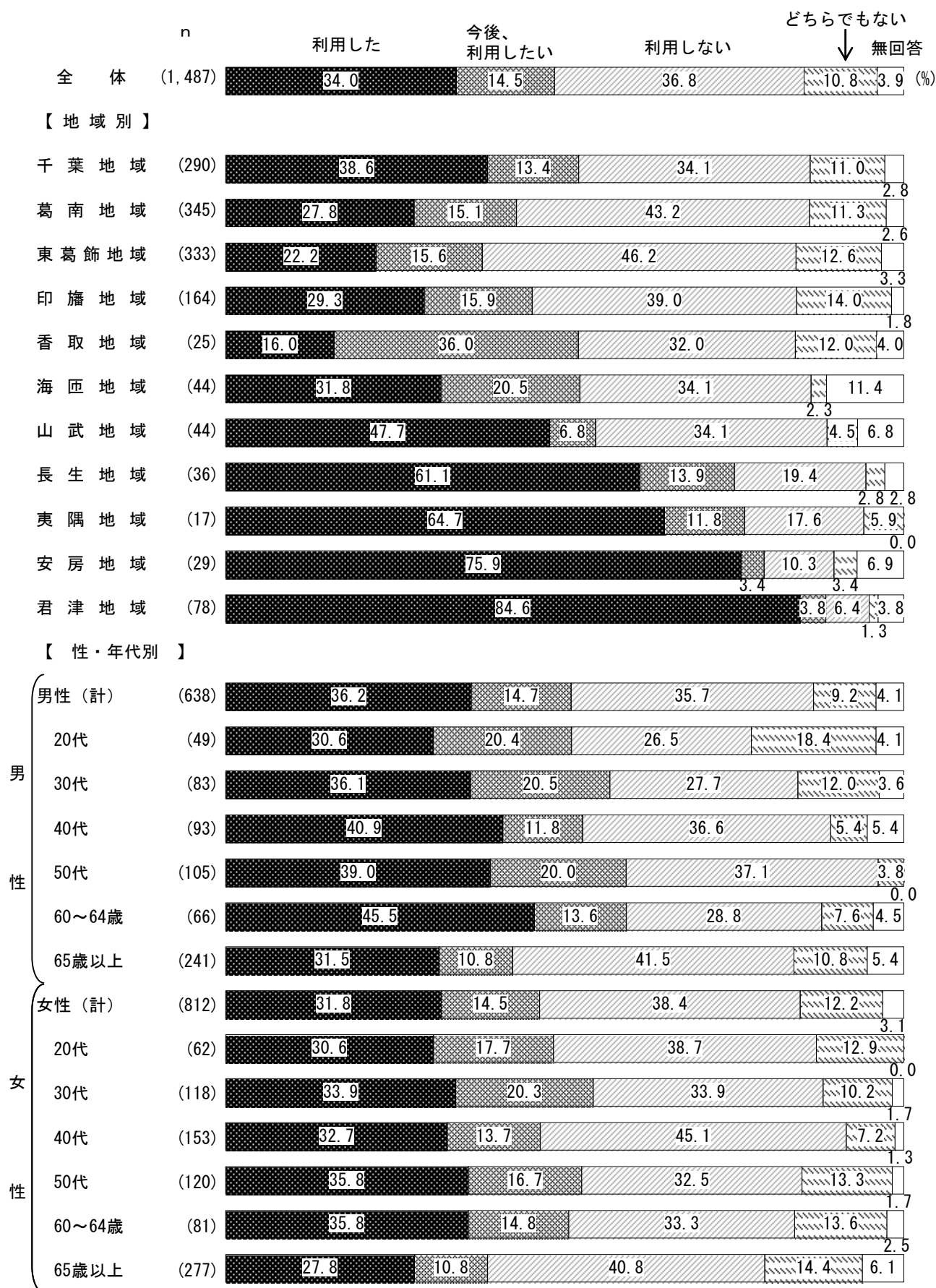
【地域別】

地域別にみると、「利用した」は“君津地域”（84.6％）が8割台半ば、“安房地域”（75.9％）が7割台半ば、“夷隅地域”（64.7％）が6割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。（図表10—6）

【性・年代別】

性・年代別にみると、男性の60～64歳（45.5％）が4割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。（図表10—6）

<図表 10-6>社会実験期間中の東京湾アクアライン 利用状況／地域別、性・年代別



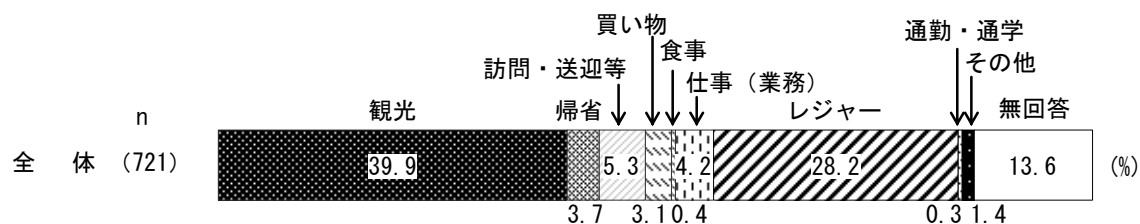
(4) 東京湾アクアラインを利用する目的

◇「観光」が約4割

(問37で「利用した」「今後、利用したい」とお答えの方に)

問38 あなたが、東京湾アクアラインを利用した(したい)主な目的は何ですか。(○は1つ)

<図表10-7>東京湾アクアラインを利用する主な目的



今回の社会実験期間中(平成21年8月1日以降)に、東京湾アクアラインを「利用した」「今後、利用したい」と回答した721人に、東京湾アクアラインを利用する主な目的を聞いたところ、「観光」(39.9%)が約4割、以下「レジャー」(28.2%)、「訪問・送迎」(5.3%)と続いている。

(図表10-7)

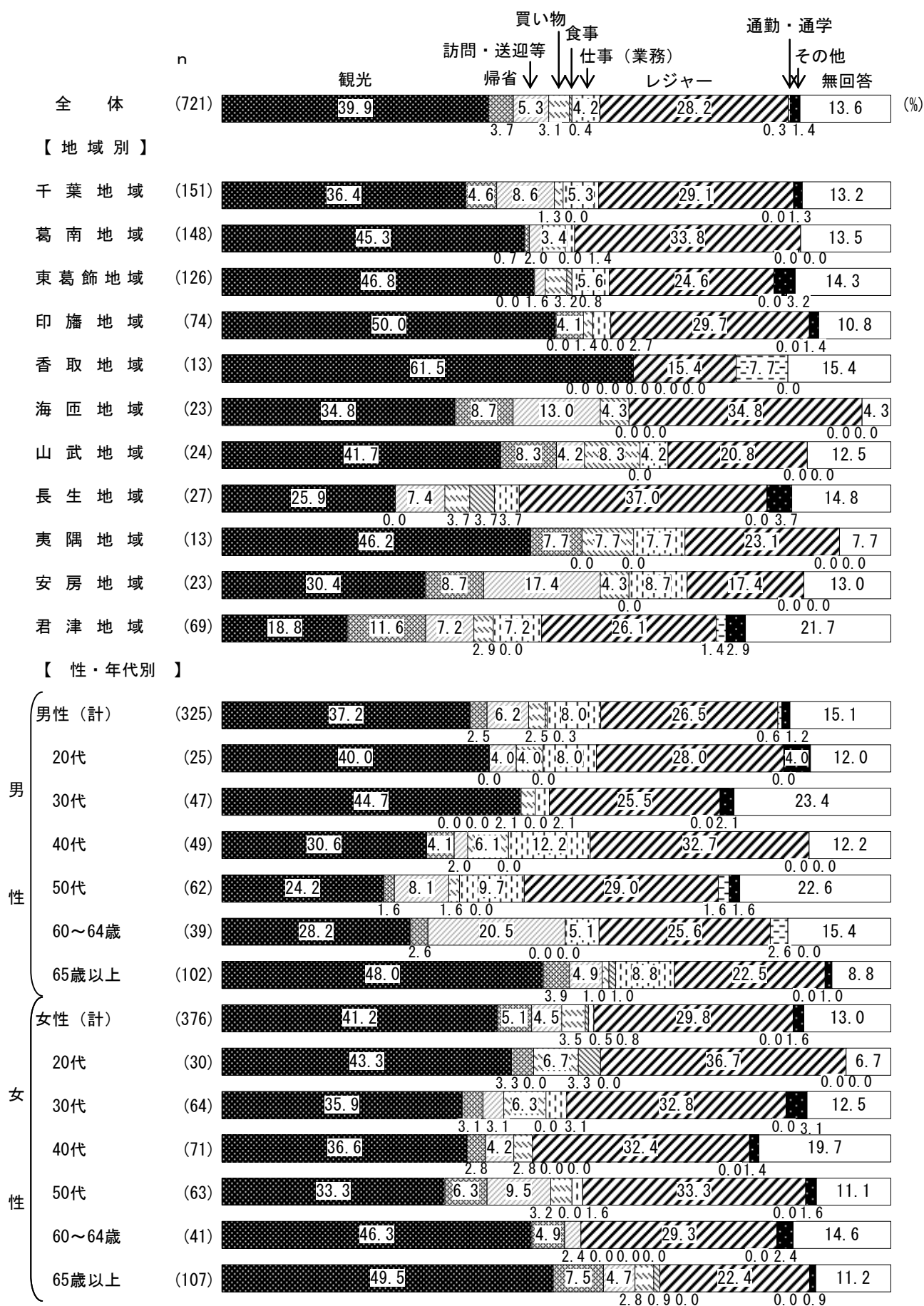
【地域別】

地域別にみると、「観光」は「香取地域」(61.5%)が6割を超え、「レジャー」では「長生地域」(37.0%)が約4割で他の地域に比べて高くなっている。(図表10-8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「観光」は男女の65歳以上(男性48.0%、女性49.5%)が他の年代に比べて高くなっている。「レジャー」では女性の20代(36.7%)、50代(33.3%)が3割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表10-8)

<図表 10-8> 東京湾アクアラインを利用する目的／地域別、性・年代別



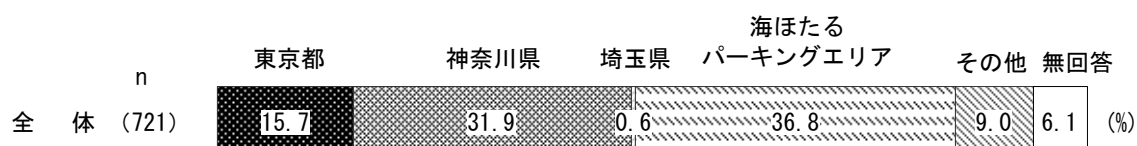
(5) 東京湾アクアラインを利用するときの目的地

◇「海ほたるパーキングエリア」が3割台半ば

(問 37 で「利用した」「今後、利用したい」とお答えの方に)

問 39 あなたが、東京湾アクアラインを利用した(したい) 主な目的地はどこですか。(○は1つ)

<図表 10－9>東京湾アクアラインを利用するときの目的地



今回の社会実験期間中(平成21年8月1日以降)に、東京湾アクアラインを「利用した」「今後、利用したい」と回答した721人に、東京湾アクアラインを利用時の主な目的地を聞いたところ、「海ほたるパーキングエリア」(36.8%)が3割台半ばで最も高く、以下「神奈川県」(31.9%)、「東京都」(15.7%)と続いている。(図表10－9)

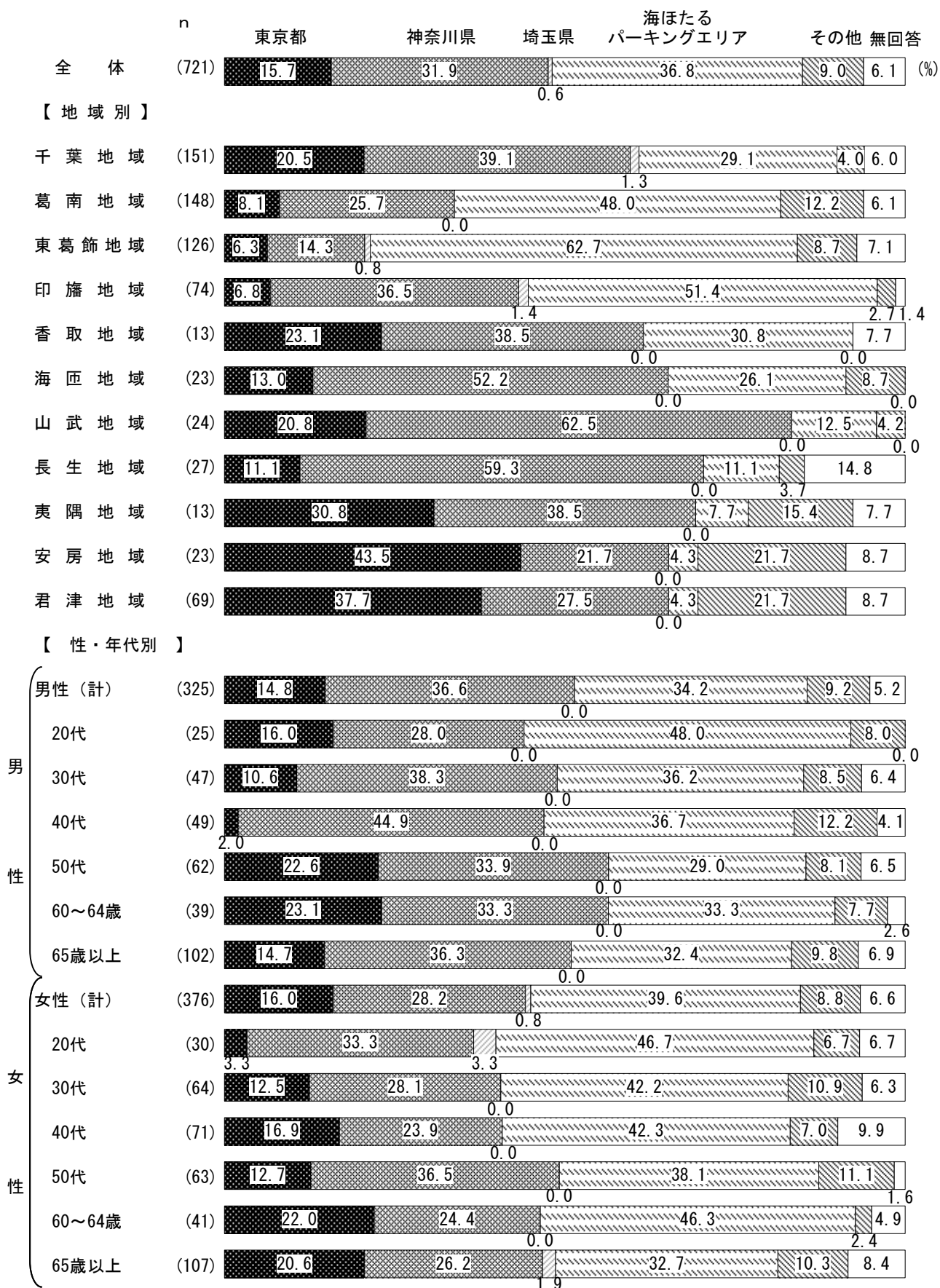
【地域別】

地域別にみると、「海ほたるパーキングエリア」は“東葛飾地域”(62.7%)が6割を超え、「神奈川県」では“山武地域”(62.5%)が6割を超えて他の地域に比べて高くなっている。「東京都」では“安房地域”(43.5%)が4割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。(図表10－10)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「海ほたるパーキングエリア」は男女の20代(男性48.0%、女性46.7%)が約5割、「神奈川県」では男性40代(44.9%)が4割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。「東京都」は男性の60～64歳(23.1%)、50代(22.6%)、女性の60～64歳(22.0%)、65歳以上(20.6%)が2割以上で他の年代に比べ高くなっている。(図表10－10)

<図表 10-10> 東京湾アクアラインを利用するときの目的地／地域別、性・年代別



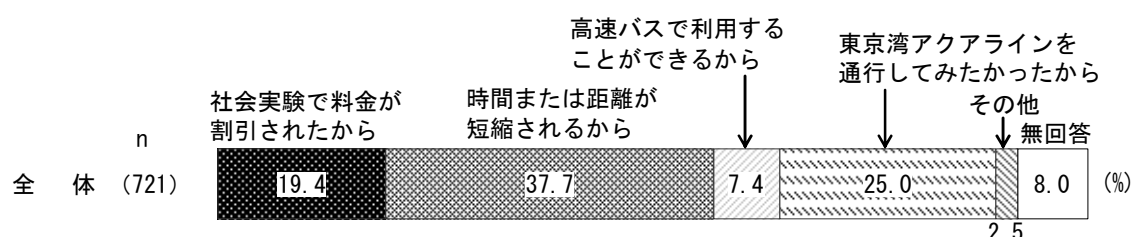
(6) 東京湾アクアラインを利用する理由

◇「時間または距離が短縮されるから」が約4割

(問37で「利用した」「今後、利用したい」とお答えの方に)

問40 あなたが、東京湾アクアラインを利用した(したい)主な理由は何ですか。(○は1つ)

＜図表10-11＞東京湾アクアラインを利用する理由



今回の社会実験期間中(平成21年8月1日以降)に、東京湾アクアラインを「利用した」「今後、利用したい」と回答した721人に、東京湾アクアラインを利用する理由を聞いたところ、「時間または距離が短縮されるから」(37.7%)が約4割で最も高く、以下「東京湾アクアラインを通行してみたかったから」(25.0%)、「社会実験で料金が割引されたから」(19.4%)と続いている。

(図表10-11)

【地域別】

地域別にみると、「時間または距離が短縮されるから」は“長生地域”(66.7%)、“夷隅地域”(61.5%)が6割以上で他の地域に比べ高くなっている。「東京湾アクアラインを通行してみたかったから」は“葛南地域”“香取地域”(ともに38.5%)が約4割、「社会実験で料金が割引されたから」では“海匝地域”(30.4%)が3割で他の地域に比べて高くなっている。

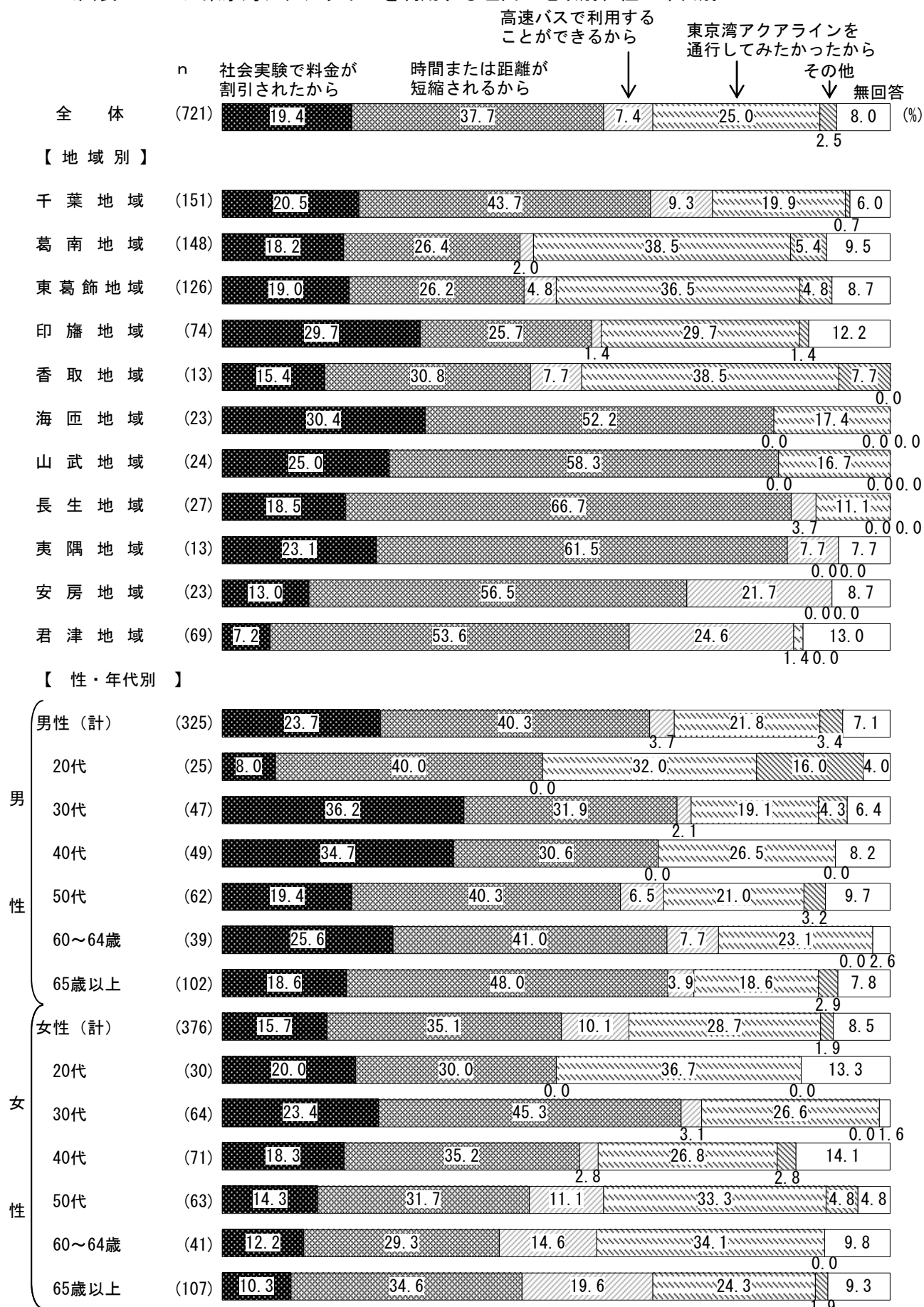
(図表10-12)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「時間または距離が短縮されるから」は男性65歳以上(48.0%)が約5割、「東京湾アクアラインを通行してみたかったから」では女性20代(36.7%)、50代(33.3%)、60～64歳(34.1%)が3割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。「社会実験で料金が割引されたから」は男性の30代(36.2%)、40代(34.7%)が3割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。

(図表10-12)

＜図表 10-12＞東京湾アクアラインを利用する理由／地域別、性・年代別



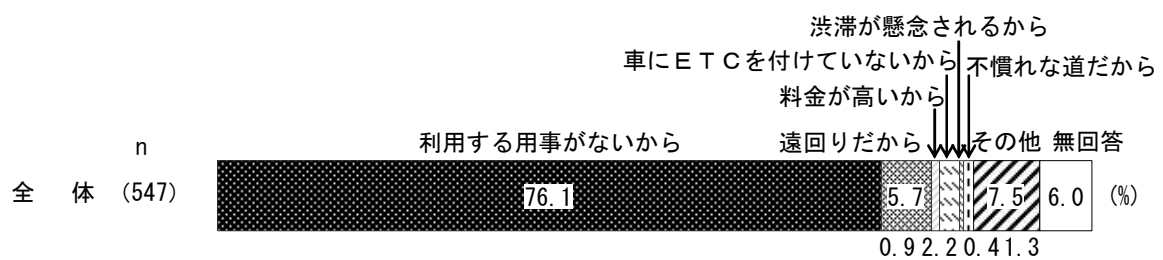
(7) 東京湾アクアラインを利用しない理由

◇「利用する用事がないから」が7割台半ば

(問 37 で「利用しない」とお答えの方に)

問 41 あなたが、東京湾アクアラインを利用しない理由は何ですか。(○は1つ)

<図表 10-13> 東京湾アクアラインを利用しない理由



今回の社会実験期間中（平成21年8月1日以降）に、東京湾アクアラインを「利用しない」と回答した547人に、その理由を聞いたところ、「利用する用事がないから」（76.1%）が7割台半ばで最も高く、以下「遠回りだから」（5.7%）、「車に ETC を付けていないから」（2.2%）と続いている。（図表10-13）

【地域別】

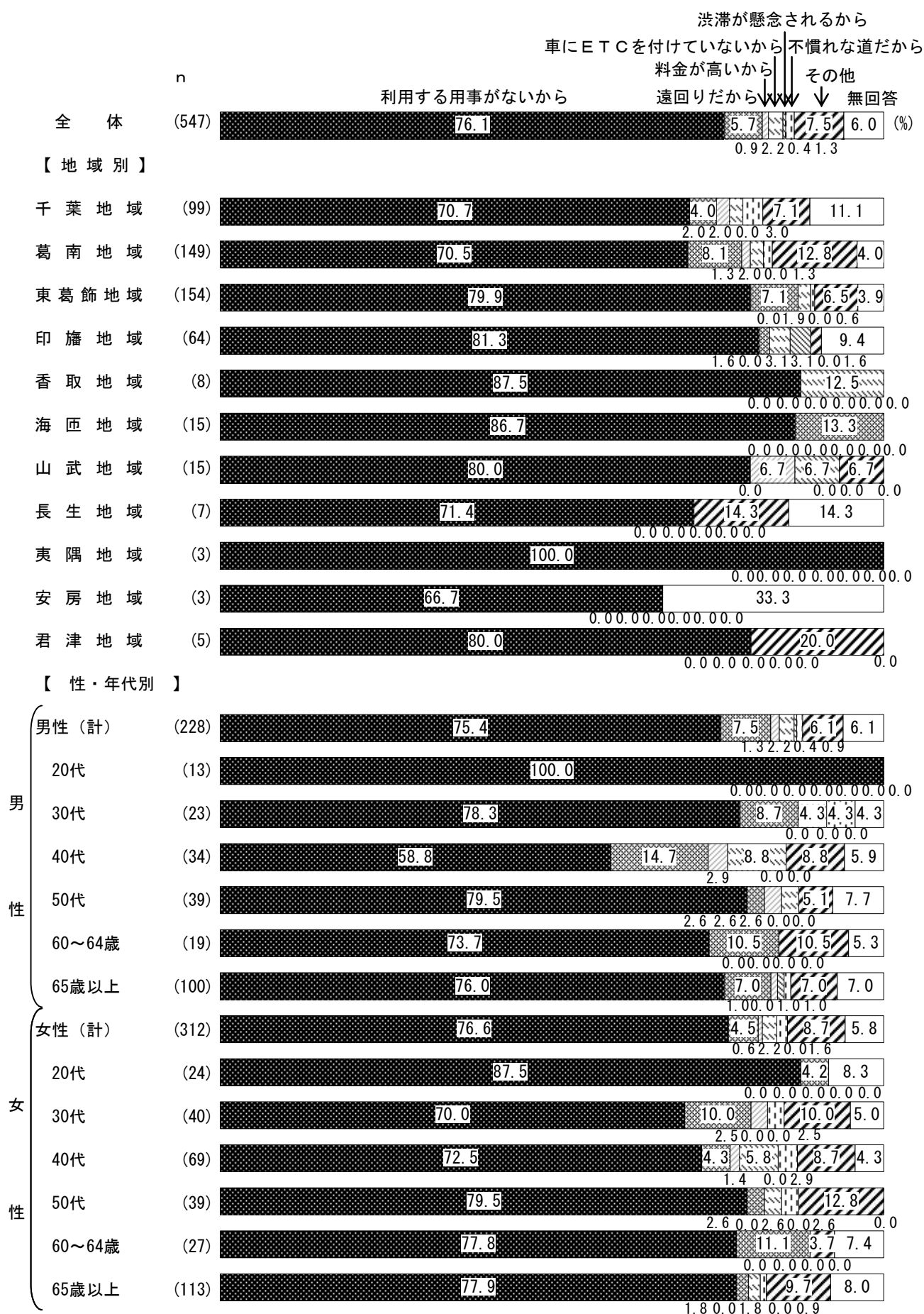
地域別にみると、全ての地域で「利用する用事がないから」が高い割合となっている。

(図表10-14)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「利用する用事がないから」は男性40代を除くすべての年代が7割以上となっている。「遠回りだから」では男性の40代（14.7%）が1割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。（図表10-14）

<図表 10-14>東京湾アクアラインを利用しない理由／地域別、性・年代別



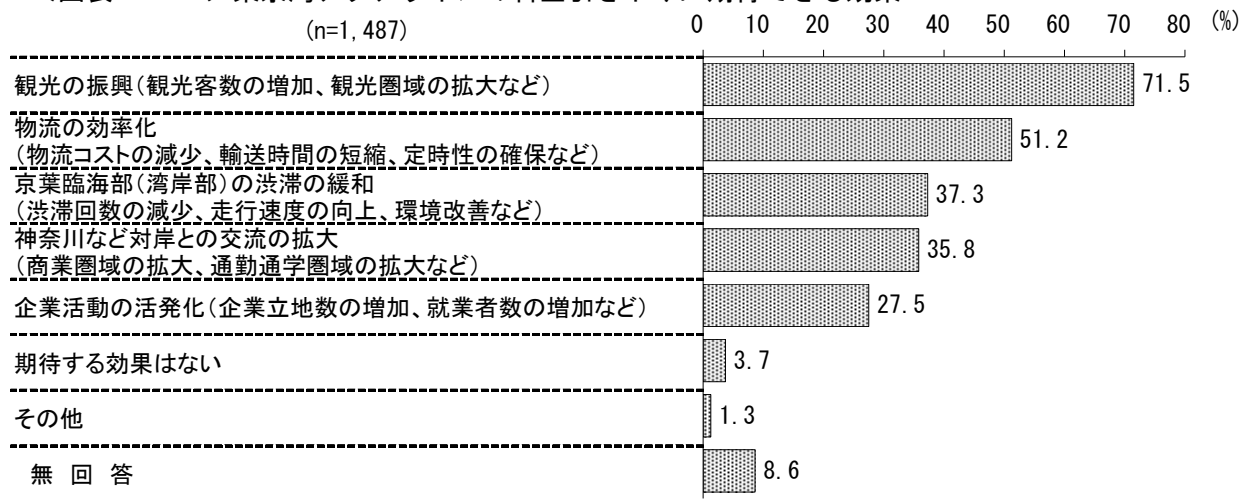
(8) 東京湾アクアラインの料金引き下げに期待できる効果

◇「観光の振興（観光客数の増加、観光圏域の拡大など）」が7割超

問 42 東京湾アクアラインの料金の引き下げにより期待できる効果は何だと思いますか。

(○はいくつでも)

<図表 10—15> 東京湾アクアラインの料金引き下げに期待できる効果



東京湾アクアラインの料金引き下げにより期待出来る効果を聞いたところ、「観光の振興(観光客数の増加、観光圏域の拡大など)」(71.5%)が7割を超えて最も高く、以下「物流の効率化(物流コストの減少、輸送時間の短縮、定時性の確保など)」(51.2%)、「京葉臨海部(湾岸部)の渋滞の緩和(渋滞回数の減少、走行速度の向上、環境改善など)」(37.3%)、「神奈川など対岸との交流の拡大(商業圏域の拡大、通勤通学圏域の拡大など)」(35.8%)と続いている。(図表10—15)

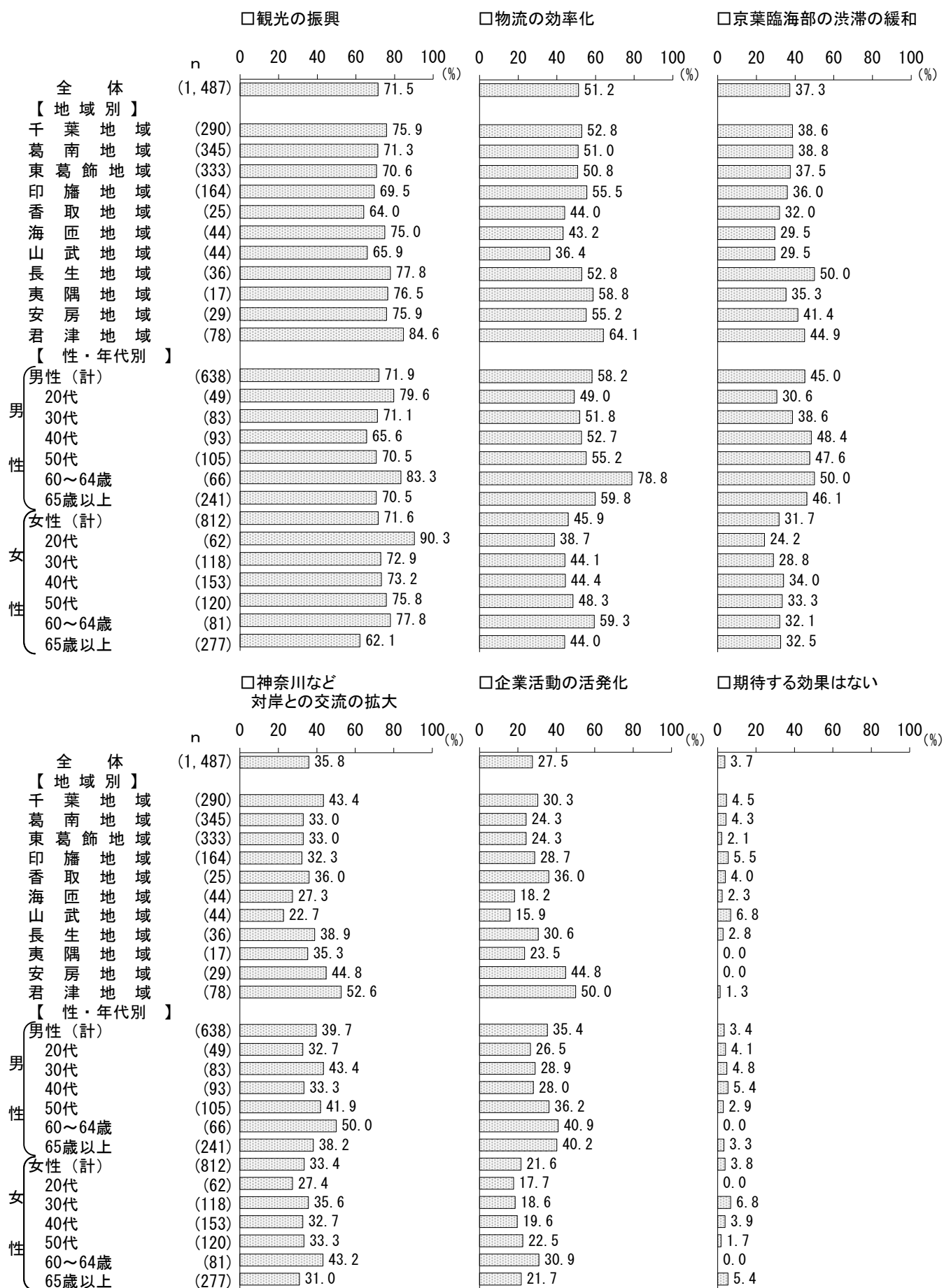
【地域別】

地域別にみても、「君津地域」が「観光の振興(観光客数の増加、観光圏域の拡大など)」(84.6%)は8割台半ば、「物流の効率化(物流コストの減少、輸送時間の短縮、定時性の確保など)」(64.1%)では、6割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。「京葉臨海部(湾岸部)の渋滞の緩和(渋滞回数の減少、走行速度の向上、環境改善など)」は「長生地域」(50.0%)が5割、「神奈川など対岸との交流の拡大(商業圏域の拡大、通勤通学圏域の拡大など)」では「君津地域」(52.6%)が5割を超えて他の地域に比べて高くなっている。(図表10—16)

【性・年代別】

性・年代別にみても、「観光の振興(観光客数の増加、観光圏域の拡大など)」は女性の20代(90.3%)が9割で他の年代に比べて高くなっている。男性の60～64歳が「物流の効率化(物流コストの減少、輸送時間の短縮、定時性の確保など)」(78.8%)で約8割、「京葉臨海部(湾岸部)の渋滞の緩和(渋滞回数の減少、走行速度の向上、環境改善など)」、「神奈川など対岸との交流の拡大(商業圏域の拡大、通勤通学圏域の拡大など)」(ともに50.0%)が5割で他の年代に比べて高くなっている。(図表10—16)

<図表 10-16>東京湾アクアラインの料金引き下げに期待できる効果／地域別、性・年代別



このほかに、「道路整備について」やここまでの質問（問35～問42）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、209人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「道路整備について」の自由回答（抜粋）

- 県北東部では、湾岸沿いの道路（東京～千葉）横の道路は整備されているが、例（松戸～市川。鎌ヶ谷～船橋・習志野等）縦のラインが少なく、絶えず渋滞が発生。整備を早急に望む。
（男性・65歳以上・葛南地域）
- 田舎では歩道整備が進んでない。自転車（高齢者の）が車道にフラフラしてこわい。自転車専用道路を。（女性・20代・印旛地域）
- 自転車のレーンなどを整備して作ってほしい！！ 特に朝、夕方は交通量が多く、マナーが守れない人が多い様に思うので、考えて頂きたいと思います。（女性・40代・千葉地域）
- 歩道と車道が分離されていない道路が多すぎる。（男性・50代・印旛地域）
- 近年通学中の列に突っ込むというような事故が多い気がするので、通学路として使用される道路のガードレール設置など、早急に検討して頂きたい。（女性・20代・千葉地域）
- 今年亡くなった父親を車イスで散歩させていて思ったことですが、歩道が斜めだったために車道を歩かなければならなかった！ どうしてなのか、どうしてあんな歩道を作ったのだろうと思いました。（女性・50代・山武地域）
- 生活道路の整備における渋滞対策やバリアフリー対策などの充実をはかってほしい。
（男性・60～64歳・印旛地域）
- アクアラインが安くなることは一番に歓迎します。（女性・65歳以上・葛南地域）
- アクアラインは安くなったおかげでよく利用します。海ほたるPAが楽しいので、よく行きます。以前の料金だったらちょっと気が引けます。（男性・20代・東葛飾地域）
- アクアライン料金値下げを社会実験にとどまらず、ずっと続けていって欲しいです。
（女性・30代・君津地域）
- アクアラインの料金が引き下がっての効果はいろいろ感じられるが、物流を運ぶトラックがバイパスを通らずに狭い市道を通り、時間帯に関係なく渋滞して困っている。
（女性・60～64歳・君津地域）
- 千葉県の税金でアクアラインの料金を値下げしても、恩恵を受けない県民も多いので、アクアラインを利用する他県にも負担してもらいたいです。（女性・40代・安房地域）

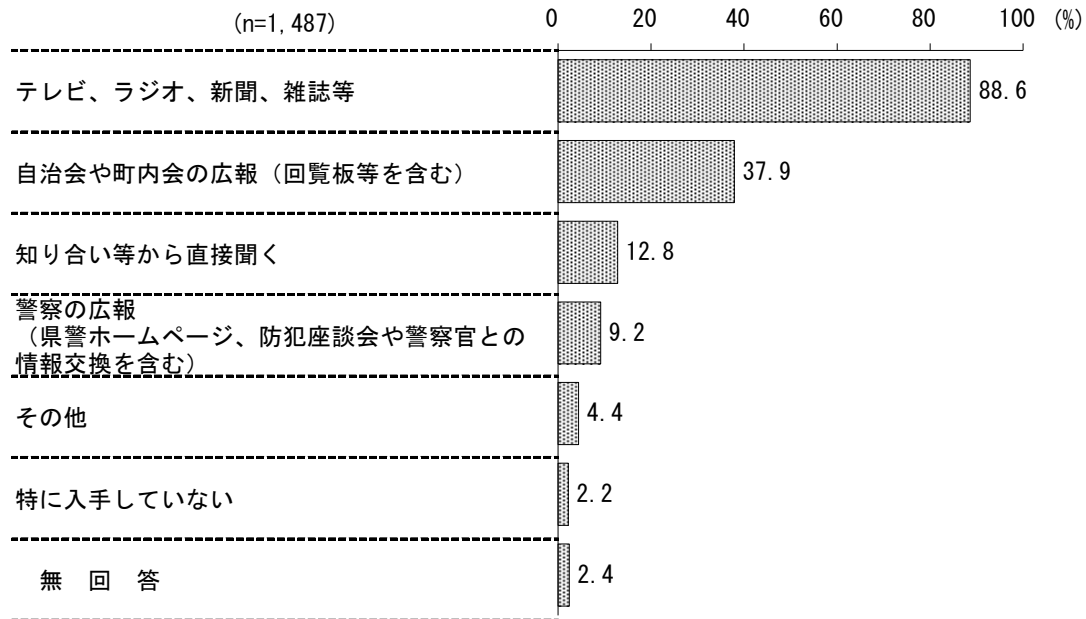
11. 犯罪のない安全で安心なまちづくりについて

(1) 犯罪や防犯に関する情報の入手方法

◇「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」が約9割

問 43 あなたは、犯罪や防犯に関する情報を主にどこから入手していますか。(○は2つまで)

<図表 11－1> 犯罪や防犯に関する情報の入手方法



犯罪や防犯に関する情報を主にどこから入手しているか聞いたところ、「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」(88.6%)が約9割で最も高く、以下「自治会や町内会の広報（回覧板等を含む）」(37.9%)、「知り合い等から直接聞く」(12.8%)と続いている。(図表11－1)

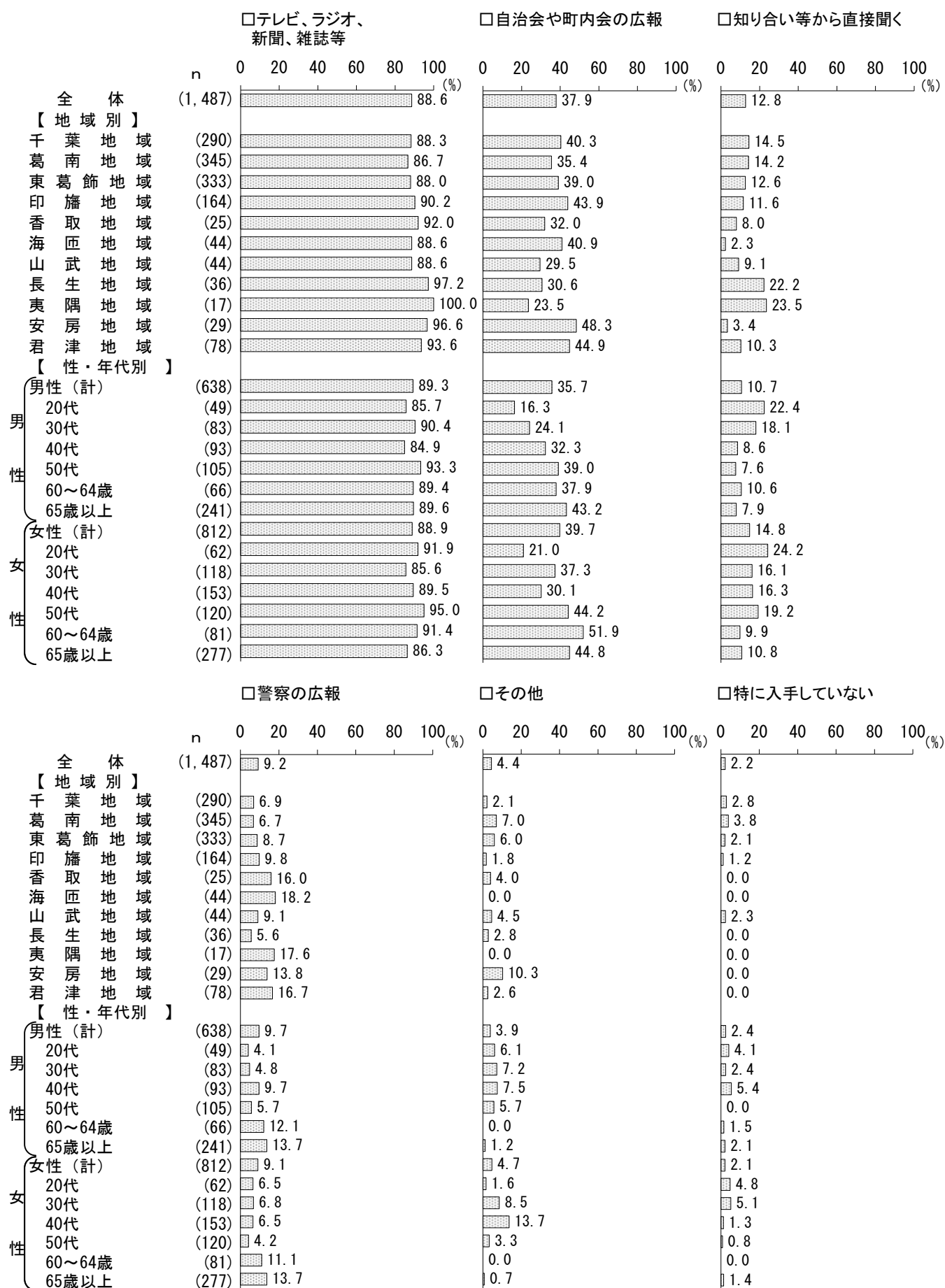
【地域別】

地域別にみると、「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」はどの地域でも8割以上となっている。「自治会や町内会の広報（回覧板等を含む）」は”安房地域”（48.3%）が約5割、「知り合い等から直接聞く」では”夷隅地域”（23.5%）、”長生地域”（22.2%）が2割以上で他の地域に比べて高くなっている。(図表11－2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」はどの年代でも8割以上となっている。「自治会や町内会の広報（回覧板等を含む）」は、女性の60～64歳（51.9%）が5割を超え、「知り合い等から直接聞く」では女性の20代（24.2%）が2割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表11－2)

＜図表 11－2＞犯罪や防犯に関する情報の入手方法／地域別、性・年代別

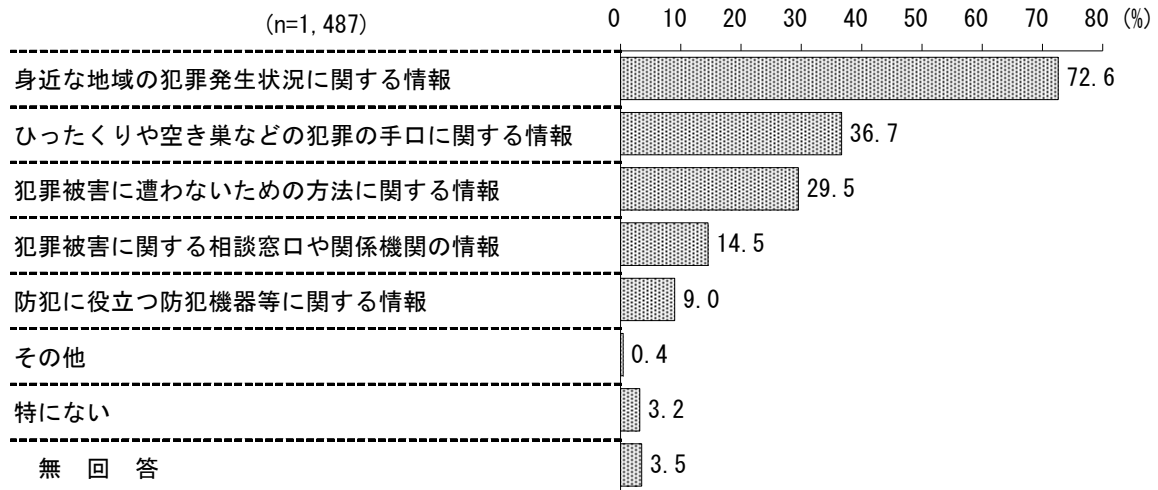


(2) 犯罪情報等で提供してほしいもの

◇「身近な地域の犯罪発生状況に関する情報」が7割を超える

問 44 あなたが提供してほしい犯罪情報等は何ですか。(○は2つまで)

＜図表 11－3＞犯罪情報等で提供してほしいもの



犯罪情報等で提供してほしいものを聞いたところ、「身近な地域の犯罪発生状況に関する情報」(72.6%)が7割を超え最も高く、以下「ひったくりや空き巣などの犯罪の手口に関する情報」(36.7%)、「犯罪被害に遭わないための方法に関する情報」(29.5%)と続いている。(図表11－3)

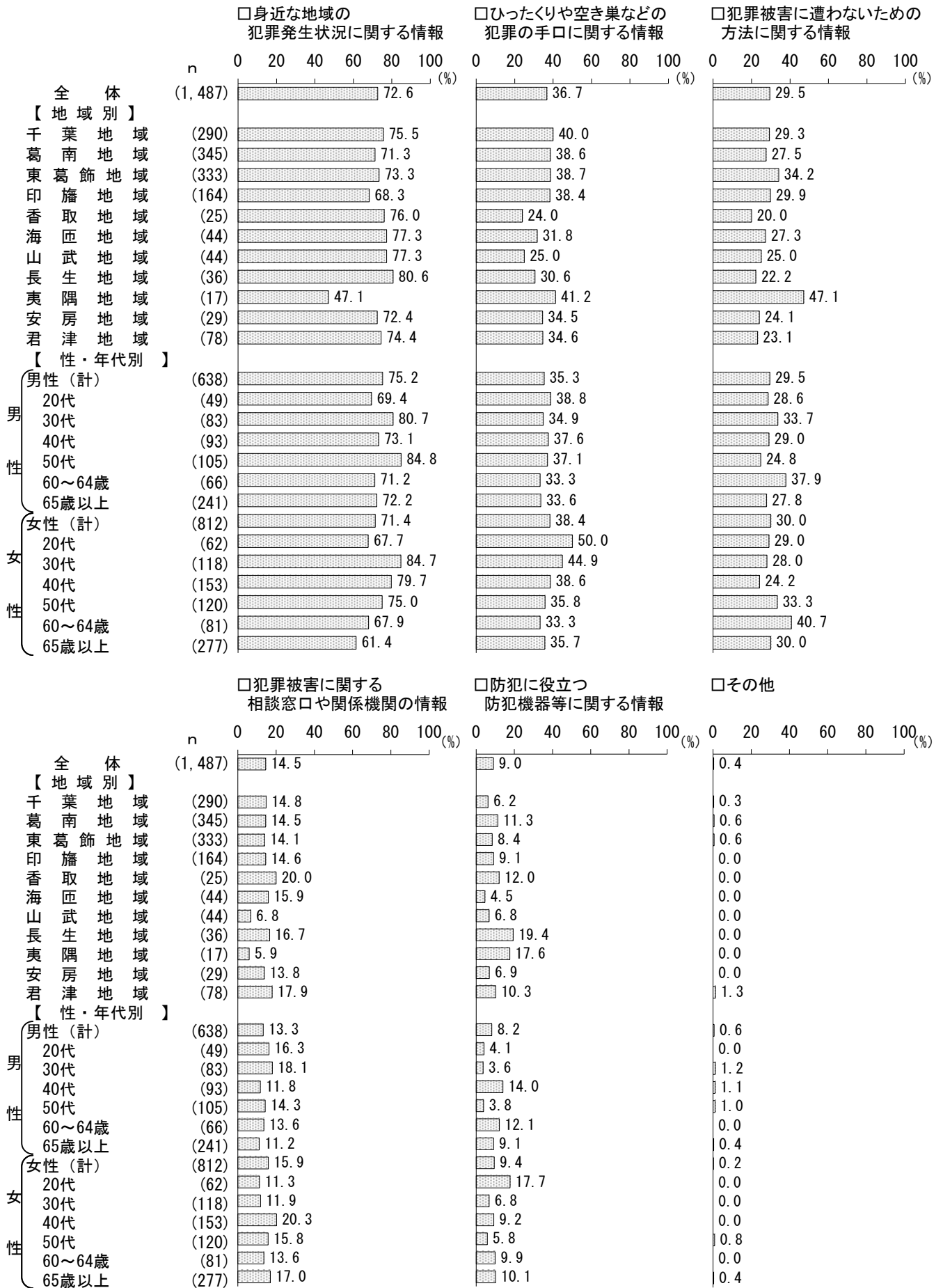
【地域別】

地域別にみると、「身近な地域の犯罪発生状況に関する情報」は”長生地域”(80.6%)が8割で他の地域に比べて高くなっている。「ひったくりや空き巣などの犯罪の手口に関する情報」は”夷隅地域”(41.2%)、”千葉地域”(40.0%)が4割以上、「犯罪被害に遭わないための方法に関する情報」では”夷隅地域”(47.1%)が約5割で他の地域に比べて高くなっている。(図表11－4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「身近な地域の犯罪発生状況に関する情報」は男性の50代(84.8%)、女性の30代(84.7%)が8割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。「ひったくりや空き巣などの犯罪の手口に関する情報」は女性の20代(50.0%)が5割、「犯罪被害に遭わないための方法に関する情報」では女性の60～64歳(40.7%)が4割で他の年代に比べて高くなっている。(図表11－4)

<図表 11-4> 犯罪情報等で提供してほしいもの / 地域別、性・年代別

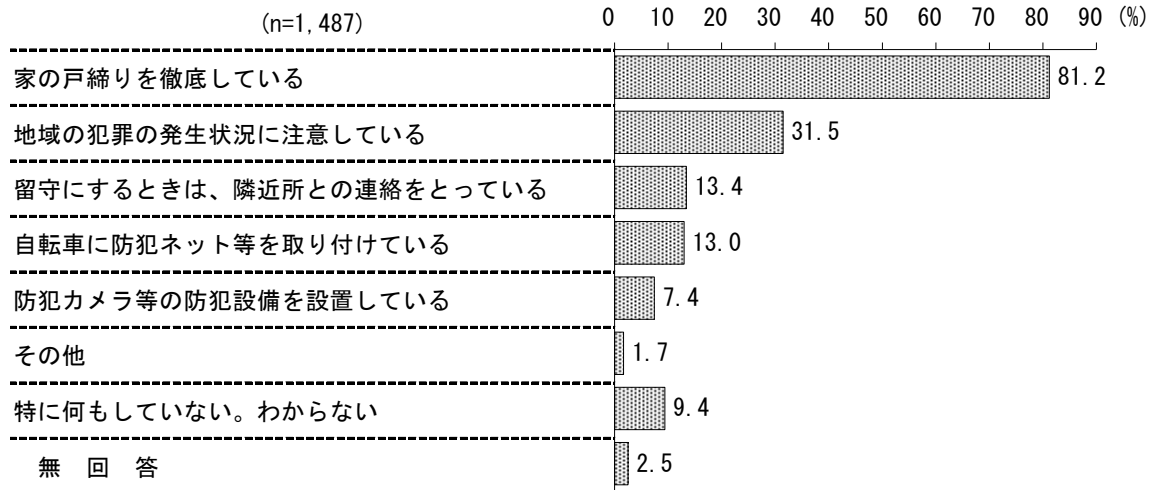


(3) 犯罪に遭わないために心がけていること

◇「家の戸締りを徹底している」が8割を超える

問 45 あなたは今、犯罪に遭わないためにどのようなことに心がけていますか。(〇はいくつでも)

＜図表 11－5＞犯罪に遭わないために心がけていること



現在、犯罪に遭わないためにどのようなことに心がけているか聞いたところ、「家の戸締りを徹底している」(81.2%)が8割を超えて最も高く、以下「地域の犯罪の発生状況に注意している」(31.5%)、「留守にするときは、隣近所との連絡をとっている」(13.4%)、「自転車に防犯ネット等を取り付けている」(13.0%)と続いている。(図表11－5)

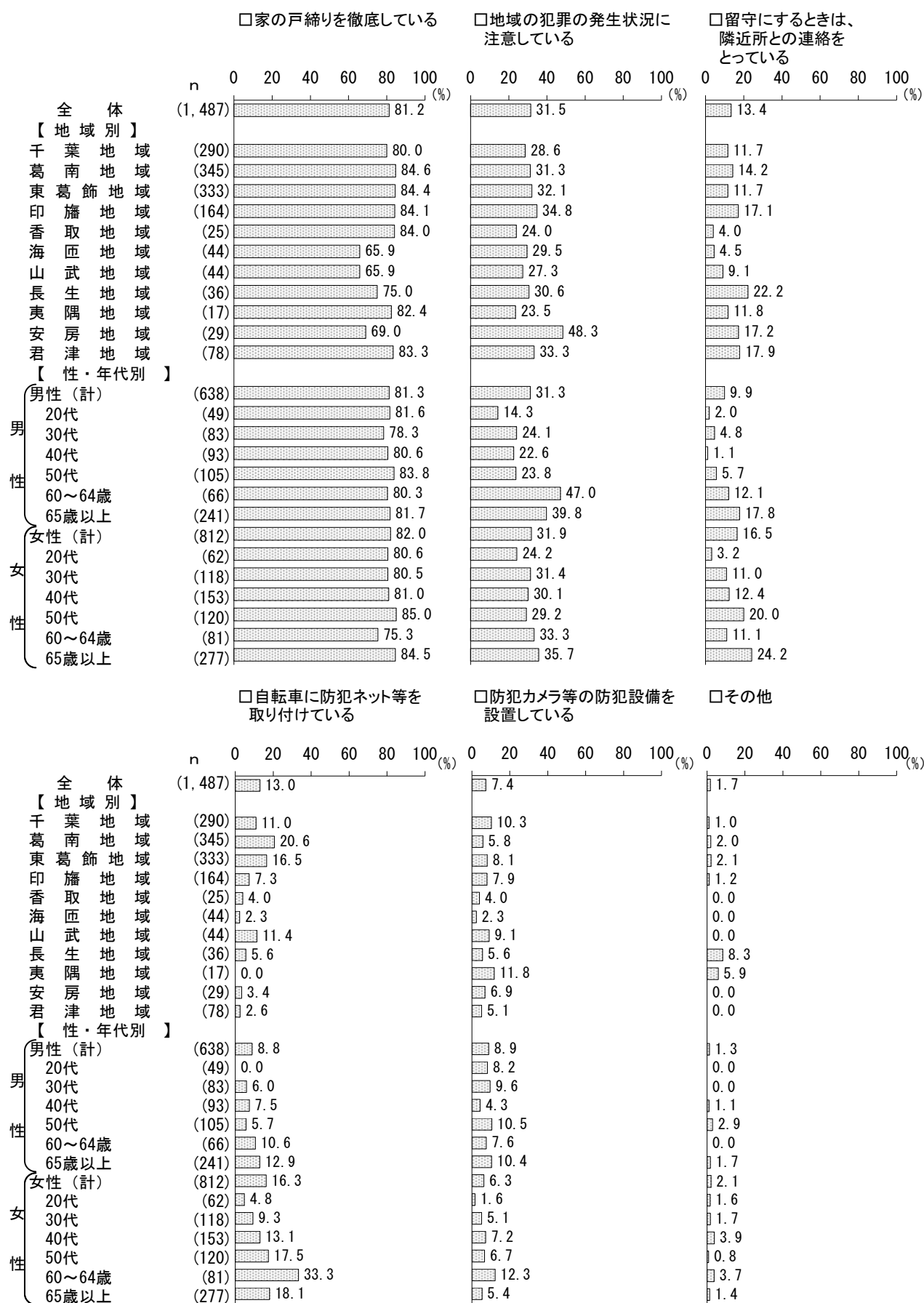
【地域別】

地域別にみると、「家の戸締りを徹底している」は“葛南地域”(84.6%)、“東葛飾地域”(84.4%)、“印旛地域”(84.1%)、“香取地域”(84.0%)、“君津地域”(83.3%)、“夷隅地域”(82.4%)が8割以上と他の地域に比べて高くなっている。「地域の犯罪の発生状況に注意している」は、“安房地域”(48.3%)が約5割、「留守にするときは、隣近所との連絡をとっている」では“長生地域”(22.2%)が2割を超えて他の地域に比べて高くなっている。「自転車に防犯ネット等を取り付けている」は“葛南地域”(20.6%)が2割で高くなっている。(図表11－6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「家の戸締りを徹底している」は男性の50代(83.8%)、女性の50代(85.0%)、65歳以上(84.5%)が8割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。「地域の犯罪の発生状況に注意している」は、男性の60～64歳(47.0%)が約5割、「留守にするときは、隣近所との連絡をとっている」では、女性の65歳以上(24.2%)が2割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。「自転車に防犯ネット等を取り付けている」は、女性の60～64歳(33.3%)が3割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表11－6)

<図表 11-6> 犯罪に遭わないために心がけていること／地域別、性・年代別

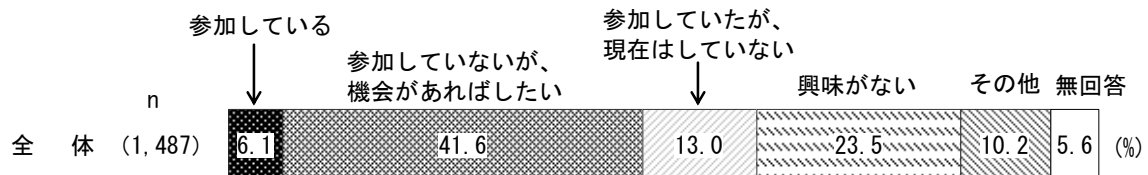


（４）自主防犯活動等への参加状況

◇「参加していないが、機会があればしたい」が４割を超える

問 46 あなたは、自主防犯活動（防犯パトロール隊など）に参加していますか。（○は１つ）

＜図表 11－７＞自主防犯活動等への参加状況



自主防犯活動等への参加状況を聞いたところ、「参加している」（6.1％）は１割に満たず、「参加していないが、機会があればしたい」（41.6％）が４割を超えて最も高くなっている。一方「興味がない」（23.5％）が２割台半ばとなっている。（図表11－７）

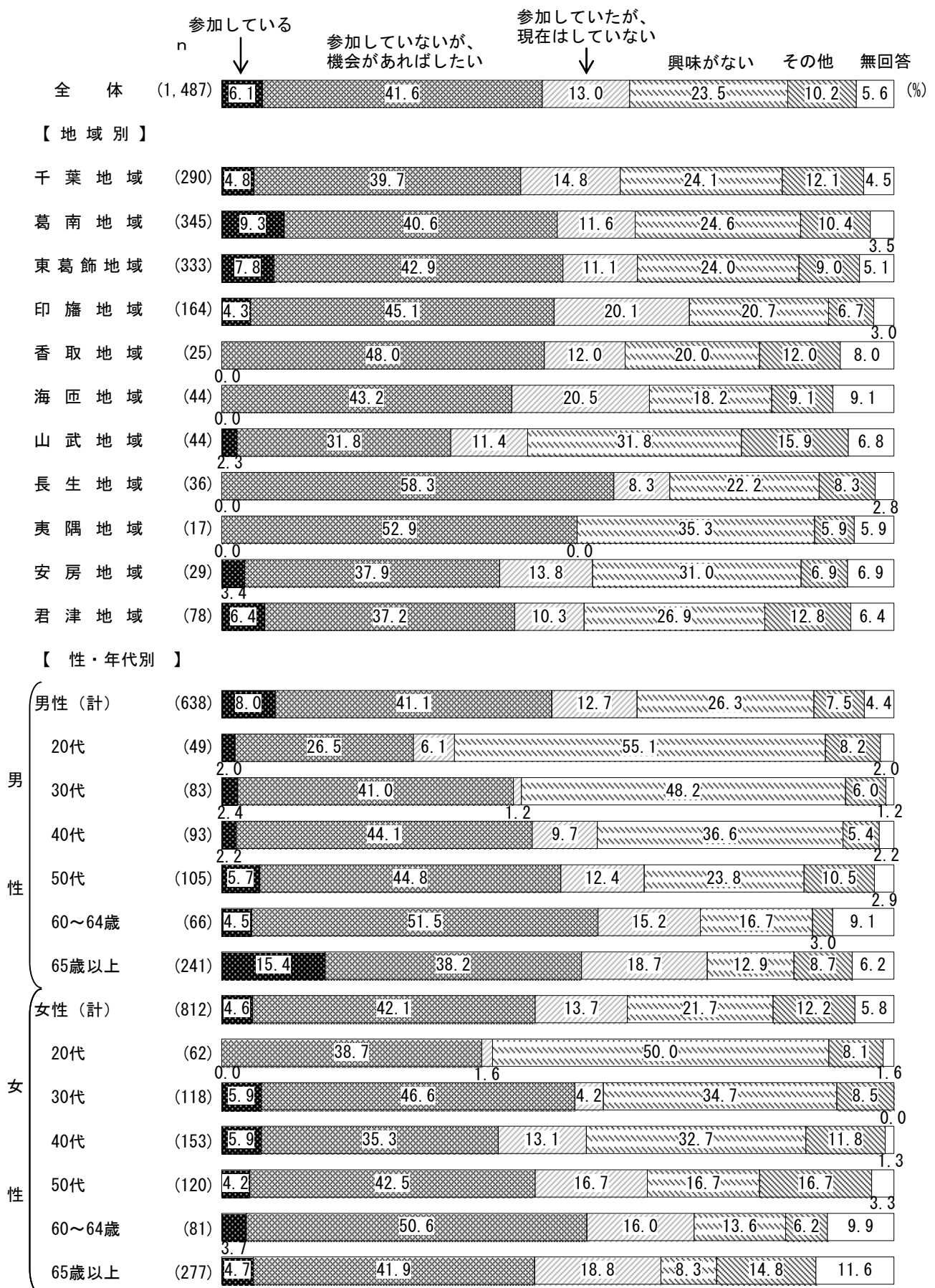
【地域別】

地域別にみると、「参加している」は“葛南地域”（9.3％）、“東葛飾地域”（7.8％）が約１割で他の地域に比べて高くなっている。「参加していないが、機会があればしたい」は“長生地域”（58.3％）が約６割で、「興味がない」では“夷隅地域”（35.3％）が３割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。（図表11－８）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「参加している」は男性の65歳以上（15.4％）が１割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。「参加していないが、機会があればしたい」は男性の60～64歳（51.5％）が５割を超え他の年代に比べ高くなっている。「興味がない」は年代が若くなるほど割合が高く、特に男女の20代（男性55.1％、女性50.0％）が５割以上で他の年代に比べて高くなっている。（図表11－８）

＜図表 11－8＞自主防犯活動等への参加状況／地域別、性・年代別

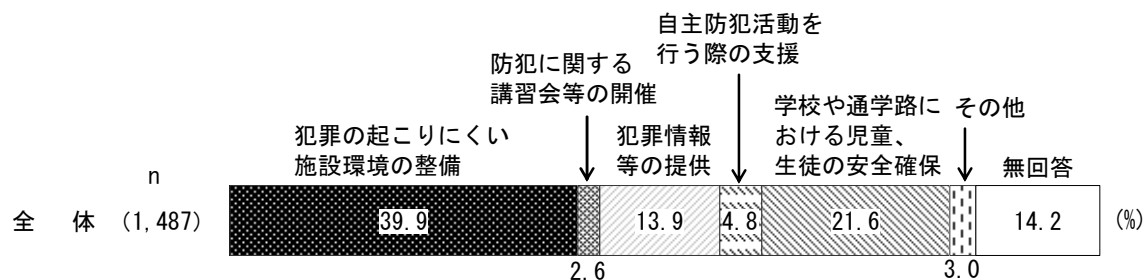


（５）犯罪を防止するために行政（警察）に望むこと

◇「犯罪の起こりにくい施設環境の整備」が約４割

問 47 犯罪を防止するために、行政（警察を含む）に望むことは何ですか。（○は１つ）

＜図表 11－ 9＞犯罪を防止するために行政（警察）に望むこと



犯罪を防止するために、行政（警察を含む）に望むことを聞いたところ、「犯罪の起こりにくい施設環境の整備」（39.9%）が約４割で最も高く、以下「学校や通学路における児童、生徒の安全確保」（21.6%）、「犯罪情報等の提供」（13.9%）と続いている。（図表11－ 9）

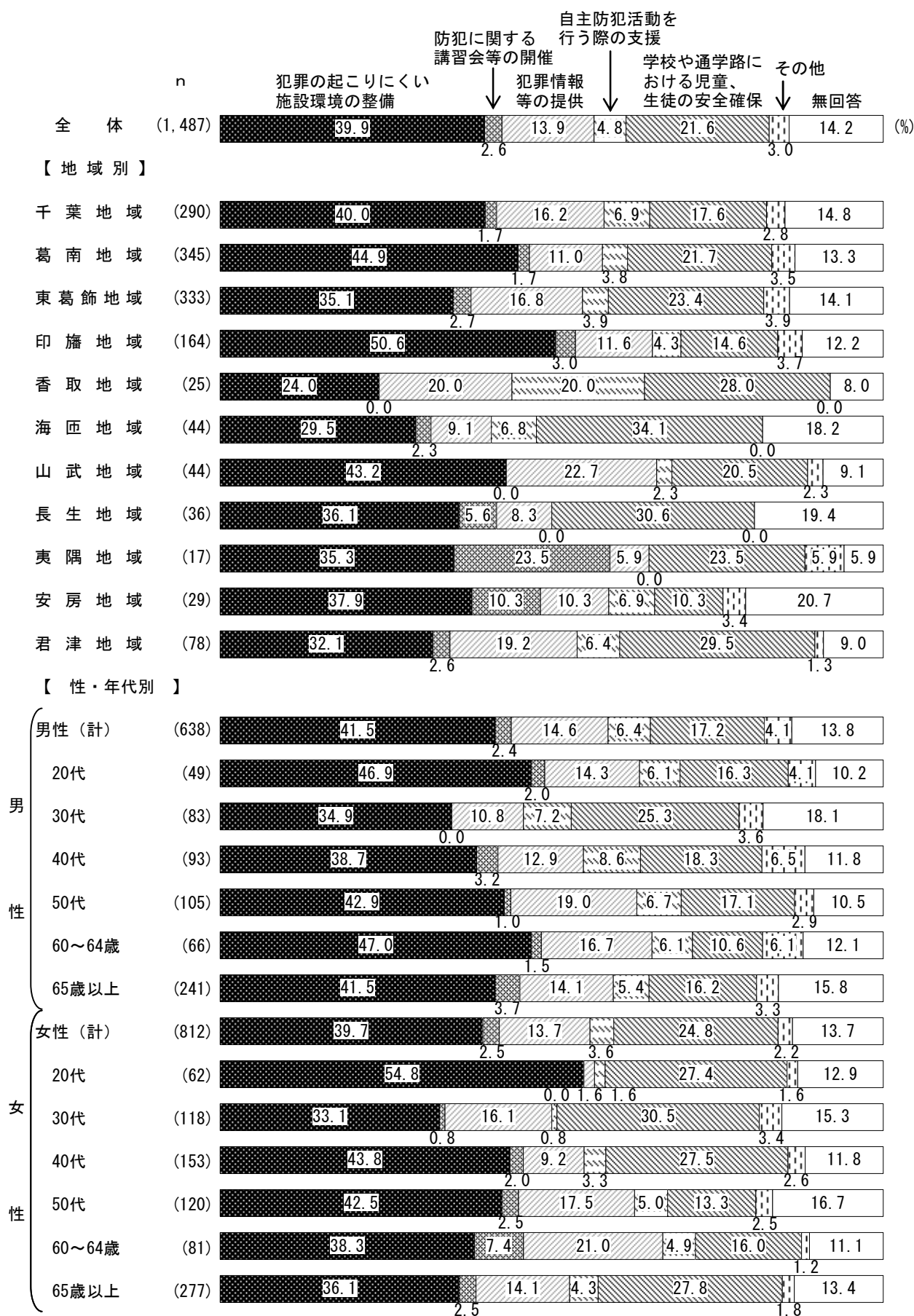
【地域別】

地域別にみると、「犯罪の起こりにくい施設環境の整備」は“印旛地域”（50.6%）が５割で他の地域に比べて高くなっている。「学校や通学路における児童、生徒の安全確保」は“海匝地域”（34.1%）が３割台半ば、「犯罪情報等の提供」では“山武地域”（22.7%）が２割を超えて他の地域に比べて高くなっている。（図表11－10）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「犯罪の起こりにくい施設環境の整備」は女性の20代（54.8%）が５割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。「学校や通学路における児童、生徒の安全確保」は女性の30代（30.5%）が３割、「犯罪情報等の提供」では女性の60～64歳（21.0%）が２割を超えて他の年代に比べて高くなっている。（図表11－10）

＜図表 11－10＞犯罪を防止するために行政（警察）に望むこと／地域別、性・年代別



このほかに、「犯罪のない安全で安心なまちづくりについて」やここまでの質問（問43～問47）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、142人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■ 「犯罪のない安全で安心なまちづくりについて」の自由回答（抜粋）

- 自治会や町内会の広報がとても役に立っている。（女性・65歳以上・葛南地域）
- 町内会における住民相互のコミュニケーションが活発になり、常にあいさつできるようになれば、犯罪は発生しにくくなる。（男性・65歳以上・印旛地域）
- 警察頼みではなく、自分自身や家族のことは、自分で守るという意識を高めることが必要。警察官の数は限られているので、防犯意識を高める施策が必要だと思います。（男性・40代・東葛飾地域）
- 通学路の街灯を充実してほしい。夜もパトロールを毎日してほしい（パトカーで！）。犯罪（子供を狙った）が多いので、登下校の際、すごく心配。（女性・40代・海匝地域）
- 安全なまちづくりのために安全灯が増えればよいと思います。午後7時を過ぎて塾に通う子供が多いので、暗い夜道は危ないと思います。（女性・50代・東葛飾地域）
- 警察官や警ら車両を見かけると、一般人の私でさえも気にします。警察官が身近にいれば、犯罪は少なくなるのではないのでしょうか？ もっと多くの警察官をパトロールとして街中に出してほしいです。（男性・20代・東葛飾地域）
- 大野のコンビニに設置された交番はとても良いと思いました。もっと普及して欲しいです。
（女性・30代・葛南地域）
- 防犯パトロールを地区で行う。（女性・60～64歳・君津地域）
- 街灯が少ないと思う。（男性・65歳以上・山武地域）
- 親の目がはなれる小学生～が心配なので、通学時間帯、時折でもパトロールする機関があれば犯罪を抑制できるのではと思います。（女性・20代・千葉地域）
- 交番をたてる時は、道路沿いにしてもらいたいです。誰でもすぐ目立つ場所にあれば、なにか犯罪が起こった時に逃げ込むことも出来るからです。（女性・40代・安房地域）
- マメにパトロールをしてほしい。△△交番はいつも留守。何回か苦情TELをしてるのに警察のパトロールが甘い。（女性・40代・千葉地域）
- 犯罪を起こさせない為の、各自の意識と町づくり、またはそういう世の中にしていく。
（男性・30代・香取地域）

12. 自動車盗難の被害防止について

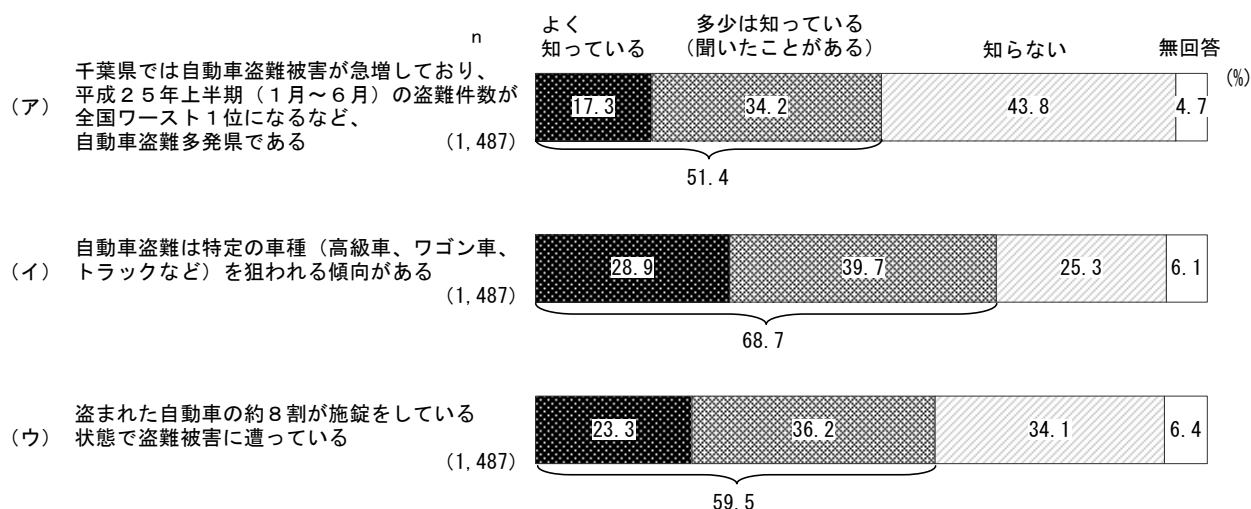
(1) 自動車盗難被害の現状 認知状況

◇＜自動車盗難は特定の車種を狙われる傾向がある＞を『知っている』が約7割

問 48 あなたは自動車盗難被害の現状に関する次の項目についてご存知ですか。

(○はそれぞれ1つ)

＜図表 12－1＞自動車盗難被害の現状 認知状況



自動車盗難被害の現状について聞いたところ、「よく知っている」と「多少は知っている(聞いたことがある)」を合わせた『知っている』は、＜(イ) 自動車盗難は特定の車種(高級車、ワゴン車、トラックなど)を狙われる傾向がある＞(68.7%)が約7割、＜(ウ) 盗まれた自動車の約8割が施錠をしている状態で盗難被害に遭っている＞(59.5%)が約6割、＜(ア) 千葉県では自動車盗難被害が急増しており、平成25年上半期(1月～6月)の盗難件数が全国ワースト1位になるなど、自動車盗難多発県である＞(51.4%)が5割を超えている。(図表12－1)

【地域別】

地域別にみると、『知っている』は、＜(ア) 千葉県では自動車盗難被害が急増しており、平成25年上半期(1月～6月)の盗難件数が全国ワースト1位になるなど、自動車盗難多発県である＞では、“君津地域”(71.8%)が7割を超えて他の地域に比べ高くなっている。＜(イ) 自動車盗難は特定の車種(高級車、ワゴン車、トラックなど)を狙われる傾向がある＞では、“夷隅地域”(82.4%)、“君津地域”(82.1%)が8割を超えて他の地域に比べ高くなっており、＜(ウ) 盗まれた自動車の約8割が施錠をしている状態で盗難被害に遭っている＞では、“安房地域”(75.9%)、“長生地域”(75.0%)が7割台半ばで他の地域に比べ高くなっている。(図表12－2)

【性・年代別】

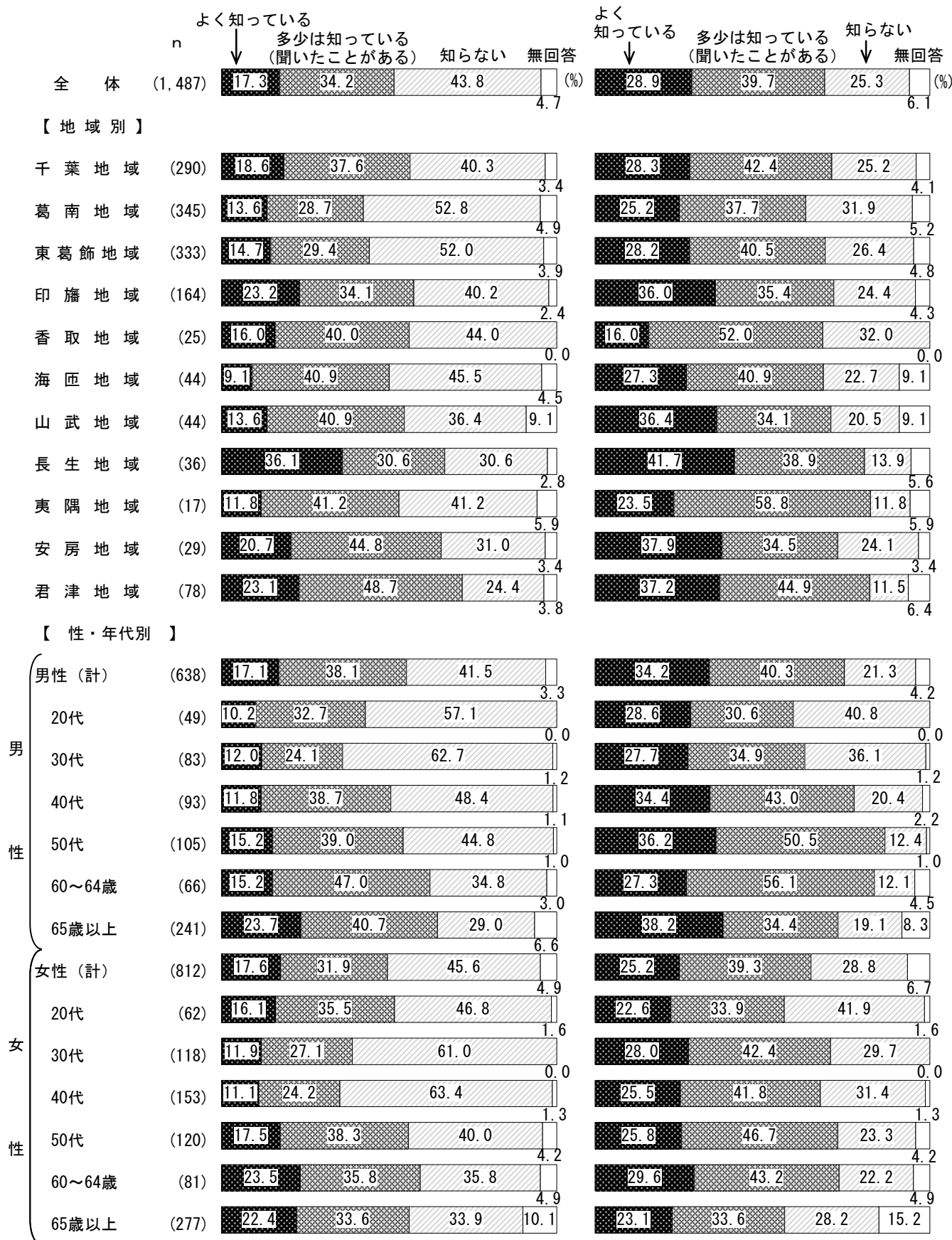
性・年代別にみると、『知っている』は、＜(ア) 千葉県では自動車盗難被害が急増しており、平成25年上半期(1月～6月)の盗難件数が全国ワースト1位になるなど、自動車盗難多発県である＞では、男性の65歳以上(64.3%)、60～64歳(62.1%)が6割以上で他の年代に比べて高くなって

いる。＜（イ）自動車盗難は特定の車種（高級車、ワゴン車、トラックなど）を狙われる傾向がある＞では、男性の50代（86.7%）、60～64歳（83.3%）が8割台半ば、＜（ウ）盗まれた自動車の約8割が施錠をしている状態で盗難被害に遭っている＞では、女性の60～64歳（76.5%）が7割台半ばで他の年代に比べ高くなっている。（図表12－2）

＜図表 12－2＞自動車盗難被害の現状 認知状況／地域別、性・年代別

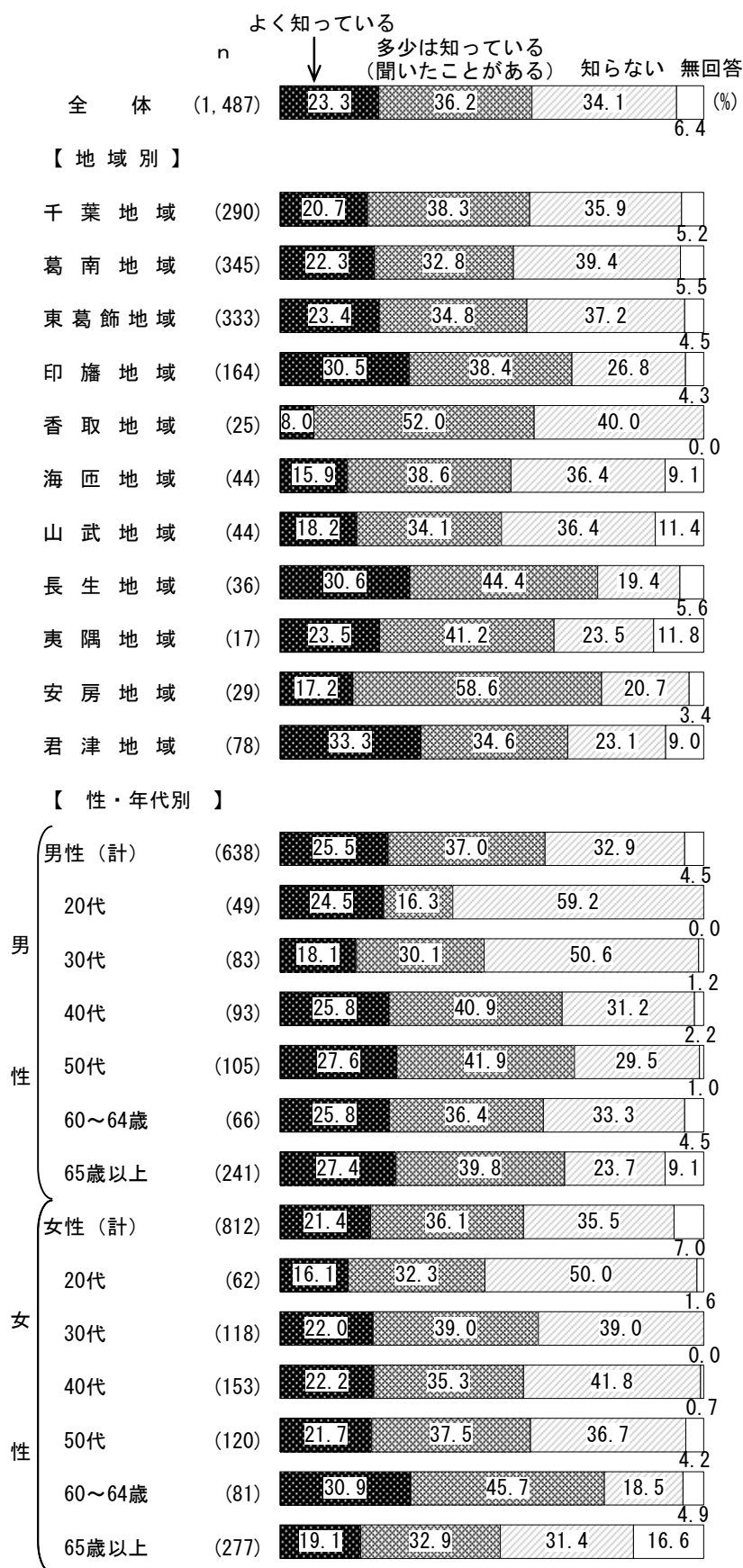
《千葉県では自動車盗難被害が急増しており、平成25年上半年（1月～6月）の盗難件数が全国ワースト1位になるなど、自動車盗難多発県である》

《自動車盗難は特定の車種（高級車、ワゴン車、トラックなど）を狙われる傾向がある》



＜図表 12－2＞自動車盗難被害の現状 認知状況／地域別、性・年代別

≪盗まれた自動車の約8割が
施錠をしている状態で盗難被害に遭っている≫



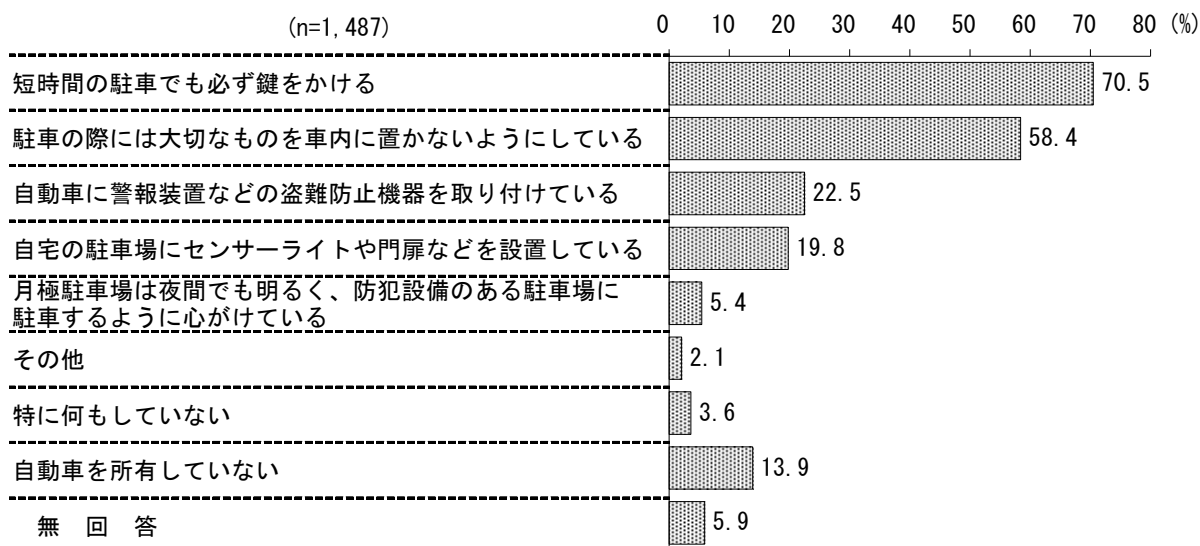
(2) 自動車盗難に遭わないために気をつけていること

◇「短時間の駐車でも必ず鍵をかける」が7割

問 49 あなたは自動車盗難に遭わないためにどのようなことに気をつけていますか。

(○はいくつでも)

＜図表 12－3＞自動車盗難に遭わないために気をつけていること



自動車盗難に遭わないために気をつけていることを聞いたところ、「短時間の駐車でも必ず鍵をかける」(70.5%)が7割で最も高く、以下「駐車の際には大切なものを車内に置かないようにしている」(58.4%)、「自動車に警報装置などの盗難防止機器を取り付けている」(22.5%)、「自宅の駐車場にセンサーライトや門扉などを設置している」(19.8%)と続いている。(図表12－3)

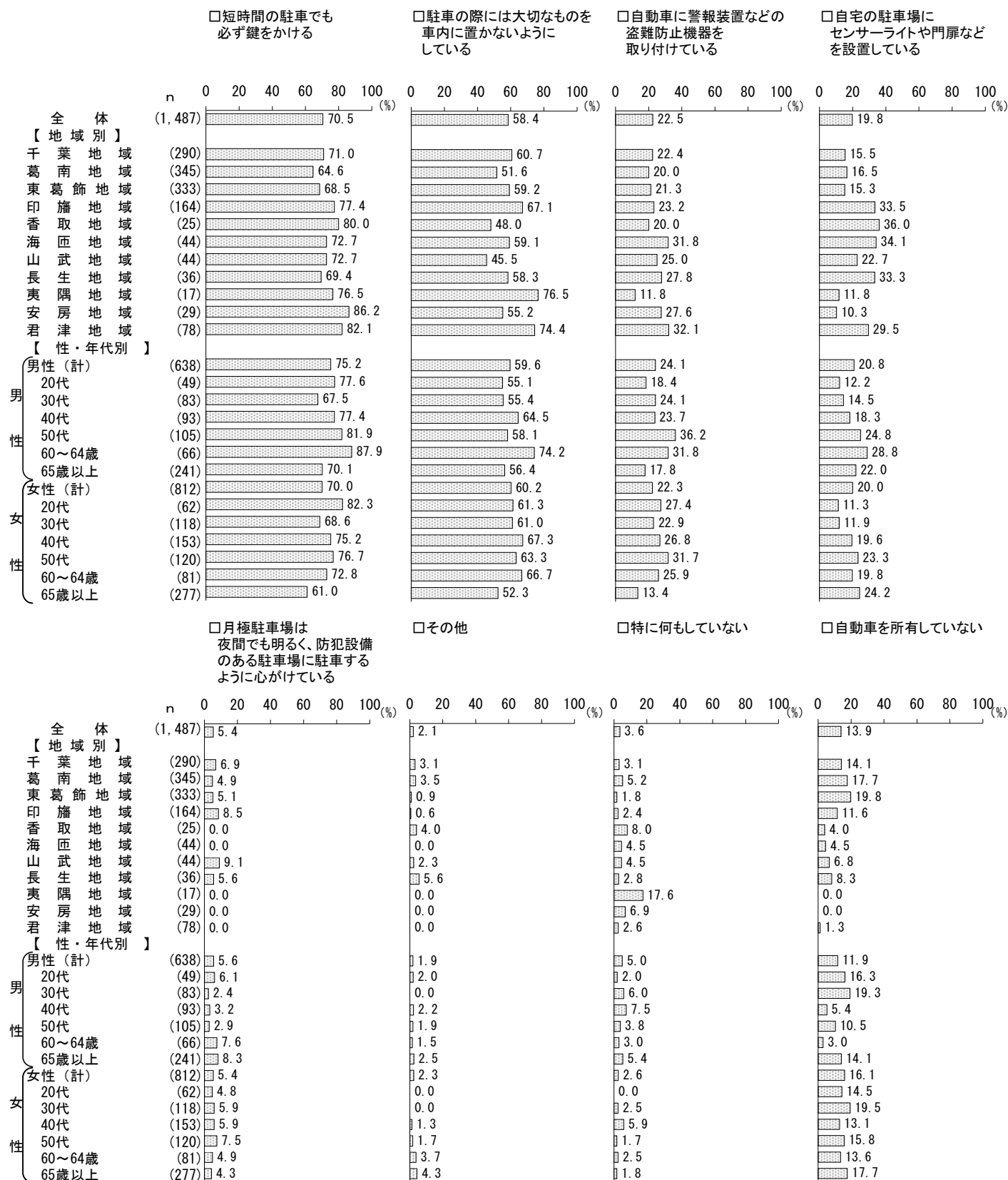
【地域別】

地域別にみると、「短時間の駐車でも必ず鍵をかける」は“安房地域”(86.2%)が8割台半ばで他の地域に比べ高くなっている。「駐車の際には大切なものを車内に置かないようにしている」は“夷隅地域”(76.5%)、“君津地域”(74.4%)が7割台半ば、「自動車に警報装置などの盗難防止機器を取り付けている」では“君津地域”(32.1%)、“海匝地域”(31.8%)が3割を超えて他の地域に比べて高くなっている。「自宅の駐車場にセンサーライトや門扉などを設置している」では、“香取地域”(36.0%)、“海匝地域”(34.1%)、“印旛地域”(33.5%)、“長生地域”(33.3%)が3割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。(図表12－4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、男性の60～64歳で「短時間の駐車でも必ず鍵をかける」(87.9%)が約9割、「駐車の際には大切なものを車内に置かないようにしている」(74.2%)が7割台半ば、「自宅の駐車場にセンサーライトや門扉などを設置している」(28.8%)が約3割で他の年代に比べ高くなっている。「自動車に警報装置などの盗難防止機器を取り付けている」は男性の50代(36.2%)が3割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表12－4)

＜図表 12-4＞自動車盗難に遭わないために気をつけていること／地域別、性・年代別



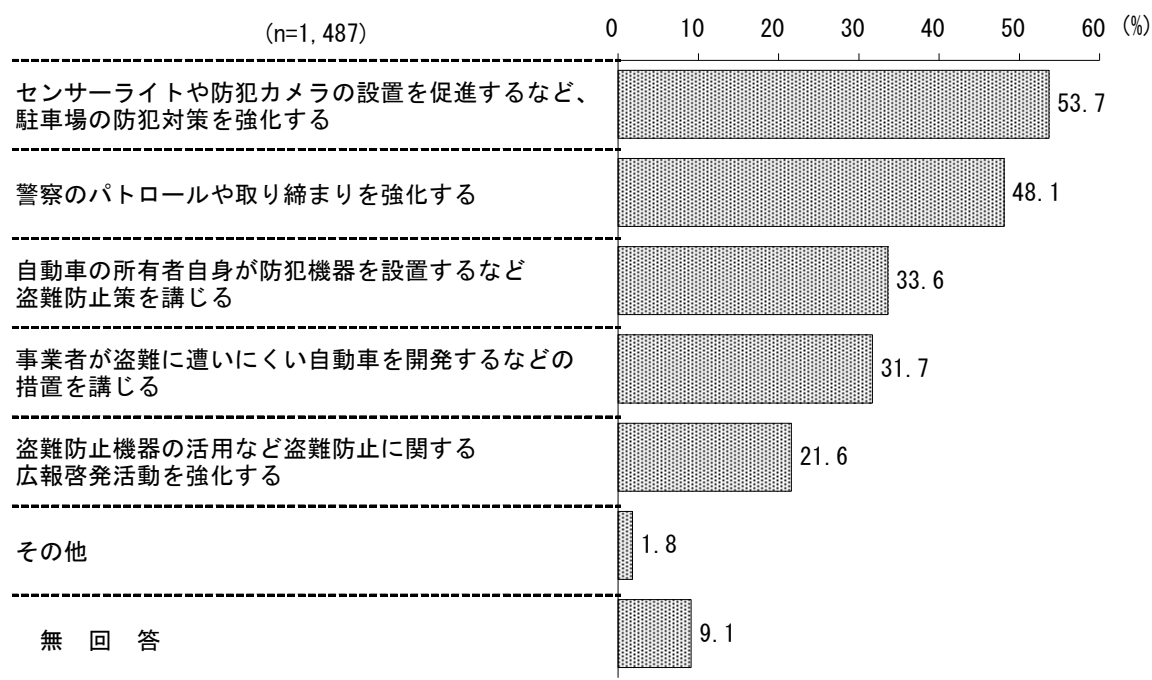
(3) 自動車盗難被害を防止する有効な対策

◇「センサーライトや防犯カメラの設置促進など、駐車場の防犯対策を強化する」が5割台半ば

問 50 自動車盗難被害を防止するためにどのような対策が有効だと思いますか。

(○はいくつでも)

<図表 12-5> 自動車盗難被害を防止する有効な対策



自動車盗難被害を防止するための有効な対策を聞いたところ、「センサーライトや防犯カメラの設置を促進するなど、駐車場の防犯対策を強化する」(53.7%)が5割台半ばで最も高く、以下「警察のパトロールや取り締まりを強化する」(48.1%)、「自動車の所有者自身が防犯機器を設置するなど盗難防止策を講じる」(33.6%)、「事業者が盗難に遭いにくい自動車を開発するなどの措置を講じる」(31.7%)と続いている。(図表12-5)

【地域別】

地域別にみると、“香取地域”が「センサーライトや防犯カメラの設置を促進するなど、駐車場の防犯対策を強化する」(68.0%)で約7割、「警察のパトロールや取り締まりを強化する」(60.0%)では6割で他の地域に比べて高くなっている。「自動車の所有者自身が防犯機器を設置するなど盗難防止策を講じる」は、“安房地域”(48.3%)が約5割、「事業者が盗難に遭いにくい自動車を開発するなどの措置を講じる」では“海匝地域”(40.9%)が4割で他の地域に比べて高くなっている。

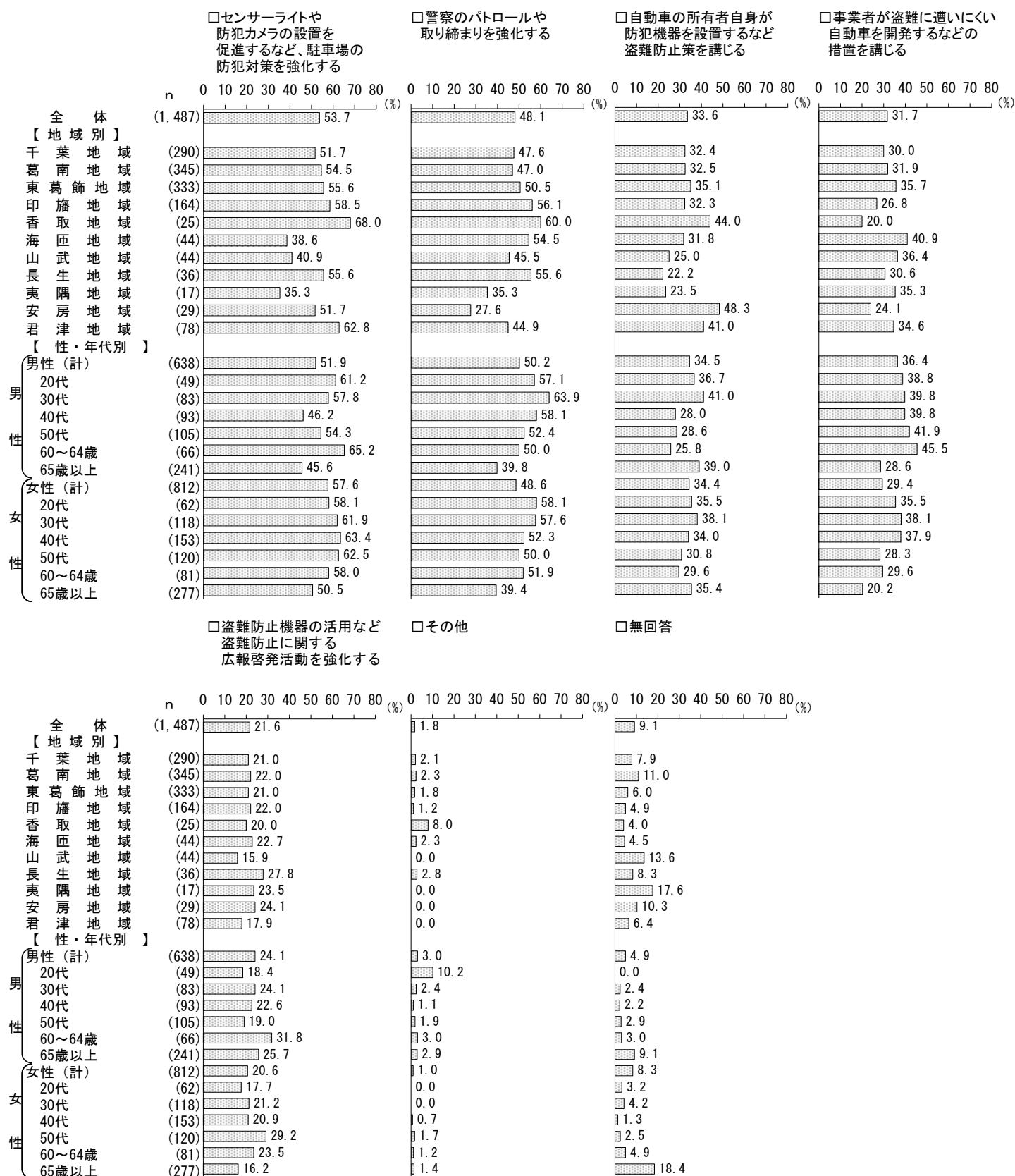
(図表12-6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「センサーライトや防犯カメラの設置を促進するなど、駐車場の防犯対策を強化する」は男性の60～64歳(65.2%)、20代(61.2%)、女性の40代(63.4%)、50代(62.5%)、30代(61.9%)が6割以上で他の年代に比べて高くなっている。男性の30代が「警察のパトロールや

取り締まりを強化する」(63.9%)で6割台半ば、「自動車の所有者自身が防犯機器を設置するなど盗難防止策を講じる」(41.0%)が4割を超えて他の年代に比べて高くなっている。「事業者が盗難に遭いにくい自動車を開発するなどの措置を講じる」は男性の60～64歳(45.5%)が4割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表12—6)

＜図表 12－6＞自動車盗難被害を防止する有効な対策／地域別、性・年代別



このほかに、「自動車盗難の被害防止について」やここまでの質問（問48～問50）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、75人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「自動車盗難の被害防止について」の自由回答（抜粋）

- 高い車ほど盗難にあいやすいことがわかり、分相応の車にしています。
(女性・65歳以上・葛南地域)
- 近隣でも盗難の話は聞いたことがなく、身近な問題とは考えていませんでした。特定の地域や状況、条件の地区が被害にあっているのではないのでしょうか。(男性・40代・葛南地域)
- 常日頃から危機意識をもつ（自動車の保有者自身）。車内に貴重品を絶対におかない。人気のない場所には車を止めない。(男性・30代・香取地域)
- すべての自動車に警報装置を標準装備にすることが良い。(男性・40代・君津地域)
- 管理は個人個人の問題であると思う。地域や近隣とのつながりや付き合いも必要です。ルールを守った駐車も必要です。(男性・65歳以上・印旛地域)
- 盗難にあった車は海外にいく事がほとんどだと思う。対策しても盗まれてしまう時もある。車両保険に入るとか、自分でできる対策をするしか無いから、その必要性をもっと強く広く伝えるべき。(女性・30代・長生地域)
- 所有者が盗難にあわないように自己防衛をする。自転車盗難の罪を重くする。
(女性・40代・安房地域)
- イモビライザーを標準装備にしてほしいと思います。(女性・65歳以上・葛南地域)
- 自動車盗難被害にあった方の話は聞いているのですが、田んぼや畑に駐車する時鍵をしない時があるので自分でも気をつけなくてはと思います。(女性・60～64歳・香取地域)
- 夜間には電灯等でなるべく明るくすることでしょう。又、死角になるような場所は、駐車場として利用しないことかと考えます。更に、盗難されにくい町づくりを基本に置くべきだと思います。
(男性・60～64歳・印旛地域)

13 自由回答

問 県への意見があればご自由にお書きください。

県への意見を自由に記述していただいたところ、264人から延べ316件の回答が寄せられた。記述いただいた内容は多岐に渡り、県政の各施策におおむね沿った形（合計34項目）で整理した。

なお、一人の回答が複数の内容に渡る場合には、原文の内容の趣旨がそこなわないよう回答を分け、それぞれの項目へ分類した。

また、紙面の都合上、全ての意見を掲載することはできないが、意見の多い項目に関しては、一部抜粋してご意見を記載するものとする。

【自由回答の項目順位】

順位	項目	件数
第1位	県政全般に関する要望	74
第2位	道路を整備する	29
第3位	次世代を担う子どもの育成支援を充実する	24
第4位	県政情報の発信や活動のPRについて	21
第5位	便利な交通網を整備する	16
第6位	高齢者の福祉を充実する	12
第7位	犯罪防止対策をすすめる	11
第8位	災害から県民を守る	10
〃	雇用の場を広げる	10
第10位	学校教育を充実する	8
第11位	医療サービス体制を整備する	7
〃	観光を振興する	7
〃	調査について	7
〃	自転車のマナーについて	7
第15位	自然を守り、緑を育てる	4
〃	農林水産業を振興する	4
〃	生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する	4
第18位	中心市街地の活性を推進する	3
〃	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する	3
〃	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる	3
〃	東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る	3
第22位	母子、寡婦、父子家庭等の福祉や社会参加の支援を充実する	2
〃	省資源やりサイクルをすすめる	2
〃	下水道を整備する	2
〃	住宅対策をすすめる	2
第26位	消費生活について	1
〃	食品の安全を守る	1
〃	交通事故から県民を守る	1
〃	健康づくりをすすめて病気を予防する	1
〃	廃棄物対策をすすめる	1
〃	商工業を振興する	1
〃	公園・緑地・水辺を整備する	1
〃	芸術・文化活動を振興する	1
〃	施策実現や地域活性化のためのITの活用をすすめる	1
	その他	32
	うち、国への要望等	5
	うち、住んでいる市町村について	15
	合 計	316

【自由回答の記述】（意見の多い項目の一部抜粋）

■県政全般に関する要望

○千葉県がよりよい県になるように、安心して生活出来るようにお願いします。

（女性・50代・葛南地域）

○森田さんは良くやっているとします。昨日、海ほたるより京葉地帯を見ましたが、県の発展に驚くばかりです。願わくは、子や孫にあまり借財を残さず、必要不可欠なものから手をつけてください。（男性・60～64歳・海匝地域）

○千葉県をより良い県にしていける為に、どうか身を粉にして奮闘して下さい。環境に恵まれている県の割に、交通事故が多かったり犯罪が多かったりと、良い事だけではありません。東京に近い事もあり、人口の増加も関係しているのでしょうか。暮らしやすい千葉県になりますよう、ご努力下さい。（女性・65歳以上・千葉地域）

○千葉で生まれ、千葉で育ちました。住みやすい千葉県がとても好きです。ただ、免許の申請等の手続きの際に、東京等より手間がかかる部分が多いと思うので（窓口が少なかったり、郵送ができなかったり）、もう少し柔軟に対応して頂けると助かると思っています。

（女性・20代・千葉地域）

○高額な住民税を支払っているが、見合った住民サービスを受けている実感がない。県政における無駄をはぶき、税金を引き下げてもらいたい。（男性・50代・東葛飾地域）

○若い世代に負担を強いるのではなく、御老人達（独居等のぞく）にも多少の負担は必要かと思っています。年金等の収入にも、いろいろ制限かけてもいいのでは…。（女性・40代・香取地域）

○とても財政が厳しい県だと思う。本当に無駄なモノ（人）は無い・いないのか今一度考えるべきだと思う。切ることも必要。（女性・30代・千葉地域）

○生まれてずっと千葉県に住んでいるので、他の県の事はわかりませんが、とても暮らしやすい所だと思っています。（男性・65歳以上・君津地域）

○福祉関係が今まで以上に良くなる様に期待しております。他の県の人から「千葉県って住みやすい県だね」とか「千葉に住みたいね」と言われる様な県を作っていただけたら嬉しいです！よろしくお願いします。（女性・50代・千葉地域）

○どの都道府県でも言えることですが、無駄な道路工事など、税金の無駄使いはやめていただきたい。また無駄使いしないで済むようにするにはどうすればいいか考えていただきたいです。千葉県が他の都道府県のお手本となり、県民として誇れるような県にしてほしいです。そうすればまた少子高齢化など解決する問題もあると思います。（男性・30代・葛南地域）

■道路を整備する

○東京湾アクアラインの料金引き下げについては、延長など努力して頂き、大変良いと思っております。今後も続けて頂けたらと思っています。（女性・50代・千葉地域）

○道路や歩道に雑草が生え、そのまま放置している現状を何とかしてほしい。今後、外国人観光客が増え、好印象を与え、リピーターの増加を期待する意味からも、是非整備の充実を図ってほしい。（男性・65歳以上・千葉地域）

○渋滞の解消（バイパス道路の整備）を早く実施してください。外環道路の早期完成を望む。
（男性・60～64歳・東葛飾地域）

○千葉に来て10年ですが、この10年で何も変わっていないように思います。アクアラインより京葉道路の料金の値下げを考えて頂きたいです。千葉は案内道路標識がわかりづらいです。
（女性・40代・千葉地域）

○道路が狭い。広い道路にしてほしい。通学路が狭く、子供達が非常に危ない。成田空港周辺の道路の整備の強化（渋滞がひどい）。道路がボコボコで運転に支障が出る。直すのであればキレイに直してほしい。（女性・30代・印旛地域）

■次世代を担う子どもの育成支援を充実する

○チーパスはご利用させて頂いております。子供がいる家庭はとても助かります。里親関連も質問事項に入れてみたらいかがですか。例えば夏休みにおうちに帰れない子がいる事や、その子を受け入れ、夏休みだけ過ごす事ができるボランティアがあるので、そういう事も、広く（学校、地域）知っていただくのもいいと思います。（女性・40代・葛南地域）

○高齢化が進み、高齢者への支援に力を入れることも大切だと思いますが、未来を担う子供たちのために、教育のために県税を使ってほしいと強く感じています。（女性・30代・海匝地域）

○私にはまだ子供はおりませんが、将来子供ができた時に、共働きができるよう、保育園の数を増やして欲しい。妻も安心して働けるような施設があるといいなと思っている。
（男性・30代・東葛飾地域）

○子育て支援をもっと充実させてほしいです。すべての市町村で医療費の助成を中学3年生までに拡充してほしいです（せめて小6まで）。（女性・40代・長生地域）

○これからの目標として、少子化解消に向け、千葉県では子を産みやすく、育てやすく、そして教育（スポーツを含む）がすばらしい等々、子供パラダイスの県として発展することを望みます。（男性・65歳以上・印旛地域）

■県政情報の発信や活動のPRについて

○もっと歴史的なことや千葉にゆかりある人物を取り上げ、大河ドラマになることなど、全国から観光客が来て、千葉を盛り上げてほしい。県や市、町などで色々イベントや物産展、警察・消防・自衛隊などの合同のイベントや防災を中心としたことなら良いと思う。

(男性・40代・君津地域)

○県のPRを多くしてもらいたい。新聞の県のたより、TBSラジオの知事の話は、千葉県の四季がわかりいい番組です。(女性・50代・東葛飾地域)

○質問の中で「～条例を知っていますか?」「…活動を知っていますか?」という質問がいくつかあったが、そもそもそのような条例や活動があることを、この調査で初めて知った。もっと県民に知らせるための方法などを考えてほしい(広報紙の作成など)。

(男性・30代・千葉地域)

○もっと千葉県のイメージアップをすべきである。ディズニーや成田空港以外に名所となるところがあるといい。東京に近いからその辺がだいぶ考えがうすくなっている。

(女性・30代・印旛地域)

○森田知事に県産品のピーアール等してほしい。(女性・40代・千葉地域)

■便利な交通網を整備する

○北総線運賃がとても高いです。住民の足である電車賃が高くては、できるだけ乗らないで済ましてしまいがちです。せつかく環境が良いのですから、転居してくる人が増えてくるよう、値下げをお願いしたいです。(女性・40代・印旛地域)

○市によっての発展のバラつきがあるのは当然ではあるが、千葉より下りの電車の本数が少ないこと、店舗の少ないことなど不便なところがあり、人口動態で増加が見られない。住みにくくなっているのか、我が街、今後高齢化していくので医療のことも気にかかる。巡回バス(低運賃)などで通院や買い物ができるシステムなど、様々なことを検討してほしい。

(女性・60～64歳・君津地域)

○県が広いわりには、交通(公の)機関が不便なので、県内で活動することはあまりない。ほとんど都内へ行くことが多い。(女性・65歳以上・葛南地域)

○川崎より移転して来ました。千葉県のバス路線の少ないのには、川崎から見て驚きました。高齢者の方など、電車を使用し、結局タクシーで帰宅する事がよくあります。道路が狭いせいもあるでしょうが、一駅に2～3本位バスが出ていれば病院へ行く高齢の方達が、大分楽になるのではと考えております。是非ともその事に対しお願い致します。(女性・50代・葛南地域)

○格安航空会社が成田に来るようになったので、もっと成田空港へのアクセスを県内で良くしてほしい。（女性・50代・東葛飾地域）

■高齢者の福祉を充実する

○年金生活で一番感じる事は、交通費が家計に負担する。東京都では高齢者に対する交通費がとても配慮されている。千葉県でも、後期高齢者には私鉄の半額パスぐらいは出してほしい。外に出る事で健康維持につながると思う。（女性・65歳以上・葛南地域）

○高齢者が不安にならない県作りをお願いします。（女性・50代・山武地域）

○高齢化社会です。高齢者が安心して入居できる公的サービス付集合住宅を建設すべきです。
(男性・65歳以上)

■犯罪防止対策をすすめる

○青少年の犯罪防止の為、パトカーのパトロールや教育予算を十分確保し、犯罪をなくすような対策を考える。（男性・60～64歳・千葉地域）

○毎日のようにお年寄りが振り込め詐欺などで老後の蓄えを失う事件が発生しているので、これ以上被害者が増えないことを祈っています。そのために、県でも今以上に対策を協議していただきたいです。（女性・40代・東葛飾地域）

○最近も駅前で刺される事件がありましたが、近所でそういうことがあると不安です。なるべくああいう事件が起きないようにしてもらいたい。（男性・20代・東葛飾地域）

■災害から県民を守る

○防災の町づくりを考えると、幕張のようなウォーターフロント地区の津波対策が急務だと思います。（男性・50代・千葉地域）

○台風や大雨による、河川の被害が続出しています。河川の整備をお願いいたします。
(女性・65歳以上・君津地域)

○県への意見なのかわかりませんが…災害時、新京成電鉄、総武線等、交通機関がすぐにとまってしまって、通勤時困ってます。台風や地震に強い交通機関の充実が望まれます。

(女性・40代・葛南地域)

■雇用の場を広げる

○本来であれば、働き盛りの20代～40代の方々が定職に就かず自宅に引きこもって高齢の両親に大変心配（迷惑）をかけている家族が多くあり、県（日本）の未来が不安である。そういう方々に、いかに就労意欲を持っていただけるかを真剣に考えて、取組んでいかなければと思います。（女性・40代・千葉地域）

○働きやすい職場環境。派遣、準社員が正社員として働けるような社会。

(女性・40代・東葛飾地域)

○若い人が希望を持って生きられるように、社会に出る時に必ず就業につけるよう、制度を確立して下さい。社会的弱者（理由あって就業できず困窮している人、障害者、路上生活者等）に援助できる、そして助けられる県政である事を信じています（我慢している人もいますので）。（女性・65歳以上・葛南地域）

■学校教育を充実する

○教育に対する意識を高めてほしい。1人1人の子どもに十分に教育を受けさせてあげるため、教員を増やす。個別支援体制をつくる。教育への予算増加。1クラスあたりの人数を30人以下にする。子育てしやすい環境。学校の耐震。災害対策。（女性・30代・東葛飾地域）

○子育てをしているので、いじめやインターネット、携帯の使い方など心配しています。学校の先生のあり方にも疑問を感じる時も。先生への教育や資格に力を入れて下さい。教育費も高すぎます。ますます少子化になります。（女性・40代・千葉地域）

○子供の学力低下が心配なので、土曜日も学校にしてほしい。（女性・30代・葛南地域）

問 また、この「世論調査」について、ご意見やご提案があればお書きください。

この「世論調査」に関する意見を自由に記述していただいたところ、132人からの回答が寄せられた。これらのご意見から、一部抜粋してご意見を記載した。

○この調査に選ばれて良かった。記入する度に身近なことに私で協力できることは足元から声掛けていかなければと自覚できました。ありがとうございました。（女性・65歳以上・千葉地域）

○「～について」という各小項目の定義が少し曖昧でわかりにくいと感じたので、もう少し具体的な説明があると良いと思いました。例えば環境保全であれば、温暖化や水資源、石油資源等に限定されるのか、街のゴミや騒音、自然保護等も入れるのか等がわかると良いと思いました。（女性・20～29歳・千葉地域）

○結果を5月頃にホームページ等で公表とありましたが、パソコン使えないので、千葉県だよりに掲載して頂けたら嬉しいです。（女性・30～39歳・葛南地域）

○世論調査で県民の意向を知ることは良いが、単にアンケートをして集計だけして一件落着としなくて、県政に活用されることを望みます。（男性・65歳以上・夷隅地域）

○県民の中には、立派な考えをお持ちの方が多くいらっしゃると思います。そのような方のご意見をくみ上げる為にも、このようなアンケートも無記名ではなくてもいいと思います。もちろん任意ですが。最後に、通勤電車の中で立ったまま書いたもので、字が読みづらく、申し訳ありません。（男性・40～49歳・葛南地域）

○最初は面倒だと正直思ったが、記入しているうちに千葉県の現状なども少しわかって、勉強になった。（女性・30～39歳・東葛飾地域）

○申し訳ないが、「県」の動きは市ほど身近でもなく、国ほど影響もない。ただこういった調査によって認識が上がるので、今後とも「世論調査」を続けて下さい。（男性・30～39歳・葛南地域）

○自由にお書き下さいの項目が多い…。多分そこが聞きたい内容だと思うが、だったら3000人だけでなく、多くの人の意見を聞くべき。また、障害者やその家族の意見をちゃんと聞いてほしい。（女性・30～39歳・印旛地域）

○今回は県で行っているようですが、もっと市や町など小さい範囲でも頻繁に行ってもらいたいです。年配の方などにはこういった形で、若い層（10代～50代）などには通勤や通学の合間にできるよう、携帯やスマホでのアンケートなど、また協力者には毎年か毎月抽選で何かが当たるようにして、学校や企業、色々な施設で宣伝をすればもっと正確なデータが取れると思います。（男性・30～39歳・葛南地域）

○65歳以上になると生活も変わってきます。事務的質問では今ひとつ理解しにくいこともあります。もう少し具体的にしてもらえればと思いました。（女性・65歳以上・君津地域）

(付) 調査票および単純集計結果

第47回 千葉県政に関する世論調査

ご記入にあたってのお願い

- 1 ご回答は、この調査票に黒か青のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
- 2 回答は、原則としてあてはまるものに○をつけてください。質問は、
(○は1つ)、(○は2つまで)、(○はいくつでも) などと表示しています
ので、そちらに合わせてください。

また、質問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、
ことわり書きや矢印にしたがってください。特にことわりのない場合は、
次の質問に進んでください。
- 3 お答えが選択肢の中にない場合は、「その他」を選び、() 内に
その内容を具体的に記入してください。
- 4 ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
12月9日（月）までに郵便ポストにご投函ください。
※調査票は、折りに合わせて三つ折をお願いします。
- 5 このアンケートのご記入に当たってご不明な点等がございましたら、
お手数ですが下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

千葉県 総合企画部 報道広報課広聴室

〒260-8667 千葉市中央区市場町1番1号

電 話 043-223-2246

FAX 043-227-3613

【住宅用火災警報器の設置状況について】

平成20年から、県内全ての住宅の寝室などに住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。

今回の調査は、設置義務化直後の状況と義務化から5年が経過した現状とを比較するために実施するものです。

問1 あなたのお住まいには、住宅用火災警報器が設置されていますか。

n=1,487 (○は1つ)

67.9 設置している

30.5 設置していない

1.6 無回答

※ お住まいに自動火災報知設備、又はスプリンクラー設備が設置されている場合は、「1 設置している」に○をしてください。

(問1で「1」とお答えの方に)

➤ 問2 住宅用火災警報器は、ボタンを押したりヒモを引いたりすることで作動点検ができますが、あなたは住宅用火災警報器の作動点検をどのくらいの頻度で行っていますか。

n=1,009 (○は1つ)

0.0 ほぼ毎日

5.2 月に1回程度

66.6 特に何もしていない

0.6 週に1回程度

26.7 年に1回程度

1.0 無回答

(問1で「2」とお答えの方に)

➤ 問3 あなたが住宅用火災警報器を設置していない理由は何ですか。

n=454 (○はいくつでも)

33.3 義務付けされたことを知らなかった

27.3 住宅用火災警報器の価格が高い

11.5 住宅用火災警報器の販売店がわからない

17.0 どの部屋に取り付けたらよいかわからない

32.8 取り付けが面倒である

7.9 賃貸住宅なので、誰が設置するか所有者と話しがまとまっていない

15.6 その他(具体的に

)

2.9 無回答

(すべての方に)

このほかに、「住宅用火災警報器の設置状況について」やここまでの質問(問1～問3)について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【地域福祉の推進について】

近年、少子高齢化の進行や一人暮らし世帯・核家族世帯の増加等を背景に家庭内や地域の支え合いの力が弱まっていると言われています。そのため、県では「互いに支え合い安心して暮らせる地域社会」の構築を目指し、「第二次千葉県地域福祉支援計画」を策定しています。

問4 あなたは地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められていると思いますか。
n=1,487 (○は1つ)

6.3	そう思う	17.5	どちらかといえばそう思わない
24.3	どちらかといえばそう思う	19.0	そう思わない
23.6	どちらともいえない	8.4	わからない
		0.9	無回答

問5 あなたは近隣の人に対して、どのようなつきあい方が望ましいとお考えですか。

n=1,487 (○は1つ)

36.8	相互扶助的なつきあい（困ったとき、相談や助け合いができるつきあい）
25.8	行事等があれば協力をする程度のつきあい
16.8	たまに世間話や立ち話をする程度のつきあい
16.5	顔を合わせればあいさつする程度のつきあい
1.6	ほとんど関わらない
1.5	わからない
1.1	無回答

問6 あなたは互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会をつくるため、どのような取組が必要だと考えますか。
n=1,487 (○は2つまで)

11.8	生涯を通じた福祉教育による、福祉マインド※の醸成
27.4	福祉施設でのボランティア活動や街の防犯活動など、住民の市民活動への参加の促進
17.4	地域福祉活動の要となる人材（リーダー、コーディネーター等）の育成
53.5	医療・福祉サービスの充実
27.8	相談支援体制の充実
24.7	地域における健康づくり・医療・福祉の連動
5.0	わからない
2.9	その他（具体的に
0.6	無回答 ※ 地域社会の様々な構成員が互いに助け合い交流するという精神のこと

(すべての方に)

このほかに、「地域福祉の推進について」やここまでの質問(問4～問6)について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【高齢者の孤立化問題について】

急激な高齢化に伴い、一人暮らしの高齢者や高齢のご夫婦だけの世帯が大幅に増加することが予想されます。県では、誰もが安心して暮らせる社会を実現できるよう、高齢者の孤立化防止に取り組んでいます。

問7 いわゆる孤立死(孤独死)に明確な定義はありませんが、あなたが考える孤立死(孤独死)のイメージに近いものは次のどれですか。 n=1,487 (○は1つ)

- | | |
|------|---|
| 43.2 | 一人暮らしの人が在宅で誰にも看取られずに亡くなる |
| 11.2 | 死後数日して発見される |
| 7.2 | 死後1週間以上経って発見される |
| 30.9 | 発見までの期間や一人暮らしか否かに関わらず、家族や社会から孤立した末に亡くなる |
| 3.4 | わからない |
| 0.8 | その他(具体的に) |
| 3.3 | 無回答 |

問8 あなたはいわゆる孤立死(孤独死)に対する不安がありますか。

n=1,487 (○は1つ)

- | | | | |
|------|---------|------|-----------|
| 6.2 | 大変不安がある | 49.6 | あまり不安がない |
| 30.1 | 不安がある | 11.4 | まったく不安がない |
| | | 2.7 | 無回答 |

問9 高齢者を孤立化させないため、行政が取り組むべきことは何だと思いますか。

n=1,487 (○はいくつでも)

- | | |
|------|------------------------------|
| 18.6 | 孤立化防止に対する県民の意識啓発 |
| 55.9 | 地域住民、事業者などとの連携による見守りネットワーク構築 |
| 52.5 | 配食サービスや緊急通報装置などによる安否確認の実施 |
| 35.2 | 地域活動や趣味活動への支援を通じた高齢者の社会参加促進 |
| 29.9 | 見守りの担い手や福祉専門職の育成 |
| 25.4 | 地域包括センターなど高齢者の相談窓口の周知、拡充 |
| 17.3 | 地域住民や団体による見守り活動事例の紹介 |
| 2.7 | その他(具体的に) |
| 3.0 | 無回答 |

問 10 あなたは「しない、させない、孤立化！」を合言葉に県が実施している高齢者孤立化防止活動「ちばSSKプロジェクト」を知っていますか。n=1,487（○は1つ）

1.1 言葉も内容も知っている	85.1 言葉も内容も知らない
11.5 言葉は知っているが、内容までは知らない	2.3 無回答

（すべての方に）

このほかに、「高齢者の孤立化問題について」やここまでの質問（問7～問10）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【障害者施策について】

県では、障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会づくりを進めています。今後の取組の参考とするため、ご意見をお聞かせください。

問 11 あなたは障害のある人に対する支援をしたことがありますか。

n=1,487（○は1つ）

8.0 よくしている	39.3 ほとんどしたことがない
18.3 たまにしている	31.4 したことがない
	3.0 無回答

問 12 あなたが、今後、障害のある人に対する支援として必要だと思う取組は、次のうちどれですか。n=1,487（○はいくつでも）

52.1 在宅や地域での生活が困難な障害のある人のための入所施設の整備
48.2 障害のある人が地域で生活するための障害者グループホーム・ケアホームの整備
36.0 障害児に対する療育支援の充実
37.3 障害のある人に対する相談支援体制の充実
26.7 障害のある人の賃金や工賃の向上
31.1 精神障害のある人の地域での受け入れ体制の整備
26.6 障害者虐待の防止や差別解消を促進する取組の強化
34.2 支援員等の福祉人材の確保
29.3 障害及び障害のある人に対する理解を促進するための普及啓発活動の推進
4.6 わからない
2.4 その他（具体的に
2.6 無回答

問 13 あなたは障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりが進められていると思いますか。
n=1,487 (○は1つ)

3.8	そう思う	22.0	どちらかといえばそう思わない
15.7	どちらかといえばそう思う	17.0	そう思わない
23.6	どちらともいえない	16.0	わからない
		1.9	無回答

問 14 あなたは世の中には障害がある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。
n=1,487 (○は1つ)

47.3	あると思う	6.9	ないと思う
44.3	少しはあると思う	1.6	無回答

問 15 あなたは、障害のある人の差別に関する全国初の条例である「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」が千葉県にあることを知っていますか。
n=1,487 (○は1つ)

1.6	よく知っている	80.2	知らない
16.7	多少は知っている (聞いたことがある)	1.5	無回答

(すべての方に)

このほかに、「障害者施策について」やここまでの質問 (問 11～問 15) について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【動物愛護管理について】

平成25年9月1日から改正「動物の愛護及び管理に関する法律」が施行され、県では「千葉県動物愛護管理推進計画」の見直しに取り組んでいます。

問 16 あなたは「動物の愛護及び管理に関する法律」にペット動物の飼い主の責務として、できる限り終生飼養に努めることと規定されていることを知っていますか。
n=1,487 (○は1つ)

18.5	よく知っている	42.0	知らない
37.7	多少は知っている (聞いたことがある)	1.8	無回答

問 17 あなたは地域猫活動※のことを知っていますか。

n=1,487(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|-----------|
| 4.1 よく知っている | 75.1 知らない |
| 19.4 多少は知っている(聞いたことがある) | 1.5 無回答 |

※ 地域猫活動とは、特定の飼い主のいない猫を地域のルールに基づいて適切に管理し、これ以上数を増やさず、一代限りの生を全うさせるため、地域住民が主体となり、ボランティア及び行政が協働して実施する活動のことです。

問 18 あなたはペット動物について、どのようなことに迷惑を感じますか。

n=1,487(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|---|
| 25.1 鳴き声がうるさい | |
| 17.9 悪臭がする | |
| 16.1 犬の放し飼い | |
| 65.1 散歩している犬のふんの放置など飼い主のマナーが悪い | |
| 46.9 猫がやってきてふん尿をしていく | |
| 13.9 咬まれるなどの危害を加えられるおそれがある | |
| 17.7 寄生虫や動物由来感染症などを移される心配がある | |
| 13.5 特に迷惑を感じない | |
| 5.1 その他(具体的に |) |
| 1.6 無回答 | |

問 19 動物の愛護や適正な飼育の推進のために、行政が取り組むべきことは何だと思いますか。

n=1,487(○はいくつでも)

- | | |
|--|---|
| 64.2 飼い主の迷惑行為に対する規制や指導を強める | |
| 33.4 動物を取り扱う業者に対する規制や指導を強める | |
| 9.8 動物と触れあえるような動物園などの公的施設を増やす | |
| 33.7 テレビ、新聞、ポスターなどで動物の愛護や正しい飼い方の重要性を訴える | |
| 18.0 動物の愛護や正しい飼い方について理解を広めるための行事を行う | |
| 38.3 動物の愛護や正しい飼い方について学校や社会教育の場で十分に引き上げる | |
| 16.3 動物の愛護や正しい飼い方の普及を進めるボランティア団体などの活動を支援する | |
| 20.7 動物の愛護や正しい飼い方の相談や要望に応じる行政窓口を充実させる | |
| 11.1 動物の愛護や正しい飼い方について相談に応じる民間の専門家を養成する | |
| 3.5 その他(具体的に |) |
| 3.5 無回答 | |

(すべての方に)

このほかに、「動物愛護管理について」やここまでの質問（問 16～問 19）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【環境保全に関する取組について】

現在の環境問題は、人間のあらゆる活動がもたらす環境への負荷が自然の持つ復元能力を上回っていることから生じています。この解決のためには、一人ひとりの県民が日常生活において環境への配慮を行うとともに、環境保全のための活動に取り組んでいくことが必要です。

問 20 あなたは普段の生活で次のようなことを行っていますか。

n = 1,487 (○はそれぞれ 1 つ)

	実施している	ときどき実施している	あまり実施していない	実施していない	該当するものがない	無回答
(ア) 節電に努めている	54.6	35.8	6.4	0.7	0.1	2.4
(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする	64.0	24.3	6.7	1.1	0.8	3.1
(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ	44.1	27.4	15.5	5.6	3.0	4.2
(エ) レジ袋をもらわない	32.1	37.2	12.9	14.7	0.3	2.8
(オ) 車の急発進・急加速はしない	50.2	17.1	5.9	2.3	16.4	8.0

問 21 あなたはこれまでに環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動などに参加したことがありますか。

n = 1,487 (○は 1 つ)

16.7	参加したことがある	
38.7	参加したことはないが、機会があれば参加してみたい	
27.2	参加したことはなく、あまり参加したいと思わない	
12.8	参加したことはなく、今後とも参加するつもりはない	
1.5	その他（具体的に	3.0 無回答

(すべての方に)

このほかに、「環境保全に関する取組について」やここまでの質問（問 20～問 21）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【消費生活について】

消費者被害の未然防止や消費生活の安定及び向上に向けた効果的な施策の推進を図る参考とするため、消費生活に関する意識をお聞かせください。

問 22 あなたは消費者トラブルにあったことがありますか。 n=1,487 (○は1つ)

16.5	あったことがある	81.7	あったことはない	1.8	無回答
------	----------	------	----------	-----	-----

問 23 消費生活のトラブル、商品の安全性の不安、悪質商法の被害にあった時などの相談体制は整備されていると思いますか。 n=1,487 (○は1つ)

16.7	整備されていると思う	56.1	わからない
25.4	整備されていないと思う	1.8	無回答

問 24 悪質商法が減ってきたと思いますか。 n=1,487 (○は1つ)

3.8	減ってきたと思う	36.7	増えてきたと思う
40.8	変わらないと思う	17.1	わからない
		1.6	無回答

問 25 食の安全について、不安を感じていますか。 n=1,487 (○は1つ)

27.8	不安を感じている	21.1	あまり不安を感じていない
35.4	どちらかといえば不安を感じている	2.2	不安を感じていない
11.9	どちらともいえない	1.6	無回答

問 26 あなたは日常の買い物やサービスの利用など、消費生活全般について満足していますか。 n=1,487 (○は1つ)

9.8	満足している	13.7	あまり満足していない
44.9	どちらかといえば満足している	3.6	満足していない
26.4	どちらともいえない	1.7	無回答

(すべての方に)

このほかに、「消費生活について」やここまでの質問（問 22～問 26）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【青少年の健全育成について】

スマートフォンなどの急激な普及により、青少年がインターネットを利用する際に有害情報へのアクセスや、個人情報の流出などのトラブルに遭う危険性が高まっています。

問 27 青少年のインターネット利用に関して、あなたが危険性を感じるのはどのようなことですか。 n=1,487 (○はいくつでも)

- 61.7 自分や他人の個人情報や安易に公表してしまい、つきまとい等の被害に遭うこと
60.1 有害情報にアクセスしたり、架空請求等の被害に遭うこと
64.2 インターネットを通じた誹謗中傷やいじめ等が激化すること
47.0 不正サイト利用による詐欺被害に遭うこと
19.3 動画やゲームソフト等を違法ダウンロードして、著作権を侵害してしまうこと
45.4 コンピュータウィルス等への感染により個人情報が流出すること
58.3 いわゆる「ネット依存」により日常生活に支障をきたすこと
3.6 特になし
3.2 その他（具体的に ） 3.4 無回答

問 28 インターネット利用の危険性から青少年を守るためにどのようなことが必要だと思いますか。 n=1,487 (○はいくつでも)

- 77.6 学校現場における、インターネットに関する知識や利用する上でのモラルの
早期教育
- 34.7 教師や保護者への啓発
- 44.0 青少年に対する、トラブルが起こった際の対処方法についての啓発
- 50.8 携帯電話やスマートフォン、ゲーム機を利用する際の家庭でのルールづくり
- 41.6 青少年が利用しやすいフィルタリングソフト※の開発
- 33.7 携帯電話事業者による購入者への丁寧な説明（インターネット上の有害情報
やそれに対する対応方法等について）
- 2.7 その他（具体的に
- 4.4 無回答 ※ インターネット上の有害な情報が含まれるサイトを

※ インターネット上の有害な情報が含まれるサイトを閲覧できないように制限するソフトのこと

問 29 青少年の健全育成のために、行政が取り組むべきことは何だと思いますか。

n=1,487 (○は1つ)

- | | | |
|------|--|---|
| 14.0 | 子どもを見守るボランティア（青少年補導員・青少年相談員など）の育成 | |
| 22.8 | インターネット利用の危険性に関する一層の広報・啓発活動 | |
| 10.6 | 引きこもりなど、困難を抱える青少年の相談窓口の設置・啓発活動 | |
| 2.4 | 有害環境からの青少年の保護（有害図書・玩具の指定） | |
| 8.9 | 児童ポルノなどインターネットを介した有害情報に関する規制の強化 | |
| 5.0 | 携帯電話事業者に対する、購入者への有害情報閲覧を避けるための丁寧な説明の徹底 | |
| 2.2 | その他（具体的に | ） |
| 34.1 | 無回答 | |

（すべての方に）

このほかに、「青少年の健全育成について」やここまでの質問（問 27～問 29）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【有機農業について】

平成18年12月に「有機農業の推進に関する法律」が制定され、本県では平成22年2月に「千葉県有機農業推進計画」を策定し、有機農業の推進に取り組んでいます。

有機農業とは、化学的に合成された肥料と農薬を使用しないこと、遺伝子組換え技術を利用しないことを基本として、環境への負荷をできる限り低減した生産方法で行われる農業のことをいいます。

問 30 あなたは有機農業により生産される農産物に対してどのようなイメージを持っていますか。

n=1,487 (○はいくつでも)

- | | | | | |
|------|--------------|------|----------|---|
| 8.8 | 一般の農産物と変わらない | 54.7 | 価格が高い | |
| 44.9 | 環境にやさしい農産物 | 2.2 | 形や色が良い | |
| 68.3 | 安全・安心な農産物 | 8.1 | 形や色が悪い | |
| 45.2 | 健康に良い | 1.0 | その他（具体的に | ） |
| 25.5 | 美味しい | 3.8 | わからない | |
| | | 1.7 | 無回答 | |

問 31 あなたはどのくらいの頻度で有機農業により生産される農産物を購入しますか。

n=1,487 (○は1つ)

7.8 よく購入する
40.8 ときどき購入する
27.1 ほとんど購入しない

6.0 まったく購入しない
14.7 わからない
3.7 無回答

(問 31 で「1」「2」とお答えの方に)

➤ 問 32 あなたが有機農業により生産される農産物を購入する理由は何ですか。

n=722 (○はいくつでも)

22.4 食味や栄養面で優れていると思うから
16.9 環境保全に貢献したいから
47.5 健康に良さそうと思うから

78.3 安全・安心だと思うから
43.5 生産者がわかることが多いから
1.9 その他 (具体的に)
0.4 無回答

問 33 あなたは、今後、有機農業により生産される農産物を購入したいと思いますか。

n=1,487 (○は1つ)

26.0 積極的に購入したい
48.4 ときどき購入したい

4.6 購入しない
17.3 わからない 3.7 無回答

問 34 あなたは、今後、有機農業により生産される農産物について主に何を期待しますか。

n=1,487 (○はいくつでも)

32.3 味や栄養が優れていること
2.9 見た目 (外観や形状) が整っていること
23.3 環境保全に貢献していること
45.0 近所や買いやすい場所で販売されていること
51.0 表示が信頼できること

63.1 価格がもっと安くなること
2.6 期待していない
1.2 その他 (具体的に)
4.0 無回答

(すべての方に)

このほかに、「有機農業について」やここまでの質問 (問 30～問 34) について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【道路整備について】

道路は、自動車、自転車、歩行者の通行、人や物資の輸送のための役割を持つほか、市街地の形成、災害時救援活動の支援や延焼の防止、緩衝空間、ライフラインの収容などの様々な役割を有しています。

問 35 あなたは、千葉県内の道路状況について、満足していますか。

n=1,487 (○は1つ)

9.4	満足している	56.6	満足していない	28.9	どちらでもない
				5.0	無回答

問 36 あなたは、今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題は何だと思いますか。

n=1,487 (○はいくつでも)

13.3	高速道路の整備（大都市圏の環状道路の整備、拠点を結ぶ道路の整備）
24.4	幹線道路の整備（隣接市などの地域間を結ぶ道路の整備）
63.7	生活道路の整備（通勤、通学などの日常の暮らしを支える道路の整備）
42.6	渋滞対策（バイパスの整備・開かずの踏切対策・交差点の改良など）
47.3	交通事故対策（通学路の歩道設置など）
36.2	バリアフリー対策（歩道の段差の解消など）
41.0	自転車利用の促進（自転車道・駐輪場の整備など）
20.1	バスなどの公共交通機関への支援（バスレーンの整備など）
16.8	既存道路の有効活用（高速道路料金の引下げ、インターチェンジの増設など）
45.2	大雨や地震などの災害への備え（避難路の整備・橋の補強など）
29.3	維持管理の充実（清掃など日常的な維持管理、老朽化した橋の予防対策など）
24.3	わかりやすい案内標識などの整備
16.3	道路景観の改善（電線類の地中化、植樹など）
22.0	大気汚染や騒音などの環境対策
7.9	カーナビ情報の充実（地図情報、渋滞情報の充実など）
3.0	その他（具体的に
2.6	無回答

現在、首都圏における交流・連携の強化や地域経済の活性化、また、渋滞緩和などによる環境等への負荷の軽減のため、全日、ETC 車を対象に、東京湾アクアラインの料金を普通車は 800 円、大型車では 1,320 円に大幅に引き下げる社会実験※が行われています。

※社会実験とは、新たな施策の展開や円滑な事業執行のため、社会的に大きな影響を与える可能性のある施策の導入に先立ち、場所や期間を限定して施策を試行・評価するものです。

問 37 あなたは、今回の社会実験期間中（平成 21 年 8 月 1 日以後）に東京湾アクアラインを利用しましたか。または、利用したいと思いますか。 n=1,487（○は 1 つ）

34.0 利用した	36.8 利用しない	→ 15 ページ問 41 へ
14.5 今後、利用したい	10.8 どちらでもない	
	3.9 無回答	

（問 37 で「1」「2」とお答えの方に）

→ 問 38 あなたが、東京湾アクアラインを利用した（したい）主な目的は何ですか。

n=721（○は 1 つ）

39.9 観光	3.1 買い物	28.2 レジャー
3.7 帰省	0.4 食事	0.3 通勤・通学
5.3 訪問・送迎等	4.2 仕事（業務）	1.4 その他
13.6 無回答		（具体的に）

（問 37 で「1」「2」とお答えの方に）

問 39 あなたが、東京湾アクアラインを利用した（したい）主な目的地はどこですか。

n=721（○は 1 つ）

15.7 東京都	36.8 海ほたるパーキングエリア
31.9 神奈川県	9.0 その他
0.6 埼玉県	（具体的に）
6.1 無回答	

（問 37 で「1」「2」とお答えの方に）

問 40 あなたが、東京湾アクアラインを利用した（したい）主な理由は何ですか。

n=721（○は 1 つ）

19.4 社会実験で料金が割引されたから
37.7 時間または距離が短縮されるから
7.4 高速バスで利用することができるから
25.0 東京湾アクアラインを通行してみたかったから
2.5 その他（具体的に）
8.0 無回答

(問 37 で「3」とお答えの方に)

問 41 あなたが、東京湾アクアラインを利用しない理由は何ですか。

n=547 (○は1つ)

- | | | | |
|------|----------------|-----|------------|
| 76.1 | 利用する用事がないから | 0.4 | 渋滞が懸念されるから |
| 5.7 | 遠回りだから | 1.3 | 不慣れな道だから |
| 0.9 | 料金が安いから | 7.5 | その他(具体的に) |
| 2.2 | 車にETCを付けていないから | 6.0 | 無回答 |

問 42 東京湾アクアラインの料金の引き下げにより期待できる効果は何だと思いますか。

n=1,487 (○はいくつでも)

- | | |
|------|--|
| 71.5 | 観光の振興(観光客数の増加、観光圏域の拡大など) |
| 27.5 | 企業活動の活発化(企業立地数の増加、就業者数の増加など) |
| 51.2 | 物流の効率化(物流コストの減少、輸送時間の短縮、定時性の確保など) |
| 37.3 | 京葉臨海部(湾岸部)の渋滞の緩和(渋滞回数の減少、走行速度の向上、環境改善など) |
| 35.8 | 神奈川など対岸との交流の拡大(商業圏域の拡大、通勤通学圏域の拡大など) |
| 3.7 | 期待する効果はない |
| 1.3 | その他
(具体的に) |
| 8.6 | 無回答 |

(すべての方に)

このほかに、「道路整備について」やここまでの質問(問 35～問 42)について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【犯罪のない安全で安心なまちづくりについて】

犯罪のない安全で安心なまちづくりには、県民一人ひとりが防犯意識を持ち、自らが主体となって犯罪の起こりにくい環境づくりを進めていくことが重要です。

あなたの防犯に対する意識や取組についてお聞かせください。

問 43 あなたは、犯罪や防犯に関する情報を主にどこから入手していますか。

n = 1, 487 (○は2つまで)

- | | | |
|------|------------------------------------|---------|
| 88.6 | テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等 | |
| 37.9 | 自治会や町内会の広報（回覧板等を含む） | |
| 9.2 | 警察の広報（県警ホームページ、防犯座談会や警察官との情報交換を含む） | |
| 12.8 | 知り合い等から直接聞く | |
| 2.2 | 特に入手していない | |
| 4.4 | その他（具体的に | 2.4 無回答 |

問 44 あなたが提供してほしい犯罪情報等は何ですか。

n = 1, 487 (○は2つまで)

- | | | |
|------|-------------------------|---------|
| 72.6 | 身近な地域の犯罪発生状況に関する情報 | |
| 36.7 | ひったくりや空き巣などの犯罪の手口に関する情報 | |
| 29.5 | 犯罪被害に遭わないための方法に関する情報 | |
| 9.0 | 防犯に役立つ防犯機器等に関する情報 | |
| 14.5 | 犯罪被害に関する相談窓口や関係機関の情報 | |
| 3.2 | 特にない | |
| 0.4 | その他（具体的に | 3.5 無回答 |

問 45 あなたは今、犯罪に遭わないためにどのようなことに心がけていますか。

n = 1, 487 (○はいくつでも)

- | | | |
|------|------------------------|---------|
| 81.2 | 家の戸締りを徹底している | |
| 7.4 | 防犯カメラ等の防犯設備を設置している | |
| 13.0 | 自転車に防犯ネット等を取り付けている | |
| 31.5 | 地域の犯罪の発生状況に注意している | |
| 13.4 | 留守にするときは、隣近所との連絡をとっている | |
| 9.4 | 特に何もしていない。わからない | |
| 1.7 | その他（具体的に | 2.5 無回答 |

問 46 あなたは、自主防犯活動（防犯パトロール隊など）に参加していますか。

n = 1, 487 (○は1つ)

- | | | | |
|------|--------------------|------|----------|
| 6.1 | 参加している | 23.5 | 興味がない |
| 41.6 | 参加していないが、機会があればしたい | 10.2 | その他（具体的に |
| 13.0 | 参加していたが、現在はしていない | 5.6 | 無回答 |

問 47 犯罪を防止するために、行政（警察を含む）に望むことは何ですか。

n=1,487（○は1つ）

39.9	犯罪の起こりにくい施設環境の整備	
2.6	防犯に関する講習会等の開催	
13.9	犯罪情報等の提供	
4.8	自主防犯活動を行う際の支援	
21.6	学校や通学路における児童、生徒の安全確保	
3.0	その他（具体的に	）
14.2	無回答	

（すべての方に）

このほかに、「犯罪のない安全で安心なまちづくりについて」やここまでの質問（問 43～問 47）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【自動車盗難の被害防止について】

県では自動車盗難を未然に防止し、安全で安心な県民生活を確保することに努めています。そこで、今後の取組の参考とするため、自動車盗難被害防止に関する意識についてお聞かせください。

問 48 あなたは自動車盗難被害の現状に関する次の項目についてご存知ですか。

n=1,487（○はそれぞれ1つ）

	よく知っている	多少は知っている （聞いたことがある）	知らない	無回答
（ア） 千葉県では自動車盗難被害が急増しており、平成25年上半期（1月～6月）の盗難件数が全国ワースト1位になるなど、自動車盗難多発県である	17.3	34.2	43.8	4.7
（イ） 自動車盗難は特定の車種（高級車、ワゴン車、トラックなど）を狙われる傾向がある	28.9	39.7	25.3	6.1
（ウ） 盗まれた自動車の約8割が施錠をしている状態で盗難被害に遭っている	23.3	36.2	34.1	6.4

問 49 あなたは自動車盗難に遭わないためにどのようなことに気をつけていますか。

n=1,487 (○はいくつでも)

- | | | |
|------|--|---|
| 70.5 | 短時間の駐車でも必ず鍵をかける | |
| 19.8 | 自宅の駐車場にセンサーライトや門扉などを設置している | |
| 5.4 | 月極駐車場は夜間でも明るく、防犯設備のある駐車場に駐車するように心がけている | |
| 22.5 | 自動車に警報装置などの盗難防止機器を取り付けている | |
| 58.4 | 駐車の際には大切なものを車内に置かないようにしている | |
| 3.6 | 特に何もしていない | |
| 13.9 | 自動車を所有していない | |
| 2.1 | その他（具体的に |) |
| 5.9 | 無回答 | |

問 50 自動車盗難被害を防止するためにどのような対策が有効だと思いますか。

n=1,487 (○はいくつでも)

- | | | |
|------|---------------------------------------|---|
| 53.7 | センサーライトや防犯カメラの設置を促進するなど、駐車場の防犯対策を強化する | |
| 21.6 | 盗難防止機器の活用など盗難防止に関する広報啓発活動を強化する | |
| 48.1 | 警察のパトロールや取り締まりを強化する | |
| 31.7 | 事業者が盗難に遭いにくい自動車を開発するなどの措置を講じる | |
| 33.6 | 自動車の所有者自身が防犯機器を設置するなど盗難防止策を講じる | |
| 1.8 | その他（具体的に |) |
| 9.1 | 無回答 | |

(すべての方に)

このほかに、「自動車盗難の被害防止について」やここまでの質問（問 48～問 50）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

以上で質問は終わりですが、調査結果を統計的に分析するために必要なことがらをお聞かせください。

F 1 あなたの性別は。

n = 1,487 (○は1つ)

42.9 男性	54.6 女性	2.5 無回答
---------	---------	---------

F 2 あなたは満何歳ですか。

n = 1,487 (○は1つ)

7.5 20～29 歳	16.5 40～49 歳	9.9 60～64 歳
13.5 30～39 歳	15.1 50～59 歳	34.8 65 歳以上
		2.6 無回答

F 3 あなたのご職業は何ですか。

n = 1,487 (○は1つ)

自営業主	家族従業者	勤め人	無職
1.1 農林漁業	0.9 農林漁業	6.7 管理職	37.4 主婦・主夫
1.2 商工サービス業	0.5 商工サービス業	17.7 専門技術・事務職	1.4 学生
2.7 自由業	0.8 自由業	10.2 販売・サービス職	9.3 その他
		5.2 労務職	()

4.8 無回答

F 4 あなたは、主としてあなたのご家庭の家計を支えている方ですか。

n = 1,487 (○は1つ)

46.3 はい	→ 20 ページ F 5 へ	47.3 いいえ	6.4 無回答
---------	----------------	----------	---------

(F 4 で「2」とお答えの方に)

→ F 4 - 1 あなたのご家庭の家計を主として支えている方のご職業は何ですか。

n = 703 (○は1つ)

自営業主	家族従業者	勤め人	無職
1.8 農林漁業	0.3 農林漁業	16.2 管理職	27.9 無職
3.0 商工サービス業	0.1 商工サービス業	22.3 専門技術・事務職	
4.8 自由業	0.9 自由業	10.4 販売・サービス職	
		7.7 労務職	

4.6 無回答

F 5 あなたは、結婚していらっしゃいますか。

n=1,487 (○は1つ)

15.6	未婚	68.0	既婚（配偶者有）	9.5	既婚（配偶者離死別）
				6.9	無回答

F 6 あなたは、お子さんが何人いらっしゃいますか。同居、別居は問いません。

n=1,487 (○は1つ)

15.5	1人	13.0	3人	0.4	5人以上
41.6	2人	1.2	4人	20.2	子どもはいない
				8.1	無回答

→ (F 6で「1」～「5」のいずれかをお答えの方に)

F 6-1 一緒にお住まいのあなたのお子さんと次の中にあげるような方はいらっしゃいますか。

n=1,066 (○はいくつでも)

7.7	0～2歳の子ども	6.8	大学・大学院在学中の子ども
9.4	3歳以上の未就学の子ども	25.2	学校を終えた未婚の子ども
18.8	小学校・中学校在学中の子ども	15.0	結婚した子ども
9.3	高校在学中の子ども	20.8	同居している子どもはいない
1.9	短大・高専・各種学校・専修学校 に在学中の子ども	7.2	無回答

F 7 あなたと一緒に暮らしのご家族の構成は次の中のどれに該当しますか。

n=1,487 (○は1つ)

9.5	単身	9.5	三世代世帯（親と子と孫）
24.7	夫婦のみ	1.9	その他（具体的に
45.1	二世代世帯（親と子）	9.3	無回答

F 8 お宅には65歳以上の方がいらっしゃいますか。あなたご自身も含めてお答えください。

n=1,487 (○は1つ)

49.4	いる	44.9	いない	5.6	無回答
------	----	------	-----	-----	-----

F 9 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。

n = 1,487 (○は1つ)

61.8 持家（一戸建）	2.6 公社・UR都市機構・県市町村営住宅
15.9 分譲マンション	0.8 社宅などの給与住宅
1.9 民間の借家（一戸建）	0.0 住み込み・寮・寄宿舍
10.9 賃貸のアパート・マンション	0.6 その他（具体的に
	5.5 無回答

F 10 あなたは、千葉県に通算して何年くらいお住まいですか。 n = 1,487 (○は1つ)

0.5 1年未満	5.5 5年～10年未満	16.9 20年～30年未満
1.6 1年～3年未満	5.2 10年～15年未満	58.3 30年以上
1.8 3年～5年未満	4.5 15年～20年未満	0.1 わからない
		5.4 無回答

F 11 あなたは、次のどの市町村にお住まいですか。

n = 1,487 (○は1つ)

15.8 千葉市	0.2 勝浦市	0.9 富里市
1.5 銚子市	3.7 市原市	0.5 南房総市
7.3 市川市	2.5 流山市	0.3 匝瑳市
8.9 船橋市	2.6 八千代市	1.0 香取市
0.4 館山市	2.2 我孫子市	0.7 山武市
2.0 木更津市	0.6 鴨川市	0.5 いすみ市
7.7 松戸市	1.7 鎌ヶ谷市	0.4 大網白里市
2.4 野田市	1.5 君津市	0.6 印旛郡酒々井町
1.3 茂原市	0.7 富津市	0.7 香取郡東庄町
1.7 成田市	2.0 浦安市	0.5 山武郡九十九里町
2.2 佐倉市	1.7 四街道市	0.5 山武郡横芝光町
0.9 東金市	1.0 袖ヶ浦市	0.3 長生郡長生村
1.1 旭市	1.0 八街市	0.7 長生郡長柄町
2.4 習志野市	1.3 印西市	0.4 夷隅郡大多喜町
5.9 柏市	1.5 白井市	0.5 安房郡鋸南町
		5.5 無回答

以上で質問はすべて終わりです。

このほかにも、県への意見があればご自由にお書きください。

また、この「世論調査」について、ご意見やご提案があればお書きください。

お忙しいところをご協力いただき、ありがとうございました。
ご記入いただいた調査用紙は、同封の返信用封筒に入れて、
12月9日（月）までにポストにご投函ください。なお、切手は不要です。

平成 25 年度

(第 47 回)

県 政 に 関 す る 世 論 調 査

平成 26 年 5 月発行

(平成 25 年 11 月実施)

千葉県総合企画部報道広報課

千葉市中央区市場町 1 番 1 号

(広聴室) 電話 0 4 3 - 2 2 3 - 2 2 4 6
